臺灣時報

大正九年

五月號

要目

南支南洋の意義
東蒲寨の綿作
都市計畫に就て
臺灣に於ける鰹漁業
厦門汕頭福州の貿易
支那南北の政鱗軍爪
露西亞の世界的脅威
支那及南方事情
支那人の上陸と歸還
臺灣商況
本島地方事情
日漢共通書契神祕
教育短信
統計、雜錄
漢文、法令

臺灣總督府內　臺灣時報發行所

ASIATIC ECONOMIC INFORMATION BUREAU MAY 15 1920 SOUTH MANCHURIA RAILWAY
E,1813 D54 A2 78

臺灣時報發行所役員氏名

（イロハ順）

評議員長
法學博士 下村宏

評議員
醫學博士 稻垣長次郎
池田常吉
石坂莊作
市來半次郎
服部仁一藏
羽鳥精一
原鶴次郎
新元鹿之助
西川利藤太
醫學博士 堀內次雄
富島元治
富地近思
陳鴻鳴
陳中和
李景盛
林熊徵
林獻堂
林烈堂
林鶴壽
農學博士 大島金太郎
大越大藏
大竹勝一郎
小畑駒三郎
岡田重久

渡邊英太郎
渡邊啓太
賀來佐賀太郎
川崎卓吉
簡阿牛
顏雲年
加福豐次
菅野善三郎
川中子安治郎
數田輝太郎
吉川卯三郎
醫學博士 高木友枝
工學博士 高橋辰次郎
田村武七
田村藤四郎
高田元治郎
法學博士 谷野格
高山仰
曾田孝一郎
津田毅一
永田綱明
永田隼之助
中村啓次郎
中島榮吉
長尾景德
內藤正太郎
武藤針五郎
宇野英種

梅谷光貞
隈本繁吉
草鹿砥祐吉
楠正秋
工學博士 山形要助
山移定政
松岡富雄
增田高賴
丸田治太郎
牧山清砂
松江春次
小松吉久
吳昌才
辜顯榮
古賀三千人
枝德二
鄭拱辰
相川茂鄉
赤石定藏
赤司初太郎
後宮信太郎
相賀照鄉
麻生誠之
荒卷鐵之助
櫻井鐵太郎
坂本素魯哉
佐々木紀綱
齋藤愛二

柵瀨軍之佐
佐田武彥
蔡蓮舫
木村匡
木村久太郎
許廷光
北村吉之助
御厨規三
三村三平
三好德三郎
南新吾
庄田藤治
平山寅次郎
平高寅太郎
末松偕一郎
角源泉
鈴木重臣

編纂委員
石井光次郎
池田幸甚
男爵 井上清純
服部武彥
豐田勝藏
農學博士 東鄉實
片山秀太郎
鎌田正威

瀧原三郎
田坂千助
角田廣次
長島八郎
長尾景德
草野義一
黑田周一
前田稔靖
古山榮三郎
藤井恭敬
小西恭介
阿部嘉七
菊池武芳
水越幸一
農學博士 鈴木眞吉

常務員
編輯係 鷹取田一郎
同 拓大雄
同 中野顧三郎
同 小森德治
同 秋澤次郎
同囑託 池田壯太郎
同 小野眞盛
同 杉山秀
庶務及會計係 伊藤憐之助

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金 貳千五百萬圓

各地支店 東京、京都、神戸、兵庫、尼崎、姫路、廣島、德島、奈良、伊丹、傳法
臺南、(大阪市內)南、天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色 銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店 臺北城內府前街一丁目

(電話二二四、五六、九六〇)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

大正九年　五月號目次

口繪寫眞　◉臺灣恒春支廳下大板埒に於ける東洋捕鯨會社臺灣事業場（下）と捕獲鯨體を同場に引上ぐる光景（上）◉東部臺灣に於ける內地移民部落（花蓮港廳下豐田村）◉西部臺灣に於ける鹽田

■論　說■

南支南洋の意義……臺灣軍司令部幕僚參謀　黑田周一……一

東蒲寨の綿作……臺灣總督府技師　吉田碩造……五

都市計畫に就て……臺灣總督府事務官　中瀨拙夫……二六

◉明治三十八年の臺灣文武官……三四

■調查報告■

臺灣に於ける鰹漁業……（水產課調查）……三七

厦門汕頭及福州の貿易近況……（外調週報）……四四

支那南北の政鱗軍爪……（外調週報）……四九

露西亞の世界的脅威……（外調週報）……五三

支那及南方事情……（外調週報）……五六

臺灣に於ける支那人の上陸と其歸還……（外調週報）……六八

臺灣商況……（商工課調）……六九

◉吉原古城氏の詩經講話の中から……七二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■地方事情■

本島各廳の狀況……（各廳報告）……七四

■研究資料■

◉琨璃（一）……二一

日漢共通書契神祕……蕉鹿夢……二三

■記錄■

◉海南漫評……二六

教育短信……湖山生……二七

◉領臺二十五年誌……三〇

■統計■

◉臺北手形交換所手形交換月表（九年三月）◉臺南手形交換所同上◉各銀行放資額（九年二月）◉預金貸出金殘高及金銀在高表（九年二月）◉臺北物價指數表及同上五箇年對照表（二月、三月）◉各銀行內外爲替取組高表（九年一月）◉臺灣貿易表（九年三月）ノ一、二（以上財務局調）……三一

■雜報■

◉臺灣に於ける諸會社◉臺灣日誌◉人事消息◉任命……三二

■法令■

徵兵猶豫ニ關スル在學證明書ノ件外二十三件……八七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行規定

第一條　政事、時事、農事、工事、商事、學術、技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支那南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す

第二條　臺灣總督府內に臺灣時報發行所を設置す

第三條　臺灣時報發行の爲め左の役員を置く

一　評議員
二　編纂委員
三　常務員

第四條　臺灣時報は每月一日之を發行す但し必要に依り臨時增刊を發行することあるべし

第五條　臺灣時報に掲載すべき事項は之れを左記の要目に分つ

一　論說
二　講演
三　談叢
四　調查報告
五　地方事情
六　研究資料
七　統計
八　記錄
九　雜報
十　法令
十一　廣告

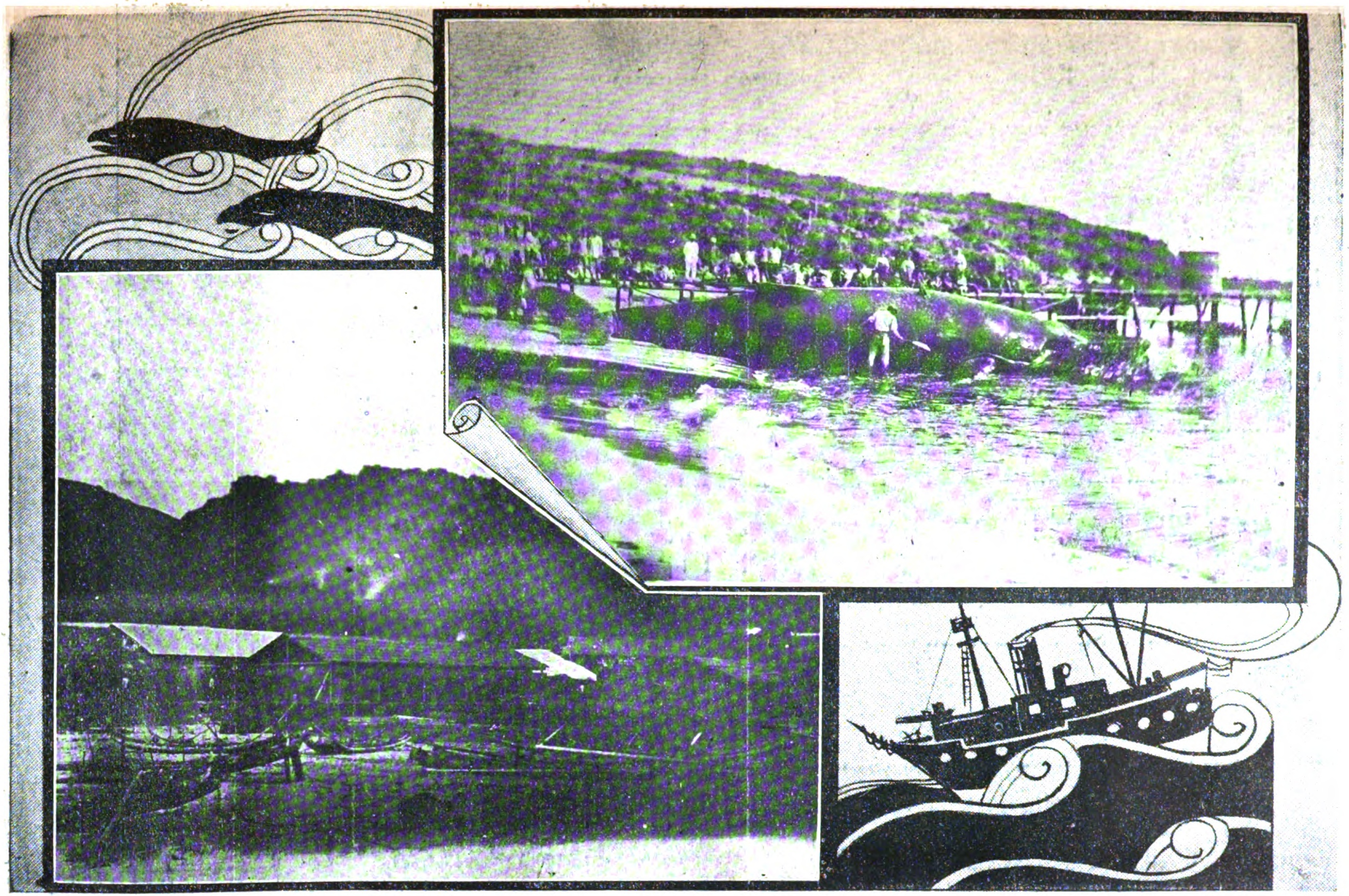
第六條　委員長は每月一回委員を會して編纂上の協議を爲すべし

第七條　臺灣時報の原稿は每月十日迄に發行所に送付せらるべし

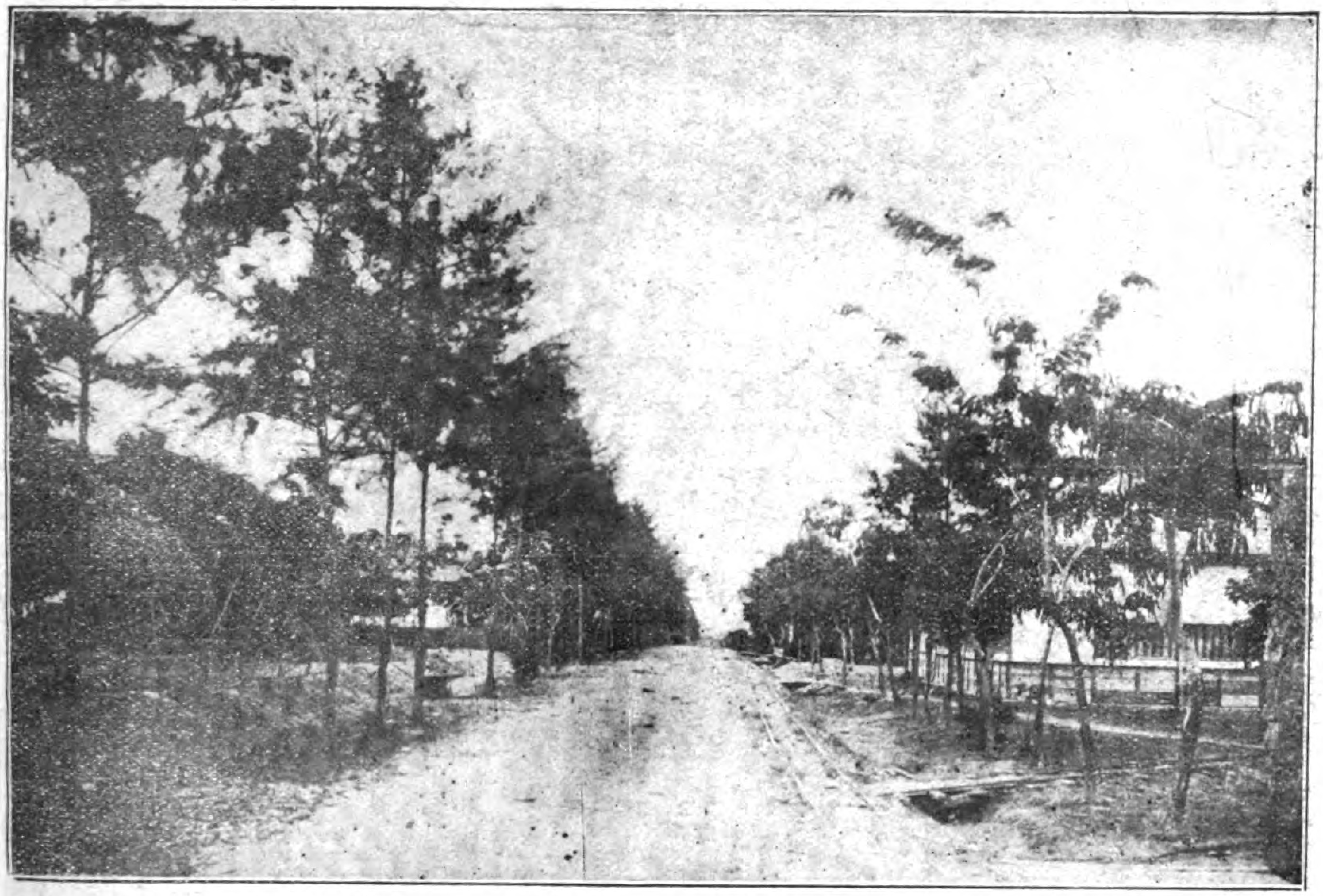
第八條　臺灣時報は他の依賴に應じて廣告を掲載することを得

第九條　臺灣時報の代價及び廣告料等は別に之れを定む

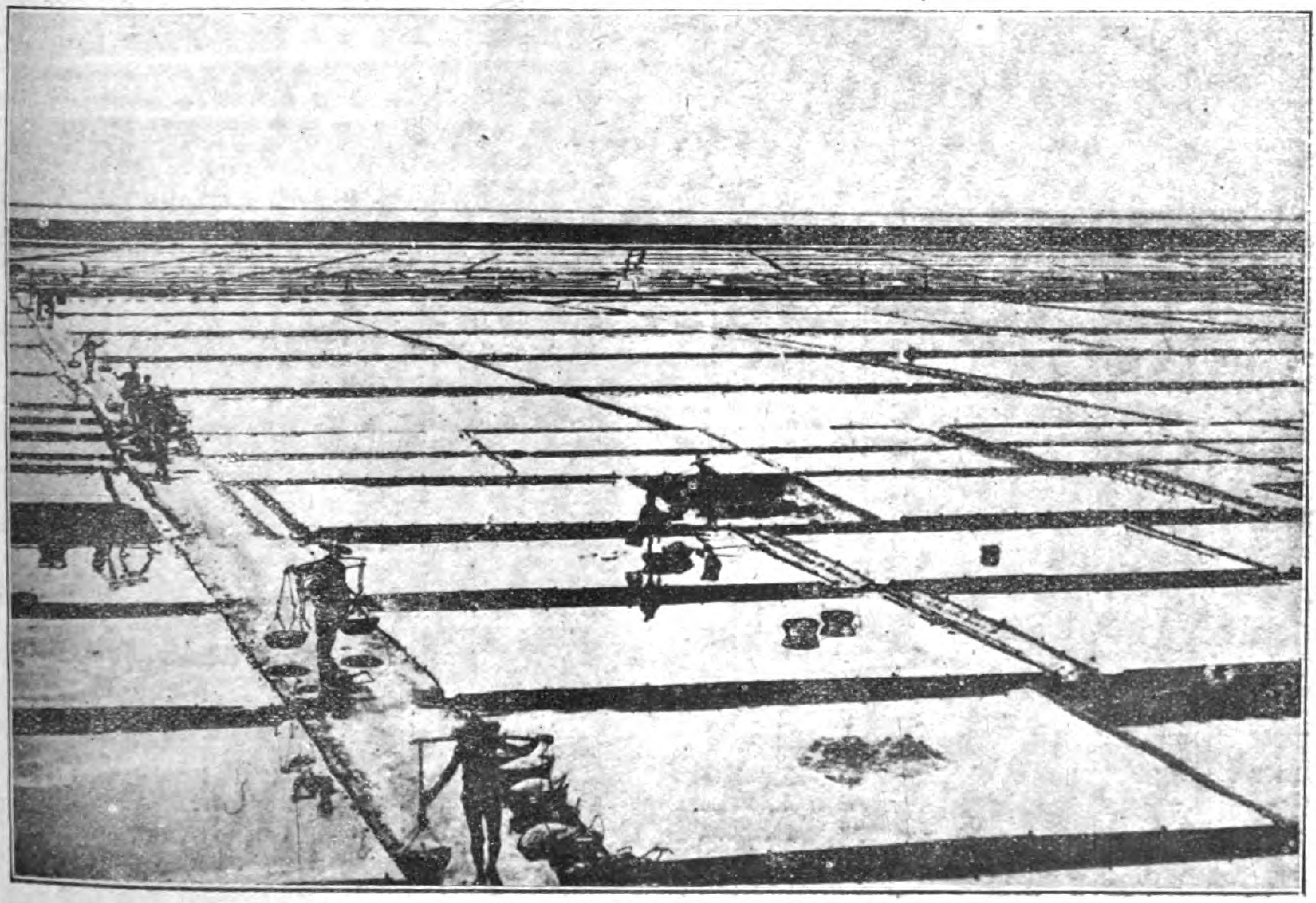
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣恒春支廳下大板埒に於ける東洋捕鯨會社臺灣事業場（下）と捕獲鯨體を同場に引上ぐる光景（上）



東部臺灣に於ける內地移民部落（花蓮港廳下豐田村）



西部臺灣に於ける鹽田

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

大正九年五月號

論説

南支南洋の意義

臺灣軍司令部幕僚參謀　黒田周一

其一　南支に就て

南支は即ち北支那及中支那に對する南支那の略語にして、福建・廣東・廣西・貴州及び雲南の五省を總稱するものなりと解するを穩當なりと信ず。而して南支、南洋と漠然汎稱する場合には佛領印度支那も亦之に含有せしむるを便とす。

抑々南支なる語は現今普通に使用せらるる所なるも、其意義に於ては漠然たるものあり。一千九百十年「ナショナル、レビユウ」出版「支那各省」には、支那本部を三分に別ち、北部は黄河の流域にして、之に甘肅・陝西・山西・河南・直隷及山東を含ましめ、中部は楊子江の流域にして、之に四川・湖南・湖北・江西・安徽及江蘇を含ましめ、南部は西江の流域にして、之に雲南・貴州・廣西・廣東・福建及浙江を含有せしめあり。

獨逸人ナフアラの著に係る「支那及支那人」には、北部並に西部諸省（直隷・山西・陝西・甘肅）中部並に低地諸省（山東・河南・江蘇・安徽・湖北・湖南・江西）南東沿岸諸省（浙江・福建・廣東・海南島）及び南西奥地諸省（廣西・貴州・雲南・四川）の四部に分てり。

上海「ノース、チヤイナ、ラリー、ニユース」社發行の「新地圖及商業地名書」には、直隷・山東・山西・河南・陝西・甘肅を以て北支那とし、四川・湖南・湖北・江西・安徽・江蘇・浙江を以て中支那とし、雲南・貴州・廣西・廣東及福建を以て南支那とせり。

翻て邦人の著書を見るに、田中善立の著書「臺灣と南方支那」には「南方支那と言ふのは楊子江流域の南、特に南嶺山脈

卽ち支那山系以南の地方を指すものであつて、西方より其の省名を擧ぐれば雲南・貴州・廣西・廣東・福建・浙江の六省である」と述べ、東京地學協會の著書「中支那及南支那」には「南支那は支那東海・臺灣海峽及支那南海に面する閩・浙・粤の地域にして、西江・北江・東江・韓江・閩江等の流域を包含す」と記し、西山榮久著書「最新支那大地理」には左の如く論述せり。

「支那本部は行政上より十八省に分ち、淸朝時代には之を八總督區に區分したるが、今地理上の自然の區劃により分たば、左の三大地帶となすを得べし。

1、黃河・白河の流域卽ち北方支那
　甘肅・陝西・山西・河南・直隸・山東の六省
2、揚子江の流域卽ち中央支那
　四川・湖北・湖南・江西・安徽・江蘇の六省
3、西江の流域及浙江・福建の二省卽ち南方支那
　雲南・貴州・廣東・廣西・浙江・福建の六省

以上の區分に就き嚴格に之を言はば、陝西・甘肅二省に於ても、西傾山秦嶺の兩脈以南は揚子江の流域たるべく、雲南省の北部、貴州省の大半も亦同しく揚子江の流域に加ふべし。又江蘇・安徽兩省の北部には黃河流域に屬すべき地方あり。然れとも行政上一省となる處は之を分說するは却て不便なるべきか故に、本書は大體を自然の區劃に取り、間々便宜として政治區劃に依る場合あるべし」と。

要するに以上の諸說中、獨逸人「ナフアラ」を除きては、皆支那本部を北・中・南の三部に分つことに一致せり。地理的觀察に基く時は三分說の合理なるは議者を俟たずして明なり。此の三分說と雖も之を自然地理學上より嚴密に區分せんか、浙江・江西・及貴州の如きは北部は中支に屬し、南部は南支に含ましめざるべからざるに至るべし。

此の如き極端なる地理的區分は、支那に關する研究上徒らに不便を感ずるのみにして益する所なし。故に吾人も亦西山說の如く大體を地理的區分に據り、政治・交通等の關係を顧慮して至當なる解釋を下さんとするものなり。然り而して福建・廣東・廣西及雲南が南支の主要部なることは何人も首肯する所なるべく、唯、問題となるは浙江及貴州の二省なりとす。元來貴州省は其の大半は揚子江の河盂に屬し、前淸時代には其潮流たる烏江及淸水江に依り主なる交通は四川及湖南に通じたりしも、南北抗爭以來、本省は南方派に屬し、中支との交通殆ど杜絕し、却て西江の潮流を利用して廣西を經て廣東に連絡するに至り、益々南方の色彩を帶ぶるに至れり。之に反し浙江省は依然北方派督軍に依り統治せらるゝのみならず、中支の重點上海と該省域とは鐵道に依り連絡せられ、全然中支の勢力範圍に屬するものあるを思はしむ。之れ貴州を南支に加へ、浙江を中支に含ましめんとする所以なり。

其二　南洋に就て

南洋なる語は日本の南方太平洋上に位置する諸島を漠然表示せるものにして、通常は馬來諸島（フイリツピン群島・英領ボルネオ・蘭領東印度）ニユーギニア及ミクロネシヤ（マリアナ・パラオ・カロリナ・マルシアル）を指すを至當とし、廣義に於ては之に馬來半島・メラネシヤ・ポリネシア・布哇及オー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ストラシアをも加へ、單に南支南洋と連稱する場合には、通常南洋と稱する部分に馬來半島をも含むものと解するを便とす。

南洋なる語も亦近時廣く用ひらるゝ所なるも、其意義に至りては南支以上に漠然たるものあり、元來南洋とは、東洋西洋なる用語に對し、日本の南方太平洋上に位置する諸島を表示する爲、邦人が慣用し來りし用語なるが如く、歐米人は餘り此語を使用しあらず。西暦一千五百十三年バルボアは巴奈馬地峽を横斷して初めて太平洋を發見したるが、該地峽は東西に延びたる地峽にして、太平洋は其の南に當れるより、之を南洋と稱したりと。爾來久しく此語は用ひられ、時に「太南洋」と呼ばれしが、佛人は之を「南の海」、獨逸人は之を「南海」と稱したり、エッチ、ストンヒユーワー、クーパーの著書中には「亞米利加大陸横斷鐵道の完成は南洋諸島に一新紀元を開けり」との語あるも、劃然たる區域なく、太平洋上の諸島即ち太洋州を漠然指示せるものゝ如し。大英百科全書には南洋なる語を掲載しあらざるも、リツピンコツトの新地名辭書に依れば、南洋は馬來群島、オーストララシア及ポリネシヤを指す」と說明せり。

山崎直方は大日本百科全書中に「今日イギリス人の南洋と呼びドイツ人の南海と稱する地方は、我國の南洋と稱する地方と其の區域殆ど相一致するものゝ如し。卽ち其包括する所は太平洋の赤道以南全部は勿論、赤道以北に於ても略ぼ北回歸線附近に至る迄の水面は概ね此語の範圍内に含まるゝものゝ如く、尙ほ太平洋以西に亘りても其印度洋との間に位せるマライ多島海も亦此内に含容せられ、凡て是等の海面に散布する太平洋諸島の大部分とマライ諸島とを名けて南洋諸島と汎稱す。近來我國に於て表南洋・裏南洋の語を使用するものあり。

其所謂表南洋とはジヤワ・スマトラ・ボルネオ・ヒリツピンのマライ諸島を指し、裏南洋とはカロリナ・マルシアル・ハプア(ニユーギニア)・ミクロネシア・メラネシア竝ポリネシアの大部分を指すものゝ如し」と述べ、

吉野作造著「南洋」には「南洋の語は近時我國各階級の流行語となりたれども而も、其の何れの國と何れの地方とを包含する乎範圍頗る明確を缺き、說くもの必ずしも一致すること能はざるが如し、然れども之を慣習的に廣義に於ける南洋と狹義に於ける南洋とに區別するを得るは蓋し何人も異論なき所なるべし。卽ち廣義に於ける南洋とは亞細亞及亞米利加に屬せざる太平洋上の各島嶼・濠州・新西蘭・蘭領東印度・裏南洋諸島の總體に對する名稱にして、狹義に於ける南洋とは濠州及新西蘭諸島を除きたる爾餘の諸島を云ふ。

今日普通謂ふ所の南洋とは、主として後者を指すものなれども云々」と說き、裏面洋の章下に左の如く說明せり。

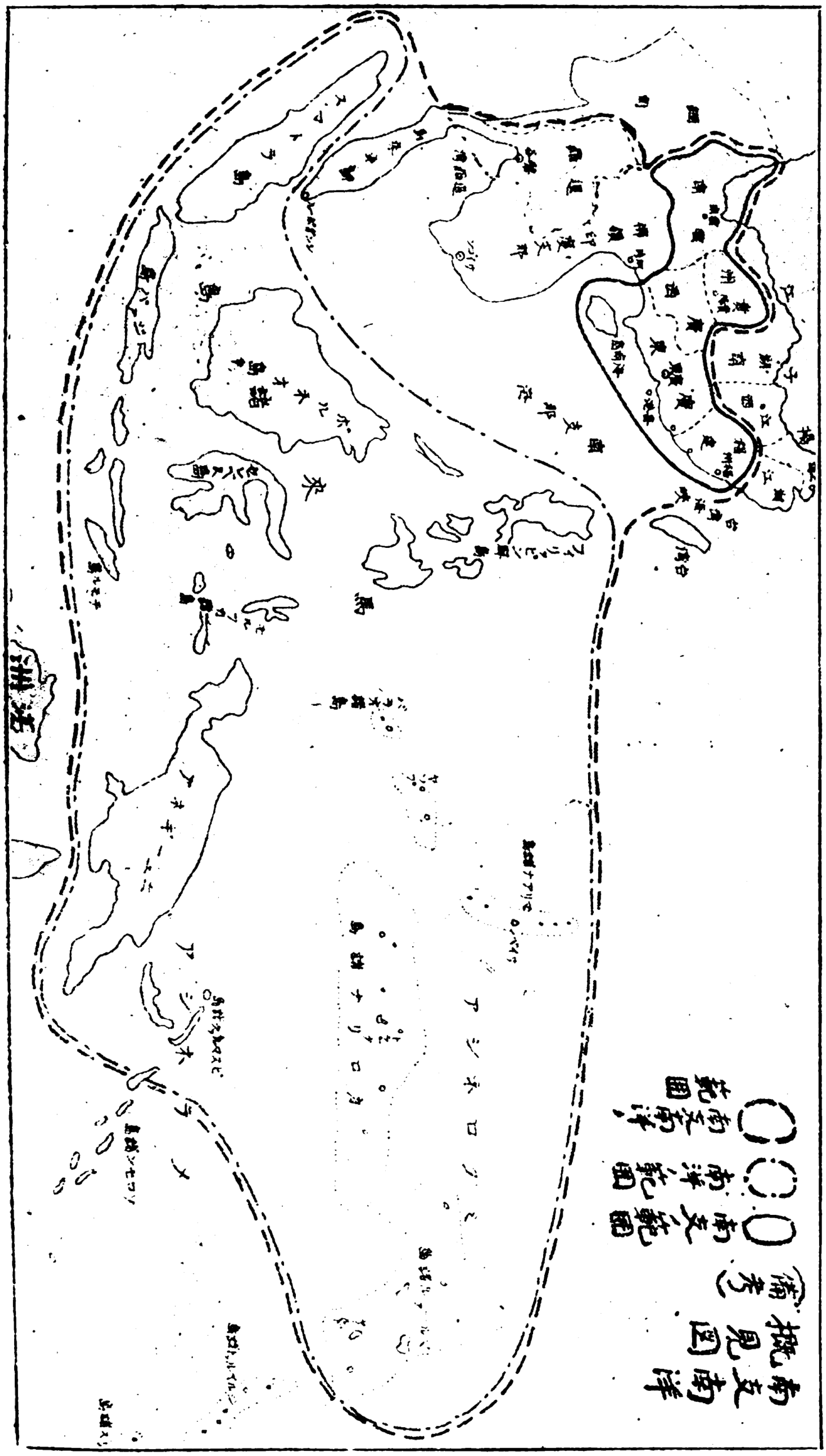
「太平洋上に星羅せる幾多の小群島は之を大別して左の三とす。

(一)メラネシア・ニユーギニアよりフイジー群島に至る諸島

(二)ミクロネシア・メラネシアの北に碁布する諸島

(三)ポリネシア・メラネシア及ミクロネシアの東に散在し北は布哇群島より南はラパ島に至る諸島」

井上雅二著「南洋」には「南洋の範圍は如何、或は濠洲・ニユージー、ランド・フイージーのみならず、暹羅・佛領印度・布哇をも併せ呼んで居る（中略）普通南洋と稱せられて居るのは蘭領東印度諸島・英領ボルネオ・英領ニユーギニア其他の群島・英領馬來半島・獨領ニユーギニア・米領比律賓・葡領諸島等であることは申す迄もない」と言ひ、寺崎廣吉著「南洋諸島」



には明確に說く所なく、林金五郎著「南洋」には主として經濟上の見地よりせるを以て、南洋を廣義に解し、太平洋諸島・濠州其他全體に亘りて論し、印度支那・馬來半島及香港をも含有せしめ居れり。

之を要するに南洋なる語に對しては從來定義的解釋を與へしものなし。元來「南洋なる語が日本の南方太平洋上に位置する諸島を呼稱する便宜上の略語として使用し來りたるものとすれば、之に對し今日世界的領土上の大變動ある此機に於て、日本の南方施策上に都合好き解釋を附し置くは緊要の事に屬す。而してヒリッピン諸島は我臺灣と密接なる關係を有し、英領ボルネオ・蘭領東印度及ニューギニア又我商船の往來するもの多きのみならず、南支と相俟て軍事竝經濟上特種の關係を有するが故に、之を以て南洋の主部となすは何人も異論なかるべし。更に之にミクロネシアを含ましめんとする所以のものは、蓋し歐州戰の結果、獨領南洋中赤道以北が帝國と重大なる關係を有するに至るを以てなり。又廣義の解釋に於て布哇及オーストラレシアを含有せしむる說と然らさるものとあるも、漠然廣く南洋と汎稱する場合には、歐米人の所謂南洋地理學上の太洋州に相當する太平洋上の諸島を總稱するものなりと解するを穩當なりとす。

南支南洋と連稱する場合には、南支と最も密接なる關係を表はす意味あるが故に、南支中に佛領印度支那を含ましめたる如く、通常南洋と稱するものに暹羅及馬來半島をも含有せしむるは諸事に便利多し。

柬蒲寨に於ける棉花作發展の可能性に就て

臺灣總督府技師　吉田碩造

本篇は一九一八年中、余が佛領印度支那に出張せる際其の一保護國たる「カンボヂャ」（柬蒲寨）の重要農産業に就き蒐集せる調査資料にして、本邦紡績業と關係淺からざる事項なるが、初め余が柬蒲寨國農商課長「フラクール」氏に就き同國棉作の現在竝に將來に關し意見を需めたる際「吾人の意見は本書に詳述せり」とて余に寄贈せられたる（Possibilités Du Cambodge Au Point De vue Cotonnier）を抄譯せるものなり。思ふに同國棉作に關する最も有力

なる資料ならんか。即ち本文は「ジェ、シェレー」氏（J. Chailley）を會長として開會せられたる佛國各殖民地農事會議に報告せるものなり。尚ほ本文中の度量衡は凡て佛國制を其儘採用せり。

本文の目次左の如し。

第一、緒言　第二、種類　第三、大河水路の兩岸地方（シャムカル）に於ける土人棉花の栽培　第四、大河兩岸地方に於ける僥倖的棉花栽培及其耕作上の不便　第五、洪水圏外の高地に於ける棉花栽培及其利益　第六、高地産棉の鑑定竝に本國工業上よりの評價　第七、高地に於ける棉花栽培の普及　第八、赤土地に於ける棉栽培の最初の實蹟＝收穫及製品　第九、科學的及實驗的證明　第十、赤土高地の位置及面積　第十一、赤土地の土性　第十二、歐洲人殖民棉作發展の可能　第十三、土人移民棉作發展の可能　第十四、官廳の施設　第十五、民間の企業　第十六、結論

第一　緒　言

棉花作は東蒲寨に於て到る所に散作せらる。若し湄昆河(Mékong)の兩岸、「クラチエー」(Kratie)より「バーナム」(Banam)に至る諸州、竝に「タケオ」(Takeo)理事廳管下なる「レウック・デック」(Loeuk Dek)及「プレークラバ」(Prey-Krabas)兩州及「カンダル」(Kandal)理事廳管下なる「サーアン」(Saang)州を主とせる「バサック」(Bassac)兩岸地方に於て盛に棉花作を行ふのみならず、僻遠の地方にして通行不便なる箇所にも之が耕作を爲すものあり。要するに此等各地方一帶の區域内に散作せらるゝが故に東蒲寨全國を擧げて棉花耕作に從事するものと見るも差支なかるべきなり。

第二　種　類

栽培棉花の種類中明に區別せらるゝものは、第一「クレバー」又は「クレバベー」(Krabas on Krabas bay)—(G. Kirsutum—L.)と云ふ米國種にして一般に東蒲寨綿と稱せらるゝものなり即ち湄昆河及「バサック」河竝に此等諸河の上流地方にて盛んに耕作せらるゝものと、數年前英領印度より輸入せられ耕作上頗る好結果を示しつゝある「カンボチャン、コットン」(Cambodian Cotton)と稱するものゝ二者是なり。

（註）一九一四年刊行印度支那經濟雜誌第二一二頁に東蒲寨棉花に關する報道と題し著者は第一、第二、第三種に付明確なる區別を爲したるが、第四種に至りては「シエムレップ」(Siémréap)地方なる「プーム、クーレン」(Pnom-Koulen)巡檢の際即ち一九一五年に於て發見したるものにして日尚淺きを以て未だ確かなる種別を爲すに至らず。

「Krabas」なる語は「クレバ」(Kreba)と發音するを要し、棉繰りせざる東蒲寨の生綿（實綿）又は廣き意味の綿花を指稱す。「Krabas bay」は今日迄は G. herbaceum (L.)の一種と見做され且此の觀察は其の固有の性質よりは寧ろ耕作上發育期間に基づきて爲されたるものなり。此の棉花は東蒲寨に於て年々收穫せらる、但其の耕作に至つては特種の條件の下に行はる、即ち洪水の減退すると同時に浸水を蒙れる河の兩岸に耕作せられ自三月至四月間に於て收穫す。

此の棉花に付ては「東蒲寨綿花の淘汰」なる題下に印度支那經濟雜誌に於て Hirsute 種（在來種）の一種として指定したり。尚「英領印度に於ける東蒲寨棉花作の進歩」の題下に記述しあり（印度支那經濟雜誌一九一二年刊行の分の第二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五九頁を參照)
第二、Krabas Tés (G.Acuminatum Roxbg)
地三、G.Arboreum (L.) と G.indicum (Lamk) との中間種なる
Krabas Samre 或は K. Sangke と稱ふるものにして、地方農務當局者の決定に據れば寧ろ G.Arboreum に屬すべきものなりと(「メルボンヌ」(Sorbonne) に於ける植民地植物講座受持教師 Vigier 氏は此の分類を確的に承認せり)。

(註)「クレバ、テー」及「クレバ、サムレー」或は「サンケー」。前者は Caravonica or Georgie 後者は Cambodge—Spontane として前備考中に陳述せる印度支那經濟雜誌一九一四年刊行の分第二一二頁にて著者の指定したる二種なり。而して後者は東蒲寨の森林地及山地殊に「スチアン」(Stiangs)「クーイ」(Konys) 及「プノン」(Pnongs) 地方に生産し尙老撾 (Laos) 地方にも存在す。風に對する抵抗力極めて薄弱なるは注意すべき特性にして、其の梳棉は東蒲寨棉より一層短かき纖維を有し極小の種子之に密著するが故に、普通使用しつゝある舊式梳繰機 (Sowgin) を以てしては梳棉と共に無數の種子を逸し取扱ひ甚だ困難なり。

第四、Krabas Sampau と稱するものなれ共此の種は未だ確然其の種別を指定すること能はず。

以上の內第一を除きて三種は一見全く各地散在的狀態を現示するに徴すれば恐らく印度より往昔輸入せられたるものなるべく G. Acuminatum, G. Arboreum 地方種之に屬す。之に反し G. Hirsutum du Cambodge は疑もなく米國より比較的輓近に直輸入せられたるものなるべし。而して現に多額の收穫あり、從つて年々の耕作面積も廣く四種類中最も大なる產額を與へ、且つ此の地の棉取引に最も活氣を添ゆるものたり。

尙此の外に三種あれ共「ヒルッユット」(Hirsute)東蒲寨棉花種を研究する以上は此等種類に付ての說明は餘りに有益ならずと信ずるを以て茲に之を省略すべし。

第三　大河水路の兩岸地方「シャムカル」に於ける土人棉花栽培、

大河及主要する水路の兩岸地方に行はるゝ土人棉花作は屢に印度支那經濟雜誌上に於て屢々研究の問題に供せられたりき。

(註)印度支那經濟雜誌一八九九年刊行分五八〇頁「ルブランク」(Leblanc) 氏「棉花作に關する報告」、一九〇一年分五六九頁「カシエー」(Cassier) 氏「東蒲寨の棉花」、一九〇三年分六一九頁「ブルニエー」(Brenier) 氏「東蒲寨棉花に關する意見」を特に參照。

東蒲寨總監「ボードワン」(Bandoin)氏は甞て「コンポン、シャム」(Kompong—Cham) 理事官たりし時、同地に於ける棉花作に關し二箇の意見書を發表し個人的に此の興味ある問題を研究したるが、此の研究は東蒲寨棉花問題に關する著述中最も詳密に且最も資料豐富なる論文なり。(一九〇五年分印度支那經濟雜誌五三一頁及一九〇八年分五〇七頁參照)

土地耕作の方法に至りては既に人の熟知する所なるを以て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を記載するの必要なしと信ずるを以て之を省略し、進んで綿作の現状に見るに其耕作區域は年により一萬三千「ヘクタール」(Hectares)より一萬八千「ヘクタール」又は二萬「ヘクタール」に達す。是れ洪水の水量の多少により耕地區域も之が影響に依り自ら増減あるを以てなり。

生産地の優秀なる中心地は「クラチエー」(Kratie)「シユロン」(Chlong)及「スチユン、チアン」(Stung-Tiang)諸州(「クラチエー」理事廳管下)「トボン、クミユム」(Thbong-Khmum)「コムポン、シエム」(Kompong-Siem)、「ミユック、コムピユール」(Muk-Kompul)、「スレー、サントール」(Srey-Santhor)及「クサック、カンダール」(Khsach-Kandal)諸州(「コンポン、シヤム」理事廳管下)にして「ロヴエア、エム」(Lovea-Em)(「プレー、ヴエン」(Prey-Vang)理事廳管下)及「サアアン」(Saang)「カンダール」(Kandal)理事廳管下)及「ローウク、デック」(Loeuk-Dek)並に「プレークラバ」(Prey-Krabas)(「タケオ」(Takeo)理事廳管下)諸州も多少の生産あるも之を「クラチエー」及「コムポン・シヤム」理事廳管下に比すれば甚だ少額なり。

此等河岸の地に於ては棉花作は桑、煙草、蚕豆、アジ豆、唐黍、唐胡麻、落花生、胡麻の如き他の植物と競作の有樣にありて土地の狀態より見れば棉作は大發展を爲す餘地なきが如く、要するに沿岸地の面積は實に制限せられあり。

然れ共若し堅全なる堤防により、大河及主たる水路の水の各地への汎濫と之が爲め廣大なる滯溜池を作るを防禦し得るとせば、年々棉花耕作に充當し得る面積をば著しく増加すること恰かも「ミシイシッピイ」州に於て棉花作として優秀なる土地を整理し得たるが如くなるべし。

東蒲寨の實棉生産額を概數にて最近六年に渉り統計を上れば左の如し。

一九一二年	七千噸	一九一三年	六千噸
一九一四年	八千噸	一九一五年	三千噸
一九一六年	五千噸	一九一七年	五千噸

收穫の大部分は「クサック、カンダル」棉花工場にて棉繰され、其生産品は殆んど全部(年々種子として土人の貯存する實棉五百乃至六百噸を除き)は直接又は香港を經由して柴棍より日本に向け輸出せらる。

東蒲寨棉花生産額に關する前揭の數字は一目して其の生産額が年毎に一樣ならざるを示し、就中一九一五年の生産額は其前年たる一九一四年に比すれば約三分の一に過ぎざるを見るべし。

第四　大河兩岸地方に於ける僥倖的棉花栽培及其耕作上の不便

大河及主要水路兩岸地方に於ける土人の耕作は實に不順氣節に行はるゝを常とす。

(註)一定時期に發生する洪水の汎濫地を指して「シヤムカル」(Chamar)と稱す。東蒲寨語にて「チオム、カル」(Tion-Kar)と發音す。

此等抵地は凡て湄昆河の定期洪水に支配せらるゝを以て(出水期は全く規律的なり)、土人耕作者は一切此の天然的現象に服從し自ら播種好適の時期を選擇するの權能なく、定期

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出水一度到り襲がて水量減退し始め最早再度の出水來るの憂なき時期に達したりと見れば直に播種に著手するを例とす。

此の時は每年十月下旬より十二月初旬に至る迄の間にして雨期の終ると同時に著手せらる。

斯くの如き狀況の下に行はるゝ棉花作は其の結果を最も大なる僥倖に待つものと云ふべく、若し雨期が早目に終り所謂東蒲寨の冬期寒冷の到達にして速からんか、其根付不充分なる棉苗は其の成長期の當初より發達を阻止せらるゝなり。又一方よりすれば三、四及五月の頃普通以上多量の降雨あらば(之は不幸にして東蒲寨棉作に有勝ちの事實なり)其の成熟を初むるは二月下旬よりの事なるを以て、收穫に不安を與ふるや勿論にして、棉の品質劣等となるのみならず分量に於ても自ら減少あるを免れざるべし。即ち棉は播種より第一結蒴の成熟迄に四箇月乃至四箇月半を要す。從つて第一摘採は二月下旬乃至三月上旬以後に非ざれば之を行ふ能はず。斯爾後五月末旬に及ぶ。換言すれば棉が溫熱と充分なる降雨により其生育を助勢せらるゝ時期に入れば恰かも十二月末旬より二月下旬に至る期間乾燥の爲め及寒氣により其生育を阻止せられたる反動を以て急激に發育旺盛となる。

此の如き狀況の下に成熟したる棉フルート果(蒴)は爲めに其の纖維の品質を不良ならしむ。即ち纖維は長さ僅小(十八密米より二十乃至二十二密米强に及ぶ)にして整一ならず、密毛多く全然收縮したる無數の小疣により充塞せらる。斯の如くして東蒲寨棉の大部分が有する此の特質(佛本國紡績用としての缺點此に在り)こそ佛國が顧客として每年外國より二十二萬噸、此の價格五億萬法の棉花を輸入しつゝあるに拘らず佛國製造家が今日に至る迄東蒲寨棉を利用するを好まざる所以なり。

此の缺點は主として土人耕作地の狀態に基因するが如し。何となれば纖維の品質及年收額の不整一なるは一に耕作地の條件如何に原因するを以てなり。當該地方官憲は實地檢査の上此の不便を確め、一九一三年以降本國工業に使用さるべき良品を產出し得べき他の土地を擇み棉耕作を行はんことを調査したり。

第五　洪水圏外の高地に於ける棉花栽培及其利益

右官憲が洪水を避けんが爲め充分なる高地を棉作地と爲さんことを計れるは全く前段の理由に出でたるものにして、此の高地は約八百萬乃至一千萬「ヘクタール」の大面積に涉り、傾斜僅少なる高原、不整一なる溪谷、廣漠なる平原相混ずれ共大部分は之に充當することを得べき見込なり。

此の計劃は一九一三年末より實驗に附せられ四箇年を費したる後東蒲寨棉が能く此の地に發育し且優良なる品質のものを生產すること、竝に此の地こそ棉作に好適の地なることを確むることを得たり。

實際洪水圏外の地は播種時期に於て全然何等の障碍を蒙ることなく、七月末若しくは八月初旬に播種せらるゝと共に東蒲寨に於て八月より十一月に懸けて繼續する豊雨の惠に浴し、深く根を堅め、其發育旺盛となり、十一月初以降花を開

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

き繭は十二月末より成熟す。換言すれば摘採は十二月下旬より三月末旬に掛けて順次行はるゝものとす。

十二月末、一月及二月は東蒲寨に於て最も乾燥せる且最も溫暖の時期にして從つて繭は甚だ良好の狀態を以て成熟す。卽ち本作物は深く其根を土中に滋蔓し土中の養分を充分に攝收するを以て生育旺盛、活力充實し殊に繭の產出豐かなり。斯くて新芽發生の全く止むや其の成育機能は擧げて生成せられたる繭の養育の爲めに傾注せらる、且つ一面に於て年々栽培せる生產物の收穫率は前揭高地に於ては頗る規則正しく且黴菌に基く病害(殊に繭の朽腐)甚だ稀なり。

要するに右高地より穫たる綿は密毛尠く最も整一し、大河兩岸地方にて土人の耕作により收穫したる綿の如く小疵の充塞せざるが故其品質を落すことなく纖維は一層長くして何れも整一に、平均二十四乃至二十九%なり(兩岸低地の綿の纖維は十八乃至二十二%なるに對し)

第六　高地產棉の鑑定竝本國工業上よりの評價

第一回耕作により收穫せられたる高地綿の見本は一九一五年(大正四年)八月中植民地農事試驗場に送られたるが、場長 Prudhomme 及植民地綿花組合副組合長(Ch. Auguste Marande)兩氏の要求により右見本は更に Havre 市場の各專門家、商工業家の鑑定に附したる結果次の如く評價せられたり。

上等にして色澤宜しき綿なり、纖毛の長さは二十四乃至二十八%にして整一ならざるも密毛尠し、之を北米合衆國種(米棉)に比すれば相場稍落つると雖も若し之を商品として輸送し來らんか、佛國の紡績用として使用するに足るべく中等番の紡絲製造に供すべし。

鑑定當時(千九百十六年三月末大正五年)に於ける該綿の取引價格は相場よりは稍々高かりしが如く、需要の程度により多少の昂低はありたるも大概五十基瓩に付百十四法臺を上下したり。(Nogent sur Marne 植民地農事試驗場長第四七二號報告中より拔萃)然れば茲に特筆すべき點は、從來河岸地耕作により收穫せられし綿花をば佛國工業上に利用せむとせば其機械を改造するか或は全然之に適當なる器械を新造するの必要ありたるに、高地綿の方は容易に佛國工業に利用し得るものと鑑別せられたる一事なりとす。(註、一九〇四年(明治三十七年)刊行印度支那經濟雜誌第七五一頁 Ancel Seitz Des-Vosges 商會 Paul Ancel 氏の東蒲寨工業上の試驗と題する項參照)

一九一六年三月に行へる鑑定の結果が、一九一六年六月二十一日付第一、四六三號を以て印度支那總督より東蒲寨總監に通牒せらるゝや、總監は左の訓達を下せり。

佛國に於ける鑑定は佛國紡績用として當地綿の重要なるを確かめたるに付、當局は更に實地に付此の綿作の發展如何、竝に曩に鑑定に附したる見本に均しき繰綿をば商品として急速に「アーヴル」に輸送し得べきや否やを調査する所あるべし。

之が爲め一九一四年及一九一五年(大正三年及大正四年)の高地試作によりて得たる收穫綿を手工綿繰にて綿繰し(英國 Eemery 式綿繰機を用ゆ)、工業試驗用の重要なる品物として

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「プノンパン」農商部に保存せる梳綿中より四六四基瓦を提供することゝなり、玆に商品としての第一見本を製造することを得たり。此の見本は本國市場に東蒲寨生産物を廣告する目的を以て一九一六年八月末四梱に詰め、佛國に於ける植民地農事試驗場に輸送したるが、同貨物の「アーヴル」に到著したるは漸く一九一七年三月(大正六年)に入りての事なりき。右は同地にて一四九四法三〇參にて賣渡され東蒲寨地方豫算收入の部に編入せられたるが、結局百基瓦に付三百二十二法に賣却せられたる計算なり。

以上綿の購買者たる工業家は試驗施行上充分なる分量を得たることとなれば、植民地農事試驗場長竝に植民地綿花組合副組合長「マランド」氏の希望を重んじ玆に眞面目なる工業的試驗に著手したるならむ、惜むらくは今日未だ其結果如何を聞くこと能はざるを。

第七　高地に於ける綿花栽培の普及

地方當該官憲の企劃せる試驗が高地に對し綿花栽培の可能なること、竝に其の生産に係る綿の纖維が大河兩岸地方のものに比し優良と認められたる以上、洪水圈外地の土人に對し綿作を奬勵普及せしむるは急務たるべし。其結果一九一五年以降實物教授の爲め二つの農園を作れり。其の一は Chamlak Meas 村 (Kratie 理事廳管下 Stung-Trang 州)、他の一は Thbong-Krapoeu 村 (Kompong-Thom 理事廳下、Kompon-Svai 州) にありて兩農園共充分洪水被害を免かれ得べき高地に位す。而して兩園の土質は全然別種にして「シャムバアクメア」の方は全く赤土、「ポンクラッポー」の方は灰色土なり(交趾支那にて採用する術語を使用す)。此等農園は土人の協力によりて耕耘せられ毫も肥料を用ひず、又灌水をも行はざりき。

此等土地の理化學的組織は交趾支那農商課所屬分析所により兩農園開拓の際採取したる平均土壤の兩見本に就き分析せられたるが其の結果左の如し。

攝氏百度の乾土千分に對する組成分	農園「シャムバアクメア」(赤土)	農園「ポンクラッポー」(灰色土)
理學的分析		
硅質礫	—	三八、五〇〇
砂	三一三、六〇	八四二、九一三
石灰質物	二、〇二	〇、七〇七
粘土	六四五、九八	一〇一、九一九
有機體殘物	三八、四〇	一五、九六一
腐植質	痕跡	痕跡
化學的分析		
窒素	一、四二八	〇、二五八
燐酸	三、八四三	〇、五九六
加里	〇、三七三	〇、七三三
石灰	一、一三三	〇、三九六
苦土	〇、一五〇	〇、一九二

二つの土壤は其の種類より云ふも組織より見るも斯の如く異なるに拘らず綿花は同一狀態を示し、双方共に一樣の發達を爲し、其の梳綿は著しく似寄りたる長さの纖維より組織せられ殆んど同一の品質を示したり。

加之尙注意すべきは總體に於て(卽ち試作の場合及實物教

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

卽ち支那山系以南の地方を指すものであつて、西方より其の省名を擧ぐれば雲南・貴州・廣西・廣東・福建・浙江の六省である」と述べ、東京地學協會の著書「中支那及南支那」には「南支那は支那東海・臺灣海峽及支那南海に面する閩・浙・粤の地域にして、西江・北江・東江・韓江・閩江等の流域を包含す」と記し、西山榮久著書「最新支那大地理」には左の如く論述せり。

「支那本部は行政上より十八省に分ち、清朝時代には之を八總督區に區分したるが、今地理上の自然の區劃により分たば、左の三大地帶となすを得べし。

1、黃河・白河の流域卽ち北方支那

甘肅・陝西・山西・河南・直隷・山東の六省

2、楊子江の流域卽ち中央支那

四川・湖北・湖南・江西・安徽・江蘇の六省

3、西江の流域及浙江・福建の二省卽ち南方支那

雲南・貴州・廣東・廣西・浙江・福建の六省

以上の區分に就き嚴格に之を言はば、陝西・甘肅二省に於ても、西傾山秦嶺の兩脈以南は楊子江の流域たるべく、雲南省の北部、貴州省の大半も亦同しく楊子江の流域に加ふべし。

又江蘇・安徽兩省の北部には黃河流域に屬すべき地方あり。然れとも行政上一省となる處は之を分說するは却て不便なるべきか故に、本書は大體を自然の區劃に取り、間々便宜として政治區劃に依る場合あるべし」と。

要するに以上の諸說中、獨逸人「ナフアラ」を除きては、皆支那本部を北・中・南の三部に分つことに一致せり。地理的觀察に基く時は三分說の合理なるは識者を俟たずして明なり。此の三分說と雖も之を自然地理學上より嚴密に區分せんか、浙江・江西・及貴州の如きは北部は中支に屬し、南部は南支に含ましめざるべからざるに至るべし。

此の如き極端なる地理的區分は、支那に關する硏究上徒らに不便を感するのみにして益する所なし。故に吾人も亦西山說の如く大體を地理的區分に據り、政治・交通等の關係を顧慮して至當なる解釋を下さんとするものなり。然り而して福建・廣東・廣西及雲南が南支の主要部なることは何人も首肯する所なるべく、唯、問題となるは浙江及貴州の二省なりとす。元來貴州省は其の大半は楊子江の河盂に屬し、前淸時代には其潮流たる烏江及淸水江に依り主なる交通は四川及湖南に通じたりしも、南北抗爭以來、本省は南方派に屬し、中支との交通殆ど杜絕し、却て西江の潮流を利用して廣西を經て廣東に連絡するに至り、益、南方の色彩を帶ぶるに至れり。之に反し浙江省は依然北方派督軍に依り統治せらるゝのみならず、中支の重點上海と該省城とは鐵道に依り連絡せられ、全然中支の勢力範圍に屬するものあるを思はしむ。之れ貴州を南支に加へ、浙江を中支に含ましめんとする所以なり。

其二　南洋に就て

南洋なる語は日本の南方太平洋上に位置する諸島を漠然表示せるものにして、通常は馬來諸島（フイリツピン群島・英領ボルネオ・蘭領東印度）ニユーギニア及ミクロネシヤ（マリアナ・パラオ・カロリナ・マルシアル）を指すを至當とし、廣義に於ては之に馬來半島・メラネシヤ・ポリネシア・布哇及オー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ストララシアをも加へ、單に南支南洋と連稱する場合には、通常南洋と稱する部分に馬來半島をも含むものと解するを便とす。

南洋なる語も亦近時廣く用ひらるゝ所なるも、其意義に至りては南支以上に漠然たるものあり、元來南洋とは、東洋西洋なる用語に對し、日本の南方太平洋上に位置する諸島を表示する爲、邦人が慣用し來りし用語なるが如く、歐米人は餘り此語を使用しあらず。西曆一千五百十三年バルボアは巴奈馬地峽を橫斷して初めて太平洋を發見したるが、該地峽は東西に延びたる地峽にして、太平洋は其の南に當れるより、之を南洋と稱したりと。爾來久しく此語は用ひられ、時に「太南洋」と呼ばれしが、佛人は之を「南の海」、獨逸人は之を「南海」と稱したり、エッチ、ストンヒユーワー、クーパーの著書中には「亞米利加大陸橫斷鐵道の完成は南洋諸島に一新紀元を開けり」との語あるも、劃然たる區域なく、太平洋上の諸島卽ち太洋州を漠然指示せるものゝ如し。大英百科全書には南洋なる語を掲載しあらざるも、リッピンコットの新地名辭書に依れば、南洋は馬來群島、オーストララシア及ポリネシヤを指す」と說明せり。

山崎直方は大日本百科全書中に「今日イギリス人の南洋と呼びドイツ人の南海と稱する地方は、我國の南洋と稱する地方と其の區域殆ど相一致するものゝ如し。卽ち其包括する所は太平洋の赤道以南全部は勿論、赤道以北に於ても略ぼ北回歸線附近に至る迄の水面は概ね此語の範圍内に含まるゝものゝ如く、尙ほ太平洋以西に亘りても其印度洋との間に位せるマライ多島海も亦此内に含容せられ、凡て是等の海面に散布する太平洋諸島の大部分とマライ諸島とを名けて南洋諸島と汎稱す。近來我國に於て表南洋・裏南洋の語を使用するものあり。

其所謂表南洋とはジャワ・スマトラ・ボルネオ・ヒリッピンのマライ諸島を指し、裏南洋とはカロリナ・マルシアル・ハブア（ニユーギニア）・ミクロネシア・メラネシア竝ポリネシアの大部分を指すものゝ如し」と述べ、

吉野作造著「南洋」には「南洋の語は近時我國各階級の流行語となりたれども而も、其の何れの國と何れの地方とを包含する乎範圍頗る明確を缺き、說くもの必ずしも一致すること能はざるが如し、然れども之を慣習的に廣義に於ける南洋と狹義に於ける南洋とに區別するを得るは蓋し何人も異論なき所なるべし。卽ち廣義に於ける南洋とは亞細亞及亞米利加に屬せざる太平洋上の各島嶼・濠州・新西蘭・蘭領東印度・裏南洋諸島の總體に對する名稱にして、狹義に於ける南洋とは濠州及新西蘭諸島を除きたる爾餘の諸島を云ふ。

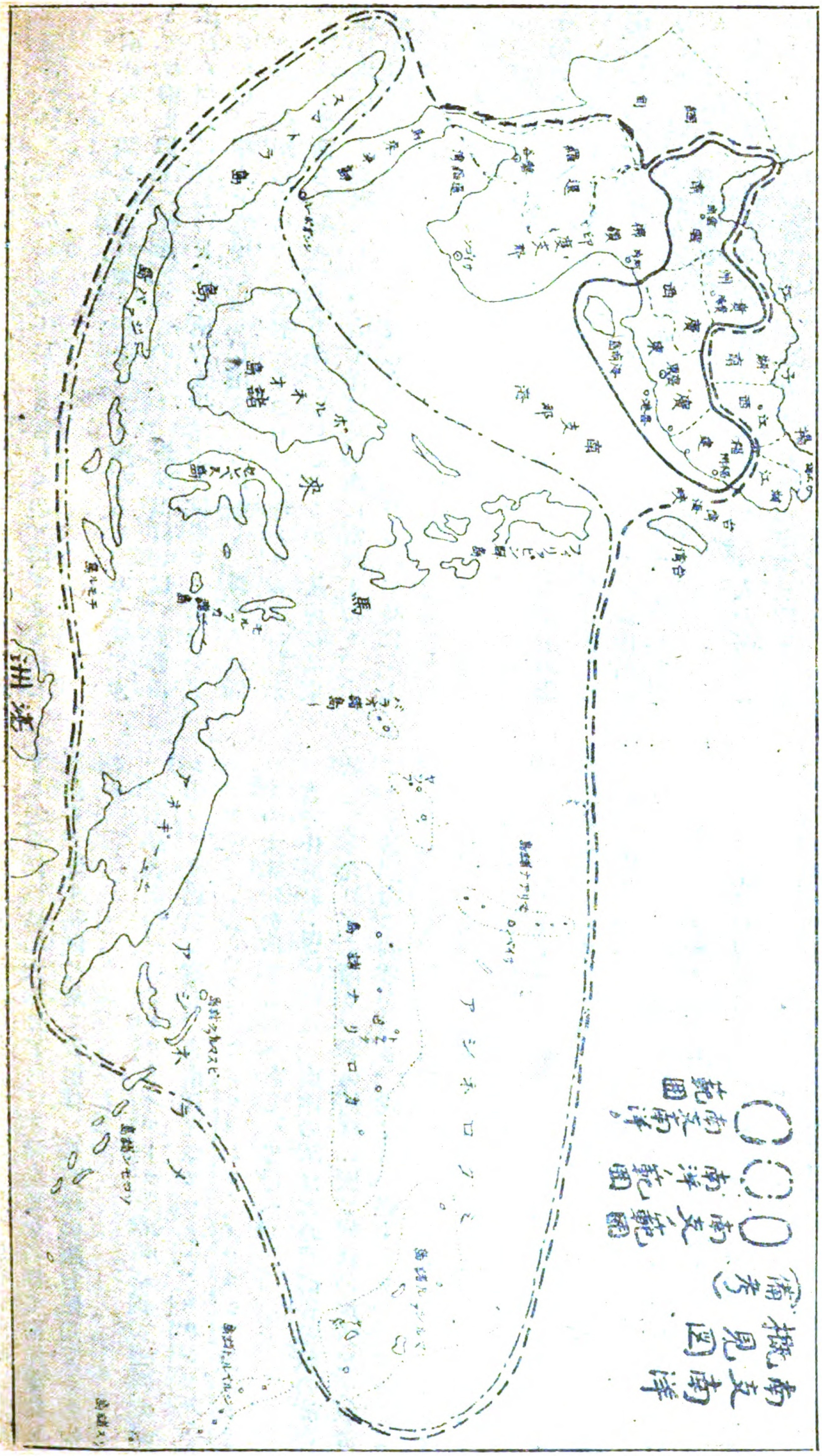
今日普通謂ふ所の南洋とは、主として後者を指すものなれども云々」と說き、裏南洋の章下に左の如く說明せり。

「太平洋上に星羅せる幾多の小群島は之を大別して左の三とす。

（一）メラネシア・ニユーギニアよりフイジー群島に至る諸島

（二）ミクロネシア・メラネシアの北に散布する諸島

（三）ポリネシア・ミクロネシア及メラネシアの東に散在し北は布哇群島より南はラバ島に至る諸島」



井上雅二著「南洋」には「南洋の範圍は如何、或は濠州・ニユージー、ランド・フイージーのみならず、暹羅・佛領印度・布哇をも併せ呼んで居る（中略）普通南洋と稱せられて居るのは蘭領東印度諸島・英領ボルネオ・英領ニユーギニア其他の群島・英領馬來半島・獨領ニユーギニア・米領比律賓・葡領諸島等であることは申す迄もない」と言ひ、寺崎廣吉著「南洋諸島」

には明確に說く所なく、林金五郎著「南洋」には主として經濟上の見地よりせるを以て、南洋を廣義に解し、太平洋諸島・濠州其他全體に亘りて論し、印度支那・馬來半島及香港をも含有せしめ居れり。

之を要するに南洋なる語に對しては從來定義的解釋を與へしものなし。元來「南洋なる語が日本の南方太平洋上に位置する諸島を呼稱する便宜上の略語として使用し來りたるものとすれば、之に對し今日世界的領土上の大變動ある此機に於て、日本の南方施策上に都合好き解釋を附し置くは緊要の事に屬す。而してヒリッピン諸島は我臺灣と密接なる關係を有し、英領ボルネオ・蘭領東印度及ニューギニア又我商船の往來するもの多きのみならず、南支と相俟て軍事竝經濟上特種の關係を有するが故に、之を以て南洋の主部となすは何人も異論なかるべし。更に之にミクロネシアを含ましめんとする所以のものは、蓋し歐州戰の結果、獨領南洋中赤道以北が帝國と重大なる關係を有するに至るを以てなり。又廣義の解釋に於て布哇及オーストララシアを含有せしむる說と然らざるものとあるも、漠然廣く南洋と汎稱する場合には、歐米人の所謂南洋地理學上の太洋州に相當する太平洋上の諸島を總稱するものなりと解するを穩當なりとす。

南支南洋と連稱する場合には、南支と最も密接なる關係を表はす意味あるが故に、南支中に佛領印度支那を含ましめたる如く、通常南洋と稱するものに暹羅及馬來半島をも含有せしむるは諸事に便利多し。

東蒲寨に於ける棉花作發展の可能性に就て

臺灣總督府技師　吉田碩造

本篇は一九一八年中、余が佛領印度支那に出張せる際其の一保護國たる「カンボヂヤ」(東蒲寨)の重要農產業に就き蒐集せる調查資料にして、本邦紡績業と關係淺からざる事項なるが、初め余が東蒲寨國農商課長「フラクール」氏に就き同國棉作の現在竝に將來に關し意見を需めたる際「吾人の意見は本書に詳述せり」とて余に寄贈せられたる(Possibilités Du Cambodge Au Point De vue Cotonier)を抄譯せるものなり。思ふに同國棉作に關する最も有力

なる資料ならんか。卽ち本文は「ジエ、シエレー」氏（J.Chailley）を會長として開管せられたる佛國各殖民地農事會議に報告せるものなり。尙ほ本文中の度量衡は凡て佛國制を其儘採用せり。

本文の目次左の如し。

第一、緒言　第二、種類　第三、大河水路の兩岸地方（シヤムカル）に於ける土人棉花の栽培　第四、大河兩岸地方に於ける僥倖的棉花栽培及其耕作上の不便　第五、洪水圈外の高地に於ける棉花栽培及其利益　第六、高地產棉の鑑定竝に本國工業上よりの評價　第七、高地に於ける棉花栽培の普及　第八、赤土地に於ける棉栽培の最初の實蹟＝收穫及製品　第九、科學的及實驗的證明　第十、赤土高地の位置及面積　第十一、赤土地の土性　第十二、歐洲人殖民棉作發展の可能　第十三、土人移民棉作發展の可能　第十四、官廳の施設　第十五、民間の企業　第十六、結論

第一　緒　言

棉花作は東蒲寨に於て到る所に散作せらる。若し湄昆河（Mékong）の兩岸、「クラチエー」（Kratie）より「バーナム」（Banam）に至る諸州、竝に「タケオ」（Takeo）理事廳管下なる「レウック・デック」（Loeuk Dek）及「プレークラバ」（Prey-Krabas）兩州及「カンダル」（Kandal）理事廳管下なる「サーアン」（Saang）州を主とせる「バサック」（Bassac）兩岸地方に於て盛に棉花作を行ふのみならず、僻遠の地方にして通行不便なる箇所にも**之が耕作を爲すものあり。要するに此等各地方一帶の區域內**に散作せらるゝが故に東蒲寨全國を擧げて棉花耕作に從事するものと見るも差支なかるべきなり。

第二　種　類

栽培棉花の種類中明に區別せらるゝものは、第一「クレバー」又は「クレバベー」（Krabas on Krabas bay）―（G. Kirsutum―ご）と云ふ米國種にして一般に東蒲寨綿と稱せらるゝものなり卽ち湄昆河及「バサック」河竝に此等諸河の上流地方にて盛んに耕作せらるゝものと、數年前英領印度より輸入せられ耕作上頗る好結果を示しつゝある「カンボチヤン、コットン」（CanbodianCotton）と稱するものゝ二者是なり。

（註）一九一四年刊行印度支那經濟雜誌第二一二頁に東蒲寨棉花に關する報道と題し著者は第一、第二、第三種に付明確なる區別を爲したるが、第四種に至りては「シエムレップ」（Siémréap）地方なる「プーム、クーレン」（Puom-Koulen）巡檢の際卽ち一九一五年に於て發見したるものにして日尙淺きを以て未だ確かなる種別を爲すに至らず。

「Krabas」なる語は「クレバ」（Kreba）と發音するを要し、棉繰りせざる東蒲寨の生綿（實綿）又は廣き意味の綿花を指稱す。「Krabas bay」は今日迄は G.herbaceum（L.）の一種と見做され且此の觀察は其の固有の性質よりは寧ろ耕作上發育期間に基づきて爲されたるものなり。此の棉花は東蒲寨に於て年々收穫せらる、但其の耕作に至つては特種の條件の下に行はる、卽ち洪水の減退すると同時に浸水を蒙れる河の兩岸に耕作せられ自三月至四月間に於て收穫す。

此の棉花に付ては「東蒲寨綿花の淘汰」なる題下に印度支那經濟雜誌に於て Hirsute 種（在來種）の一種として指定したり。尙「英領印度に於ける東蒲寨棉花作の進步」の題下に記述しあり（印度支那經濟雜誌一九一二年刊行の分の第二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五九頁を參照)

第二、Krabas Tés (G.Acuminatum Roxbg) と G.indicum (Lamk) との中間種なる

第三、G.Arboreum (L.) Krabas Samre 或は K. Sangke と稱ふるものにして、地方農務當局者の決定に據れば寧ろ G.Arboreum に屬すべきものなりと(「メルボンヌ」(Sorbonne) に於ける植民地植物講座受持敎師 Viguier 氏は此の分類を確的に承認せり)。

(註)「クレバ、テー」及「クレバ、サムレー」或は「サンケー」。前者は Caravonica or Georgie 後者は Cambodge-Spontane として前備考中に陳述せる印度支那經濟雜誌一九一四年刊行の分第二一二頁にて著者の指定したる二種なり。而して後者は東蒲寨の森林地及山地殊に「スチアン」(Stiangs)「クーイ」(Konys) 及「プノン」(Pnongs) 地方に生產し尙老撾 (Laos) 地方にも存在す。風に對する抵抗力極めて薄弱なるは注意すべき特性にして、其の梳棉は東蒲寨棉より一層短かき纖維を有し極小の種子之に密著するが故に、普通使用しつゝある舊式梳綿機 (Sowgin) を以てしては梳棉と共に無數の種子を逸し取扱ひ甚だ困難なり。

第四、Krabas Sampau と稱するものなれ共此の種は未だ確然其の種別を指定すること能はず。

以上の內第一を除きて三種は一見全く各地散在的狀態を現示するに徵すれば恐らく印度より往昔輸入せられたるものなるべく G. Acuminatum, G. Arboreum 地方種之に屬す。之に反し G. Hirsutum du Cambodge は疑もなく米國より比較的輓近に直輸入せられたるものなるべし。而して現に多額の收穫あり、從つて年々の耕作面積も廣く四種類中最も大なる產額を與へ、且つ此の地の棉取引に最も活氣を添ゆるものたり。

尙此の外に三種あれ共「ヒルッユット」(Hirsute)東蒲寨棉花種を研究する以上は此等種類に付ての說明は餘りに有益ならずと信ずるを以て玆に之を省略すべし。

第三　大河水路の兩岸地方「シャムカル」に於ける土人棉花栽培

大河及主要する水路の兩岸地方に行はるゝ土人棉花作は屢に印度支那經濟雜誌上に於て屢々硏究の問題に供せられたりき。

(註)印度支那經濟雜誌一八九九年刊行分五八〇頁「ルブランク」(Leblanc) 氏「棉花作に關する報告」、一九〇一年分五六九頁「カシエー」(Cassier) 氏「東蒲寨の棉花」、一九〇三年分六一九頁「ブルニエー」(Brenier) 氏「東蒲寨棉花に關する意見」を特に參照。東蒲寨總監「ボードワン」(Baudoin)氏は嘗て「コンポン、シャム」(Kompong-Cham) 理事官たりし時、同地に於ける棉花作に關し二箇の意見書を發表し個人的に此の與味ある問題を硏究したるが、此の硏究は東蒲寨棉花問題に關する著述中最も詳密に且最も資料豐富なる論文なり。(一九〇五年分印度支那經濟雜誌五三二頁及一九〇八年分五〇七頁參照)

土地耕作の方法に至りては既に人の熟知する所なるを以て

之を記載するの必要なしと信ずるを以て之を省略し、進んで棉作の現狀に見るに其耕作區域は年により一萬三千「ヘクタール」(Hectares) より一萬八千「ヘクタール」又は二萬「ヘクタール」に達す。是れ洪水の水量の多少により耕地區域も之が影響に依り自ら增減あるを以てなり。

生産地の優秀なる中心地は「クラチエー」(Kratie)「シユロン」(Chlong) 及「スチユン、チアン」(Stung-Tiang) 諸州(「クラチエー」理事廳管下)「トボン、グミユム」(Thbong-Khmum)「コムボン、シエム」(Kompong-Siêm)、「ミユツク、コムピユール」(Muk-Kompul)、「スレー、サントール」(Srey-Santhor) 及「クサツク、カンダール」(Khsach-Kandal) 諸州(「コンボン、シヤム」理事廳管下)にして「ロヴエア、エム」(Lovea-Em)(「プレー、ヴエン」(Prey-Vang) 理事廳管下)「サアアン」(Saang)「カンダール」(Kandal) 理事廳管下)及「ローウク、デツク」(Loeuk-Dek) 竝に「プレークラバ」(Prey-Krabas)(「タケオ」(Takeo) 理事廳管下) 諸州も多少の生産あるも之を「クラチエー」及「コムボン・シヤム」理事廳管下に比すれば甚だ少額なり。

此等河岸の地に於ては棉花作は桑、煙草、蠶豆、アジ豆、唐黍、唐胡麻(ヒマ)、落花生、胡麻の如き他の植物と競作の有樣にありて土地の狀態より見れば棉作は大發展を爲す餘地なきが如く、要するに沿岸地の面積は實に制限せられあり。

然れ共若し堅全なる堤防により、大河及主たる水路の水の各地への汎濫と之が爲め廣大なる滯溜池を作るを防禦し得るとせば、年々棉花耕作に充當し得る面積をば著しく增加することと恰かも「ミシイシツピイ」州に於て棉花作として優秀なる土地を整理し得たるが如くなるべし。

東蒲寨の實棉生産額を概數にて最近六年に涉り統計を上れば左の如し。

一九一二年	七千噸	一九一三年	六千噸
一九一四年	八千噸	一九一五年	三千噸
一九一六年	五千噸	一九一七年	五千噸

收穫の大部分は「クサツク、カンダル」棉花工場にて棉繰され、其生産品は殆んど全部(年々種子として土人の貯存する實棉五百乃至六百噸を除き)は直接又は香港を經由して柴棍(サイゴン)より日本に向け輸出せらる。

東蒲寨棉花生産額に關する前揭の數字は一目して其の生産額が年每に一樣ならざるを示し、就中一九一五年の生産額は其前年たる一九一四年に比すれば約三分の一に過ぎざるを見るべし。

第四　大河兩岸地方に於ける僥倖的棉花栽培及其耕作上の不便

大河及主要水路兩岸地方に於ける土人の耕作は實に不順氣節に行はるゝを常とす。

（註）一定時期に發生する洪水の汎濫地を指して「シヤムカル」(Chamar)と稱す。東蒲寨語にて「チオム、カル」(Tiom-Kar)と發音す。

此等抵地は凡て湄昆河(メーコン)の定期洪水に支配せらるゝを以て(出水期は全く規律的なり)、土人耕作者は一切此の天然的現象に服從し自ら播種好適の時期を選擇するの權能なく、定期

出水一度到り軈がて水量減退し始め最早再度の出水來るの憂なき時期に達したりと見れば直に播種に著手するを例とす。
此の時は毎年十月下旬より十二月初旬に至る迄の間にして雨期の終ると同時に著手せらる。
斯くの如き狀況の下に行はるゝ棉花作は其の結果を最も大なる僥倖に待つものと云ふべく、若し雨期が早目に終り所謂東蒲寨の冬期寒冷の到達にして速からんか、其根付不充分なる棉苗は其の成長期の當初より發達を阻止せらるゝなり。又一方よりすれば三、四及五月の頃普通以上多量の降雨あらば(之は不幸にして東蒲寨棉作に有勝ちの事實なり)其の成熟を初むるは二月下旬よりの事なるを以て、收穫に不安を與ふるや勿論にして、棉の品質劣等となるのみならず分量に於ても自ら減少あるを免れざるべし。即ち棉は播種より第一結蒴の成熟迄に四箇月乃至四箇月半を要す。從つて第一摘採は二月下旬乃至三月上旬以後に非ざれば之を行ふ能はず。斯爾後五月末旬に及ぶ。換言すれば棉が溫熱と充分なる降雨により其生育を助勢せらるゝ時期に入れば恰かも十二月末旬より二月下旬に至る期間乾燥の爲め及寒氣により其生育を阻止せられたる反動を以て急激に發育旺盛となる。
此の如き狀況の下に成熟したる棉フルート果(蒴)は爲めに其の纖維の品質を不良ならしむ。即ち纖維は長さ僅小(十八密米より二十乃至二十二密米强に及ぶ)にして整一ならず、密毛多く全然收縮したる無數の小疣により充塞せらる。斯の如くして東蒲寨棉の大部分が有する此の特質(佛本國紡績用としての缺點此に在り)こそ佛國が顧客として每年外國より二十三萬噸、此の價格五億萬法の棉花を輸入しつゝあるに拘らず佛國製造家が今日に至る迄東蒲寨棉を利用するを好まざる所以なり。
此の缺點は主として土人耕作地の狀態に基因するが如し。何となれば纖維の品質及年收額の不整一なるは一に耕作地の條件如何に原因するを以てなり。當該地方官憲は實地檢查の上此の不便を確め、一九一三年以降本國工業に使用さるべき良品を產出し得べき他の土地を擇み棉耕作を行はんことを調查したり。

第五　洪水圈外の高地に於ける棉花栽培及其利益

右官憲が洪水を避けんが爲め充分なる高地を棉作地と爲さんことを計れるは全く前段の理由に出でたるものにして、此の高地は約八百萬乃至一千萬「ヘクタール」の大面積に涉り、傾斜僅少なる高原、不整一なる溪谷、廣漠なる平原相混ずれ共大部分は之に充當することを得べき見込なり。
此の計劃は一九一三年末より實驗に附せられ四箇年を費したる後東蒲寨棉が能く此の地に發育し且優良なる品質のものを生產することと、並に此の地こそ棉作に好適の地なることを確むることを得たり。
實際洪水圈外の地は播種時期に於て全然何等の障碍を蒙ることなく、七月末若しくは八月初旬に播種せらるゝと共に東蒲寨に於て八月より十一月に懸けて繼續する豐雨の惠に浴し、深く根を堅め、其發育旺盛となり、十一月初以降花を開

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

き蒴（カプシエル）は十二月末より成熟す。換言すれば摘採は十二月下旬より三月末旬に掛けて順次行はるゝものとす。

十二月末、一月及二月は東蒲寨に於て最も乾燥せる且最も溫暖の時期にして從つて蒴は甚だ良好の狀態を以て成熟す。即ち本作物は深く其根を土中に滋蔓し土中の養分を充分に攝收するを以て生育旺盛、活力充實し殊に蒴の產出豐かなり。斯くて新芽發生の全く止むや其の成育機能は擧げて生成せられたる蒴の養育の爲めに傾注せらるゝ、且つ一面に於て年々栽培せる生產物の收穫率は前揭高地に於ては頗る規則正しく且黴菌に基く病害（殊に蒴の朽腐）甚だ稀なり。

要するに右高地より穫たる綿は密毛尠く最も整一し、大河兩岸地方にて土人の耕作により收穫したる綿の如く小疵の充塞せざるが故其品質を落すことなく纖維は一層長くして何れも整一に、平均二十四乃至二十九％なり（兩岸低地の綿の纖維は十八乃至二十二％なるに對し）

第六　高地產棉の鑑定竝本國工業上よりの評價

第一回耕作により收穫せられたる高地綿の見本は一九一五年（大正四年）八月中植民地農事試驗場に送られたるが、場長Prudhomme（プリユドンム）及植民地綿花組合副組合長（Ch. Auguste Marande（シャル、オーギュスト、マランド））兩氏の要求により右見本は更にHavre（アーヴル）市場の各專門家、商工業家の鑑定に附したる結果次の如く評價せられたり。

上等にして色澤宜しき綿なり、纖毛の長さは二十四乃至二十八％にして整一ならざるも密毛尠し、之を北米合衆國種（米棉）に比すれば相場稍落つると雖も若し之を商品として輸送し來らんか、佛國の紡績用として使用するに足るべく中等番の紡絲製造に供すべし。

鑑定當時（千九百十六年三月末大正五年）に於ける該綿の取引價格は相場よりは稍々高かりしが如く、需要の程度により多少の昂低はありたるも大概五十基瓦（キログラム）に付百十四法臺を上下したり。（Nogent sur Marne（ノージャン、シュル、マルヌ）植民地農事試驗場長第四七二號報告中より拔萃）然れば玆に特筆すべき點は、從來河岸地耕作により收穫せられし綿花をば佛國工業上に利用せむとせば其機械を改造するか或は全然之に適當なる器械を新造するの必要ありたるに、高地綿の方は容易に佛國工業に利用し得るものと鑑別せられたる一事なりとす。（註、一九〇四年（明治三十七年）刊行印度支那經濟雜誌第七五一頁Ancel Seig Des Vosges（アンセル、セーズ、デ、ウォージュ）商會Paul Ancel（ポール、アンセル）氏の東蒲寨工業上の試驗と題する項參照）

一九一六年三月に行へる鑑定の結果が、一九一六年六月二十一日付第一、四六三號を以て印度支那總督より東蒲寨總監に通牒せらるゝや、總監は左の訓達を下せり。

佛國に於ける鑑定は佛國紡績用として當地綿の重要なるを確かめたるに付、當局は更に實地に付此の綿作の發展如何、竝に曩に鑑定に附したる見本に均しき綿纖維は商品として急速に「アーヴル」に輸送し得べきや否やを調査する所あるべし。

之が爲め一九一四年及一九一五年（大正三年及大正四年）の高地試作によりて得たる收穫綿を手工綿繰にて綿繰し（英國Eemery（エメリイ）式綿繰機を用ゆ）、工業試驗用の重要なる品物として

「プノンパン」農商部に保存せる梳綿中より四六四基瓩を提供することゝなり、玆に商品としての第一見本を製造することを得たり。此の見本は本國市場に東蒲寨生產物を廣告する目的を以て一九一六年八月末四梱に詰め、佛國に於ける植民地農事試驗場に輸送したるが、同貨物の「アーヴル」に到著したるは漸く一九一七年三月（大正六年）に入りての事なりき。右は同地にて一四九四法三〇參（サンチーム）にて賣渡され東蒲寨地方豫算收入の部に編入せられたるが、結局百基瓩に付三百二十二法に賣却せられたる計算なり。

以上綿の購買者たる工業家は試驗施行上充分なる分量を得たることとなれば、植民地農事試驗場長竝に植民地綿花組合副組合長「マランド」氏の希望を重んじ玆に眞面目なる工業的試驗に著手したるならむ、惜むらくは今日未だ其結果如何を聞くこと能はざるを。

第七　高地に於ける綿花栽培の普及

地方當該官憲の企劃せる試驗が高地に對し綿花栽培の可能なること、竝に其の生產に係る綿の纖維が大河兩岸地方のものに比し優良と認められたる以上、洪水圏外地の土人に對し綿作を奬勵普及せしむるは急務たるべし。其結果一九一五年以降實物敎授の爲め二つの農園を作れり。其の一は Chambak（シャンバアク）—Meas（メア）村（Kratie（クラチエー）理事廳管下 Stung（スチエン）—Trang（トラン）州）、他の一は Thbong（ボン）—Krapoen（クラッポー）村（Kompong（コンポン）—Thom（トム）理事廳下、Kompon（コンポン）—Svai（ザアイ）州）にありて兩農園共充分洪水被害を免かれ得べき高地に位す。而して兩園の土質は全然別種にして「シャムバアク、メア」の方は全く赤土、「ボンクラッポー」の方は灰色土なり（交趾支那にて採用する術語を使用す）。此等農園は土人の協力によりて耕耘せられ毫も肥料を用ひず、又灌水をも行はざりき。

此等土地の理化學的組織は交趾支那農商課附屬分析所により兩農園開拓の際採取したる平均土壤の兩見本に就き分析せられたるが其の結果左の如し。

理學的分析

攝氏百度の乾土千分に對する組成分	農園「シャムバアクノメア」（赤土）	農園「ボンクラッポー」（灰色土）
硅質礫	—	三八、五〇〇
砂	三一三、六〇	八四二、九一三
石灰質物	二、〇二	〇、七〇七
粘土	六四五、九八	一〇一、九一九
有機體殘物	三八、四〇	一五、九六一
腐植質	痕跡	痕跡

化學的分析

窒素	一、四二八	〇、二五八
燐酸	三、八四三	〇、五九六
加里	〇、三七三	〇、七三三
石灰	一、一三三	〇、三九六
苦土	〇、一五〇	〇、一九二

二つの土壤は其の種類より云ふも組織より見るも斯の如く異なるに拘らず綿花は同一狀態を示し、双方共に一様の發達を爲し、其の梳綿（カルト）は著しく似寄りたる長さの纖維より組織せられ殆んど同一の品質を示したり。

加之尙注意すべきは總體に於て（卽ち試作の場合及實物敎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

授の爲め耕作の場合とも）高地にては自一九一三年至一九一六年繼續四箇年間に二種の土壤共に年々同一の收穫物を得たることと是なり。（斯る事實は前きに陳述したるが如く洪水圏内地の耕作に見る能はざる所のものなり）

「シャムバアク、メア」及「ボン・クラッポー」模範園にて得たる一九一六年收穫梳綿(カルド)の平均見本は、東蒲寨農商課より同年五月を以て「ノージャン、シュル、マルヌ」植民地農事試驗場に送付せられたるが、同場長竝に植民地綿花組合副組合長の要求により「アヴル」に於て鑑定せられたる結果は左に示す所の如し。

（註）此の鑑定を印度、「マドラス」州生産の同一綿に關し孟買及歐洲に於て發表せられたる鑑定に對照せよ（印度支那經濟雜誌一九一二年刊行の分第二五九頁掲載英領印度に於ける東蒲寨綿の進歩と題する記事參照）。孟買及歐洲の鑑定共に其の纖維の改良顯著なるを一に氣候的及灌漑的條件の優秀なる所以に歸し、耕作地が最も此等の便宜を備へたるに因れるの一面のみを觀察し當初より印度支那に於て必要と信じたる「種子の選擇(セレクション)」に言及せずと雖とも、吾人の見を以てすれば種子を選擇せば尚一層優良なる綿花を收穫し得るや明かなり。

（一）「シャムバアク・メア」の綿（赤土）

純良綺麗にして光澤あり、聊か牛酪色を呈す。米國の中上品 (Fully Good Middling American) に相當し、纖維は充分柔靭にして良好なるも聊か不整且稍粗、長さは約二十八㎜なり。

賣行きある綿にして取引相場五十基瓦に付一三三法の時「アーヴル」にて一三七法に評價せらる。

（二）「ボン・クラッポー」の綿（灰色土）

純良にして光澤あり、米國の中上品に相當し前掲綿よりは牛酪色を帶ぶること少し。纖維は整一、柔靭にして甚だ良好、長さは二十八乃至二十九㎜なり。

甚だ賣行ある綿にして取引相場五十基瓦に付一三三法の時「アーヴル」にて一三八法に評價せらる。

「ボン・クラッポー」（灰色土の方）模範園は高地々方の土人に綿花耕作を普及する上に於て何等の效果を奏せざりしに引換へ、「シャムバアク、メア」（赤土の方）は同高地附近の耕作者をして甚だ興味ある擧に出でしむるに至り、「クローチ」邑五箇村（「コンポン、シャム」理事廳管下「コンポンシャム」州）住民三十九人は志願の上東蒲寨綿花栽培を赤土地の其の受持區に試みたりき。

（註）「クローチ」邑は低地に位し「シャムバアクメア」村所在即ち赤土高地の南方にあるも同村との距離は甚だ遠からざる箇所にあり。

而して當局者の勞空しからずして此の自發的に出でたる耕作の結果が土人をして模範園耕作の眞價を確信するに至らしめたるは特筆するの價値ありと云ふべし。

第八　赤土地に於ける棉栽培の最初の實績收穫及製品

六「ヘクタール」半の地をば五十に區分し、一九一六年雨期

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中植付を爲したるが何等肥料を施さず又灌水を用ひずして甚だ良品質の實綿一萬五百二十三基瓦を收穫せり。即ち全耕地を通じて一「ヘクタール」に付平均約六三八基瓦の收穫に相當す。

（註）實際此等の土地に於ては他の高地よりは一層灌水の必要なし、綿花は七月より九月初迄に生育す、而して雨期間強き驟雨を受け其の天惠により益々盛んに發育す、七月末より九月末迄の間柬蒲寨に於ける雨量は九百乃至千粍に達し、雨量最も多き十月の一箇月間にて雨の平均最高度約四百m/mなり。

以上の綿一萬五百二十三基瓦は本國の計算拂として當該官廳にて購入したるが、綿繰の結果梳綿三六〇〇基瓦強を得たり。即ち一「ヘクタール」に付梳綿平均二百十八基瓦の收穫なり。尙終に特筆すべきは實綿より精製せる梳綿高は此等綿花にて少なくとも三割以上にして、殊に目下に於ては三割四分に達したること是なり。

第九　科學的及實驗的の證明

「クローチ」邑人民の成功を博せる以上の試みは從來柬蒲寨農民の發意的行動なかりしに見て特に著目を要する事實と云ふべく、且曩に綿花栽培が高地殊に赤土地方に於て容易なる事例を示せる官廳側の試作よりも一層感動を與へ、其結果高地にして住民多く綿作に便宜なる地方に此等試作の新農園を開拓する者を續出すべき傾向を呈し、綿花栽培發展に好影響を及ぼしたり。

左に「クローチ」邑農民の右企劃が吾人に示せる實際的報導を摘錄して參考に供すべし。

（一）一「ヘクタール」の實綿の平均收穫高は（全耕地は一六「ヘクタール」半なり）六百三十八基瓦なるに、河岸の耕作地は（一六一六年より一九一七年に至る綿作期）最高限三百五十乃至四百基瓦の收穫ありたるに過ぎず。

（二）實綿六十基瓦一擔（ピキュル）は市場に於て赤土產は平均七弗五四の割合にて賣渡され百基瓦に付十二弗五六なるを以て、此の價格に基づき平均收穫六三八基瓦に對する收入上の結果を見るに、赤土の綿花耕作一「ヘクタール」に付弗以下切捨にて八十弗に相當す。之に反し河岸產綿は一九一七年市場に於て六十基瓦一擔（ピクル）に付平均六弗、收入上に於て一「ヘクタール」強に付三十五乃至四十弗なり。

（三）終に赤土地方に於ける今日迄の主たる耕作物は山稻（陸稻）即ち乾地作物にして綿の如く雨期間に耕作せられたり。而して最も良好なる狀態の下に栽培せらるゝとするも、山稻は一「エクタール」に付平均籾九〇「タン」(Thang)、價格四十五弗のものを產するに過ぎず。

一九一六年―一九一七年の農期に於て山稻の耕作は赤土に於て一「ヘクタール」に付平均六十五「タン」乃至七十「タン」を產し、價格は三十二弗五〇乃至三十五弗なり。然るに同地方に於ける綿は前段敍述したるが如く一「ヘクタール」に付八十弗に達す。

（註）一「タン」は分量二「トー」(Tau)に相當し、一「トー」は二「デカリートル」（二十「リートル」に當る）なるを以て一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「タン」は四十「リットル」なり。普通籾の二「タン」半をは六十八基瓦一擔の重量に計算す。

右籾は此地方市場にて二「タン」一弗にて賣買せらる。以上に據れば土人耕作習慣の現状に變動を來たすは必然なるべく、高地に於ては漸次綿花作は米作に代はりて益々大發展を爲すに至るべし。蓋し同一單位の面積にありて綿作は其の他の耕作物に比し農業者に對し數等有利にして遙かに大なる收入を齎らすを以てなり。

赤土地方開發に關し土人に綿花栽培の奬勵普及は今や著々實行の歩を進めつゝあるは以上述べたる如くなるが、今日迄の觀察に據れば當初は此の實行を唯だ赤土地方にのみ施さゞるべからざるかと思料す。蓋し高地々方としては此の赤土地方が人口增殖の上に於て、又歐洲人植民の上に於て優秀なる條件を具備せる唯一の地なるのみならず、歐洲移民が所謂致富に最も適する栽培業は東蒲寨中此の地の綿作を最と爲せばなり。説いて茲に至れば先づ確むべきは東蒲寨に所在する赤土の廣袤幾何なるやにあり。蓋し栽培擴張の可能及該耕地に於ける綿花產額增加の計劃に伴ふ犧牲（費用等）の範圍如何の問題は擧げて此の調査により決定せらるべきを以てなり。

第十　赤土高地の位置及面積

當局現在の調査のみにては明かに赤土高地の面積を示し難しと雖ども大略二百萬「ヘクタール」を下らざるものと計算す[illegible]とを得べし。此等高地は海拔六十乃至一二〇米にあり、面積には大小あるも露頭地の形狀を[illegible]に[illegible]す。

東蒲寨諸地方に於ては殊に Battambang（バッタムバン）及 Pailin（パイラン）間（註。一九一七年二月中東蒲寨總監 Boudoin（ボードワン）氏は「バッタムバン」より「パイラン」に至る地方を巡視し、新道により此等赤土の露頭地を通過したるが、此等の地は一九一七年より一九一八年に涉る乾燥期に入りて當該地方官憲により踏査せらるゝ筈）「Siémréap（シエムレアプ）」「Mélouprey（メループレー）」及「Promtep（プロムチップ）」、及「Tonle Repou（トンレルプ）」及「Prorong（プロロン）」を赤土地方とし「Moulapoumok（ムーラプウモック）」地方中東蒲寨東部國境に添へる高地（安南東蒲寨の境界）にも又西南西に廣かる幾多山嶽の麓にも存在す。

然れども以上列擧の地方は何れも交通便利なる道路の開鑿せられ居らざるが故に、當該地方官廳は先づ高地にして最も交通容易なる四つの高地を選擇することゝせり。第一は湄昆（メーコン）河右岸に沿ひ Kompong-Cham（コンポンシャム）の北部に廣かる地方にして（此の部分は河に沿ひて傾斜し斷崖絶壁を形成す）Stung-Trang（スチュントラン）（「クラチユー」理事廳管内）Barai（バライ）（「コンポントム」理事廳管内）Kompong-Siem（コンポンシエム）及 Choeung-Prey（シヨウウンプレイ）（「コンポン、シャム」理事廳管内）の沿岸地を包擁する部分なり。其總面積は尠くとも二十萬「ヘクタール」に達すべし。（註。自一九一六年至一九一七年間土人が最初試作に著手したる「クローチ」邑は此の高地の南部に當る）而して其の他の二高地は河の左岸にて Thbong-Khmum（ボンクミュム）洲（「コムポンシャム」理事廳管内）及 Chhlong（シュロン）洲（「クラチエー」理事廳管内）に廣がる部分なり。

其の内の面積小なる一高地は殆んど河流と平行し幅平均三、三粁、長さ約二十粁を有し面積四千乃至六千「ヘクタール」に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

達すべし。此の高地は河岸より約十七粁の所に位し、Tayninh(タイナン)(寧ろ Thudaumot(チユドモー))を通じて東蒲寨の此の地方を柴棍(サイゴン)に連結すべき計劃道路は其の中央を貫通するが故に頗る便宜の位置にあり(此の計劃は必ず實行せらるゝならん)。而して右計劃道路は「チユドモー」を經由する方一層便利なるべし。蓋し此處を經由するとせば同地方高地中最も大面積を有する箇所をも通過することゝなるべし。換言すれば交趾支那の國境Loeninh(ロクナン)に遠からざる所迄廣がり居る面積約三十五萬乃至四十萬「ヘクタール」の地を通過すべし。

第四の箇所は前掲高地の北東二十五乃至三十粁に位し面積約一萬五千「ヘクタール」を有す。柴棍より「チユドモー」「ロツクナン」「クラチエー」及「スチユン・トラン」を經て下老撾(ラオス)に達すべき計劃道路は此の地を通過せざるべからず。

然れば以前より交通容易なる此の四高地のみを以てするも農業用地として六十萬「ヘクタール」強の面積を得べし。

第十一　赤土地の土性

地質及理化學的組織より云へば東蒲寨の赤土は上部交趾支那の赤土と左迄に差異あるを認めず。火山噴火作用により此の地の赤土は多少の空孔を有する玄武岩か、溶岩若くは多少分解せる褐鐵鑛か、青色又は黑色の粘土か或は甚だ粗なる陶土(高嶺土)の上に厚き床を形成す。其平均の厚さは十五乃至十八米(最厚三十乃至三十五米、最も薄き所は一米半乃至三米)にして概して砂礫なく、又相當の粘土を含有するも水通しよく且常に氣通良好なり。(乾燥の絶頂期に於ても深さ二十乃至二十五糎強の深さにありては乾土を濕ほし得るに充分なる濕潤の土壤を有す)

尚床底には透明なる水湧出し居りて源泉滾々涸渇の憂なし。

此等赤土の地は勾配の度甚だ少き廣潤なる高地を形成し唯交趾支那に近き部分のみは小溪谷を形成す。一般に森林に蔽はれ居るは赤土の常態なるに、獨り交趾支那附近のみは森林の代はりに小竹地上に密生するを見る、尚同地東部の赤土の大部分は「パイヨット」草(L'herbe de paillote(茅草類)) 即ち「トラン」草(Tranh) 全面積に茂生し居るも、東蒲寨の方には毫も之を見ざることも注目に値すべし。東蒲寨の此等高地の大部分が森林を有することは開拓上吾人に對し更に一つの便宜を與ふるものと云ふべし。即ち小竹若くは「トラン」草の叢生地に比すれば森林地の開拓は多少輕費に於て不廉なるを免れざるべしと雖ども、其の開墾地は處女地にして草生地に比すれば一層豊沃なるのみならず建築材料及燃料の如きは居ながらにして無限に之を供給することを得るを以てなり。

以上陳述する所のものは極めて簡單なれども讀者は直に耕作上赤土地方が充分注目の價値ある地方たることを首肯し得べし。

(註)東蒲寨赤土高地に入れば數百年を經たる樹木よりなる森林の鬱蒼として數十里に涉り連互せるに遭逢すべく、樹種は「スララオ」(Sralao) 即ち「バンラン」(Banlang) 其の主たるものにて森林中の大面積を占む。

農業上東蒲寨に植民地を樹立するは可能なりとの見解を立

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てたる以上は（殊に綿作普及の點より見て）、赤土地方の緊要缺くべからざる土地なることを第一に屈指せざるべからず。當局が現に其の內より「コンポン・シャム」及「クラチエー」の高地を擇みて研究を急ぎつゝあるは實に此の觀察に基づけるものにして、又此の高地のみに限りたるは之のみにても其の面積六萬「ヘクタール」の廣地域を有するが故に、歐洲人及土人の兩植民の爲め當分耕地に不足なかるべしと思惟するが故なり。而して此等高地か全然有價地となりたる曉には綿花年收は裕に四萬噸以上を生產し得べきを思はば此等植民は時を移さず此地の穫得に著手するの急務なるを覺知すべし。要するに吾人は此の地綿作の發展は全然實行し得べきものと觀察することを得べし。

以上の問題は歐洲人植民と土人植民との兩方面より觀察するを要す。

第十二　歐洲人植民棉作發展の可能

佛國繁榮上缺くべからざる要素卽ち眞面目なる歐洲人の農業植民なるものは未だ東蒲寨に存在せず。從つて歐洲人が幾何の資本を放下し、如何なる目的に之を使用し、如何なる開拓事業に從事したるか又其事業の性質如何の問題も聞くを得ず。換言すれば東蒲寨は尙殆んど本國人民の知る所とならず。殖產興業共容易に實行し得らるゝ餘地綽々として存するに拘はらず、今日に至る迄歐洲人移民の眞面目なる開拓事業の企劃せられたることあらざるなり。然れ共東蒲寨に均しき土地をば民間事業にて開發し之を有價地と爲したる例は既に近隣植民地（交趾支那）により與へられたり。（同植民地に對する企業家の不撓不屈の開發事業は成功せられたりき。此の種の企劃に缺くべからざる資金の充實すると共に成功せり）當時交趾支那は東蒲寨現時の場合程の便宜はあらざりしが、其東北部の赤土を活動の中心點として歐洲人の植民事業計劃せられ、因つて以て同植民地の將來に於ける經濟上有力なる先驅的任務に衝らん事を期したり。然かも就中困難を感じたるは勞力問題なりき。蓋し上交趾支那の如く人口甚だ稀薄なる地方に於て之を求めんとするは不可能なるを以てなり。

然るに吾人考ふる所を以てせば、尠くとも東蒲寨の赤土地方は假令ひ湄昆（メーコン）河岸程に人口稠密ならず、又前揭大耕地全部を有價地と爲すに必要なる全勞力を負擔する程に多數住民を有せざるにせよ、拓地植民の著手に要する勞動者が其の風土に慣れたる永住的人民なることは最も有力なる補助條件と云はざるべからず。然かも尙今より勞力輸入の準備を怠るべからざるは勿論なるべし。蓋し東蒲寨人口の稀薄にして又全土に於ける人口分布の片寄れる等の事情は恰かも交趾支那の赤土地方に生じたるが如き、否現在も生じつゝあるが如く歐洲人植民の將來に對して同じく緊急の問題たるべければなり。（東蒲寨の面積は一七五〇〇〇平方粁にして住民は一七〇萬人なれば、一平方粁に二十人強の割合なり）此の問題に對し當該地方官憲は印度人移住を奬勵することこそ最も適切なる手段なりと考ふるものゝ如し。蓋し印度人は人種及宗敎に於て東蒲寨人と共通せるのみならず兩者間の風俗も亦同一なるを以て、輸入分子混住せしむるも何等衝突を來すことなく相互相融和

せんこと明白なるが故なり。當該官憲の觀察此くの如く、當事者たる企業團の意見も之に合致せる故に、同地方知事は一九一七年七月二十八日附第九九三號を以て東蒲寨の現存せる廣大なる土地開發に必要なる勞働者を印度に於て募集するの認許を得たきに付、至急英、佛、兩政府間に之か取極めを締結せられ度旨を總督に稟申し、更に總督より巴里中央政府に照會せられんことを以てせり。吾人の考ふる所を以てすれば、歐洲人植民の發展を容易にせん爲めには此の地に現存する天惠的條件を尙一層詳密に調査を遂げ、同時に植民實行に必要なる條件をも研究することそ刻下の急務にして、此等の研究にして遲延せられんか其損失決して尠少ならざるべしと信せらる。從つて前述地方官憲及企業家の要求最も機宜に適したる措置と云はざるべからず。吾人は更に歐洲人か先つ「コンポン・シャム」及「クラチエー」の四高地に移住することそ開發上の最良手段たるが如く思考せらる。之れ蓋し曩きに吾人の陳述したるが如く此の地に居を構ふるの極めて容易なる又土地の豐沃なる、旣に移住に適當なるを示せるが上に其居住地附近の村落よりは歐洲人移民に必要なる固定的の補助勞力者を招致することを得べければなり。

　讀者は旣に東蒲寨產綿花が赤土に於て良好に發育し且吾人に對し滿足なる收穫を與へたるを知れり。（註。一九一六年—一九一七年の耕作期に於て赤土に於ける土人耕作の收穫は一「ヘクタール」に付 Cotton fibre 二一八瓩なり、之を米國就中「テキサス」州の收穫に比するに同地の收穫高は一「クヘタール」に付二二〇瓩なれば東蒲寨は毫も遜色なしと云ふべし）從つて吾人は此の地の植民に招致せらるゝ歐洲人の開發には、雜草芟除を要する植物中綿花を以て其の主要耕作物と爲さんことを希望す。而して護謨、珈琲「コ、ア」等の如き喬灌木の輪作又は間作を行ふにせよ、吾人の栽培に係る綿種は其の全く發育を遂ぐるは播種より七箇月乃至八箇月にして、Manioc（キャッサバ）及唐黍と同樣如何なる耕作法によるも此の地に於て收穫することを得べく、年々佛國が二十三萬五千噸の統綿の大部分を外國殊に米國に仰ぐ狀態に鑑み、此の地生產物は確實にして且利益ある販路を得ること易々たるべし。況んや最近「アーヴル」に於て鑑定せられたる如く東蒲寨赤土地綿は其の品質に於て米國良種の綿と競爭し得ると云ふに於てをや。

　綿の大耕作に對し反對を唱ふる人尠からず、此は之を摘取する勞力に多大の費用を要するとの見越しあるに因る。然れども吾人は此くの如き誇脹的意見の誤りを指摘するに多く饒舌するの必要なしと信ず。勿論綿繭の摘取には勞賃を要するには相違なきも、此の點に就ては東蒲寨圈内に耕作せらるゝ他の喬灌木と綿とに於て何等異なる所あるなし。勿論其の種類により勞力費用上多少の差別は存するならん。然れども收穫上勞力費用を要せざるものあるを聞かず。要は唯其の開發上の方法に留意し、假令多少なりとも收穫を減少せざると共に成るべく經費を節約せんことに努むべきのみ。之を綿作に付て云はゞ無益に摘取の度數を重ねざるが如き最も必すべき事なりと云ふべし。

　赤土に於ける東蒲寨綿の繭の成熟するは、曩にも陳述したる如く遲くも十二月末より三月末迄の間にあるが故に摘取の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時間は滿三箇月間に渉るものとす。又一方に於て此の種の綿は成熟の際は果實の辨全たく上方に向ひ房內の綿を裸にし、然も綿は强風に遭ふも地に落つ蒴は甚だ廣く開くを常とし、「耐風性（ストムプルーフ）」(Storm proof) なる言を以て形容す、所謂「耐風性」綿も數多の種類あり、殊に「テキサス」州を最とす）此くの如き種類の綿なるが故に勞力は極めて有利的に使用せられ、其の收穫甚た多く收穫多き丈けに費用も亦節約し得べし。加之此の氣節に於ては二十五日乃至三十日間は摘取に從事するとも何等の故障あるなし。何となれば一月、二月及三月は東蒲寨に於ける甚だ乾燥せる時期なるを以てなり。

本文の初めに陳述したる彼の「クローチ」邑の赤土の綿畑に於ける收穫中實地調査したる處に據れば土人の男、女及十歲以上十二歲迄の小兒を混して一日の勞働時間を六時間とし、一人に付平均實綿二十瓩を摘取することを得べし。（註。是れ綿作に從事せる或一地區の農夫が隨意に行ひたる勞働にして右農夫は其妻と二人の小兒とを携へ協力せしめたり、而して四人にて朝九時より午後三時迄に八十瓩强を摘取することを得たり、又此の地區（分筆地）の面積は約五十「アール」（一「アール」は一一九平方碼（ヤード）なり、即ち一町〇〇八三なり）にして實綿總收穫高は三五〇瓩强に達したり。勞働賃金に付て見るに、此等地方の例に從へば一人に付食費を給與せず一日八時間半乃至九時の勞働にて其の賃銀は〇弗三〇、勞働者一人に付第一摘取の際は實綿十八乃至二十瓩を摘取することを得べく、最も多量を收穫し得る時期たる第二摘取の際は三十、乃至三十五瓩、第三摘取には三十、三十五乃至二十六瓩を收穫す。故に摘取に要する費用は實綿百瓩に付一弗一〇乃至一弗二〇なり。（註。弗（ピヤストル）平均相場は三法三法三〇、三法六〇の何れかを以て換算す、而して「テキサス」州にては百基瓦の實綿摘取賃銀は約六法に相當す）

摘取は成るべく婦女小兒を使用すべし。蓋し其摘取高に於て男子と毫も大差あるなく加ふるに勞銀は廉價なるを以て百瓩に對する賃銀も前掲賃銀を節約し得るを以てなり。

歐洲人植民に待つ綿作の發展に關し上來陳述する所のものは、其の實行の容易なるは吾人の確信する所なりと雖も、歐洲民間事業家の之に參加し其資金を此地に投ずるにより初めて實行せらるべきものにして、要するに實行力を待つて以て發展し得べき問題なりと云ふべし。

第十三　移民棉作發展の可能

土人側の綿作發展は歐洲人の方と同一徑路を取るの要なきは幸ひなり。且本目的は一層急速に達成し得らるべし。曩にも述べたるが如く赤土地方の人民は平坦なる高地面に散住するか若くは溪間に居占し、人口に多少あるも各々村落を形成し、其の人口は可なり稠密の方なり。吾人は左に此等人口の數如何を觀察すべし。但し觀察は啻に赤土地方のみに限らず同時に其の附近の人口をも合せたるものと知るべし。蓋し吾人が後段にも陳述する如く、河岸地方及赤土地と河岸地との中間なる平地よりして赤土地方への移住は極めて容易に行はれ得るを以てなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四高地のみに付て見るも大小村落二百以上を有すべきを以て、村落毎に平均五人家族の十戸を含むものと假定すれば男女小兒を合して少くとも總計一萬人の人口あるべし。(註。此數字は毫も誇張に非らず、寧ろ一村に付ての平均戶數を十五戶と見るも、十戶を以て一村落の平均表と見は少きに過ぐべく、唯假定計算の場合に於ては成るべく控へて差支なかるべし。目に計算するを確實と信ずるを以て斯の如く計算したり。殊に吾人の實見せる數多の村溶は何れも五十戶乃至六十戶を下らざるもの丶みなりき)

附近平地の方は人口一層稠密なり。今單に高地の周圍の十五乃至二十粁幅の一帶のみに付計算せんに、散布せる村落の數を二百五十乃至三百と計算するは決して誤謬にあらず。而して各村落には平均二十戶を有すべし、故に尠くとも總體にて二萬五千乃至三萬の人口あり。而して此の計算は不當ならず、蓋し此等村落の人民中には既に赤土に於て耕作に從事しつ丶ある者あるのみならず尙此の地に林產物を求め其の恩惠に浴しつ丶あり、就て以て大體を知り得るを以てなり。以上により吾人が曩に說明したる如き狀態の下に在る土地に對し、綿作を普及するに必要なる勞力の手近かに在るもの丶數をば尠くとも三萬五千乃至四萬と計上することを得べし。

由來此等地方人民の主要なる耕作の米作なることは吾人の前述せる所なるが、高地の住民は山米、(陸稻)を、低地及溪谷の人民は主として普通米(水稻)を耕作す。赤土地の溪谷の土壤は一般に黑粘土にて組織せらる丶が故に水田を作るに便利なれども平地の方は槪して石礫多く水田となし難き地あり。從つて彼處此處に散在せり。兩地共に雨期に於ては附近の傾斜面より流下する水流により豐かに灌水せらる。然れど水田到る所に存在するに拘はらず此の一帶に居住する村民の增加するに從ひ逐年之に相當する充分なる面積を供する能はざるが故に、彼等は附近なる赤土に向ひ他の耕作に從事せんとしつ丶あり。是れ實際の事實にして吾人の確言し得る所のものなり。

吾人は曩に「クローチ」邑の一九一六年―一九一七年期耕作に於て得たる收穫に關し、土人等か赤土地に於て普通耕作物として擇む所のもの丶內に(從來殊に米作を主要とせり)耕作者として左迄に勞力を費さゞるも甚だ有利なる報酬を受くる點よりして、何れも綿作を採擇し之に從事すること丶なりたる旨を陳述したるが、今後綿の地方商業上の狀態の改良せられ、且其生產が後段に陳述するが如く順調に增加せんか彼等は更に一層の利益を享受することとなるべし。

此の地方の土人が從事すべき農事中にて綿作の適當なることを示さんとせば、先づ「コンポン・シャム」北方に位する高地の南部に住する土人が昨年中に行ひたる綿作發展の結果をば數字を以て說明するを捷徑なりとすべし。

「クローチ」邑が一九一六年―一九一七年間綿作に充てたる面積は十六「ヘクタール」半にして、之を五村落に配與し專ら此の耕作に當りたる住民は三十九人なりしことは既に陳述せる所なるが、當時彼等の多數が內心此の試作を爲しつ丶も戰々競々たりしは、其の配付を受けし耕地面積の大部分が、五十「アール」以下なりしに徵するも推知せらる丶なり。然るに一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度試作良成績たりしことの認めらるゝや爾來五村住民の植付面積は著しく增加し且其の附近なる他の八箇村も習ふて綿作に從事するに至り、一九一七年―一九一八年耕作期間綿作に充てられし面積卽ち「クローチ」及「シャムカル、スヴァイ」兩邑中の十三村に配付せられし土地は尠くとも百五十「ヘクタール」に達せり。又一方耕作者數も前の三十九人は一六六人となり、耕地一人割當は前年中四十一「アール」なりしに引替へ本年一人當り九十「アール」に增加したり。要するに一度綿作に從事したるものが再び綿を主要耕作物となして怪まざるは此の耕作の有利なるを證明するものと云はざるべからず。換言すれば昨年綿作に從事したる農家の大半が本年に入り、一人當り耕地として有する面積一「ヘクタール」半に下らざるに見ても其の然るを知るを得べし。

斯くの如き滿足なる結果を見たる上は此地綿作の將來は眞に有望なりと推斷すること敢て難きに非らざるなり。蓋し目下成功の希望滿々たる此地東蒲寨農家の實際を目擊せんか、何人と雖も近き將來に於て此等高地の村落全部が擧げて綿を主要耕作物と爲すの曉あるべきを確實に期待し得べし。(村落は全部にて六十乃至八十を下らざるべし)

以上の高地々方と同一にして且確實なる成功を收めしめん爲め、地方農事官憲は本年より湄昆左岸の三高地に四箇所の模範農園を開き住民も亦之に協力したり。又一面には綿種子に綿耕作法を東蒲寨語にて記せる注意書を添へて汎く之を配布し、各村落に對し之が耕作を勸誘せり。(精選せる東蒲寨綿種二千基瓦餘を配布せり)

此等の土地に對し綿作の普及を全ふせんとせば、出來得べき丈け此等地方の經濟的條件を改良し且絕へず綿作の勸誘に怠るなきに如くはなし。蓋し既に曩にも陳述したる如く平地及河岸地方の住民の赤土地方への移住は自然の趨勢と認めらるゝを以てなり。就中湄昆河岸に於て土人農家は現に耕地に狹隘を訴へつゝあり。(就中「コンポン・シャム」地方に於ける水田の面積は實際より誇張せられ居るは爭ふべからざる事實なり)從て彼等は赤土地方に於ける綿作の企劃に對して注目を怠らざるが故に、若し本年作にして昨年同樣滿足の結果を示さんか(現に優良なる狀態を示しつゝあり)、河岸及高地附近平地にある多數の住民等は赤土地に移住するの利益を知得すべし。卽ち此地への移住によりて以て最も容易に生活を遂り得べきことを確かむるに至るなるべし。此くの如くにして前の四高地々方は漸次に重要なる綿作の中心點を形成すべし。是れ決して架空の言に非らず。蓋し此等耕地は年々實綿十五萬乃至二十萬噸を生產するに足るべき三萬乃至四萬「ヘクタール」の大面積を有するを以てなり。(此數字は曩に赤土地綿作に從事し得べき人口を計算したると同樣の槪算に過ぎず實際は必ず多少の減少なきにあらざるなるべし)

赤土地に於ける綿作發展の可能に關する研究は聊か研究の範圍以上に出でたる[illegible]に非ざれども、他日佛國各植民地が其農業的資源の評價を要求せらるゝに當つてや、東蒲寨植民地の供給し得べき資源に關し詳細なる證左說明を作成提供するの要あるは必然の事に屬するを以て、今日に於て吾人は專門の見地よりして之を研究し置くも無益の業に非ず。此の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

他吾人に殘れる問題は赤土地方及灰色土地方を含める部分に對する歐洲人及土人の綿作普及に最も適當なる條件を完備する爲め、當局官民が如何なる行動を採らざるべからざるかの一點にあり。吾人は曩に此の目的を達するに必要なりと思料せる幾多の條件を略說したることあり。而して本書にも其の内の數行を引用せり。（註。印度支那經濟雜誌一九一七年分一九九頁東蒲寨綿作の普及と題する項を參照）

吾人は重複を顧みず更に茲に前揭の意見を示し、補ふに當時以降一層精密に研究せられたる事項を以てせんとす。

第十四　官廳の施設

一般農業を發展せしむる企劃就中綿作發展の爲めに計れる地方官憲の手段中特筆すべきは、困難なる勞力問題を精査し之が供給に不便を來さゞる樣適當なる手段を講じたることと是なり。吾人が曩に詳述したる如く若し勞力に缺乏せんか、歐洲人移住の計劃は縱令ひ全然失敗に終はらずとも少くとも多少の澁滯延引を來たさゞるを得ず。尙交通道路の擴張は一國經濟的發展に決定的影響を及ぼすが故に、是亦勞力と同じく地方官憲の重要なる企劃たるべし。地方官憲は近き將來に於て綿作に適當なる奥地各地方との交通を迅速容易ならしむる爲め既に道路開設の計劃を立てたり。總監「ボードアン」氏の大規模の道路開設案（同案は一部分實行せられ尙盛に工事を繼行しつゝあり）によれば東蒲寨縱貫道路を作らんとするに在り。卽ち柴棍を發し「プノンパン」を經て暹羅國境に及び、更に湖水の北部を經て盤谷に達せんとする道路にして、此の道路は自ら數多の支線道路開設に利便を與ふべし。卽一方には湖水の北岸より「ダングレック」山脈に涉れる、他の一方には湖水より湄昆河に廣がる高地々方及小高き平均地方を貫通する支線の開設是なり。尙既に完成せる湖水の南部に於ける「プノン、パン」より「バッタムバン」に達する道路、及五箇年前開通せられし「プノン・パン」より「カムポー」を經て海に達する兩大道路の方も一方には湖水と Tonlé-Sap 及 Bassac 間の地、他の一方には暹羅國境、暹羅灣、交趾支那間の地を貫通すべき支線を開通せしむべし。（現に數多の補助線存在す就中「カムポー」「タケオ」より「ショドック」に至る線を主要なるものとす、終りに吾人が前述せる「ボードアン」計劃線は從來交趾支那に存する道路即ち柴棍より「チユドモー」を經て Stung Treng に達する道路と連絡するを要するが故に、同計劃線は Locninh より Jhbong-Khmum 地方を貫通すべき支線を設くるの必要あり。而して同支線は「コムボン・シヤム」より Tonle-Ber に涉れる箇所に出でゝ湄昆河に達すべし。（寧ろ「トンレー・ベー」より Tay-ninh に至る計劃線を支線とするを可とす、但此の線の一部分卽ち「トンレー・ベー」より Mimr-Khmuong 間は行通甚だ困難なり）

吾人は當局者が以上觀察する道路計劃案の詳細なる說明書を公けにするの急務なるを惟ふ。蓋し交通道路は一國經濟發展上の重要原素なるが故に成るべく速かに公表するを要すればなり。又吾人が唯大綱のみを示せる前揭道路計劃案が愈々實行せられ、河川航路と相待つて此に開發上必要なる交通機

關の完備せらるべきことを世人に周知せしめんとせば一日も早く説明書を發表することそ特に必要なるべし。要するに勞力及交通線の二問題は全然一般的の利益問題なり。然れど此の二者が棉耕作の上にも決定的影響を與ふるものなるは何人も否定する能はざる所なり。(現に東蒲寨に於て生産物の一に數へられ又將來此の地の農業上無二の生産物たる運命を有する綿の耕作たるに於ておや)

吾人は進んで左に綿作發展に直接關係せる地方官憲の施設を列擧すべし。

第一の施設は模範農園により普及を計りたることにて、其の結果の極めて優秀なりしは吾人の既に陳述せる所なり。土人耕作者と協力の上企劃せられし此等農園は現在は六箇所なれとも、尚他に適當なる土地の發見せらるゝに從ひ將來赤土地方と云はず灰色土地方にも之を及ぼし、耕作地全體に一層多數配置を見るに至るべし。

第二精選せる綿種子の無償配付は漸次其の分量を增加し播種に適當なる時期に於て分配せらるべし。

第三種類及品質改良の奬勵も必要と認められ、地方產物競進の爲め褒賞授與式を行ふこと、し、同一地方の綿を陳列する競進會をば毎年開催する計劃なり。

本年の實驗によれば此の種の會は土人に對し甚だ大なる影響を與へたり。Kraunch(クローチ) 及 Svai(スヴアイ) 兩邑住民が本年に入りて綿作面積を擴張したるは既に述べたる所なるが、此は一には一九一七年四月初旬 Phnom-Ter に開催せられたる綿花競進會の與へたる影響にして、同會に於ける許價が耕作者の勞に對し充分酬ゆる所ありたるに因れり。赤土地住民の面前に於て綿作の結果を宣言したるは、啻に個人としての耕作者間に奮發心を惹起せしめたるのみならず各村落に對しても競爭心を有せしめたり。蓋し各村落競進會を開催し、其の品質に對して褒賞を與へ一層彼等の向上心を促がすは將來益〻必要なるべし。賞品は綿繰機械又は喞筒を以てし、其團體の共有的に使用するものたるを妙とすべし。

競進會を定期に開會するは、東蒲寨農家の愚直を利用して之を瞞著しつゝある支那人の手より彼等を免からしむるに於て極めて有益なりとす。

第四、豫め一定の地點に商品を蒐集し、其在荷の集積するに及び汎ねく之を廣告し、該市場に於て生産者と歐亞の輸出商及商工業者との間に直接に且つ自由に取引を爲さしめんか、以て內地支那仲買人の賣買を杜絕することを得べし。

第五、尙生産中心地に生産者の組合を組織せしむるの擧も計劃中なるが此の種の農業「シンジケート」は綿繰の爲め又は卸賣の爲め出荷する同一地方の全生産額を此地に集中し得るを以て綿生産の發展に甚だ有效なる影響を及ぼすならん。

綿作發展上地方官憲が直接施行せんとする以上の計劃は總督「アルベール、サロー」氏の認可する所となれり。吾人は繼續事業として秩序的に之を達成せん爲め、之に必要なる豫算を東蒲寨の地方豫算に計上し、尙印度支那一般豫算にも計上せられたり。

佛國植民大臣も亦一九[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及保護國の或農作に對する奬勵金にして殊に綿作に對して補助す)中より東蒲寨の此の計劃に補助を與ふることを承認し、既に一九一六年に約七千法を支出し、一九一七年上半期に對し更に三四七二法五三の支出を承認したるのみならず爾後該補助を持續する豫定なりとす。

第十五　民間の企業

官憲の企劃は民間企劃の伴ふに非ざれば萎靡振はざるべきは自然の數なりとす。而して縱令ひ綿は如何に生産し得るとも、若し歐洲人にして强國たる地位を玆に占據し且支那人の耕地蠶食を排除するに非ずんば、今や努力の效現はれ來り今後益々繼行せられんとする高地の綿作も到底發展の運命に達し難かるべし。即ち歐洲人の移住は綿作發展上唯一の條件なり。

若し耕作により得たる原料を直接輸出品に製造する工場の設立せられ綿作の發展と共に併馳するに非らずんば、他の工業品と同じく綿作も亦大發展を遂ぐる能はざるべし。今例を近きに取らんに、河岸地方に於ける綿作がKhsach-Kandal(クサック、カンダール)工場により發展したるが如き是なり。同工場は佛國移民Praire(プレール)及Blum(ブリュム)兩氏により一八九〇年に創設せられ、一日に原料七〇乃至八〇噸を繰綿することを得たるが、惜むらくは一八九八年後支那人の手に歸したり。(註。此の工場は當初より中庸を守り自重したりしならば充分に成功を遂げたるべきに、然らざりし爲め、吾が同胞は成功せざるべからざりし事業をも失敗するに至れり)

同工場の設立前には綿作は僅かに湄公(メコン)河に沿へる數箇所に限られしが、其の發展を始めたるは一八九〇年以降即ち同工場設立以後なりとす。然れども自一八九九年至一九〇一年間工場に供給されたる實綿は僅に年々二千噸乃至三千噸に過ぎざりき。一九〇二年は産額豐かなる年と稱せられたるも、同工場の製造に附せられし實綿は三六〇〇噸位にて、之を一九一四年の受入實綿七、二〇〇噸なるに比すれば全く其半額に過ぎざるなり。一九〇二年と一九一四年とは何れも豐作と稱せらるゝに拘らず此くの如き徑庭あるに見れば、從來に比し綿作上非常の進歩を示したりと稱せらるゝ一九〇二年以降に於て更に綿作耕地の如何に擴張せられたるかを知るに足るべし。

要するに河岸の綿作が一八九九年以來漸次産額を高むるに至りたるは爭ふべからざる事實なりとす。然るに一九〇一年來不幸なる事實到來せり。(殊に「コンポン・シャム」地方に)即ち綿が漸次藍に植替へらるゝに至りたる事にて綿作發展に取りては惜しむべき事故と云はざるべからず。然れば今日にては繰綿工場は綿作が現に發展しつゝある、又現に綿繰工場を設くるは充分なる産額ある(一年に實綿産額三百噸乃至四百噸に達す)高地の綿作中心地に設置せられざるべからず。此等工場は當初に於ては必ずしも多く費用を投ずるに及ばず。現在産額の綿繰に缺くべからざる機械を具ふるのみにて充分なるべく、因て以て綿作中心地の發展を遂げしむるを得べし。

工場設置は餘り多大の經費を要せず、吾人は參考として佛國植民地紡績會社が佛領西部亞非利加に設立したる綿繰工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に付て一言せんに、同工場一切の機械及建物の經費は二萬五千法乃至三萬法(勿論戰爭前の計算なり)にして Dahomey より Soudan と奥地に入るに從ひ經費に多少の相違あるや明かなり。(註。植民地農事課長 Yves Henry 氏著「綿の栽培」第四一頁參照、一九一三年 Challamel 發行)。

○要之特殊の條件を具備するにより、綿生産上大なる將來を囑望せらるゝ東蒲寨高地に對して繰綿工場を設置するは、此の地の綿作發展に取りて要中の要と云ふべし。

單に「クローチ」及「スヴァイ」兩邑地方のみに付て云ふも、一九一八年—一九一九年産額が實綿にて三三五〇噸乃至四〇〇〇噸に達すべきは決して誇大なる豫想に非ず。當局に於ては一九一八年に入り此の地に一つの繰綿工場を置き、實綿の處理に著手するの必要なるを認むるなり。若し以上の問題が當局の希望の如く解決せられんか、他の一方には勞力供給の不足なきと共に此の地の綿作は急速に發展し、單に此の地に限れる土人耕作のみにても尠くとも實綿六千噸を生産することを得べきや明かなり。從つて此高地を支配する工場は此の地に取つて最も重要なる建物たるべし。是れ其の建築物の偉大なるが爲めに非らず、又機械に對する價格の巨額なるが爲めにも非らずして一に其の製造品價格の有利的なるに職由す。

(註)六千噸の實綿は實に綿纖維(繰綿)二千噸、(赤土地綿を鑑定せる「アーヴル」市場の相場によれば五十瓩に付一三〇法なるが故に總額價格五百四十八萬法に相當す) 及優良なる種子四千噸 (市場に於ける最低相場にて計算するも四萬弗なり、而して三法を一弗と計算すれば法貨に換算し十二萬法) を供給することを得。故に綿繰せられたる實綿六千噸は其の種子を粗價格にて計算し價格五百六十萬法に相當すべし。

吾人は何を措きても先づ東蒲寨特有の狀態よりして綿花生産中心地に最も接近せる箇所に綿繰工場を設置せんことを主張すべし。是にも陳述したる如く現在の綿中心地は所謂經濟的道路に近からず。殊に河川航路を距ること遠し。吾人は鐵道を敷設する曉に達する迄は當分は動物又は自働車の牽引力を利用するの外なかるべしと雖も、然も之を統綿(壓搾梱)及綿油(種子より搾取する油は其價格原料の比に非らず)に製せんか、運搬費用の如きは償ふて裕に余りあるべし。

綿繰工場設置の必要なるは、現に地方官憲が最も多く綿作に從事する土人村落に手工綿繰を奬勵せんとし、又生産增加を容易にし、併せて生産者と輸出商人との直接取引に便ならしめん爲め生産者共同組合の設立を計劃しつゝあるに見るも、如何に刻下の急務たるかを知るに足るべし。

民間企劃として當局の希望する所のものは、耕作に從事すると共に繰綿工場を兼ぬるものたると若くは純粹なる工場のみたるとを擇まざるなり。(耕作及工業を兼ぬるものは耕作に於て其の周圍全體を受持つ能はすとも尠くも主要なる部分の開拓に衝たることゝし、工業のみの方にては自作のもの、附近及其周圍全體を受持つことゝすべし)

農業が製造工業と相待つて初めて完成すべきは印度支那植民地の其の他の生産物例之は甘蔗の現況に見るも明かなるべし。[illegible]の大生産地たる我が老植民地を措いて之を印度支

那に見るに、砂糖製造者は彼自身に耕作者たり、然れども之れが爲め其附近耕作者の收穫物を其の工場にて製造するも何等の故障あるに非らず。

此等の例は獨り砂糖製造所のみに適用せらるべきにあらず、澱粉製造所、「ヴァニイユ」製造所（Vanille）香氣植物蒸溜所の如き何れも砂糖製造と同一狀態にあるに非らずや。

說て玆に至れば民間企業は、今日過半未開墾地として存する大面積の開拓事業と云ひ、綿繰及綿油製造業（紡績業も加ふべし）と云ひ活躍し得べき範圍は無限なり。然れば此の地に移住し大に其農業を開發し、其生產品を佛國本土に供給し、每年の輸入原料價格十億法と稱せらるゝ本國の爲めに其の原料の不足を補足するを得んか、豈に是佛國々民として本懷に非ざるなきを得んや。

第十六　結論

今日迄佛國が外國より其の原料品の大部分を輸入せること及び此點に於て東蒲寨が原料生產國として重要なる任務に當り得べきことに付吾人は不充分ながら其所信を陳述したり。吾人は戰後經營の一として官廳は勿論本國民間事業家が特に此問題に著目せんことを切望す。蓋し東蒲寨に於ける企業の實際容易なるは知る人ぞ之を疑はざれども、從來餘り表面に發表せられざりしを以てなり。

東蒲寨の氣候は暑く且乾燥なれども歐洲人は充分に之を凌ぐことを得べし。土地は豊沃にして、森林に蔽はれたる無限の未墾地を有し、其の住民は先天的の農夫たり。風俗溫和、無數の道路縱橫し、且能く完全に維持せられ、今や更に計劃線開鑿に著手しつゝあり。天然の富源は此等經濟的發展に資すべき各種の條件と相待つて企業家の發奮を促せるあり。若し歐洲人移民の大計劃ありとせんか、吾人の曩に陳述せる勞力輸入問題解決の曉には、更に其の活躍を容易ならしむること幾倍なるべし。

吾人は特に綿に關して實行せる所を示し其の要點に付讀者の注意を喚起したり。卽ち洪水圏外の地に產出せる綿（是れ今後の發展を奬勵する唯一の耕地にして又歐洲人移民か發展し得べきは此の地方に屬す）が米國種と同樣良品と認められたること、同綿は確に歐洲市場に通用せらるべきものたること、竝に佛國が年々其の多額を輸入するに至りたること是なり。加之吾人は現在の事情上困難なるに拘はらず地方農事官憲が漸次系統的に綿種の淘汰を行ひ、毛髯ある東蒲寨綿の改良を決行せる事を特筆せり。蓋し之によりて改良せられし純性の「タイプ（品種）」を繁殖することを得從て一層價値ある梳綿（カルド）を得るに至るべし。（註。本論と一層專門的研究を要する綿種の淘汰問題とは之を區別して論述するを要するが故に、綿種淘汰問題に就ては曩に一九一五年に發行せられし印度支那經濟雜誌に掲載せられし「東蒲寨綿の淘汰」と題する稿の續稿として別に報告する所あるべし）

次に綿花生產發展に對する死活問題の一は繰綿工場問題と綿油製造問題（繰綿工場問題程には非ざるも）たることは讀者の諒知せる所ならん。（東蒲寨に於ける土人及將來に於ける歐洲人移住民の綿作發展の狀態に關し吾人が確實なる資料に基

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

づき眞面目に陳述せる所により）而して生產者が現在及將來に其の收穫物を有利的に保證せられんことは必須の條件なること、若し眞面目に有要なる事業を企てんとせば此條件は必要缺くべからざること、且此の條件にして有利に解決せられたらんには實際上如何なる結果を示すべきかに付ても詳密に之を說明せり。

要之佛國の綿絲工業は本問題と密接の關係を有する事言を俟たず。是れ植民地綿花組合が其副組合長の仲介により屢々東蒲寨綿の鑑定、買入に奔走せる所以なり。而して同組合は西部亞米利加に企劃せる所のものを東蒲寨に試み一層の成功を得たり。加ふるに以上の諸點は特に植民地總督の注意を喚起せり。卽ち其の發展の迅速なる、其の生產物の有利的なる、其の本國をして不廉なる外國品の買入れを避けしむるの必要なるに於て、綿作に關する計劃案は直に印度支那財政豫算案中に編入せられ、且「サロー」總督により實施せらるゝこと、なりたり。知らず、如何なる農業計劃案が然かく迅速に決行せられたりしものありや。

吾人の說明たる未だ悉さゞる所極めて多しとも東蒲寨に於ける綿作發展の可能なる問題に付ては略ぼ其の要領を示し得たるを信ずるなり。（完）

都市計畫に就て

總督府事務官　中瀨拙夫

一　都市計畫の意義

市區改正は我國に於ても從來各地に實施されたり。然れども所謂都市計畫なるものは極めて最近の經驗に屬す。然らば都市計畫とは何ぞや、或は曰く都市の經營に關する萬般の計畫を包括的に意味すと。或は曰く單に都市に於ける道路の改修を意味すと。都市計畫法第一條によれば「本法に都市計畫とは交通・衛生・保安・經濟等に關し永久に公共の安寧を維持し、又福利を增進する爲め重要なる施設を云ふ」とあり。余は本篇に於て都市計畫なる字義をばこの意味に解せんとす。

二　都市計畫の方針

時局の影響を受けて近來都市の產業頓に發達すると共に人口の都市集注激增し、貨物の輸送頻繁となるや、交通、衛生等に關し各種の弊害百出し、既設道路は漸く不備狹隘を告げ、是れが改修を斷行せざらんか、都市の發達を阻礙し、市民の日常生活に不安を來し、產業の發達を妨ぐるに至るや必然なり。故に都市計畫は啻に一都市の問題に非ずして、實に國家の安危禍福を決するの緊要問題なり。是に於てか最近我國に於て都市問題に關し盛んに論議せらるゝに至れり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

凡そ都市計畫案を立つるに當りては、必ず若干年後に於ける其都市の發展の狀態を推定して之に適應せしめざるべからず。是に於てか各都市に於ても其將來の發展を豫想して大都市の區域を定め、之を基礎として都市計畫案を立てたり、抑々一般都市に於て商業中心地點より半徑十哩の圓內は、交通機關の相當普及を得ば、概ね其の何れの部分よりも中心地點へ一時間以內にて到達することを得、日々用務あるもの、通勤往復に堪へ得べき範圍內にして、事實一都市の區域と看做すを得べく、外國都市の實例に徵するも大過なきが如し、卽東京市に於ては日本橋を中心として十哩半徑を以て畫きたる圈線內を以て大東京市の區域となし、三十年後の發展に適應せしむるの目的を以て都市計畫を決定せんとせり。然して大東京市の區域は未だ確定せざるも、大體その面積は約二百三十八平方哩にして、現在の東京市面積二十九平方哩四八に比すれば實に六倍六分に當る。(巴里、三十一平方哩、大巴里、百八十一平方哩)。

大大阪の區域も未だ委員會の決定を見ざれども、現在の計畫によれば、現在大阪市面積二十八平方哩なるに對し、大大阪の面積は八十五平方哩にして正に三倍强に當る。先般決定せられたる大阪都市計畫案は、實に此の大大阪の區域を基礎として立案せられたるものなり。

以下各都市に就て視察したる所を各項目に分ちて最近都市計畫の概況を敍述せん。

三　都市と交通政策

都市の發達は其都市の內部の交通系統と外部の交通系統との連絡統一に依て成るものなり。其外部の交通系統の中に於て先づ第一に擧ぐべきものは水陸連絡問題とす。水陸連絡を圓滑ならしむるにあらざれば都市は充分に發達すること能はず。是れ都市發達の沿革上明かなる所とす。東京市は其の築港を論議せられてより、荏苒年を經たるにも拘らず未だ著手の運びに至らず。羽田より運河を開鑿起工せんとする說ありしも其の儘立ち消えとなれり。世界の大都市たる東京が一の築港をも有せざるは實に東京發展の爲め遺憾とする所なり。

大阪は二千七百萬圓の工事費を支出して築港に著手し、第一期計畫稍々完成して一萬噸級の大船を容るゝに足り、大工業市たる大阪は玆に初めて大開港場たる地步を占むるに至れり。然れども大阪產業の發展と共に今や狹隘を感じ、之を以て滿足すべからざるの狀態に立ち至り、大正七年より工を起し、更に六年の歲月と九百五十萬圓の資を投じ、第一期計畫の豫定工事の殘部卽ち船渠及繫船岸の築造竝に浚渫埋立の完成を期すると共に、更に北方尼ヶ崎方面に向て第二期擴張計畫を企畫する事となれり。大阪港に於ける外國貿易總額は、大正二年には一億四千九百三十萬圓に過ぎざりしが、大正六年には四億九百五十五萬圓に達したるに見るも、如何に大阪築港が時局に際し大阪市の發展に資せしかを知るに足るべし。

神戶港は二千萬圓を投じて殆んど第一期計畫を完成したれども、日本否な世界の海港たる重要なる地位を占むる神戶港としては、規模狹隘にして未だ充分なりと云ふを得ず。

名古屋築港は五百九十四萬圓を投じて大正五年迄に第一期

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

計畫を完成し、今や將に第二期計畫に入らんとしつゝあり。港内水淺くして未だ三千噸以上の大型船を容るゝに足らず。止むを得ず四日市港に入港せざるを得ず。卽ち名古屋の築港は未だ充分の效用を爲さゞるの有樣なり。

横濱港は目下、羽田方面に向つて第二期擴張計畫案を立て、將に之が實行に著手せんとしつゝあり。

長崎港は水深く、地勢船舶の碇泊に好適なれども、神戸、門司等に其繁榮を奪はれ、今や石炭積出港たるに過ぎざるの狀態なり。去れど郵船會社が日本上海間の高速度汽船の連絡を開始せんとするに當り、長崎を以て其の起點たらしめんとして、市當事者も目下之に狂奔しつゝあり。是が實現せられたる曉に於て、若しも馬關海峽にして地下線又は高架線に依りて連絡完成し、且つ九州線の門司・長崎間の迂廻線を適當に整理短縮するに於ては勢ひ東京・上海間、東京・基隆間の距離を短縮し、其の結果國家に資益する所著大なるべし。

次に陸上交通問題に就きて述べんに、陸上交通は主として、鐵道交通に關す。從つて停車場の位置及び臨港線問題等が直ちに研究事項となる。停車場は都市の玄關にして、臨港線は水陸連絡の樞軸なり。故に其位置設備は直ちに都市の發展に影響する所大なり。卽ち東京停車場は首都の中央に位するの長所を有するも、東京市の商業中心地たる京橋・日本橋方面を背にして西面せるは、稍〻市民の交通を遮斷したる嫌なきに非ず。若し之を南向きならしめ、而して東京驛前の四十間道路を以て日本橋方面に連絡せしむる時は、中心地との交通連絡を便にし、東京市の發展上裨益する所如何に大なりしならんか。梅田停車場も東より西に連亙し居るを以て、北方に向て發展しつゝある大阪の現在狀態と相容れず。是れが改築問題の識者間に論議せられ居りしが、最近に於て其位置を南北に變更し、高架線によりて連絡せしむることゝしたるは、東京驛の缺點に鑑みて大いに大阪市の將來の發展に裨益せんとしたる至當の方針なるべし。

神戸市も鐵道の市街の中央を貫通するあり。爲めに汽車來る毎に數十の車馬交通を遮斷せられて混雜名狀すべからず。從つて運輸交通に及ぼす損害大なるを以て、茲に地下鐵道に由り山の手の地下を通過して大倉山の後背に出る説と、現在の鐵路を高架線に改むる説とありしが、最近に於て高架説に決せり。

名古屋市に於ても之と同一の問題に逢著したり。卽ち同市は中央線によりて東部を遮斷せられ、爲めに市の發展を阻害せらるゝを以て、之が改築の必要に迫られ、近く市の北部より西方枇杷島町方面に迂廻せしむることに決定したり。

次に停車場によりて市街の北方を遮られ、鐵道によりて市街の東方を縱斷せらるゝ吾が臺北に於ても、早晚之が解決の必要に逢著すべし。故に充分研究して臺北將來の發展と市民の幸福とを計らざるべからずと信ず。

四　交通街路及路面

先づ第一には都市内部の交通問題に關して一言せん。都市の人口激增し、車馬の往來頻繁となるや從來の交通機關にては其要求に應ずる能はざるに至り、道路の破壞、電車の混亂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其極に達し、嘗て都市の誇たりし都市體容は全く其跡を絕ち、雨天の際等は泥濘深くして外出不可能なる有樣なり。東京市に於ては昨年來新に交通巡査を特設して交通を指揮按配するに努むるも、市民の訓練未だ充分ならずして効果擧らず。是に於てか此の硬塞の狀態を打破して、何等かの改善策を施設せざるべからずとの議論、市民間に喧傳せらるゝに至れり。斯くて品川より上野を經由して淺草に至る線と、淺草より本石町に至る線及び新宿より尾張町に至る地下鐵道の布設を申請して許可せらるゝ事となれり。

大阪は地質の關係上地下線の布設は不可能事に屬す。斯くて梅田より湊町に至る高架線及び市內樞要地間に高架電車を布設すべく目下審議中に屬す。人口激增の結果、今や住宅難の聲到る所喧しきに至り。郡市の中心を遠ざかること數里、十數里の地點に居を定めざるべからず。從つて現在の如き交通機關を以てしては其等の地點と都市の中心地間の連絡に資すべくもあらず。故に此方面より見るも高速度の交通機關の設備は焦眉の急務なりと云ふべし。

次に街路系統の整理卽ち道路改正問題に就て述べんに、此の問題こそ實に都市計畫の根本問題なり。故に出來る丈け街路系統を整頓し、街路の適當なる幅員を保たしめ、以て交通運輸の利便と安全とを圖ることは、都市計畫に於ける最も重要なる事業なりとす。各都市を大觀するに、京都市、大阪市及東京市の一部の道路系統は稍〻碁盤式なるも、東京市其他の都市は概して蜘蛛網式の變形にして、其土地の地形と經濟上の關係とにより、自然に不規則に發達せるものにして何等の統一なく、殆んど混亂狀態に陷り、市民の交通上の不便名狀すべからず。故に之が街路系統を整頓し、以て市民の交通運輸上の便利を圖るは目下の急務に屬す然れども街路系統を改正するに當りては、徒らに地圖上の美觀、形式に囚はるゝことなく、地形と經濟上の關係を考察して、都市將來の發展と市民の交通上の便利とを主眼とせざるべからず。

東京市は明治二十四年以降、二千八百萬圓の巨費を投じて第一期、第二期の改正を完了し、今や二千九百十四萬圓を投じて九年度より五箇年繼續事業として更に第三期の改正に入らんとしつゝあり。

東京府に於ても將來大東京市の要求に應ずる爲め、東京市內外交通調查會の調查に基き、所謂ゆる環狀道路及び放射道路開築の計畫を立て、八箇年繼續事業として九年度より之が實行に著手せんとす。今其內容を見るに、大正九年より五箇年繼續の事業として次の如き計畫を立てたり。

十間幅環狀道路（品川より大體山手線に倣ひ東京の外郊を一環して砂村に達す）
此延長八里三十六間　工費　千三十五萬圓

六間幅放射道路（市と郡部各町村との連絡道路を改修するもの）
此延長七里二十八町　工費　八百八十六萬圓

合計　延長十五里二十九町　工費　千九百二十二萬圓

東京市側は放射道路が十間、環狀道路が六間の方妥當なりと主張せり。余は市側の主張を以て正鵠を得たるものなりと信ず。

大阪市も一億三千萬圓の巨費を以て都市計畫案を樹てたり。此の計畫にして實現せられんか、梅田停車場は南北に羽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

翼を張る事となり、又是れより灘波驛に至る連絡道路は二十四間幅となり、梅田より住吉を經て堺に通ずる南北線は、現在の八間幅を十三間とし、築港より梅田に通ずる東西線は、現在の八間を十六間に擴張し、尙ほ將來は尼ヶ崎より灘波に至る東西線をも完成すべし。その他京都・名古屋・橫濱及び神戶の各市に於ても、夫々市區改正案を立て、之が實行に著手せんとしつゝあり。

次に路面改良問題を述べんに、輓近產業の發達に伴ひ、自動車及び荷馬車の激增を來すや、軟弱なる砂利敷土砂道は遂に其缺點を曝露し、到る所破壞して凹凸を生じ、晴天には黃塵空を蔽ひ、雨天には忽ち一面の泥海と化し、交通の不便愈ゝ甚だしく、歐米人をして日本に道路なしとの冷評を發せしむるも亦た奈何ともすべからざるの狀態に在り。是れ市內路面改良を急務とする所以なり。

東京市內に於て自動車・荷馬車等の交通比較的頻繁なるは、大體幅員六間以上の道路にして、路面改良の急切を訴ふるものは卽ち是等の道路なり。故に東京市に於ては先以て大體幅員六間以上の道路に對して路面の改良を速成し、次に第二期計畫に移らんとす。今路面改良を爲すべき面積を示せば左の如し。

一、車道改良面積　九十五萬四千九百七十五坪
二、步道改良面積　十八萬三千五百八十一坪

路面改良の方法としては、特に重要なる道路の車道は鋪木道となし、荷馬車等の交通特に頻繁なる局部的道路は鋪石道となしたる外は、主として瀝靑混凝土道を選定せり。而して工事總豫算三千五百七十五萬圓を以て、八箇年繼續事業として施行せんとす。

其他大阪市に於て今次の市區改正區域內の路面は必ず何等かの鋪裝を爲し、路面一大改良を計畫せる外、其他の都市に於ては局部的改良の外、統一ある路面改良案を立てたるを聞かず。

五　都市衞生問題

各都市の上水は大體に於て稍ゝ整備せりと雖も、統計によれば實際水道を利用しつゝあるものは全人口の四割に過ぎざる事實は爲政者の當に考量すべき事なり。下水に至りては各都市共に市區改正に伴ひ下水改良事業を實施しつゝあるも未だ充分ならず。東京市に於ては四十四年以來之が改良事業に著手せりと雖も、豫算充分なる能はざる結果、其進捗遲々たる有樣なり。殊に今次の大東京に對する下水工事の設計は未だ成案なきが如し。其他各都市共に概して下水の完備せるものなく、我が臺北の設備に比儔するものあるを見ざる狀態にあるは、市民の衞生上遺憾に堪へざる次第なり。

下水問題以上に重大視せられ居るものは糞尿問題なり。卽ち都市の膨脹に伴れて農耕地と都會中心地との距離延長したると、賃金昂騰の結果、農耕者の糞尿を汲取るもの減少したるとにより、市民は之が處置に苦み、東京市の如きは多額の經費を支出して之が汲取を奬勵せる有樣にして、各都市とも此の問題に對し未だ確固たる成案なきもの、如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六　土地政策及び住宅

都市の人口增加するに從ひ、地價の騰貴は必然の數なるを以て、都市は豫め土地を購入して將來の必要に備へ、一面に於てに土地投機者が大區域若くは市區改正の衝に當るべき要地を買占め、以て國家公共の不利を釀すを防止せざるべからず。加之都市は市區改正の爲めに騰貴したる其所有地を賣却して、更に場末の土地を購入し、市區改正に伴ふ市民の負擔を輕減せしむるの策を講せざるべからず。獨逸の或都市の如きは是等の目的の爲めに、市の殆んど六七割の面積を所有し居るの有樣なりと云ふ。東京市の如きも多少の土地を所有するも、必要の生ずる每に其所有地を賣拂ひて各事業の財源に充當するの狀態に在り、未だ進んで土地政策の目的を以て特に土地を購入するに至らず。是等の點は吾人の大いに鑑むべき所なりとす。

次に住宅問題は近時喧しき社會問題となり、政府も夔に巨額の低利資金を提供し、各都市をして急速に住宅を建築せしめ、住宅難を緩和するの方策を採りたれども、未だ充分に之を實現するに至らず。

七　都市計畫の法制

東京市に於ては、既に明治二十一年法律第六十二號東京市區改正條例及び二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則等に基きて市區改正を實行し來れり。然れども大阪を始めとして其他の各都市には市區改正に關する何等法令なく、從來の儘に放任せられたり。然るに最近都市の膨脹するに從ひて各種の問題起り、都市改正の急務なるを認むるに至り、大正七年法律第三十五號に依り東京市區改正條例の改正を行ふと共に、東京市以外の京都・大阪及び內務大臣の特に指定したる都市(橫濱・神戸・名古屋)にも前述の改正條例及び土地建物規則の全部又は一部を準用し得る事と爲し、加ふるに都市計畫調査會を設けて、都市計畫に關する事項に就き關係各大臣の諮問に應じ又は關係各大臣に建議せしめ、又內務省內に新に都市計畫課なる一課を設けて、都市計畫及び都市計畫調査會の事務を掌らしむ。是に於て社會は益々都市計畫の重要なる所以を認むるに至れり。

而して今回新に都市計畫法、市街建築物法及び都市計畫委員會官制を制定し、大正九年一月一日より實施する事となれり。都市計畫法の特色を列擧すれば次の如し。

(イ)從來の市區改正條例第九條に依れば、市長之を施行すとありて、改正事業は全く之を公共團體たる市のみの事業と見たるなり。然るに都市計畫法第五條に依れば、都市計畫事業は行政廳之を執行すとありて、市を統括する行政廳(施、一)之を施行するなり。即ち市區計畫事業を國の事業と見るに至りしなり。尤も行政廳にあらざるものをして之を行はしむることを得るなり。

(ロ)都市計畫は國の事業なれども、關係する所大なるに依り、各方面の關係者を會合して決するを可なりとし、內務省に中央委員會を設け、各指定したる都市に地方委員會を設け、都市計畫區域全部計畫及び變更、其他區域內住民に重大な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る關係ある事項及び特に內務大臣の必要と認めたる事項は地方委員會の議決したる後中央委員會の議決を得べきものなりとせり。

(ハ)都市計畫法第十條に依れば、都市計畫區域內に於て、市街地建築物法に依る地域又は地區の指定變更又は廢止を爲す時は、都市計畫の施設として之を爲すべく、又都市計畫區域內に於ては以上の外、土地の狀況に依り必要と認むる時は、風致又は風規の維持の爲め特に地區を指定する事を得と定めたり。卽ち此規定に依りて、商業區域·工業區域·住宅區域·混合區域·美觀區域及び特別區を定むる事を得るに至れり。然れども各都市に於ても未だ地帶制定に關し充分の成案は有せざるもの丶如し臺北に於ても最近各所に工場の勝手に建設せらる丶狀態なるを以て、豫め地帶制の決定を爲すに非ざれば、將來市民の蒙むる損害計るべからざるに至らん。

(ニ)都市計畫法第十二條に依り、都市計畫區域內の土地に就ては、宅地としての利用を增進する爲め、耕地整理法を準用して土地區劃整理を爲すことを得ること丶なれり。此制度は外國にも立法例なき一新法例なりと云ふ。

(ホ)從來市區改正を爲す場合には、一々土地收用の認可を受けざるべからざりしが、都市計畫法第十九條に依れば、市區改正の爲め必要なる土地の收用又は使用竝に土地區劃整理の爲め、又は衞生上若くは保安の爲め必要なる時は、建築物其他の工作物の收用は、都市計畫の認可を以て直ちに土地收用法に依る事業の認定と看做すとあり。故に一々收用又は使用に關して事業の認可を受くるの必要なく、且つ家屋をも收用し得る事となり。之に依りて貧民窟等をも容易に改造し得る事となれり。

次に市街建築物法の特色を列擧すれば次の如し。

(1)衞生上、風紀上等の必要より、特に商業地域·工業地域·住宅地域又は地區を設定し、各地域によりて建築物の種類·構造等は一定の制限を設けたること是なり。

(2)建築物の絕對高を規定したる事。卽ち交通·衞生·保安上支障なき場合と雖も、建築物の最高限度を百尺とす。

(3)建築物の構造に依る高さの制限を設けたる事。卽ち鐵筋コンクリート造は百尺以下、煉瓦造·石造。は高さ六十五尺以下、其の軒高五十尺以下、木造は五十尺以下、其の軒高三十八尺以下、階數三階以下、木骨煉瓦造·木骨石造は三十六尺以下、其の軒高二十六尺以下となせり。

(4)前面道路の幅と建物の高さとの關係を規定したる事。卽ち。

(イ)住居地域內は幅員の一倍四分の一迄にして之に二十五尺を加へたる高さを越ゆることを得ず。

(ロ)住居地域外は一倍半にして之に二十五尺を加へたる高さを越ゆることを得ず。

(ハ)奧行は道路の一倍半にして八十尺以內、兩面道路に面する時は高きに從ふこと丶なせり。

(5)道路幅を制限したる事。卽ち建築法に道路を九尺とし、建物は道路に伴うて建つべしとあり。故に九尺以下の道路には建築物を建つることを能はざる結果となる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(6)建物と敷地との割合を定めたる事。即ち住居地域に於ては敷地の十分の六まで。商業地域にては其十分の八までを限り、建築物を建築することを許すものとす。

八　都市計畫の財源

都市計畫に充當すべき財源に就て述べんに、都市計畫法第八條に、公共團體は都市計畫委員會及び市區計畫事業の費用に充つる爲めに特別税を賦課することを得但府縣費を市に分賦する場合に於て、市が營業税・雜種税又は家屋税を賦課する時は主務大臣の許可を受け其の税率を定むと規定せり。所謂特別税とは次の如し。

(1)地租割　地租の百分の十二半以内
(2)國税營業税割　國税營業税の百分の十七以内
(3)營業税、雜種税又は家屋税・各府縣税　十分の四以内
(4)其他勅令を以て定むるもの　勅令を以て定むる特別税如何と云ふに、未だ確定せざるも大體所得税割・土地增價税及び間地税等なりとす

公共團體は主務官廳の許可を受け、公共團體其他の收入を以て此等の費用に充つることを得るなり。又都市計畫法第九條中に都市計畫區域内に存する國有河岸地にして公用に供せざるものは改正費用を負擔する公共團體に下附することを得と規定す。東京市は所謂公用地調査即ち市街内の官有地と民有地との境界査定の結果、新たに三萬五千四百坪の官有地を見出し、之を市に下附を受け其の賣上金を以て此等の財源に充當せんとし、今や調査實行中に屬す。都市計畫の財源問題に關しては、各都市とも未だ何等確定の成案なきが如し、大阪市に於ては經費の三分の一は國庫補助に、三分の一は道路面の間口税に、他の三分の一は一般市民の負擔に依らんとするもの、如し。

以上述ぶる所は最近各都市計畫の概略に過ぎず。而も調査甚だ粗漏にして正鵠を得ざる點多きも聊か本島都市計畫の御參考ともならば幸なり。

●支那人の觀たる日本の南洋經營

(申報新聞　三月十一日)

新嘉坡は亞細亞より歐洲に入るの門戸なるが該處に居留せる日僑は特に商務の發展を謀り商品陳列所を創設し規模完全と稱す開設の費計八萬元每年經常費四萬元にて悉く該國政府の支給する所に係る所長は該國山口高商校長（校長とは談者の誤記ならん）にして所有出品は悉く該國の自製に係り尤も南洋賣行に適するものたり其商品は均しく衆人の觀覽に任せ接待極めて厚し樓上には英米各國の商品を陳列し日僑以外には參觀を許さず該所には別に馬來語教授所を附設し凡そ新來日商の土語を諳せざるもの、學習に資すと云ふ然るに我が支那を觀るに斯の如き施設あるを見ず誠に憂ふべきなり云々。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年の臺灣文官

（五月一日現在）

總督　兒玉源太郎
民政長官　後藤新平
秘書課長　大津麟平
屬　齋藤粂吉
同　南政吉
同　川中子安治郎
同　高島虎雄
文書課長　横澤次郎
屬　佐藤磊四郎
同　舘與吉
同　闕善之助
參事官長　石塚英藏
參事官　大内丑之助
同　持地六三郎
同　竹島慶四郎
同　關屋貞三郎
翻譯官　鉅鹿赫太郎
同　有泉朝次郎
屬　瀨能莊一
警視總長　大島久滿次
警視　高橋傳吉
屬　賀來倉太
同　山口德治

警務課長　北原種忠
屬　柏善彌
保安課長　圖師庄一郎
衛生課技師　岡田義行
臨時防疫課事務官　魚返煥平
警察管區屬　渡邊順親
外事課翻譯官　三好重彥
地方課屬　大橋毅
同　山田壽藏
同　大橋重衛
法務課長　手島兵次郎
屬　志豆機源太郎
同　鹽田爲次郎
學務課屬　宮本一學
圖書編修官　小川尚義
財務局長　祝辰巳
主計課長　峽謙齊
屬　神谷由道
同　齋藤剛
同　岩瀨金二郎
同　揖場徹
同　宮崎克己
同　石原研吉

税務課事務官　高山龍之助
同　朝倉菊三郎
税務官　高橋龍之助
同　横山虎次
技師　野呂寧
屬　渡邊與一
同　織田榮太郎
同　島岩太郎
同　西岡健之
同　澁谷辰四郎
同　相良三熊
同　古本廣允
技手　小澤寛治
會計課屬　芳賀近太郎
分課未定税務官　久芳直介
通信局長　鹿子木小五郎
庶務課長　賀來佐賀太郎
屬　石井慶松
通信書記　綿織光彥
郵務課長　伊藤金彌
電務課長　蜷川湛德
屬　橋正秋
海事課海事官　三村三平
同　堀内廣助
同　千葉萬壽
同　小關世男雄

屬　保木利吉
臺北測候所長　近藤久次郎
農商課技師　横山壯次郎
同　川上瀧彌
同　藤江勝太郎
同　西壯太郎
屬　川田武彥
林務課技師　田代安定
鑛務課長　福留喜之助
權度課長　山田申吾
農事試驗場長　藤根吉春
土木局長心得　長尾半平
土木課長　高橋辰次郎
技師　濱野彌四郎
同　德見常雄
同　清水一德
同　山路魁太郎
營繕課長　野村一郎
技師　田島穩造
同　小野木孝治
臨時臺灣舊慣調査會第一部長法學博士　岡松參太郎
委員　石井爲吉
同　眇田熊右衛門
補助委員　上内恒三郎

覆審法院長　鈴木宗言
判官部長　安井勝次
判官　原誠一
同　矢野猪之八
同　高田富藏
同　藤井乾助
同　早川彌三郎
通譯　谷信敬
書記　伊藤正介
同　久保村三郎
同　荒谷喜代治
通譯　施錫文
檢察局檢察官長　尾立維孝
檢察官　西内金吾
臺北地方法院長　寺島小五郎
判官　安田勝次郎
同　松岡十次郎
同　小野隆太郎
同　大内信
同　伊藤政重
書記　田中勝三郎
同　渡邊初二
同　田中邦太郎
同　角田泰饒
同　木山理太郎
同　菅川政次

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新竹出張所判官	望月恒造
書記	大友傳三郎
同	西川熊治
宜蘭出張所判官	木付篤
書記	帷子力
同	木村廣彥
同	龜本正脩
臺中出張所判官	渡邊啓太
同	柳原右助
通譯	横田次郎
同	林覺太
臺北地方法院檢察官長	松井四郎
檢察官	朽木義春
同	小野得一郎
通譯	今田馴藏
新竹出張所書記	本田正巳
同	庄野橘太郎
臺中出張所檢察官	津田毅一
臺南地方法院長	櫻庭棠陰
判官	川上和一
同	土屋達太郎
同	原玄朴
同	白倉吉朗
書記	野口有圓
同	大山俊彥
同	羽中田一太郎
同	新田繁永
同	關口傳三郎
同	林茂實
通譯	榊原源太郎
同	川合眞永
嘉義出張所判官	村上武八郎
書記	猪狩三四郎
同	本多鍵吉
同	岸慶嚴
臺南地方法院檢察官長	渡邊助治郎
檢察官	松井榮堯
書記	青柳俊夫
嘉義出張所檢察官	豐田俊助
鐵道部技師長	長谷川謹介
工務課事務官	赤松壽春
技師	渡部英太郎
同	稻垣兵太郎
同	朝倉政次郎
同	張介記
技手	小野干城
汽車課技師	中根鉀七
同	音羽守
運輸課技師	小池愼藏
經理課長	遠藤剛太郎
事務官	服部仁藏
同	大瀧岩次郎
打狗出張所長	新元鹿之助
技師	阿部惠三郎
事務官	渡邊薫
彰化出張所長心得	菅野忠五郎
專賣局長	中村是公
庶務課長	野村楢次
經理課長	野村得司
書記	服部武重
檢定課書記	惠澤貞次郎
製藥課長	鈴木益定
技師	今福結藏
腦務課長	佐藤法潤
技師	小川眞一
鹽務課書記	竹内龜七
同	荒木繁太郎
臺中支局長	後藤伊左之助
神戸支局長	增澤有
分課未定事務官	高雄晉
技師	水科七三郎
臨時基隆築港局庶務課長	今井周三郎
工務課技師	川上浩二郎
同	山形要助
同	十川嘉太郎
同	田崎二三次
臨時糖務局糖務課長	小花和太郎
臺南支局長	淺田知定
技師	下斗米半治
同	東條秀介
淡水稅關長	宮尾舜治
事務官	岩政憲三
鑑定官	本多駒次郎
監視部長	布施謙太郎
監吏	松下正一
檢查課鑑定官補	吉田實一
經理課屬	濱田耕吉
同	時枝俊四郎
基隆稅關支署長	竹内壽衛馬
舊港稅關支署監視	五代陶四郎
後壠稅關支署長心得	龍岡資二
許厝港稅關監視署長	寺師直熊
安平稅關監視部長	山口利文
監視	平野九一
監吏	木橋巳太郎
同	大友鳥治
庶務課屬	佐藤得太郎
檢查課長	三井榮次郎
屬	坂本憲章
鑑定官補	角儀太郎
經理課長	楠田金之丞
屬	岡本稙之助
同	瀧澤金太郎
同	南鄉彌吉
同	長谷川宣
東石港稅關支署長	山田憲三郎
打狗稅關支署屬	本庄市太郎
東港稅關支署屬	田中萬二
媽宮稅關支署鑑定官補	筒井三野吉
東城稅關監視署長	法元中二
國語學校長	田中敬一
教授	石田新太郎
同	鈴江團吉
同	中村忠誠
同	永澤定一
同	渡部春藏
同	志保田鉎吉
同	山崎勇
同	黃葉秋造
同	竹内左馬次郎
同	小野敏夫
同	和田彰
同	樋口憲
助教授	高橋二三四
同	内村藤太郎
書記	鈴木金次郎
第一附屬學校教諭	岡本要八郎
臺北醫院長	長野純藏
醫長	川添正道
同	岸一太

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同　大島次郎
同　川合百太郎
醫員　山田義雄
書記　酒井愛次郎
新竹醫院醫員　蒲池佐惣太
書記　中村豐一
基隆醫院長事務取扱　高柳元六郎
書記　新田芳次郎
臺中醫院長事務取扱　富士田豁平
醫員　安田秀正
臺南醫院醫長　松尾知明
醫員　築山揆一
同　松尾峯太郎
嘉義醫院長事務取扱　加藤信平
鳳山醫院長事務取扱　河田守恭
宜蘭醫院長事務取扱　鵜飼碧汀
臺東醫院長事務取扱　米田昌英
澎湖醫院長事務取扱　澤田總五郎
醫學校長　高木友枝
助教授　堀内次雄
同　尾見薫
同　今裕
同　吉田坦藏
臺北郵便電信局長　會禰吉彌

郵便課通信書記　菊竹博愛
同　大島熊吉
電信課長　小野塚斧太郎
通信書記　分島濟
同　久連松喜太郎
建築課長　小寺鉎次郎
通信技手　杉山鉦太郎
同　萱島茂樹
庶務課通信書記　岡垣重藏
同　荒井信太郎
臺南郵便電信局長　速水經憲
庶務課通信書記　岩切勇吉
安平支局長　川本醇藏
基隆郵便電信局長　早瀬已熊
苗栗郵便電信局長　鈴木重撥
臺中郵便電信局長　萩原寛太郎
郵便課通信書記補　岩崎房吉
澎湖郵便電信局長　向井田善五郎
淡水郵便電信局通信書記　鈴木金之介
鹽水港郵便電信局長　小楠山鎌吉
坪林尾郵便電信局長　細谷松吉
南庄郵便電信局長　森友太郎
中壢郵便電信局長　赤尾三郎
頭圍郵便電信局長　脇田榮三郎
警察官及司獄官練習所教官　森孝三
同　木下龍

舍監　澤井瀬平
基隆海港檢疫所長　山田寅之助
海港檢疫醫官　芳澤愿之助
臺北監獄長　小松吉久
第一課長　本田理三郎
監吏　東野吉
第三課監吏　若林隆之助
臺中監獄長　武川銓之助
臺南監獄長　高屋常三郎
第一課長　松本助太郎
第二課長　岡彌三郎
第三課長　片山勘太郎
嘉義支監監吏　福田臺記
臺灣神社宮司　山口透
臺北廳長　佐藤友熊
總務課長　木村松之助
警務課長　大山綱岳
税務課屬　松尾甚一
臺北第二尋常高等小學校長　山科宣次
滬尾尋常高等小學校長　上條邦太郎
枋橋公學校長　高橋喜能
基隆廳長　山名金明
基隆尋常高等小學校長　本田嵩吉
宜蘭廳長　中田直溫
深坑廳長　丹野英清

景尾支廳長　山之内小藤次
桃園廳長　竹内卷太郎
總務課屬　兒玉三次郎
税務課屬　松元德次郎
新竹廳長　里見義正
苗栗廳長　家永泰吉郎
總務課屬　志和屋良白
警務課長　市來牛次郎
税務課長　白石喜代治
大湖支廳長　宇野英稱
通霄支廳警部補　高田武彦
臺中廳長　岡本武禎
總務課屬　秋山滿之助
警務課長　能勢靖一
彰化廳長　加藤尚志
總務課屬　宇都宗一
同　黑田清政
税務課長　金子恒彌
屬　平井繁一
員林支廳長　隈元多市郎
南投廳長　小柳重道
税務課長　廣瀬千代吉
斗六廳長　荒賀直順
總務課屬　磯貝武平
嘉義廳長　岡田信興
嘉義公學校長　笠井源作

新港公學校　橋本勝伸
鹽水港廳長　村上先
臺南廳長　山形修人
總務課屬　青木惠範
同　森直吉
臺南第一公學校長　江口保
臺南第二公學校長　坂根十二郎
蕃薯寮廳長　石橋亨
鳳山廳長　川田久喜
總務課屬　上田榮助
同　坂元軍二
税務課長　河合千代喜
技手　山川學而
阿緱廳長　佐々木基
總務課長　武藤針五郎
東港支廳長　金子惠教
恒春廳長　柳本通義
警務課長　荒卷鐵之助
枋山支廳長　清水源次郎
蚊蟀支廳長　松村儀十郎
臺東廳長　森尾茂助
總務課屬　宮本信義
税務課長　江崎龍雄
澎湖廳長　小林三郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に於ける鰹漁業

（水産課調査）

漁況一般

本島北部に於ては三月中旣に鰹群の來游を認めしも、出漁準備整はざりしと、餌料の漁獲乏しかりしとに依りて出漁する能はず、四月に入りては鰹群の來游愈々顯著となり、餌料又相當の漁獲ありしも、漁船の多くは今猶ほ準備整はずして空しく魚群を逸するの有樣なりしが、十日に至り愈々之が初漁を報じ、出漁船四隻を見るに至れり。五月上旬に至りては魚群の游洄區域廣大すると共に漁況活潑となり、月末に至りては從漁船十三隻にて前年同期の約五倍量の漁獲を擧けたり。六七兩月は盛漁期にて從漁船悉く出漁、各船を通じて每航七、八百貫乃至一千貫の漁獲ありしが、七月上旬（三日より十三日頃迄）氷の供給杜絕せし爲一時近海出漁を餘儀なくさる、に至れり。中旬に至り之が供給も稍々容易となりしを以て、爾來八月上旬に亘り盛に出漁せしが、十四、五日に至り虎疫猖獗の結果漁夫の業主に對して內地歸還を迫る者多く、偶々慰撫するものあるも出漁を肯せず、殆んど過半歸國するの狀況を呈せり。剩さへ二十五、六の兩日には近年稀有の暴風雨襲來、爲に難破船二隻、大破船五隻、其他の小破船多數と行衞不明の漁夫十九名とを出すの慘狀を呈し、鰹漁業は此處に於て一時中絕の已むなきに至れり。其後數日を出でずして天候恢復せしも、被害復舊の爲め出漁する能はず、翌月六日に至り漸く五、六隻の出漁船を見るに至りしが、漁況思はしからず、各船を通じて百貫乃至四、五百貫の漁獲に過ぎざりき。中旬に入り蘇澳瀨、官曾根に好漁を傳へたるを以て各船悉く出漁、每航七、八百貫乃至一千貫の漁獲ありて一時沈滯せし鰹漁業は是に於て復活せしも、從漁船は十一隻に減せり。十月に入りては漁期の終末に近づけると共に漁況振はず、從漁船又其數を減じ、上旬十隻のものも中旬に至りては僅々三、四隻を止むるに至れり。是等漁船の多くは近海へ出漁、百貫乃至三百貫の漁獲を齎せしが永續せず、二十六、七日頃には漁獲皆無の狀態となり、漁夫又殆んど內地へ歸還せる爲め一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

隻の出漁船を見ず、鰹漁業は玆に於て終局を告ぐるに至れり。

漁場

漁場は大略遠海及近海の二漁場に區分せられ、遠海漁場は與那國島・新曾根・先閣列島・赤尾嶼・火燒島・蘇澚瀨方面を主とし、近海漁場は基隆島以南鼻頭角沖合に至る間を主とせり。初め（三月上旬）與那國島・先角列島・蘇澚沖合に魚群を認めたりしが、洄游稀薄にして釣獲するに至らず、四月に入り蘇澚瀨（蘇澚沖二十五浬）、盲曾根（與那國西方二十八浬）、新曾根（與那國島東南方十三浬）方面に來游を認め、少數の漁獲を齎せり。其後蘇澚沖合に來游夥しく、五月中旬には臺灣海狹に來游を認め、洄游區域頗る廣濶となれり。爾後蘇澚瀨、與那國島方面最も活況を呈し、八月中旬には三貂角附近より鼻頭角附近に亘りて來游ありしも、漁獲高常に厚薄ありて一定せざりし爲め二、三の小型船を除くの外は何れも蘇澚瀨・盲曾根・與那國島方面の遠海に出漁せり。八月二十五、六日の暴風雨は海況に急激なる變兆を來し、近海は殆んど鰹群を認めずして出漁船皆無の狀態となりしが、蘇澚瀨・盲曾根は何れも相當活況を呈せり。十月上旬には蘇澚瀨・盲曾根及近海幾部分の漁獲ありしも漸次衰へ、下旬に至りては近海に少漁を傳へしが幾何もなくして終へ、二十八日頃には一隻の出漁船をも見ざるに至れり。

餌料

●餌料●　は平鰮を主とし眞鰮、鰺、鯖子等之に亞げり。捕獲用漁具としては大敷網、八田網、焚入網、（土人に依りて使用せらる）、夜焚網一名土人網）、四艘張を用ひ、稀に地曳網を使用するものあれ共、こは餌料採捕を目的とするに非ずして餌料窮乏の際補足用漁具に過ぎず。初漁當時は捕獲用漁具の敷設充分ならざりしと、鰮の洄游尠かりしとに依り、漁獲少くして需要を充すこと能はざりしが、五月中旬後各網共相當に漁獲ありしを以て辛じて需要を充しつゝ六月に入れり。六月に入りては鰹漁況活潑を呈すると共に餌料の漁獲も多く、供給愈々潤澤となり、爾來不足を來すことなくして供給極めて容易なりしが、八月二十五日襲來せし暴風雨の爲め漁具の破損流失せるもの多く、殊に蓄養せるもの殆んど流失して餌料絕無の狀況を呈し、當時漁船も亦被害甚大にして出漁する能はず、需要者亦殆んどなかりしを以て不足難を聞かざりき。九月上旬漁船の復舊なく、數隻の出漁船を見る頃には餌料も多少漁獲ありしが需要を充す能はず、爲めに休漁船三、四隻を出せり。其後旬日を出でずして各網共相當の漁獲ありしを以て出漁に支障を來さゞりき。十月に入りては漁期の終末に近づけるが故に、從漁船も漸次其數を減せし爲め供給常に容易なりしが、月末に至りては漁期の終を告げると共に大敷網は殆んご全部徹廢陸揚するに至れり。

△出漁回數及總漁獲高一隻當

出漁回數合計	一隻平均出漁回數	總漁獲高	一隻平均漁獲高	一隻一航平均漁獲高
七〇三	二六、二	五〇七、三二四・六二八 貫	二〇、二九二・九八五 貫	七二〇・二三四 貫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●魚體　魚體は、漁期及漁場の如何に依り常に大同小異にして、初漁當時は各漁場共一般に小さくして五百匁廻を普通とせしか、六月頃に至り各漁場共大となり、殊に蘇澳沖合方面に於ては一貫匁内外のもの多く、與那國島方面は二貫以上三貫匁内外のもの大部分を占むるに至れり。赤尾嶼・火焼島は全漁期を通じて一般に小さく平均六百匁廻を普通とせり。近海に於ては八百匁乃至一貫匁のものを普通とし、稀に五百匁内外のものを混ぜり。宮古根に於ては漁期の中頃より五百匁乃至八百匁のもの大部分を占むるに至り、稀に一貫二、三百匁のものを混じ、常に五、六百匁大の鮪及惣田鰹を混ぜり。

漁期中の氣象

四月中の氣温は平均二〇、九度にして最高三二、一度、最低一三、四度を示せり。五月に入りて最高三二、一度、最低一三、九度、平均二三、八度となり、六月に入りては急激に上昇して最高三五、九度、最低二一、九度を示し、七月は格段の變化なく平均二八、七度となり、八月は稍々下降して平均二八、四度、最高三五、七度、最低二一、七度となれり。九月に入りては下降顯著にして最高三四、五度最低一四、八度、平均二三、四度下降せり、十月は最高三一、二度、最低一三、一度、平均二二、一度を示し、十一月は最高三〇、八度、最低七、九度、平均一八、八度となれり。漁期中最も高温なりしは、前年と同じく七月の平均二八、七度にして前年より〇、六度低し、最低なりしは十一月の平均一八、八度にして前年の夫よりも一、六度低し。

氣壓は四月中最高七六五、五粍、最低七五五、七粍、平均七六〇、六粍を示し、五月に入り最高七六六、八粍、最低七五三、六粍、平均七五八、五粍と下降し、六月に入りては下降稍顯著にして平均に於て三、六粍の差を見たり。七月は稍上昇して平均七五五、三粍となり、八月に入りては二十三日頃沖縄と石垣島との間に發生せし低氣壓部位漸次本島に接近し來りて二十四日は氣壓頓に下降し、二十五日に至りて強烈なる南東の暴風雨となり、家屋の倒壞、漁船の難破等多數を出し、夜に入りても風力猶ほ衰へず、翌日午後に至り漸く沈靜するに至れり。九月に入りては漸次上昇して平均七五八、九粍、最高七六四、九粍、最低七四三、八粍を示し、十月は平均に於て三、四粍上昇し最高七六七、六粍、最低七五七、三粍となり、十一月に入りては稍高く平均七六四、七粍、最高七七一、三粍、最低七五九、五粍と漸次上昇せり。

▲各工場配屬船

船名	船主	專屬工場
めじま	臺灣水產會社	同社所屬八尺門工場
やつぎ	同	同
千鶴	同	同
光洋	同	同
吉備	土岐虎九郎	同
漁威	川勝富四郎	同
海東	臺灣漁業會社	同社所屬八尺門工場
彌生	同	同
來福	同	同

開洋	南部海產會社	同社所屬工場
臺洋	同	同
第一長榮	西村太郎助	同人所屬八斗仔工場
第二長榮	同	同
第三長榮	同	同
秀丸	吉井治藤太	同氏所屬八尺門工場
繁丸	同	同
飛龍	同	同
幸榮	福島清志	同人所屬八尺門工場
大豐	海陸產業會社	同社所屬八斗仔工場
惠比壽	同	同
幸運	桝田幸吉	同人所屬社寮島工場
大運	同	同
日吉	同	同
若鰹子	小野原千松	福島工場
漁鰹子	同	海陸產業八斗仔工場

▲船別漁獲高及出漁期間

船名	尾數	貫數	出漁期間
めじま	尾 三四,〇六〇	貫 三三,一〇三.七〇〇	自五月二十七日　至十月三日
やつぎ	二三,六六九	一五,七〇七.〇〇〇	自六月三日　至十月八日
千鶴	八二,八四九	四九,五七〇.七二八	自四月十日　至十月二十一日
光洋	一八,〇一二	一〇,二三四.三四〇	自六月六日　至八月二十五日
吉備	一三,一八六	九,九八三.一六〇	自六月二十八日　至十月十日
漁成	—	六,五三九.四七〇	自六月二十九日　至八月十九日
海東	四七,二一六	三七,三八〇.八六〇	自五月六日　至八月十八日
彌生	一八,九七七	一三,六四〇.二〇〇	自五月二十九日　至十月二十日
來福	三八,二二〇	二五,四四四.八〇〇	自五月二十八日　至十月七日
開洋	二一,七六五	一六,八五〇.二〇〇	自五月三日　至九月六日
臺洋	二三,〇〇七	一八,四六五.〇〇〇	自六月四日　至八月二十五日
第一長榮	—	四,七〇二.〇〇〇	自五月二十四日　至六月二十九日
第二長榮	—	一八,七五四.九〇〇	自六月二十日　至八月十五日
第三長榮	—	三〇,八四四.八〇〇	自六月十日　至十月十八日
秀丸	六六,三七六	三三,八三八.〇〇〇	自四月二十五日　至八月二十五日
繁丸	五〇,六四五	三一,三六二.五〇〇	自五月十七日　至九月三十日
飛龍	六〇,一八一	三九,八七六.五〇〇	自五月二十八日　至十月十日
幸榮	三四,一四六	二四,三三四.四六〇	自四月十六日　至十月二十六日
大豐	三一,一八〇	一八,五九八.五五〇	自五月三十日　至八月四日
惠比壽	三一,〇六八	三三,六〇三.二五〇	自五月十五日　至八月十一日
幸運	三一,〇一五	三三,四二六.七〇〇	自五月七日　至十月十日
大運	一六,二一四	一一,四七三.三〇〇	自六月一日　至八月十二日
日吉	一三,〇二〇	八,四一三.一〇〇	自六月十九日　至八月三十一日
若鰹子	—	一三,三七七.六〇〇	不明
漁鰹子	—	一三,〇一一.五一〇	不明
計	—	三〇七,三二四.六二八	

▲各船出漁狀況

船名＼事項	出漁日數	出漁回數			休業事故				
		近海	遠海	計	機關故障	船體故障	餌料缺乏	荒天其他	
めじま	八二	七	三〇	三七	—	三	三	一六	二三
やつぎ	九二	九	二三	三二	四	二	四	一四	二四
千鶴	一二四	一一	四六	五七	—	三	二	一一	一六
光洋	四五	五	一五	二〇	二	一	八	二五	三六
吉備	五五	一三	一一	二四	—	二	二	三	三四
漁成	四二	五	二〇	二五	七	四	—	一七	二八
海東	六六	九	二四	三三	三	三	—	一〇	一六

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彌生	三五	九	一八	二七	一	三	｜	一四	一八
來福	七六	三	二九	三二	三	二	｜	一三	一四
開洋	七四	九	二二	三〇	一五	五	｜	一四	二〇
臺洋	五三	四	二〇	二四	一〇	七	｜	｜	一七
第一長榮	一三	一	四	五	不明	不明	不明	不明	｜
第二長榮	五五	三	三	二四	同	同	同	同	｜
第三長榮	七六	六	三	三七	同	同	同	同	｜
秀丸	六四	一五	一四	二九	同	同	同	同	｜
繁丸	七八	八	三〇	三八	同	同	同	同	｜
飛龍	八四	九	三〇	三九	同	同	同	同	｜
幸榮	一一〇	六	三六	四二	同	同	同	同	｜
大豐	五〇	八	一四	三	｜	｜	八	九	一七
惠比壽	六一	一三	一四	二七	｜	｜	一〇	一八	二八
幸運	六七	七	二七	三四	一〇	六	二〇	三九	七五
大運	四九	三	一八	二	六	三	八	一七	三四
日吉	四四	二	一七	一九	二	｜	八	二〇	三〇
若鰹子	六五	四	二四	二八	不明	不明	不明	不明	｜
漁鰹子	五七	三	二二	二五	同	同	同	同	｜
計	一六三二	一七二	五三二	七〇五	｜	｜	｜	｜	｜

左に餌料消費量の一般を知らむか爲船體馬力、乘組漁夫竝に餌料消費數を示さむ。

船名	馬力	乘組漁夫	餌料消費數
めじま	三五	二九	三〇〇貫
やつぎ	三五	三二	二八八
千鶴	三〇	三〇	四八六
光洋	三五	二四	二〇〇
吉備	二〇	二七	一一八

幸榮	三五	二三	三三二
大豐	五〇	三四	三二五
惠比壽	二五	二八	二二五
日吉	二五	二六	一一〇

今漁況の一般を知るに便せんが爲二、三漁船に付き漁獲日表を示さむ。

▲漁獲日表　やつぎ丸

月日	カツオ 尾數	カツオ 貫數	惣田鰹 尾數	惣田鰹 貫數	鮪 尾數	鮪 貫數	漁場
六月三日	一、三一七	六〇六・〇	九	二・〇	八二	四五・〇	新漁場
同五日	一、〇八八	四八七・四	｜	｜	｜	｜	同
同七日	五四〇	二五〇・四	八四一	二〇七・四	｜	｜	同
同十日	三八七	一六九・〇	六五	二〇・六	五〇	二四・六	同
同十四日	一、八七三	七八八・二	｜	｜	一三	七・五	赤尾嶼
同十七日	一、三三〇	八〇二・六	｜	｜	｜	｜	魚釣島
同二十日	一、〇二九	一、一七九・四	｜	｜	｜	｜	同
同二十二日	一、〇一〇	五八〇・八	二三〇	八六・六	｜	｜	同
同二十六日	一、四九三	六八九・六	三〇	九・〇	一、一七五	三三六・三	同
七月三日	機關故障の爲引返す	｜	｜	｜	｜	｜	｜
同七日	三六九	五七六・八	｜	｜	｜	｜	新漁場
同九日	三八〇	三〇九・二	｜	｜	｜	｜	同
同十一日	七〇八	五五六・一	｜	｜	｜	｜	同
同十四日	八七	五五・六	｜	｜	｜	｜	同
同十九日	五四八	三八二・二	｜	｜	｜	｜	近海
同二十四日	五一二	六〇二・八	｜	｜	｜	｜	赤尾嶼
同二十七日	二三〇	一七五・六	｜	｜	｜	｜	近海
同三十日	波浪高き爲引返す	｜	｜	｜	｜	｜	｜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八月二日	五五五	三八八・五	—	—	—	—	與那國
同十日	三八三	二九〇・六	—	—	—	—	近海
同十六日	八三〇	七九八・六	—	—	—	—	同
同十七日	四二四	五〇二・六	—	—	—	—	同
同十九日	四三三	五七一・二	—	—	—	—	同
同二十三日	五五六	八三〇・八	—	—	—	—	與那國
同三十日	一一七	一〇〇・〇	—	—	—	—	同
九月四日	四七五	三五二・〇	—	—	八七	八〇・八	同
同五日	一、四六八	八六九・六	—	—	五一	四六・四	新漁場
同九日	九九四	六二五・八	—	—	—	—	同
同十日	三六二	一八六・〇	—	—	—	—	同
同十六日	四〇	三二・〇	—	—	—	—	同
同二十一日	漁獲なし	—	—	—	—	—	—
同二十六日	一四四	八四四・〇	—	—	二〇	一六・四	近海
同二十八日	三四四	四五七・八	九五	七・六	—	—	同
同二十九日	一五四	二三八・四	—	—	—	—	同
計	二〇、三七八	一五、七〇七・〇	一、二六一	三五三・二	一、四七八	五五七・〇	

▲漁獲日表　めじま丸

月日	カツオ 尾數	カツオ 貫數	惣田鰹 尾數	惣田鰹 貫數	鮪 尾數	鮪 貫數	漁場
五月二十七日	一、六六九	一、〇四七・二	—	—	三〇七	一七七・〇	盲曾根
同二十九日	一、七三七	七八四・二	—	—	一五九	八七・四	同
六月二日	一、三三〇	九六〇・二	—	—	六三	三九・四	同
同四日	二、二六二	九三〇・〇	—	—	一〇五	五九・〇	同
同六日	一、八九〇	九〇六・五	—	—	二五	三五・四	同
同七日	二、三一九	一、一一三・四	一八五	四五・二	—	—	
同八日	七六八	三七三・六	六三一	一九三・四	—	—	同
同十日	一、一七〇	四七八・四	—	—	二〇	九・四	同
同十五日	六〇	二四・六	—	—	—	—	魚釣島
同二十二日	二、三六一	九八六・六	一五	三九	八三	四二・六	盲曾根
同二十七日	一、一六三	一、二七〇・九	—	—	—	—	魚釣島
七月一日	三七七	四九五・八	—	—	二九	二三・四	同
同二日	五九六	三一五・二	四一七	一三一・六	二四八	一五一・四	盲曾根
同五日	三三三	二一三・六	—	—	二〇	一三・〇	同
同八日	一、八二二	一、四三八・四	六〇	一八・〇	一九〇	一五六・九	同
同十日	一、〇一八	一、二七〇・八	—	—	—	—	同
同十二日	五四四	四二八・〇	—	—	—	—	同
同十三日	八九二	五八二・四	—	—	—	—	近海
同十五日	一、三五四	一、〇〇二・八	—	—	—	—	同
同十六日	荒天の爲引返す	—	—	—	—	—	—
同二十三日	四二六	三二七・九	—	—	—	—	盲曾根
同二十四日	六一七	四三一・二	—	—	一一九	八四・四	同
同二十六日	三八一	二八三・七	—	—	—	—	同
同三十日	一三〇	九〇・八	—	—	—	—	近海
八月二日	一七六	二六五・六	—	—	—	—	與那國
同四日	一、四二一	一、〇六八・八	—	—	四一九	三六一・二	同
同六日	七三	八三・六	一、三〇八	三九二・二	—	—	與那國
同十七日	八九七	八二三・八	—	—	三三六	二八六・二	盲曾根
同十八日	二〇五	一六六・二	—	—	—	—	近海
同二十日	六三三	三八一・四	—	—	一六	一三・四	與那國
同三十一日	一、一九一	九二五・二	五八	一七四・〇	—	—	近海
九月六日	四三六	三六〇・六	三五	一一・〇	九	五・〇	與那國
同八日	漁獲なし	—	—	—	—	—	海
同十一日	二五	二三・五	—	—	—	—	與那國
同十八日	四二七	三二三・四	—	—	—	—	近海
同二十日	二〇	一八	—	—	—	—	同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

月日	カツオ 尾數	カツオ 貫數	惣田鰹 尾數	惣田鰹 貫數	鮪 尾數	鮪 貫數	漁場
同 二十四日	漁獲なし、終漁。						
計	三〇、五九〇	三三、一〇二・七	二、七〇九	九六九・二	二、一三七	一、〇四〇・一	

▲漁獲日表　千鶴丸

月日	カツオ 尾數	カツオ 貫數	惣田鰹 尾數	惣田鰹 貫數	鮪 尾數	鮪 貫數	漁場
四月十日	三、二二九	一、六四四・五〇	—	—	—	—	蘇澚
同 十三日	三、四一四	一、四三三・四〇	—	—	—	—	同
同 二十六日	四、五二八	一、八四八・二〇	—	—	五二	二五四・二〇	同
同 二十八日	一、二六九	五〇〇・九二	—	—	一、二〇二	五七六・四〇	同
同 三十日	六〇九	四八一・二〇	—	—	二	六・四〇	與那國
五月二日	七五四	三三八・〇〇	—	—	—	—	盲曾根
同 四日	二、六五三	一、二二四・三〇	—	—	一、四一四	六五六・〇〇	同
同 六日	三、一〇〇	一、二〇七・八〇	—	—	一、八八一	八七八・二七	蘇澚
同 九日	一、七五〇	六八五・八〇	—	—	七一一	三三八・〇〇	盲曾根
同 十一日	一、八六四	七四五・四〇	—	—	五七八	二七八・八〇	同
同 十七日	一、〇七二	四六三・二〇	—	—	六五〇	三三四・八〇	蘇澚
同 二十九日	六六九	四〇四・四〇	—	—	七七	五一・〇〇	同
同 三十一日	一、三三五	七三七・七七	—	—	一六一	八三・八〇	盲曾根
六月三日	一、二二一	五二〇・八〇	—	—	七一	四四・〇〇	同
同 四日	一、四〇五	六七五・六〇	二四四	六九・二〇	—	—	蘇澚
同 六日	三、一六〇	一、四六八・二〇	—	—	—	—	同
同 八日	二、〇九六	九四六・八〇	二七五	七〇・〇〇	—	—	同
同 九日	一、八八七	七九一・八〇	—	—	三四	一八・六〇	同
同 十二日	七〇三	二八九・四〇	—	—	—	—	盲曾根
同 十五日	一、七六九	一、二六三・八〇	—	—	—	—	魚釣島
同 十七日	一、〇三七	八三七・〇〇	—	—	—	—	同
同 二十三日	一、七四二	七八〇・〇〇	—	—	四六	三〇・七〇	盲曾根
同 二十四日	八六七	六七四・二〇	—	—	—	—	魚釣島
同 二十七日	二、〇一二	一、六四四・八〇	—	—	—	—	同
同 二十九日	五六二	五六〇・八〇	—	—	—	—	盲曾根
七月二日	三、四三三	二、〇四七・六〇	—	—	二〇二	一三三・八〇	同
同 五日	七一七	五八四・八〇	—	—	三三	二九・〇〇	同
同 八日	二、〇七三	一、一六九・四〇	三三〇	八三・八〇	一五六	一一三・〇〇	同
同 十日	一、三八六	一、四二八・六〇	—	—	—	—	同
同 十三日	六九三	四四七・〇〇	六〇	二六・〇〇	二九	三三・〇〇	同
同 十四日	四二四	三一六・〇〇	—	三四・三〇	—	—	近海
同 十六日	一、一一〇	四〇四・六〇	一〇八	—	三〇	二一・〇〇	盲曾根
同 十七日	一、八〇六	一、三一五・〇〇	—	—	—	—	近海
同 十八日	三一四	五二〇・六〇	—	—	—	—	同
同 十九日	七五	五四・〇〇	—	—	—	—	同
同 二十日	九六八	一、二八五・八九	—	—	—	—	盲曾根
同 二十七日	三二九	一、六三四・〇〇	二九	八・七〇	三〇	二一・〇〇	與那國
八月二日	波浪高き爲從漁する能はずして漁場より引返す、	—	—	—	—	—	—
同 四日	五二三	四五二・〇〇	—	—	—	—	與那國
同 八日	五七九	四八五・四〇	—	—	—	—	盲曾根
同 十六日	八八六	一、二四三・二〇	—	—	一八一	一六八・八〇	同
同 十八日	一、七一九	一、五九二・〇〇	—	—	一七三	一五七・二〇	同
同 二十日	一、八二〇	一、八三一・六〇	—	—	一〇三	七三・八〇	同
同 二十三日	一、三五七	一、一〇八・四〇	—	—	一四〇	九八・〇〇	同
九月四日	一四七	一四四・八〇	—	—	—	—	同
同 六日	三六一	二八〇・四〇	—	—	—	—	同
同 十八日	五四一	三八一・八〇	—	—	—	—	同
同 二十一日	一、二九六	九六三・〇〇	—	—	—	—	近海
同 二十六日	一三一	一六六・六〇	—	—	—	—	同

九月二十八日	三〇五	四三一・八〇	—	—	—	—	近海
同　三十日	四八二	六二三・八〇	—	—	—	—	同
十月七日	一三〇	一八三・六〇	—	—	—	—	同
同　十八日	三一八	三五一・八〇	—	—	—	—	同
計	六八、五二九	四九、五七〇・七二八	一、〇四六	二九二・〇〇	八、四三三	四、七八六・五七	—

結論

本島北部に於ける本年の鰹漁業は極めて好成績にして總漁獲高五十萬七千三百二十四貫を擧げたり。之を前年の總漁獲高三十八萬十二貫に比すれば十二萬七千三百十二貫の増加、一隻當漁獲高、二萬二百九十二貫九百八十五匁にして前年の夫より六千七百二十一貫を増加せり。漁船數は二十五隻にして前年より三隻を減じ、漁期は前年と等しく四月十日に始りて十月二十六日に終れり。前年より早きこと二十四日なり。如斯從漁船少く且つ漁期の比較的短期なるに比し斯く好成績を擧げたるは、漁期を通じて漁況の活潑を呈せしと荒天の日又少なかりしとに因るならむ。盛漁期は六、七兩月にして就中六月下旬より七月下旬に亙りて最も盛況を呈せり。此間(六月下旬より七月中旬迄)陸上に於ける氷の需要増加せる爲め漁業用氷は自然不足を來し、漁船の多くは遠海に出漁する能はずして比較的漁獲少き近海に出漁するの餘儀なきに至りしと、八月中旬虎疫猖獗の爲漁夫の罹病を虞れて內地に歸還せると、八月二十五日本島に殺到せし暴風雨とは本漁業に大打擊を與へたり。此三障害だになかりせば優に六十萬貫に近き漁獲を擧げ得しならむ。

廈門汕頭及福州の貿易近況

外調週報

過般廈門・汕頭及福州の各港を巡歷して其の貿易狀況を調査せる在香港商務官の貿易報告書は南支貿易の現狀を知るべき好材料なりと思料せらるゝを以て其全文を左に譯せり

過般、汕頭・廈門・福州各地を旅行したるが、是等各地方の貿易近況は英國貿易業者に取りて極めて興味あるべしと信ず。南支各方面に於ける貿易は內部地方政局の混沌たる爲め著しく不振を告げ、外國商人側に於ては輸入商品に對する需要の減少を來し、支那人商人は地方通過の外國商品を直接排斥するに努め、其の在庫品を充實するに絕體必要なる資金を犧牲にするを欲せざるに至れり。されど外國商店所有の商品に對する不法差押は其例極めて尠けれども、釐金稅及其他の各種の苛重なる輸出稅賦課は貿易を阻害する主要なる原因たり。加之此等各省には責任ある取締官廳なき爲め、各貿易は國內貿易のみならず、外國貿易に於ても殆んど保護の道を講ぜられざるにより、當地方貿易の大發展は平和の確保せらるゝに非らざれば到底望むこと能はず。以下各地中心地の貿易

及工業概況を記せん。

一　**汕頭**　汕頭は人口約八萬を有し、地方的工業と稱するものなければ貿易港としては寧ろ大小河川に依る水運の便ある豐饒にして人口稠密なる農業地を背後に控ゆるを以て有名なり。貿易額より見て支那貿易港の第八位にあり。昨年度貿易額は五千萬海關兩に達せり。輸入額は常に輸出額を越え、總貿易額の約七割五分を占む。而して輸出入貿易の不權衡は支那人移民の年々送付し來る多額の金額に依りて漸く均衡を保ちつゝありと云ふも不可なき狀態なり。其の工業は左の如し。

工業　汕頭又は其附近には大製造工場と稱するもの なくして、住民は夫々各種支那家內工業に從事しつゝあり。其の主なるもの、一は粗質紙の製造にして、主として新嘉坡及盤谷に輸出せらる。其他製糖・豆糟製造・鹽漬野菜調製等あり。製糖工場は數年前一外國商會の設立したるものありしが、臺灣及爪哇糖の壓迫を蒙りて閉鎖し、最近全然機械を取除きたり。

果實罐詰製造會社の大規模のもの二あり。製品は支那人移民の多き海峽植民地其他に輸出するも、工場內衛生狀態惡き爲め右製品は未だ歐洲人の需要するものなし。

一小靴下製造工場ありて米國製機械を利用し居れるが、日貨排斥以降極めて成績良好なり。

地方機織製造工場　支那固有の手織機に依る綿布製造は同地方工業の重なるものにして「ナンキーン」と稱せらるゝ粗製綿布に加ふるに優良なる染上紬は其需要額年々多額に上る。粗製綿布の絲は主に印度產にして稍々良質のものは上海及日本より輸入せらる。汕頭に於ける一英國商店は粗製綿布工業に貢獻する所頗る多く、日本及英國より各種見本を取寄せ製法の改良に努力しつゝあり。布は自然「マンチエスター」製品の有する仕上を缺くと雖とも、他の外國製品に比して良質なり。元來織機は總て日本の供給を仰ぎたれども、最近輸入價格の十分の一にて支那に於て製作せらるゝに至れり。製造費亦た極めて低廉にして、織子の賃銀は食料を加へて一箇月一弗以下に在り。緣取「レース」の製作は又新工業の一にして、特に合衆國への輸出は漸次增加の狀態なり。

染料　獨逸染料は今尚使用せらるれども在庫品少く、加之價格戰前に比して十倍なれば、漸次米國染料を使用するに至れり、然かも概して支那人の氣受惡しく、一機織工場主の如き適度の色彩を得んには獨逸染料をも混入せざる可らずと語り居れり。英國染料製造家にして支那市場に英國染料を供給するもの未だ之れなきは極めて遺憾なりとす。勿論今日英國染料の輸出せらるゝもの極めて少きも、支那市場に將來地盤を造る上に於て少額と雖之を供給し、以て獨逸製品の市場に再出現するに先ち、支那に販路を固定すること極めて緊要の事なりとす。其他の地方工業としては、葛布・白蠟・下等石鹼及粗製硝子器製造等なり。

植物油　外國輸出商に最も利害關係ある植物油（落花生　豌豆・罌子・茶等の）製造方法は全然支那式にして、普通の支那木製壓搾器に依る各種支那人小工場の製品を購入し又落花生油の製造に從事する英國商店の支配人曰く「舊式の搾油法は最多量の油を搾取し居るのみならず、各種の壓搾機よりも經濟にして其勞銀亦極めて低廉なりとす」汕頭に於て植物油輸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出業の繁榮策として前揭商店の取りたる商策は、支那各地の英國人輸出業者の採つて以て範とするに足るものなり。商策とは卽ち單に可及的買辯を廢止するのみならず、不要の仲介人の手を經ずして、自ら支那人買付人を各地に派遣し、各村落に在る小搾油場より其製品を直接買入れしむるなり。此の方法に依れば自然特に斯業の經營に適當なる人物を要し、更に附屬的の手數及組織を免る〻能はず且各種附屬の利益の點に於て反對を受くると雖も、眞の製產に到達し不要の仲繼手數料を省略せんと努むるに於ては國の富源を開拓する最上の方法なるのみならず、地方主として販賣者側の責任たる品質下落等を阻止することを得。

然れども右方法を如何なる程度迄他の商業に應用すべきやは勿論明言し得ざるも、前揭の商店は夫々右商策に依り既に成功し居るもの〻如し。

輸入　汕頭輸入貿易は主として支那製品及食料品（特に豆糟・綿絲・米及麥類）にして、外國輸入品の大宗と稱すべきは綿製品・綿絲・石油・まつち・藥品及石鹼とす。機械類の需要は未だ盛ならざれども、近來電燈用具・小形船舶用發動機及小機械類（小精米場用）の需要一般に增加するもの〻如し。されど前記及其他の機械類需要を誘致するには多くの創始的事業を企つべく、其際各製造業者は地方商人と共に當然創業費を分擔するの覺悟なかるべからず。電氣機械等に就ては米國デルコ會社製品既に當地に相當販路を有すれども、尙ほ支那は今後斯種の小機械の有望なる捌口なること疑を容れず。

輸出　輸入と同樣汕頭の輸出貿易は支那商人の獨專にして、其主要なるものは野菜・果實・砂糖・醬油・粗紙・扇・洋傘及支那商品及香港其他多くの支那移民を有する海峽植民地等に積出さる〻食料品等なり。中には地方統治者の壓迫手段に依り其輸出著く阻礙されたるものあり。又罐詰工業の如き鹽價暴騰の爲め特に大打擊を蒙りたり。外國人消費者と最も關係多きものは植物油・ラード・落花生・鳥毛・獸皮・纖維・竹・蔴布・及レース等にして、殊に植物油は目下の如き食用脂肪の世界的缺乏の際最も有望にして、斯業は將來異常の發展をなすに至るべし。

內部地方交通機關　內部地方との交通は殆んど縱橫無數の大小河川の小蒸汽船及戎克に依るのみ。汕頭及潮洲府は乘客用小蒸汽を走らす無類の船會社の本店所在地にして、若し權威ある當局官憲の統治するに於ては、內部地方河川貿易は必ずや急激なる發達を遂ぐるに至るべし。支那船舶は槪して吃水深き爲め一年を通する航海に適せざるを以て、斯業に從事する會社は經營難を訴へつ〻あるは驚くに足らず。一英國商店は五隻の小蒸汽船を有して河川交通に從事し、目下の如き極めて不況なる時季にも拘はらず相當好成績を舉げつ〻あるは、卽ち廿四吋の吃水を有する木造の船舶を使用するに因るなり。一佛國人商店の運轉する二個の小蒸汽を除き其他のものは總て支那人の所有なり。

潮汕鐵道は小蒸汽々船會社よりも一層經營困難にあり乍ら、今尙ほ一日二回列車を運行しつ〻あるは頗る不可解事にして、目下必要なる修繕及新調費等之れなしと稱せらる。汕頭內部地方の主要都市を聯絡する鐵道の建設せらる〻に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、單に同地方貿易の發展のみならず亦平時に於て有利なる事業とす。

●鑛業　戰時中ウォルフラム・タングステン及モリブデン等盛んに採掘されたるも、目下是等の輸出せらるゝものなし。

汕頭地方にある鑛物は黑鉛・蒼鉛・鉛・銅及銀なれども未だ經濟的價値を示すに至らず。一米人鑛業會社は過般來廣東省地方の鑛物調査に從事しつゝありしが、今日迄何等確實なる效果を擧げ得ずと云ふ。石炭は各地に埋藏すと稱せらるゝも、輸送困難と開掘に多額の費用を要するを以て、目下「ボンガイ炭」及日本炭を輸入する方經濟なりとす。

●英國銀行の必要　一商店の香上銀行代理店を營むものを除きては、今日未だ英國銀行の當地に開設せらるゝものなし。故に同業者間の決算上極めて不便を感ずるのみならず、取引は大部分當地に支店を有する臺灣銀行に依りて決濟せられ居れり。英國銀行は確固たる地方貨幣なきを以て汕頭に支店の開設を好まずと雖も、當港をして健全なる發展を遂げしめん爲めには一英國銀行支店は開設を必要とす。

二　廈門

●貿易港としての廈門は數年來漸次衰微に傾きつゝありて、今日に於ても亦將來急激なる發展の見込なきが如し。千九百十八年の總貿易額は八千四百萬兩に過ぎずして内輸出額僅かに二百五十萬兩なりき。臺灣茶取引の失脚は當港將來發展の大打擊なるに拘はらず、此の損失を償はん爲め更に地方の自然財源の開發に努力されたるもの未だ無し。

●輸入　輸入品は北支那よりの食料即ち米・豆及雜穀を主とし、外國輸入品中主なるものは反物・綿絲・石油及紙卷煙草とす。然れど後者の二品を除きては輸入貿易は全然支那人の經營する所にして上海及香港より輸入せらるゝものとす。船舶會社及銀行の外に二戶の英國商店あり、一般輸出商なれども茶業の衰頽と共に昔日の榮なし。

●輸出　輸出貿易亦振はず。其大部分は支那移民の多き新嘉坡・爪哇、及び各地方に輸出する食料品及其他の商品なり。煉瓦・磚及び鐵鉛等の香港及其他南部諸港に輸出せらるゝものあれども、是等純支那貿易品を除きては水仙球のみ廈門よりの外國貿易品と認むることを得。

過去二年來廈門地方に於て阿片の栽培著るしく發展せるが、其大部分は國內にて消費せらるゝと雖、密輸出額亦多額に上ると云ふ。支那人勞働者を要する海峽植民地及其他の地方に出稼する支那人移民は廈門外國貿易に最も重要なる關係を有し、輸出入貿易の不權衡は彼等の送付し又は携へ歸る金額に依りて汕頭と同樣漸く均衡を保ちつゝありと云ふ。

廈門の輸出入貿易を發展せしめん爲め如何なる事業を必要とするかは短期間の調査にて明述し難き一問題なりとす。然れど輸送の困難と工業用財源の缺乏とは汕頭以上は廈門の將來をトするに難からしむるものなり。目下は如何なる事業も有利に非ずして政府の統治法の回復は貿易の發展上最緊要事たるべし。

●工業　廈門地方に於ける主要工業は煉瓦及磚製造、紙・花火及鐵錫の製造にして、其他果實・野菜の鑵詰及各種支那菓子製造工場あり。

廈門には「バブコック、エンド、ウイルコックス」會社製のボ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イラー及米國製變壓機を有する五百キロワットの電燈會社あり。又た一日半噸の氷を製する製氷會社ありて米國製機械を使用す。此他鼓浪嶼に小規模の電燈及製氷會社あり。

内部各都市には未だ電燈なきを以て、地方の鎭靜するに於ては斯種の事業は必ずや有望なるべし、されど電氣機具を除き廈門を經て供給を受くる内部各地は交通機關なく、工業的發展に資すべき製造に適する材料なきを以て、機械類は需要あるべしとも思はれず。

鑛物　は其輸送困難なる爲め未だ全然未採掘の狀態なれど、山岳地方には石炭・鐵・黑鉛及其他の鑛物の埋藏せらるゝものありと稱せらるゝも未だ踏査されたるものなし。

交通機關　内地との取引は輸送に適する水路無きを以て著るしく不振の狀態に在り。福建省の既成の鐵道たる漳廈鐵道は未だ完成せず。目下南軍潮州に占據するを以て工事進捗せず。其機關車・貨車及軌條等は殆んど委棄して顧みられざる有樣なり。

廈門・泉州・安海及其他海岸各都市間を航行する約二十隻の小蒸汽船あり。されど河川の大部分は一年の大半ボート以外の船舶の航行すること能はず。海岸貿易に從事する小蒸汽は日本人・英國人・西班牙人及葡萄牙籍の支那人の所有に屬す。斯種の交通は汕頭に比し軍事官憲の掠奪を蒙ること少きも、極めて有利なる事業と稱するを得ず。加之、將來大いに發展する見込なし。廈門の内部地方は山岳重疊道路險峻なるを以て物品の運搬は極めて遲々たるのみならず、極めて費用を要する事業なり。

三　福州

福州　福州の通商貿易の將來は廈門より以上に悲觀的なり。當港の繁榮は今日迄茶取引に限られたるも、同業の沒落と共に外國人商店漸次衰頽に向ひつゝあり。目下は戰爭の爲め閉鎖されたる英國及其他の市場の再開に依り多少景況回復せるものありと雖ども、地方商人は毫も永久の競爭を豫想せず、一小範圍の顧客の高價の茶に對する小需要額を除き、印度・錫蘭及爪哇の栽培者の採用する栽培及分配の科學的方法が實際支那茶を世界市場より驅逐するは避く可らざることゝ思考するものゝ如し、故に地方的茶栽培法の一大改革せらるゝに非らざれば、茶業を舊繁榮の狀態に復することの困難なるは明なるも、未だ此の方面に於て何等方法の講せらるゝものなし。

輸出　木材殊に杉材は常に當港輸出品中の大宗なり。然れど全く一地方的事業にして而も近年迄は全く支那人の經營する所なりき。數年前支那木材輸出入會社は馬尾の投錨地に一挽材工場を設立して盛んに營業しつゝあり。其外一日本人及二支那人經營に係る製材工場あり。されど供給財源たる木材の濫伐の結果數年内に適當の大丸太の產出一時中絕するの止なきに至るべし。一地方に於て植林事業の擧あるも到底需要に應じ得る程の大規模のものに非ず。

紙の輸出　極めて多額に登るも、外國人貿易商に關係ある物產中多量に輸出せらるゝ製產品は茶・茶油・茶粕・漆器及樟腦なり。

昨年の茶油の輸出高は約二千五百擔、茶粕(全部臺灣へ)約二千四百擔、樟腦貿易は著く衰退し、昨年產額四百二十四擔

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にして殆んど全部日本に輸出せられたり。而して當地方の樟腦は未だ原料豐富なりと雖も、漸次日本專賣品に壓倒せられ斯業の發展は困難となれり。

●●輸入　內部地方に於ける掠奪及騷擾は著しく通商貿易を阻碍するを以て、輸入貿易は不振の狀態に在りと云ふべく、且つ目下の限度に於てすら輸入貿易は全然不可能なるは驚くべし。其設立方法宜しきを得、且混沌たる政局に拘らず良好の發達をなしつゝある石油及葉卷煙草貿易を除き、日本人に依る以外の輸入貿易は全然支那人の獨占にして、主として香港及新嘉坡より供給せらるゝものなり。外國商館が反物及其他の物品を自己計算にて輸入するを嫌ふは、賣手が全然現金賣買を嫌ひ商人が一樣に一、二、三箇月延期拂を爲すが如き地方信用制度に因るものなり。

●●交通　內部地方との交通の便最も惡しく、僅かに閩江に依り約七十哩の水口府まで小蒸汽船を航行せしめ得るのみ。小河川に至りては殆んど舢舨以外の船舶を通ずる能はず、福州內部地方は峯巒重疊道路亦嶮峻なるを以て內部物品の運搬遲々たるのみならず多額の費用を要し、且鑛物の採掘を著しく困難ならしめつゝあり。

福州及沿岸各港間を航行する小蒸汽船約二十隻ありて貨物及乘客の運搬に從事し、各船舶會社間の競爭頗る激烈にして且つ貿易不況の今日將來有利なる事業に非ず。

●●●河川整理　閩江の下流に於ける船舶航通を改善せんとする運河工事目下進行中にして、同工事に要する資金は既に閩江通航稅に依り徵收せられ居れり。而して右工事費總額は約一百萬弗に達すべく、豫定の浚渫及開鑿工事に依り最淺十呎、滿潮の際十六乃至十七呎の深さを有する一運河を開かんとするにあり。右工事竣成の曉、定期航行船は果して大なる便宜を得るや否やは夫々多少意見の相異する所ありと雖、小蒸汽船及曳船が潮水の干滿に拘はらず隨時福州及 Payaanchorage 間を航行し得るに於ては同港の貿易に大なる便宜を與ふべし。

●●●日貨排斥　前記三港に於て日貨排斥に依る影響に付屢各商人に照會したるが明確なる統計を得ること能はざりき。然かも日本商人及船舶所有者は著く損害を蒙りたることは明かなり

汕頭にては苦力及水夫は日本貨物の積卸を拒絕せし爲め、日本に於ける船舶會社に宛て當分積出を見合さんことを報知せりと。其他の港に於て同樣の困難に遭遇せざりしも貨物の到著著るしく減少せり。(ボード、オブ、トレード、ジャーナル紙一月一日)

支那南北の政鱗軍爪

(外調週報)

（一）安福系の退讓　徐總統已に靳内閣を維持せんと決意し、靳總理亦堅く留りて動かず。十三日總統府及び國務院より吳笈孫・張志潭を遣はし、李・曾・朱・三總長を訪問調解する所ありしも未だ十分なる疏通を見るに至らず。此夜三總長密に會して外交・敎育・農商の三總長を安福系より登庸せんことを條件とすることに決し、遂に之を以て調解に應すべしと通告するも靳總理は之を聞入れず、徐總統亦之を重要視せざりければ、三總長大に窘窮し、徐樹錚をして居中調停の事に當らしむ。時に八省督軍の聯合して靳閣を維持せんと打電するあり、張作霖は殊に靳の後盾とならんことを電告するあり、靳總理の恃む所ありて動かざること知るべきなり。段祺瑞は甚だ不滿の色あるも中間に立ちて斡旋するものあり、亦遂に靳を助くるの傾向を生じ、徐樹錚の來り謁するを拒絕して見ず、段芝貴・曹汝霖をして三總長を勸說せしむ。十五日午時、曾交通天津より歸京し、段邸に謁したるに段謂ふ、公等若し國事を顧念せば應に閣議に出席すべしと、曾敎を受けて交通部に到り、小坐の後、李・朱と同じく十五日の閣議に列す。十六日亦然り。蓋し段芝貴が段祺瑞の意を承けて三總長の無條件出席を勸めたるに因りてならんか。是より先、張作霖は親展書を張景惠に託し、面り段祺瑞に遞交して段氏が安福系を縱容して政權に干涉せしめつゝあるが爲め、全國目を側てゝ其黨を植て私を營むを視るを致すことを責め、特に最後の忠告を呈し段氏が大局を顧全し宵小の言を納るゝ勿らんことを請ふの意を述べたるに、段祺瑞は靳雲鵬が張作霖と共謀せることゝ推想し不快の色ありしが、靳の親しく段に見えて其冤なるを力辯し、景惠も亦靳と關係なきことを證明したれば、段は遂に聲明して曰く、此後は一切閣事に關係せざるべしと。是に於て内閣問題一段落を告げたり。然れども外・農・敎・三部長登庸說又た起り、襲心湛の外交部長、曾宗鑑の次長、駐日・駐米・駐佛・各公使の更任問題より、吳光新の陸軍部長、王汝勤の長江司令まで世上に傳へらるゝに至れり。十七日靳雲鵬は徐總統に謁し、外・敎・農・三總長速定の必要を述べたるに、徐總統亦之に贊成せり。而して其擬定せられたる人は如何と云ふに、農商部には張孤、敎育部には傅增湘、外交部には胡惟德を推すことになれる由なるも、若し胡惟德辭して任に就かざれば、陳籙を以て升任せしむる筈なりと云ふ。隨ひて曾宗鑑は監務署長たるに内定しあるも、現に曾より駐日公使たらんと運動中なれば、別人の赴任を見るやも知るべからず。徐總統の意は丁乃楊を曾の後に置かん考なるも、安福系は蔡邦彥を推さんとするに在りと云ふ。十八日の閣議には安福三總長皆な出席す。此日段祺瑞專用列車にて保定に赴き曹錕を訪ひたるは、一は吳佩孚軍の防務を撤退するを中止せしめんが爲め、又一は入省督軍の同盟を解散せしめんが爲めなりしなり。又た吳光新の陸長は吳・段共に悅ばざれば實現せられざるべしと云ふ。

（二）魯閩兩案　三月十四日、上海に到著せる北京電報に據るに、北京の外交協會は山東問題に關し顧維鈞に打電して曰く、巴里講和會議にて獨逸は日本に許すに其山東に於ける權利を繼承するを以てしたるは、此れ獨逸先づ約に違へるなり。請ふ之を國際聯盟に提議して取消さしめ、而して後再び日本に對して交涉をなす可し。又同時に米國上院に打電して山東保

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

留案の終始貫徹せられんことを請ふ可しと。然れども政府陰には直接交渉に傾き、陽には民意を標榜して聯盟提出を歸と爲すもの丶如くし、徐總統より汪大燮に諭し山東案の討論より得し所を說帖として提出せしめ採擇に具へたりと云ふ。靳總理亦直接交渉を否認し、專ら主權を保持すべきを聲明せり。又福州問題は兩國委員の事情を調査せし後已に談判三回に及び、日支委員各調査書に依りて互に相討論し、双方共に漸く意見の接近を見るに至りたり。聞く日本公使は外交部當局と約束して曰く、福州案讓步議決の後は應に山東案を接續して商議すべしと。又十九日午後上海著の北京電によるに、福州案に對する日本政府の訓令已に北京公使館に到著したり。其內容を聞くに我要求中領事の撤廢及賠償金の兩項は已に承諾を經たりと。而して外交當局者は特に日本公使と約束し明二十日中に本案を議することゝしたりと云ふ。

(三)獨支通商　三月十四日上海著の北京電に依るに、獨逸は巴里講和條約中支那に關する各條款を單獨に承認する代り、支那との通商を開始せんことを要求し來りたれば、北京外交部は其伯林公使館に駐留する張祕書に打電して該事宜を取扱ひ獨國と談判を開始せしめたりと。

(四)湖南の米支合辦煉廠　同上北京電に依るに、湖南督軍張敬堯は北京に電照して曰く、米商と合辦せる湖南の白鉛煉廠は我國の權利を喪失せず、已に農商部に呈報立案せるものなれば萬誤解なきやう西南軍政府へ轉殺あらんことを請ふと。

(五)對藏近事　同十六日午後北京電に依るに、英公使シ‖氏は英國政府の意を電述して曰く、速に西藏に關する懸案を會商せんことを催促請求す可しと。而して該方面に在る陳遐齡は去る十二日電を以て北京政府に報告して曰く、西藏人は現に又番兵二千人を調集し來り、開戰の準備に從ひ行く〳〵昌都を攻めんとし、兵數已に萬を逾ゆ。今や我が飢ゑたる軍隊は忠義に迫られんとす。請ふ速に接濟を行ひ、邊防を維持せしめよと。政府乃ち隣省の熊克武に打電して接濟を圖らしむ。熊の返電に曰く、西藏と四川とは唇齒の間なり。何ぞ坐視すべけんや。命に遵ひ陳遐齡に對し月餉十二萬を支出したり。唯ゞ鎗器等は四川に在りては製造原料の缺乏せる爲め奈何とも爲難し。仍ほ中央より撥濟あらんことを請ふと。

(六)日支軍事協定の失效　南北和議再開の條件として南方軍政府より取消を要求し來れる日支軍事協定に對し、國務院は十七日を以て廣東軍政府に返電を送りて謂ふ、我國已に單獨を以て西伯利亞に關する駐兵を撤退せるは、即ち該軍事協定を無視するの意を表示せるなり。然らば則ち該協定は自然に已に效力を失へる譯なれば、今更之を取消すの必要なからんと。然るに段派の人に語るを見るに、仍ほ軍事協定を撤消するの時機に非るを認むるは事實にして、只之を進行せしめざるの法を講するのみなりと云へば、此一條件にて南北和議の再開を見るに至るべきや否やは今に於ては尙ほ判斷し難し。然ればにや是より先十四日南方軍政府は岑總理に打電して軍事協定の改締を行ひ、日支攻守同盟となせるの事實あらざるや否やを問合せ、又十四日より以後は南北未だ統一せざる、前双方共均しく外債を借るを得ず、若し必ず借款の要あらば應に双方より合辦するを以て斷となすべしと電照したりと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(七)雲南廣西兩軍の調和難　十八日の香港電に依るに、岑春煊の使者劉德裕廣東に返り報告して曰く、始興と翁源との交界に在りて李烈鈞に面晤せり。其時李烈鈞は調和に對し極めて强硬の態度を持し、總べて唐總裁の威信を損せざるを以て要となすことを述べたり。蓋し唐督の威信を損せざれば莫督の面目は立ち難ければ、兩軍の調和は成就し難からんを恐ると。又同上別電に依るに、唐繼堯已に李烈鈞に電命して曰く、滇雲南軍兩師團は須く前令の通り處置すべし、調和の名義に假託して兩師團の軍力を分割毀壞するを許さず。只本督軍實力を以て綱紀を保持するあらんのみと、其斷乎たる決心想見するに餘りありと謂ふべし。劉德裕及び冷遹は十八日更に韶關に赴きて李根源に面し、再び李烈鈞・楊益謙・魯子材に向ひて調和を勸奬し、雲南籍の國會議員も亦出てゝ調停に任じつゝあり。然れども唐督より軍政府及各省軍に打電せるを見るに、略ぼ前に云ふ李根源を派して建設會議の代表と爲し、並に滇軍兩師團を李督軍の直轄に歸せしめたるは滇軍の內部を整頓せんとするに係る。意はざりき根源忽ち三師長鄭開文と楊晋とを對調し、以て滇軍內部をして急に紛糾を生せしめんとは。是の如きは處置を誤るものにして殊に其咎を辭し難し。聞く粤省當局は兩師團を權宜編成し、或は一部を以て仍ほ根源に歸して暫く統卒せしめんと擬すと。鄙意決して此等の辦法に贊同し難し。已に駐粤滇軍長官に電飭し、今日迄迭りに電令せるものに依りて辦理せしむ。若し令に抗し妄爲するものあらば、即ち軍律に照して嚴懲せん。寧ろ吾が滇軍中一二令に抗する逆徒を犧牲とするも、決して國家の爲め一度發したる令の行はれざるが如き惡例を開くべからざるなりと。然れば李烈鈞等の調停を容れざるは固より其處なり。果せるかな劉德裕等は十九日省に返りて李烈鈞の態度强硬なるを報じて曰く、彼言ふ岑伍林諸君極めて西南の大局を維持せんが爲め此調和あり。然れども我は唯ゝ唐總裁の命を奉じて出巡するに係れり。若し各總裁にして滇軍を處置せんと欲せんか、直に唐總裁に電商すべし。我は唯ゝ唐總裁の命を聽くのみと。是に於て余等は其雲南に返らんことを力勸せしも、李烈鈞は遂に允さゞりければ要領を得ずして返れりと云々と。現に始興に在る楊益謙・魯子材の率ゐる滇軍は均しく李烈鈞の令を聽きて守勢を取り、徐ろに唐督の舉動を待てり。又一說に、連日戰爭あり、李烈鈞は新附の士衆を擁して直に韶州を撲ち、張懷信亦た其所部を率ゐて北上し、已に李烈鈞の軍と相合せりと云ふ。未だ知らず其孰れが事實を得たるかを。

(八)支那側の傳ふる日本撤兵觀　北京外交團の支那政府に通告せるものとして傳へらるゝ所に據るに、日本の撤兵と云ふも決して其意思あるに非す。唯ゝ西比利亞に移して北滿に駐屯せしむるのみなれば支那は宜しく注意すべしと。又浦鹽發電に依るに、日本は現に已に露國の新黨と秘密に條約を訂結せり。該條約中には露人の滿蒙邊境の權利を侵害せず、又新黨の鮮人獨立を援助せざる限り日本は先づ新黨の政府を承認すべしとの條文ありと云々。

(九)廣東議員の電催　廣東議員百五十名より去る十四日付を以て、北京政府に向ひ速に上海議和會議を開かれんことを電催せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(十)領事裁判權撤廢の嚆矢　北京政府は希臘との通商條約に於て其領事裁判權を削除することゝし、外交部より駐佛公使岳昭燏に電命して該條約を商訂せしめたり(十五日)。

(十一)梁啓超行踪　梁啓超十五日晩天津著、總統府並に國務院より均しく人をして之を迎接せしむ。十七日任公仍ほ天津に留りて壽宴を開く、京官の來り賀するも七八十人、徐總統使を遣はして厚禮を送る。十九日午時の列車を以て京に入り、二十日午後五時徐總統に見え、歐洲遊歷の經過を報告せり。聞く所に依れば任公京に留りて叢書編纂の事に從はんとすと云ふ。

(十二)義務敎育の實施　十九日大總統令を以て義務敎育實施の旨を頒布せり。其略に云ふ、敎育の普及は立國の根本要圖と爲す。前に敎育部より籌備辦法を擬定し呈准頒行するを經たり。此年以來山西省の期を分ちて籌進し、成效昭著なるを除く外、其餘の各省或は財力の未だ充たざるに限られ、或は軍事の倥偬に苦められ、未だ一律に實施する能はざるに至る。卽ち直ちに該部より晋山西省定むる所の辦法を各省區に通行して參照せしめ、並に各該省區より地方の情形を察酌し、別に施設の標準を定め部に咨して核定せしむ。總て期す義務敎育の漸を逐ふて推行し、比戶に絃誦の聲を開き、里黨に膠庠の盛を睹んことをと云々と。蓋し敎育部は全國敎育會の請願あるが爲め此命令を發布せるに至れるなり。

(十三)閩南に於ける滇粤衝突　駐閩陳烱明の率ゆる粤軍と方聲濤の部する所の滇軍とは、閩に入りしより以來均しく權利問題の爲め互に積みて平なる能はず。陳は漳州に鎭し、方は永春に據りて互に相下らず。去年安溪に在りて兩軍曾て一度衝突したるも、後林葆懌の意思疏通を謀り、譚人鳳に出て、和解をなさしめたるが、何ぞ圖らん近日滇軍と粤軍とは楓亭方面に在りて又衝突を起さんとは。陳烱明楓亭の消息を得るや遂に動員令を下して立ところに駐漳軍隊三千名を調派し、進んで戰を助けしめ、李炳榮をして之が司令官とならしめ方聲濤方面は夏述唐を派して戰を助けしめ、現に双方共激戰中にして勝負未だ明ならず。此事ありしより漳州方面は戒嚴して行旅を警査し、人心洶々たり。聞く南方軍政府及び林葆懌は双方に電勸して戰を熄めしめたるも、未だ知らず双方能く之を許すや否やを。(申報、新聞報、三月十五日乃至二十一日)

露西亞の世界的威嚇

(外調週報)

英國下院に於て最近露西亞の政局に就き討議の際ロイド、ジョージ氏は「如何なる方面に進まんとするも吾人は唯濃霧の中に入るが如く思はる」と謂ひき。然り聯合國は此霧を突き進み光明の境に達せんとするよりも、寧ろ霧の自ら霽るゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を待たんとする傾向を有すれども、愈〻待つ事の久しくして愈〻霧の深きを嘆せざるを得ざるが如し。露西亞に於ても自由と代表政府の窒息が單に露西亞自身に取りて危險なるに止らんか、歐羅巴及亞米利加は利已的無頓著を裝ふを得べし。然れども露西亞の威嚇は世界的にして今日世界に存する最も大なる威嚇なり。エフ、エッチ、シモング氏は最近其意見を發表して曰く「過激主義は余を以て謂はしむれば吾人の持てる全部の西洋文明を顚覆せんとする教義なり。露西亞人にして果して過激主義制度を希望せば余は彼等のなすが儘に放任せん。然ども過激教義の骨子は其思想を以て世界を風靡せんとするものなれば吾人は之れと握手をなす能はず。何となれば斯くて一方に於て平和の小康を贏ち得んも、他方に於て吾人を累卵の危きに立たしむるものなればなり。今日露西亞を支配する階級獨裁者の公言せし目的はランシング卿の引用せしトロツキ氏の言に徵すれば自ら明かならん。曰く歐羅巴に於ける險惡なる下等社會の漲るを俟たんか、露西亞は早晚中央諸國の現政府と平和を締結せざるべからざるに至らん。然れども此平和は假平和――一時的平和にして卽ち眞の平和に進まんが爲め過渡的平和なれば、該平和條約は修正されざる可らず。而して此修正と共に歐洲は革命に陷らん。吾人の政策は此革命豫想の上に建設せれたるものなりと。

「紐育サン」紙の一記者は曰く、露西亞に於て暴力を逞ふしつゝある過激主義は二箇年を出でずして其形式を一變す可し。一時は過激社會共產主義運動として世界を戰慄せしも、軈て軍國獨裁主義となり世界に對し挑戰するに至らんと。

此「貧民優越」の狂的博道を抑制せんが爲め世界は果して幾何大の犧牲を拂ひつゝありや。民主國は休戰前に於て此萠を引摑み、之を根絕せしむる機會ありしに拘はらず、露西亞の兇暴政治鎭壓に從事する事を肯せざりき。今日に於ては最早や聯合國及亞米利加は戰爭に氣乘りせざるべければ、現下ペトログラードを風靡しつゝある壓制者に對し進んで攻勢的政策を取るは不可能事ならん。

現下の對策としては、過激派軍の突進に對抗せんが爲め露西亞と境せる小國に德義上及財政上の援助を與へ、而して過激派占領の勢力範圍にある露西亞の部分的封鎖を繼續するを可とす可し。然らば最後に於てレニンと戰端を開く事なく、其狀態を繼續し得るや?。今波蘭に就て此問題を研究せんに、波蘭は元來西方歐羅巴の堡塞にして五、六十萬の兵力を有し、我が墨其西哥國境の三分の二の長き戰線に於て過激派と戰を交へつゝあり。今や軍需品及食糧の缺乏を告げ、聯合國は之に不充分なるも援助を與へつゝある狀態なり。波蘭は過激派の入寇に對し飽く迄防戰せざる可らざる點に於て何人も一致すれども、現代の軍事上の原則として防禦策は同時に攻擊策ならざる可らざるものにして、若し聯合國及亞米利加にして眞に徹底的に波蘭に加勢せんが爲め兵力を波蘭に送らんか、直ちに此等の軍隊對過激派の戰鬪は開始さるゝに至らん。又一方波蘭の援助を停止せんか、波蘭は必ずや一敗地に塗れて復た立つ能はざるに至り、惹て歐洲の危殆を釀成し、遂に過激派露西亞對世界の大戰は避くべからざるに至らん。

若しも世界各國にして「下等社會の獨裁執權職」(露西亞に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於て公式に用ひられつゝある語）を承認するに非れば、各國は斷乎として勇敢に之に對抗せざる可からず。例へば亞米利加の如き數百の過激派露人を本國に送還し、過激思想が露西亞より、又露西亞内に成長し發達するを阻止するに力を注がざるが如きは思はざるも亦甚だしきものなり。レニン及トロツキーは此一箇年前に比すれば益々其基礎を鞏固にせしは勿論、徴兵・笞刑・逃亡者の死刑執行其他所在專制政治の形式を以て、ケレンスキー其他多くの人々を處分せり。彼等の物質的及軍事的成功は、援助なき反過激派軍の絶望狀態と、過激派發生の當初に於て聯合軍が之に對し注意を注がざりしとに起因す。全露西亞政府は必ずや過激派を平定し、曩に國民に對して誓ひし通り、公平にして且自由なる國會を開設するに至らんことは一般に堅く信じて疑はざりしなり。最近二三箇月の露西亞に於ける軍事的經過を見るに殆んど絶望の狀態なり。コルチャック、ユテニッチ及デニキンは非常なる損害を蒙りて放逐されたり。多くの重要なる市街は過激派の占領する所となりき。

此方面に於ては何等希望を寄すべき點なし。今やレニン政府は厚顏にもダーダネルス海峽の今尙ほ聯合國の手中にある事實を無視して「今將に目前に迫れる過激派軍の黑海々岸占領は伊太利に通ずる通路を開くに至らん」と云ふ論據に基き、伊太利に對し條約の締結を申込みつゝあり。ペトログラードより來る誇張の布告に依れば、露西亞以外の諸國に於て過激派主義革命思想の急速に瀰漫しつゝあるを誇りつゝあり。エツニアは赤衞軍の休戰條約を結べり。而して或は「ソビエット」政府の樹立を見るなきを保せず。「ラトヴィア」亦然り。唯東部西比利亞に於ては頑強なる反抗に會し一頓挫を來せるを見る。幵はコルチャック提督の後繼者セメヨノフ將軍の活躍に非ず、日本帝國の斷じて過激派勢力をして太平洋に達せしめずと云ふ勇猛心に由りてなりとす。

亞米利加・英國及佛蘭西の政策は皆な過激派に對し直接行動を含まず。亞米利加が直接行動より脫せんが爲め、巧みに自國の軍隊を引上げしめたる優柔不斷の政策は誇る可きものに非るなり。吾儒弱無定見なる政策は北部露西亞及東部西比利亞に於ける兵力をして軍隊と呼ばんよりも寧ろ事實上守備兵の如きものと爲し了りぬ。然れども亞米利加の露西亞に與へし援助にして誇る可きもの唯一つある。今も尙ほ露西亞の爲に貢献しつゝあるものにして、幵は二箇年間パナマ運河技長の職に在り、而して最近イスニアン運河委員長たりしジエー、エフ・ステヴン氏の統率の下に、亞米利加鐵道班による西比利亞鐵道線の敷設及修繕なりき。此種の大仕掛の援助を露西亞に與へたる事實は單に商業上の利益のみならず教訓的效果をも齎し得べきなり。

早晩露人は必ず國難を救ふて健全なる精神と民主々義とを樹立するに至るべけんも、露西亞の廣袤なる版圖は其稀薄なる人口と相俟つて中央集權の實を困難ならしむ。所謂「ソビエット」政府と稱せらるゝ暴戾なる破壞的論理の如何に深く今日露人の心裡に滲入せしかは殆んど想像に餘りあり。通信事業を起し、旅行及商業を常態に回復し、露の愛國的結合を喚起することは焦眉の急なり。吾人は過激派の支配の益々擴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張されて亞米利加により與へられたる嘆稱すべき此産業上の助力に殃する餘地を彼等に與へざらんことを望むや切なり。

吾人が一日の因循姑息は一日丈け露西亞の國際的危險に加へん。露西亞をして現狀に放任せば必ずや益、險惡に赴き、遂に吾人に殃を及ぼすに至らん。(アウトルック一月十四日)

支那及南方事情

(外調週報)

支那に於ける外國及支那協同企業

(遠東時報三月號)

支那に於ける支那人資本家が外國資本家と協同する企業頗る多く、之が研究は支那に於ける列强の經濟的消長を知るべき絶好材料なるを以て、今左に最近調査に係る登記濟合同會社を列記せん。(支那名の不明のものは片假名にて示せり)

資本家の國籍	會社名	資本家名	資本額	設立年月日	企業目的	備考
英・佛・支	フ公司	北京シンヂケート及山西商業會議所	一〇,〇〇〇,〇〇〇兩	一八九八年	山西省石炭・石油・鐵	
同上	同上	北京シンヂケート及ユフエン公司	一〇,〇〇〇,〇〇〇兩	一八九八	河南省同	
英・支	フイトン公司	英國シンヂケート及四川省鑛務局	一〇,〇〇〇,〇〇〇兩	一八九八	四川省同	目下中止中
佛・支	フアン公司	佛國シンヂケート及パオフ公司	一〇,〇〇〇,〇〇〇兩	一八九九	同省石炭	解散
日・支	イ・チエン鑛業會社	鶴光ドケラ、安徽省商務局	五,〇〇〇,〇〇〇弗	一九〇五	安徽省石炭	廢止
佛・支	ホチエン公司	ホチエン公司、パオフ公司	不明	一九〇二	四川省石油	目下中止
同上	ユアーシヤン公司	ユアシヤン公司チエン・シエン公司	二,〇〇〇,〇〇〇兩	一九〇二	廣西省鉛鑛	同
同上	ライフ公司	カイフ公司、ブアン公司	二,〇〇〇,〇〇〇兩	一九〇二	貴州鉛鑛	廢止
同上	シヤンキ公司	シヤンキ公司、パオシン公司	六,九九九,九九九弗	一九〇二	同、アンチモニー	目下中止
英・佛・支	ルンシン公司	クンシン公司、雲南公司	五〇,〇〇〇,〇〇〇兩	一九〇一	雲南省各鑛物	同
佛・支	タトウン公司	タトウン公司、フアユ公司	七,四八〇,〇〇〇弗	一九〇二	福建省各鑛物	解散
同	キヤンペイメーカン公司	ブチ公司、パオフ公司	一七,五〇〇,〇〇〇弗	一九〇四	四川省石油及石炭鐵	
同	タロ公司	タロ公司(佛)、チエンイ公司	二,〇〇〇,〇〇〇兩	一九〇五	貴州雲母、アンチモニー	解散
獨・支	チヤンシン公司	カローヴツツ商會	二,五〇〇,〇〇〇兩	一九〇六	山東省石炭	一九〇八以降支那人のみ
露・支	露亞銀行	支那政府	四五,〇〇〇,〇〇〇 三,五〇〇,〇〇〇留	一八九六	銀行業	
獨・支	山東鐵道會社	獨逸シンヂケート支那政府	七〇,〇〇〇,〇〇〇マーク	一八九八	鐵道及鑛山	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同	井鑛山部	フォン・ハンネッケン、直隷省政府	1,000,000弗	一九〇五	直隷省石炭	目下支那人經營
英・支	メンタウカウ鑛山部	英國資本家及支那資本家	1,000,000弗	不明	メンタウカウ石炭	洪水の爲廢坑
日・獨・支	直隷實業銀行	大倉、アメル、ドカレヘルヒ、支那政府	三,000,000兩	一九一二	銀行業	
日・支	ペンシツ鑛業會社	大倉組	七,000,000円	不明	石炭及鐵	
同上	鴨綠江木材會社	日本、支那政府	三,100,000弗	一九〇八	滿洲木材	
同上	リウタ製粉會社	日支資本家	200,000弗	一九〇八	上海製粉業	
同上	上海製造絹絲會社	同	四00,000兩	一九〇六	製絲業	
同上	上海製絲工業	日支資本家	100,000円	一九一〇		
同上	チヤントウ商會	同上	三00,000弗	一九〇六	滿洲各種企業	
同上	營口水道電氣株式會社	同上	二,000,000円	一九〇五	水道電氣事業	
同上	三台製油會社	同上	三00,000弗	一九〇七	滿洲製油業	
同上	青龍銀行	安田銀行及北支那資本家	五,000,000円	一九〇八	同銀行業	
同上	奉天馬車會社	大倉組、支那資本家	一五0,000弗	一九〇八	馬車業	
同上	華日マツチ公司	日支資本家	三00,000弗	一九〇七	長春、マツチ製造	
同上	シンタイ公司	同	一五0,000弗	一九〇七	長春豆粕	
英・支	カイラン鑛業會社	開平、蘭州、鑛業部	二,000,000磅	一九一二	石炭	
英・佛・支	マチユン公司	北京シンヂゲート	1,000,000弗	一九一四	河南省鑛山	

佛・支	中法實業銀行	佛國資本家支那政府	四五,000,000法	一九一三	銀行業	
日・支	日支工業會社	日・支資本家	五,000,000円	一九一二	工業	
同上	シヤウシン製粉會社	日・支資本家	二五0,000弗	一九一五	天目製粉	
同上	鴨綠江製材會社	大倉組、鴨綠江木材會社	五00,000円	一九一五	製材業	
同上	スンチ公司	日支資本家	二,000,000弗	一九一四	上海鑛業會社	
同上	大連爲替信託會社	同	1,000,000円	一九一三		
同上	奉天信託會社	同	五0,000弗	一九一六		
同上	開原信託爲替會社	同	五00,000円	一、九六		
同上	長春同	同	五00,000円	一九一六		
同上	支那電氣製造會社	同	1,000,000円	一九一七	電氣業	
同上	上海電氣公司	同	100,000円	一九一七	同	
同上	安川鐵工場	安川及支那資本家	二,五00,000円	一九一六	鐵工業	
同上	クンシン鐵工場	日支資本家	200,000円	一九一七	同	
同上	支日爲替銀行	同	五,000,000円	一九一六	銀行業	
同上	青島鐵道會社	同	1,000,000円	一九一八	鐵道業	
支・佛	支那興業銀行	支佛合辨	七五,000,000法	一九一三	銀行業	
支・日	大連信託會社	支日合辨	—	一九一五		未登記
同上	チユンエンシンエー公司	同	五,000,000円	一九一四	北京	

支日	鴨綠江木材會社	日支合辨	一、〇〇〇、〇〇〇弗	一九一五	長春	
同	奉天信託會社	同	—	一九一六	奉天	未登記
同	支那爲替銀行	同	一〇、〇〇〇、〇〇〇円	一九一六	北京	
支・日・米	支那電氣會社	同	一、〇〇〇、〇〇〇弗	一九一七	上海	
支露	露亞銀行	同	三五、〇〇〇、〇〇〇留	—	北京	

福建省の木材

（遠東時報二月號）

千九百十八年支那貿易報告中、福州の木材貿易に關し興味ある記事あり。之に依れば福州の木材輸出は逐年活況を呈し來りたる結果、同年度中福州に新に二箇の製材所增設せられたり。而して同年度木材輸出額は一、一五四、一八五海關兩なりき。

福州の木材貿易は既に其繁榮期を通過せりと云ふものあり。此言や稍々苛酷なりと雖。事實斫伐材は今後五年を出でずして盡くるに至る可く、今日に於てすら福州への輸送費を加算しては到底收支相償はざる狀況なれば、地方產木材を捨て、外國輸入材を使用する方經濟なる可してう變調時代の來るも遠きに非ざる可し。植林の再造は最早一名義に過ぎずして濫伐濫斫の結果舊來の木材は殆んど形態を殘さゞるの慘狀を呈し、偶々密林ありても水運を利用し得さる地域なれば之が搬出不可能と云ふべく、其經濟的價値あるなし。今若し五十年を期して植林するに於ては、福州をして昔日の繁榮を再びすること蓋し困難ならずとするも、政府自ら進んで植林思想の啓發に努めて以て植林するに非ざれば、急速利益を回收すること能はざるを以て個人企業は到底望む可らず。

上海及揚子江流域各港に於ては外國輸入材品薄の爲め、軟質の棒材及板材の取引頗る活潑なるものあり。勢ひ福州より前記各港行の戎克の輻輳前年に比し著く增加せり。福州材輸出活況と共に新に「支那輸出入木材會社」の創立を見、其馬港に近き「パゴダ投錨所」に建設されたる製材場より積出さるゝ軟質の棒材及板材は福州木材總輸出額の大半を占め居れり。同會社代表社員の作製せる報告に依りて見るに、從來屢々繰返さるゝ質疑卽ち木材の現在するものありや、又森林は悉く濫伐し盡されたるやの問題に答ふる所あり。目下同會社に依り閩河に隣接する地方に盛んに縱材の植林事業行はれ、其栽植間隔僅か四呎なれば今直ちに福州棒材の缺乏てう危惧なかるべしと。然れど松樹其他有用樹木の大なるものに關しては問題自ら異なる所にして、從來濫伐に次ぐに濫伐の狀態にして何等其後に殖林の計畫なければ、此等樹木の現存地方も漸次閩江より遠ざかり行き、其搬出亦困難となる可し。

英支商務局の活動

（新嘉坡フリー、プレッス三月十日）

英支商務局は英國產業聯合會に併合されたるが、是れ卽ち製造者と取引商との間の實際的協力に向ひて一步を進めたるものなり。英國產業聯合會をして英、支商務局の方針に從はしむるは、廣東保險聯盟協會の總支配人シー、モンテーグ、イー

ド氏の責任とする處なり該局は英國製造業者と支那に於ける販賣業者乃至五千萬支那人の消費者との間の肝要なる連鎖たらんとして組織されたるものなり。南支市場に於ける英國の商業にして同方面に於ける日本の有力なる商業宣傳の爲めに阻害さるゝ場合には、或形式の對抗運動を爲すの必要ありしは既に認知さるゝ處なるを以て、該局は廣東・廣西・雲南・貴州の四省に其支部を設置し、現在に於ては約百種の支那語新聞を操縱するに至れり。又同時に何等手數料等を徵收する事なく、英本國の製造業者と支那に於ける英國商人との間に立ちて仲介の勞をも執るものなり。因に該局はヘンリー、ボプテン氏の統轄の下に倫敦に於ける活動の新方針を策立す可しと

緬甸に於ける金相場の昂騰と其影響

（ゼ、シンガポール、フリープレッス、一月二十三日）

現今緬甸に於ては金塊相場奔騰しつゝあるため、海峽植民地よりして印度及び緬甸への大規模の金貨密輸入を誘致せり。夫れが爲め蘭貢モグール街に於けるチッチー家所藏の銀貨は著減を見たり。是れ謂ふ迄もなく磅貨購入の爲め銀貨を夥しく費消せるに因る。而して磅貨の印度相場は十二乃至四「ルーピー」なるが、之を緬甸に移入する時は莫大の利潤を見る。先づ英金貨移入の方法としては之を溶解して純金となし密輸入を行ひ、一磅に付十八乃至二十「ルーピー」の割合にて賣買せらる。法律の規定に隨へば一人の金貨携帶額は二十五磅に限定せらるゝを以て、其以上の額は即ち密輸入に據らざる可らず。之が密輸入は多くの場合稅關に於て發見せらるべしと雖、巧なる方法に據りて成功せる場合も亦尠しとせず。斯る英金貨の緬甸輸入制限の結果、意外の方面に惡影響を波及せり。現時印度人にして米國に出稼する者の數夥しく、彼等が契約期限を終りて全賃金の支給を受くるや、之を米貨よりも低廉なる英貨に交換し、斯くて莫大なる利潤を得たるを喜悅しつゝ、金貨輸入制限あるを知らずして之を緬甸に携帶し來る。然るに憫む可し稅關に於て多年の辛勞に因りて得たる一磅の金貨は僅々八、九「ルーピー」の割合にて銀貨に換算せらる。此等出稼人の齎す金額は一人平均三百磅なるを以て其換算比率に依る損失は實に莫大なるを免れず。

海峽植民地に於ては英金貨低廉なるを以て、之を鑄潰す目的にて印度に密輸入し、次で緬甸に携入せらる。然れ共モグール街に於ける銀貨の拂底は緬甸の貿易に及ぼす影響多大なるものあるを以て、依然金貨の密輸入持續するに於ては金融の衝に當るチッチー一家は債務者に對し其義務の履行を强要するに至る可く、然る時は其影響する處甚大なるものある可し。

暹羅の工業

（ポート、オブ、トレード一月一日）

暹羅の工業は未だ頗る幼稚なり。目下盤谷に在る工業會社は總數七にして今其の種類及數を示せば。

セメント會社　一（資本金百五十萬銖）
製革會社　一
煙草會社　一
製氷及炭酸水會社　三
石鹼會社　一

右の内製革會社、セメント會社及一製氷會社は暹羅有限責

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任會社なれど、其經營及資本は主として外國人に依るものとす。されば暹羅皇帝は右セメント會社資本の半分を出資せらる。一炭酸水會社は英領新嘉坡に於ける會社（資本金四萬二千磅）の工場とす。今一つの製炭酸水會社及石鹼會社は共に暹羅人の所有なれとも最近英國人の所有に歸せり。煙草會社は希臘人の所有にして前記諸會社の外三箇の支那人經營製革工場あり。製材工業製材業は盤谷のみにして一英支合同工場を除きて製材に從事する商店五あり。內四は英國人、一は丁抹人經營のものにして、英國人商店は國內到る處に出張所を有して伐材に從事し、人夫は主として緬甸人とす。製材はチーク材にして北方山岳地域の森林より河川に依り流下せらるゝものなり。錫鑛、錫の採掘は暹羅馬來半島の中央地域に限り、卽ちランサン、レノン及ブケット州は其主なる產地なれど、其他半島の暹羅領地にも廣く擴在す。目下採掘に從事する會社は濠洲人の經營に屬す。ウォルフラム鑛の採掘は半島の兩面卽ちナカンスリタマット州、シンゴラ州及バケット州に行はるれど、主として東海岸にして最近の總產出鑛は軍事用として聯合國に供給せられたり。然れど其產額未だ著しからず。金剛石「ルビー」及「サファイヤ」はチャンタブーン州にありて主として緬甸人之を採掘す。されど產額の大部分は實際目下佛領タルバイリンより採掘せられ、盤谷を經由して輸出せらる。精米は主として外國の需要米に供せらるゝもの又は地方消費の精米にも利用せられ、而して殆んど盤谷に限らるれども其他サンゴラ、ラトグリ、バトリウ及其他暹羅の內部各地に盛んなり。精米場は總て支那人の所有に係り、又暹羅人の有するもの少數あり。最近支那人との競爭にて歐洲人商店の精米に從事したるものありしが成績面白からず。結局支那人に賣渡せり。目下瑞西人經營のもの一あり。綢染（綢布業）綢布は盤谷に於て支那人の從事する所にして色に黑と赤とあり、其染料は唯植物のみとす。綢は大部分支那より輸入せられ、染上の後支那・新嘉坡其他各地に再輸出せらる。蓋し染料は容易に腐敗し易き植物の果實なるを以て他國に輸出し得ざればなり。煙草、煙草の一般的に消費せらるゝものはチャンダブーン州に栽培せられ、地方的消費に供せらるゝものは北部各州より產出す。チンダブーン煙草は同名の州にて乾燥したる後、盤谷の土人煙草工場に送り、此處にて「バナナ」檳榔樹其他の葉にて包裝せらる。目下同煙草の新嘉坡輸出漸次增加しつゝあり。

結論、概言せば暹羅は國內工業の爲め原料を產出するものと云ふべし。然れども輸出國の要素を有し各國より所要精製品を全部輸入す。

千九百十八年度に於ける盤谷貿易概況

（同前　一月一日）

盤谷は暹羅唯一の重要貿易港にして海外貿易は悉く同港を經由するを以て盤谷貿易は勢暹羅國の貿易と見ることを得且盤谷の輸出入貨物は淺吃水船舶を除くの外總て一旦英領香港に於て積換へられ淺吃水の船舶に依り盤谷に搬出入せらるゝを以て盤谷貿易統計に於て對英國貿易價格の大部分を占む。

千九百十八年度（千九百十八年四月一日より十九年三月三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一日に至る）盤谷の貿易總額は二〇、三九四、一〇三磅にして今之を輸出輸入に分てば左の如し。

輸出價格　二二、四六三、九五六磅
輸入價格　七、九三〇、一四七磅

今最近二箇年間に於ける主なる貿易國上の貿易價格を示せば左の如し。(單位磅)

國名	千九百十七年度	千九百十八年度
日本	四二、〇五〇	一、〇五四、一八五
蘭領東印度	二七三、九三五	一、八七七、五〇八
香港	三、〇七八、六三六	三、四五〇、六七〇
新嘉坡	五、一二九、三八三	四、九〇九、一二四
英國(直接)	三六七、三〇九	一〇六、五四三

更に千九百十八年度主要輸出入品に就き見るに

▲輸出

品名	數量	價格
米	八四五、三二三噸	一〇、一六一、二六〇磅
チーク材	三六、九三〇	四三〇、五九〇
獸皮	二、三四六	一三〇、二六五
絹製品	六九、三九四ロール	一二三、五四七
胡椒	一、四〇六噸	一〇八、九八三

▲輸入

品名	數量	價格
綿製品	三、九二五噸	一、九二四、〇一四磅
其他の織物(麻、絹、羊毛)	一四七	三四三、二五〇
金屬製品	六、三三五	四〇五、一三一
紡絲	一、二一八	三三六、六一五
砂糖	二三、一一〇	三一六、四〇九
ズック袋	一八、八三九個	三九七、四四四
金箔	四八、六五〇テール	三三九、一九二
ケロシン油	四、一七四、一二〇ガロン	二五二、九六八

印度國民議會決算事情

（新嘉坡フリー、プレッス）

アムリッツアーに於て一月二日開會せる印度國民議會の決議事項中重大なるもの二三を列擧すれば下の如し。

ジャリアンワラッバーグに於けるダイヤー將軍印度民及歐人の無辜の老幼男女に對する虐殺行爲に對し、印度政府は殆んど之を看過せんとするは不當にして、當さに同將軍を起訴すべしと爲し(一)五月の騷亂に於て殺戮或は負傷せる印度人及び英國人に對し印度國民議會は深甚なる同情と哀悼の意を表す(二)虐殺の行はれたる地を買收して之に記念碑を建立し以て無辜の血を流せる英靈を慰む可し(三)曩きに不法なる手段に依り通過したる「ラムラット」法令の存する限り、印度に於て眞の平和を得られざるを以て同法令の廢棄を英帝國皇帝及び印度事務大臣に申請す可し(四)印度政廳が强ひて賠償法案を通過せしめたる行爲に對して極力反對す(五)印度總督チエホスフォーマ公は全然印度民族の信望を失墜せるを以て其解職を皇帝に請願するものなり(六)本議會に於ても亦昨年

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宣言せる如く再び印度は既に責任政治に必適せるを宣言し憲法改革に關する疑きの決議を固執し既定の改革法令不完全なるを力説し速に民族自決主議に依り印度に自治を敷かんことを主張す(七)本議會は即時印度新聞條例の廢棄を要望す。

印度市場に於ける日本商品の勢力

（シンガポール、フリー、プレッス、一月二十日）

印度高等商務派遣官トーマス、エーンカン氏の報告に依れば、戰亂終結當時に於ける印度貿易の情勢を見るに、中歐列强の對印度貿易は全く杜絶し、之に代りて日本及び米國の輸入品激增せり。

同氏は戰前に於ける獨・墺・對印度貿易を論じて曰く、英國の製造業者乃至輸出商は、獨逸商が飽迄も勞苦に耐ゆるの忍苦的美點を除外にして、何等獨逸に學ぶべき點なし、然りと雖とも英國製造業者又は輸出商は雜貨類を以て印度方面の市場に利益を收めんと欲せば、品質及び耐久性よりも寧ろ廉價と外觀とを重視せざる可らず。

戰時中に於て、曾て中央列强の獨占市場たりし鐵及び鋼機械・鐵器類竝に器具は米國の爲に、電氣附屬品・銅紙類・硝子器・織物・麥酒及び衣裝は日本の爲に奪取せらるゝ處となり、殊に安價にて而かも體裁良き日本商品は好評嘖々たるものありて、此方面の市場は全然日本の壟斷する處となりたり。如何なる歐洲品と雖も、品質如何を顧慮せずして安價を唯一の目的とせる日本製品に對抗し得るものあるなし。而して今や印度に於ける、米國の競爭が停止するに至れるは何等疑問とするの餘地なし。日本は今や印度輸出入貿易に於て第二位を占む。戰前同國の製品は英國製品に對し直接競爭を行はざりしと雖も、戰時中に偶〻貿易的發展の機會を捉へ以て產業史上類例なき發展を爲せり、日本は印度市場に於て頗る廣大なる販路を開拓せるが、就中綿織糸・織物の如き英國重要商品に對して將來日本製品の激烈に永續すべしと思惟せらる。顧ふに英國對印度貿易は戰前に於ける位置を挽回せんとして今や再生の產苦に呻吟しつゝあり。獨逸は此處若干年の間は到底對印貿易の競爭者たるを豫期し難しと雖も、唯〻玆に注意す可きは東洋に於ける對敵感情は歐洲聯合國民に於ける如く爾かく熾烈ならざることなり。

佛領印度支那の米の近況及輸出稅

最近の法令に依り各種米の輸出稅は前稅率より二十割を增加せり。本改正率に依れば白米は百「キログラム」に付印度支那「ピヤストル」の十九仙乃至五十七仙又は米突噸に付五弗七十仙となり、目下の爲替相場に依れば一弗―十九法なるを以て米突噸に付き佛貨五十七參となる。

增加輸出稅の六分の一は印度支那各州の地方豫算に流用するものにして、右の輸出稅增額に依り得たる收入の大部分の、費途は明確ならざるも、恐らく目下の爲替狀態の爲め惡影響を蒙る他の輸出工業の補助として利用せらるべし。

平時の狀態に於ても亦時に印度支那弗又は「ピヤストル」の爲替換算率の不斷に高騰し以て一般輸出を阻止する際に於ては、右稅は明かに佛領印度支那の米輸出貿易をして他の東洋

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の米產國との競爭を阻止するものなり。然れど緬甸の輸出は今尙は制限を受るに反し、暹羅の收穫は極めて有望ならざるを以て、東洋に於ける各國の需要にして今日の如く依然供給に超え又價格にして目下の高率を持するに於ては、右の稅は印度支那の金庫に一良財源を與ふるものにして、其目的は右稅を支拂ふ輸出業者に非ずして外國の購入者に對するものなり。

然れど現在の價格は永久に持續するや否やは疑問にして、一方將來の需要總額は特に日本よりの需要は不確實なるを以て、新米にして交趾支那の內部より盛んに市場に現れたる後に於て、米作者が右稅の撤廢を要求することありと雖驚くべきものに非る可し。印度支那政廳は植民地の財政狀態の許す舊稅率に復皈する旨既に公示せるを以て、斯稅撤廢は既に政府の豫測する所なるべし。

一九一九――二〇年の米作豫想は良好にして、最少額に見積る政府の豫想統計に依れば、交趾支那よりの輸出高は百二十萬噸、東京より二十萬噸なるべしと、又交趾支那民政長官は曰く輸出高は前記數字以上に達すべく、交趾支那及東浦寨よりは百六十萬噸以上、東京よりは約三十萬噸を輸出し得べしと、更に詳細なる統計は未だ之を得る能はざるも、新收穫は多少不良の地方ありと雖、佛領印度支那全體を通して極めて有望なり。印度支那米輸出禁止は目下未だ實施されざるも之が禁止法令は近く施行せらるゝに至るべし。

目下西貢に於ける米市況は不活潑にして、前年度收穫米は全部契約濟なれど、新米に對する取引は將來の需要高及價格不確定なるを以て殆んど稱すべきものなし。收穫は斯くの如く遲きを以て、恐らく三月前に新米の輸出せらるゝもの少かるべく、又價格は當分依然として高率を告ぐ可しと。

馬來半島に於ける支那人勞働者

（フリー、プレッス――三月四日）

二週間前本紙上に於て海峽弗爲替相場の高騰問題を論議せるが、本日入手せる報告に依れば目下馬來半島全土にある支那人數約百萬に達し、印度人は約二十五萬人なりと。而して不平苦情の絕えざるは主として印度及支那への金額輸送に關する事項にして、從來印度に於ける「ルピー」及支那に於ける弗を海峽弗相場に換算することと之れが原因たり。而して之が救濟改正法の講せられさる以上は、右換算率に對する紛擾は止むことなかるべし。

目下馬來半島在住支那人は前記の如く多數に昇れるにも拘らず、農業勞働者は大缺乏を來し居れり。畢竟前記爲替相場の整理方法にして移民の利益の爲めに講せられさる間は依然として適當の數の勞働者を得ること困難なるべし。

マラッカ栽培者協會の會合席上、勞働監督官は「タミル」人勞働者誘致問題に就いての質問に答へて曰く「政府とても常に斯種の問題の講究を忽緒にするものに非ず。二日前政廳より支那人移民問題精査委員會開催に就き出席すべき旨の命令を受けたるが、支那人移民精查委員會の問題は印度人移民精查委員會と同樣極めて困難なるものなり」と。

英領馬來に於けるマッチ製造業と官憲の援助

（新嘉坡、フリー、プレッス）

馬來の各州は從來必需品なるマッチの全部を主として日本及瑞典に仰ぎ、戰時中は特に船腹の關係より之に對し非常なる高價を支拂ふを餘儀なくされたり。最近マッチ製造業に就て深甚なる經驗を有する一技師馬來を訪問し、地方の森林に於てマッチ製造に適せる木材の有無に付き仔細に調査を爲したり。其報告は大いに有望なるものなりしより地方資本家の「シンヂケート」は組織せられ、今や著々として之が準備を急ぎつゝあり、本業は其性質上創立當時に於ては到底前記諸國に對抗すること覺束なきより、本業に興味を有する有志は聯合馬來州政府に數年間の援助を仰ぎ最近聯合會議に於ては本業に對し援助を與ふるに決し、即ち創立後五箇年間の輸入マッチに對し輸入税を課することに議決されたり。

爪哇に於ける官營規那栽培

（バタビヤ、ニユーズ、ブラット＝三日二日）

千九百十九年十月乃至十二月の三箇月間に於ける官營規那栽培所總產高は一、〇四六、一二〇基瓦にして、內十二月三十一日バンドン規尼涅製造所に供給せるもの三六九、三八五基瓦に達せり。而して千九百十九年に於て供給せる種子及規那樹は純收入八五、〇二六、九三を得たり。今右種子及規那樹を種別分けにして其販賣額に示せば左の如し。（單位盾）

九五七〇號	レケリナ種子	七一、七七五・六〇
一八七號	雜種子	九三五・〇〇
四九八八號	スシルブラ種子	四、九八八・〇〇
	規那樹	七、三二八・三三
	計	八五、〇二六・九三

スマラン港改修計畫

（ポート、オブ、トレード、ジャナー）

スマラン港々務局は目下同港改修の計畫中なるが、由來同港は西方季節風の烈しき十月より翌年四月に至る候に於て、港內水淺く又大波高濤を阻止するものなきを以て荷役極めて困難なるのみならず、船舶は屢々荷役を中止して他港に避難し、他港に於て荷物を陸揚げせざるべからざるの不便ありて、同港改築は久しく其必要を認められたる所なり。

港務局の計畫に依れば一大防波堤を設け、之に依りて三十呎以下の吃水を有する船舶の入港し、多少風烈しき日に於ても艀舟に依り容易に荷役を了せしめんとするものにて之に要する經費百萬磅なりと。右防波堤の築造の竣成するに於ては各種港税の增徵を來すは勿論なるも、船舶交通に異常の便益を與ふべし。

禁酒法令施行と比島歲入減少豫想

（マニラ、タイムス―二月二十四日）

比島收稅局長トリニダット氏は過般開催の禁酒法令調查委員會々議に於て比島釀造業に關する報告を爲し、若し禁酒法令にして比島に施行せらるゝ曉は二千六百四十六萬九千三百

三十九「ペソ」の歳入減少を來すべしと聲明せり。

ドリニダット氏の意見は禁酒法令實施如何の問題は全然之を比島立法議會に委託せんことを合衆國に要求し、以て比島自治の確立を期せざる可らず。若し比島政府にして酒精工業より收得する一箇年約六百萬「ペソ」の釀造税を全然失ふに於ては、更に右の缺損を補塡せん爲め何等か他の歳入方法を講究せざるべからず。而して之が實行を見るに至る迄立法委員會は長日月を要す可しと云ふにあり。

目下比島にある釀造場は八十一箇所にして建築中のもの一あり。今各州別に之を示せば左の如し。

カガヤン	四	パムパンガ	六
イロコスミュル	一	オクンテオタルネクロ	一
パンカシノン	一三	サマル	二
ブラカン	六	パマンガス	一
ラグナ	一三	アンボスカマリン	四
タヤバス	一〇	マニラ	一七
アルペイ	三		

比島に於ける酒精年產額は二四、〇四一、〇八一リットルにして其價格九百八十六萬九千八百七十三ペソ八十五仙なり而して。

土地及建物評定價格	二、九七七、〇〇〇ペソ
釀造機械及附屬器具見積額	五、三九三、〇〇〇
使用原料費	一、八六一、二一九・五六
原料生產に要する土地評定價額	八四四、六八二・〇九
千九百十八年釀造税	五、一〇五、二八〇・四九
同年釀造免許料	四一八、二八三・二六
總計	二六、四九六、三三九・二五

比島酒精產額の中八割三分卽ち二二、二五八、二〇五リットルは國內消費、一分卽ち二四、〇四二リットルは之を輸出し、九分卽ち二一六、三七〇リットルは合衆國軍隊に販賣の分、六分卽ち一、四四二、四五六リットルは工業用變性酒精となるものなり。

前記委員會提出の報告に依れば原料生產に使用せらるゝ七百三十箇所の土地卽ち九、〇二六ヘクタールは其價格七九〇、五六二、ペソ〇九にして使用原料左の如し。

椰子	五、二八〇、七九六リットル	一五八、四二三ペソ八八
ニッパ	六八、六七〇、三七八	一、三七三、四〇七 五六
糖蜜	七、五〇六、三一一	三一九、〇一八 二二
砂糖	九五、〇〇八	九、五〇〇 八〇
米	八、八四二	七〇八 二二
小麥	二、五七四	一六〇 八八

科學局々長代理メリル博士も同樣の報告を提出し目下比島に使用せらるゝ主要原料は卽ち「テユバ」又は椰子ニッパ・カオン・砂糖・椰子及ブリキの如きパルムの汁液と糖蜜との二種なることを明記せり。更に曰く今日主として酒精製造に使用さるゝ「パルム汁液」及糖蜜は漸次著しく飲料に供されつゝあるも、薪炭及工業用として工業用酒精の製造に全然消費することを得、且近き將來に於て飲料用酒精製造の禁止せらるゝと共に工業用酒精製造は酒精の主要なる利用方法たるに至る可し。

尙ほ全然不用物として顧みられざりし糖蜜を原料とする酒精製造業は、比島に於て近年著しく隆盛の域に達せり。斯る不用物より酒精を製造することは明かに政府歳入の一良財源なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島に於ける家屋賃貸料管理案

（香港デー、リー、プレッス三月十一日）

比律賓總督の推薦に依り上院議員ゲヴアラ氏は比島上院に家屋賃貸價格決定に關する議案を提出せり。「即ち比島の市又は町に於て賃貸せんが爲め廣告されたる建築物は、土地の有無に拘らず其最大賃貸料として該不動產の評價額の一割二歩と定め、而して家屋建築の目的たる土地を賃貸する場合に於ては一割を越ゆべからずとするものにして、地方に於ける治安判事及第一審裁判所に對し規定の範圍內に於て賃貸料を決定すべく賃貸料決定に關して爲さるゝ抗辨を檢察する權利を付與し、治安判事の判決は第一審裁判所に上告し、其判決に不滿なるものは更に大審院に上告するを得べし。

本議案の重要なる點は不動產の占有者に對し賃貸當日より一箇年間立退き請求を爲す事を禁ずるにあり。

本規定は之によりて家賃投機を防止せんが爲に特に定められたるものなり。

本法違反者に對しては二百「ペソ」の罰金若くは六箇月を越えざる禁錮若くは兩者を同時に適用し、而して該不動產所有者と賃借人との間に於ける本議案通過前に係る賃貸契約は、該契約を更新するに非ざれば本法を適用されずとせり。

ボルドナー氏の比律賓教育制度に對する賞讃

（マニラタイムス、二月十六日）

十一箇月の賜暇を得て合衆國に來遊し居りし、ハーヴエーエー、ボルドナー氏は比律賓教務局に奉職することを合衆國教師に勸奬するの任務を果したる後、本日再び市立學校の學事監督官として歸任することゝなり、矍鑠たる健康と潑溂たる意氣とに輝きつゝ、火曜日ヴエネズエラに來著したり。

彼は比律賓に於て施行せられ居る教育制度が今日迄に實現されたる實際的功程の點に於ては、母國に來りて目擊せらるゝ最善の教育制度と優に雁行し得るものなる事を切言して曰く「比律賓に於ける職業的及體育的教育の著大なる進步は合衆國の比肩追隨を容さず。而かも比律賓人教師の職務に忠實なる亞米利加教師に比較するも敢て遜色を見ず」と。

ボルドナーは比律賓各都市の教育制度改善に資せんが爲に合衆國滯留中教育行政に關して緻密なる研究を爲せり。乍併彼は比律賓の現行教育制度は極めて善美なるものにして重要なる改革を施すの餘地なしと斷言せり。

農業植民地の樹立

（マニラ、タイムス、二月十六日）

パラワンの南端に位して人口極めて稀薄なる地方も、該縣政廳の有司者及び勞働局の移民計畫の進捗に因り日ならずして他縣の住民に依りて開發定住せらるゝに至るべし。勞働局は二百家族を該地方に移住せしめ、縣政府と協戮して一の農業本位の植民地を建設せんと企圖しつゝあり。

パラワン縣知事サンドヴアルは今朝縣會計官縣技師同伴、勞働局長アギラーと會見の上、パラワン縣は農業的植民地の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

樹立を計畫して移住者の定著の爲には充分なる援助を與ふべく決定したること、及び耕作用家畜等を提供して移住民の使用に委するのみならず、住民に對して資金を融通するの意嚮なることを告げたり。然るに局長は人口稠密なる地方より二百家族を移住せしめん事及び移住者の郷地より農業植民地に至る迄の旅費を支給すべく誓約したり。

銀行資本の激增

（マニラ、タイムス、二月二十四日）

這般商務殖産局に依りて發表せられたる數字は、比律賓諸銀行に依りて經營せらるゝ事業が最近如何に駸々たる進歩を告げたるかを證明して餘りあるべし。即ち該數字の示す所に依れば一九一三年より一九一九年に至る僅々六年間の短歳月に於て「二、八九三、九三八ペソ」(一ペソは吾が一圓十錢内外)より一躍して「三〇一、二九五、二三一ペソ」の巨額に達したり。

吾人は此の如き驚異すべき現象を目するに、世界大戰に際して各種の事業が相繼いで勃興したると、比律賓に於ける各般の産業が一般的覺醒を來したるとに基因するものと斷言するに憚らず。商務局の數字に依れば比律賓の諸銀行に依りて運用せらるゝ資本總高は一九一三年に於ては「六三、七四五、九二九ペソ」なりしが、翌一九一四年には「六六、六三九、八六七ペソ」に、一九一五年には「七一、五四二、八六九ペソ」に、一九一六年には「一二一、九五四、一五四ペソ」に、一九一七年には「二三九、二四七、七二六ペソ」に一九一八年には「三九九、八〇七、九四二ペソ」に增加したり。

乍併此の遞增の氣運も一九一九年に至りて中折を來して三六七、九三五、〇九八ペソ」に減じたり。是れ主として一九一八年に於ける唐突なる休戰に因由するなり。爾後再び漸增の氣運を辿り、現在年度の終末には各銀行の資本總高は一、九一八年に超過するならんと豫想せらる。

比律賓群島貿易の今昔

（香港デー、リー、プレッス＝三月一日）

比律賓の商業發達の經路は眞に驚くべきものにして、紐育一銀行の調査に依れば、併合前十箇年間の對世界貿易高の平均年額は三千五百萬弗にして、一九一八年に於ては二三四、〇〇〇、〇〇〇弗なり、即ち併合前年に較ぶれば七倍の增加なり、比島の輸出高は併合前に於ては一人割二弗五十仙なりしが今日に於ては十五弗となれり。

亞米利加の對比島貿易は併合前に於ては平均年額四百萬弗なりしが、一九一六年(歴年度)に於ては一三九、〇〇〇、〇〇〇弗即ち一八九九年(併合の年)前に於ける平均年額の三十五倍なり。

比島の貿易額は對米貿易と共に其の輸出入に於て著しき發達を遂げ、併合前に於る輸出平均年額は二〇、〇〇〇、〇〇〇なりしに一九一八年に於ては一二六、〇〇〇、〇〇〇弗にして、輸入に於ては一六、〇〇〇、〇〇〇弗なりしもの一九一八年に於て一〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗に達せり。而して比島の輸出品は殆ど全部天産物にして製造品として輸出さるゝもの、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

如きは甚だ稀なり。馬尼刺大麻、椰子油、コプラ（椰子油の原料）砂糖、煙草、葉卷煙草等は主要なる輸出品にして益々發達の見込を有し、一八九九年に於て一五、〇〇〇、〇〇〇弗なりしも、一九一八年に於ては、一三六、〇〇〇、〇〇〇弗の輸出を見たり。輸入品は全部製造品にして千九百年に於て二五、〇〇〇、〇〇〇弗なりしもの戰前即ち一九一三年に於て五六、〇〇〇、〇〇〇弗に增加し。一九一八年に於ては實に一〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗に達するに至れり。

比島より亞米利加に輸入さるゝ額も異常の增加を示し、即ち馬尼刺麻の如き亞米利加に輸入さるゝもの一九一四年（會計年度）に於て一〇、〇〇〇、〇〇〇弗弱なりしも、一九一八年に於て三〇、〇〇〇、〇〇〇弗に、葉卷煙草は一、〇〇〇、〇〇〇弗の四、〇〇〇、〇〇〇弗に、コプラ一、五〇〇、〇〇〇弗の一、九五〇、〇〇〇弗に、椰子油は實に一、七六六、〇〇〇弗なりしも一六、二二九、〇〇〇弗に激增せり。

比島群島に投資せられたる米國資本は種々に評價され、七五、〇〇〇、〇〇〇乃至一〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗なりと云ふ。

臺灣に於ける支那人の上陸と其歸還

＝大正八年中、勞働者以外の＝

（外調週報）

大正八年中勞働者以外支那人上陸者調

渡臺の事由	廣東 男	廣東 女	福州 男	福州 女	漳州 男	漳州 女	泉州 男	泉州 女	其他 男	其他 女	計 男	計 女	合計
	原籍及男女別												
視察	一	―	一八	―	―	―	二	―	一	―	二一	―	二一
商用	五四〇	三二	四〇五	二六	三〇	三	三五〇	二五	一四九	―	一、四七四	八六	一、五六〇
修學	二	―	二〇	一	一〇	―	三	―	五	―	六七	一	六八
布教	―	―	二	―	―	―	―	―	―	―	二	―	二
採親	―	―	二	二	―	―	二	五	―	―	四	七	一一
訪問	一	四	八	三	―	―	一五	二五	―	二	二三	三一	五四

主人隨行	二	四	一八	四七	―	―	一六	一四	七	五	四三	七〇	一一三
金銀細工	―	―	二	―	―	―	―	―	―	―	二	―	二
機關手	二	―	―	―	―	―	―	―	―	―	二	―	二
遊藝	七	―	―	―	六	―	一	―	七七	三	九一	三	一〇四
芝居興行	四七	―	―	―	―	―	―	―	―	―	四七	―	四七
本島經由	一三	二	一四	六	―	―	五五	一五	二	―	八三	二三	一〇六
被雇	二〇	―	一六	二	―	―	六	二	六	―	四八	四	五二
計	六四三	四二	五〇五	一〇六	四六	五	四七五	六四	二四七	一九	一、九一六	二三四	二、一五〇

大正八年中勞働者以外支那人歸還者調

行先	廣東	福州
廣東 男	二五四	—
廣東 女	一五	—
福州 男	—	三二八
福州 女	—	四五
漳州 男	—	二三
漳州 女	—	—
泉州 男	—	—
泉州 女	—	—
其他 男	—	—
其他 女	—	—
計 男	二五四	三五一
計 女	一五	四五
合計	二六九	三九六

漳州	泉州	其他	計
—	—	五	二五九
—	—	—	一五
—	—	四	三三二
—	—	—	四五
二〇	—	—	二三
—	—	—	—
—	三四八	八	三五六
—	五一	—	五一
—	—	二六五	二六五
—	—	二四	二四
二〇	三四八	二八二	一・三三五
—	五一	二四	一三五
二〇	三九九	三〇六	一・三七〇

臺灣商況（三月中）

（商工課調）

◉米　月初め株式綿絲の鳴物も一寸鳴りを沈めたるにより氣迷ひ、鈍重の成行を示せし期米も之に連れ不味の足取りを辿り、結局大保合相場を繰返したりしに十五日株式慘落と共に先物亦大崩落を演じたり。白米も下落したるが小賣には直接左したる影響なし。正米影響尠なかりしは畢竟買米思惑の乏しかりしがためにして月末に及び幾分小戻したり。本島へ入荷せる肥前米は六十二圓より中旬六十一圓六十錢、下旬亦四十錢安の六十一圓二十錢となり、此間豐前米は七十錢安を見せたり。

本島米は内地定期安の影響を受けざりしも市況は引き續き粳米解禁の噂にて人氣區々に硬化し數月來曾て見ざる相場を示せり。左に北中部米の相場を示すべし。（一石建）

	北部玄米	同 白米	中部玄米
三日	二八・二七円	三〇・五〇円	二八・五〇円
四日	二八・五〇	三〇・八二	二八・七三
七日	二八・九六	三一・二八	二九・一八
十五日	二九・六四	三二・二〇	二九・八七
二十三日	三〇・五五	三四・五〇	三〇・七八
二十九日	三〇・一〇	三三・〇〇	三〇・三五

丸糯米月初丸糯三十九圓九十錢、長糯三十圓七十八錢なりしもの月末前者四十三圓三十錢、後者三十二圓八十錢と上昇せり。

◉砂糖　貿易入超、正貨減少、兌換劵縮少、株式界の崩落は移して期米安、棉絲安、製粉安、砂糖安、澱粉安を招致し金融界依然として逼迫、金融業者極度の警戒益々嚴となり堅實なる商取引上に大なる惡影響を及ぼし、前月來休戰狀態を持續せる糖界も其後益々形勢惡化寸進尺退步調を辿り、上旬分蜜糖東京市場三四月限り保税三十八圓搦みに依り漸落、月末最終三十六圓五十錢を報せり。

精糖は實需頗る不活潑なると白双安の爲め、相場兎角沈靜勝なるも會社側依然强硬態度を持し此邊安値は賣應せず。一方糖商側に於ても相當高値の物を抱擁せるを以て分蜜糖安に不拘相場堅實現物標準物四十八圓五十錢所を持合居れり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島内市況亦た同歩調を辿り分蜜糖各驛渡四、五月限り四十六圓搦みを持續、精糖基隆渡四十九圓五十錢所を支持され居れり。

●麥粉　前月來兵庫市場に於ける仕手關係により前途煎れ高を豫想され、上旬六圓三十七、八錢の高値に昂騰頗る强硬に持久せられしも、其後金融界の逼迫と共に米、株等大慘落を告げたる爲め粉界亦た之れに惡化され、東京市場最先六圓臺割れを演出し續いて名古屋關門各市場共に崩落下溢りとなり、仕手關係に支持し居たる兵神市場も之れに連れ六圓十錢と挫折茲許人氣全く腐り切れの相場となりヂリ安歩調を示せり。月末最終入電に依る島内市況左の如し。

龍印	基隆沖	六圓七十錢
赤牛印	本船渡	六圓六十錢
福壽草印	同	六圓二十錢
綠ダイヤ	同	六圓十五錢
柳印	同	六圓五錢

●綿布　本島に賣行良かりし夏物綿布は印度南洋方面活躍し來りたる爲め景氣良好なるに不拘品薄甚だしく、入荷は殆んど中心市場にて消化され地方へは間接仕送りあるのみ、生地物品薄殊に甚だしく内地同樣の相場を歩めり。冬物高見越にて南部方面の地方筋買入を開始し來る對岸方面厦門は買氣あり乍ら爲替の關係上注文尠きも爲替の下落と共に實需起るべしと觀せらる。

金融引緊めの影響にて本島人地方仲買商は舊正月より全然取引を改善し貸賣制を廢し六十日乃至九十日の手形支拂に變更したるが爲め、資金の回收割合に迅速にて且昨年に懲り本島人問屋筋の株式手出しを警戒したるがため、思惑熱下降し順調の經過を辿れり。

標準物相場左の如し。

絞ポプリン	(千二百番 毎ヤール)	一・二五円
無地ポプリン	(毎ヤール)	一・二〇
金山寺晒金巾	(六千番 毎反)	二九・三〇
青駱駝晒金巾	(五百番 毎反)	二一・五〇
紺露寺晒金巾	(一疋四十 一ヤール)	二四・五〇
三輪生天笠	(毎反二十 四ヤール)	八・二〇円
菊壽尺一白木綿	(毎反)	八・五〇
百壽尺一白木綿	(同)	四・〇〇
竹壽尺三白木綿		五・六〇

●金物類　歐洲向爲替下落は輸出能力缺亡せると相俟ち、殊に米國鐵道の本月より再び民有に復歸し大修繕を要すべく鐵材使用優先權は他方面の輸出減退を餘儀なからしむる等强氣材料のみなれば、鐵材一齊に上向き前月に比し一割乃至二割を上昇したるも、先安を見越したる素人筋思惑投物市場に現はるゝや今春來上過ぎの反動を招致し十五、六日頃より下落し始め、月末に至るも退勢を支ふるに至らず大凡一圓方の下落を見たり。

金物類は總じて丸鐵の相場に支記さるゝも釘は品ガスレの爲め聊か下溢りの氣味なり。

輕鐵軌道は神戸波止場四月渡し七千八百圓(十二封度一哩)所にて相應需要あるも現品なし、本月の標準物相場次の如し。

	十五日迄	十五日以後
丸鐵四分(一貫)	一・五五円	一・四〇円
同五分(同)	一・五五	一・四〇
同六分(同)	一・五五	一・四〇
釘類二吋(百斤)	三六・五〇	三五・五〇
釘類二吋半(百斤)	三六・〇〇円	三五・〇〇円
平板二十八番(一枚)	三・九五	三・八五
同三十番(同)	三・六五	三・五五
鐵管内徑一吋(長一尺)	〇・五五	〇・五三

鐵管内徑四吋(長一尺)	二・二〇	二・二〇	
針金八番線	二四・〇〇	二五・〇〇	
針金十六番線	三七・五〇	三五・〇〇	

●紙　和紙の暴騰甚だしく眞に天井知らずの商況なり。和紙中にても楮製箋滙最も甚だしく、前月一九(九千六百枚)二百圓見當にて此邊絶頂と思はしめたるもの選擧投票用として二百萬圓内外の新需要ありとのことにて俄然三百圓を呼び、二百五十圓所のものは極上と云ひ難き突飛値段を現出せり。柳製も前月六十圓を唱へしもの一躍九十圓百圓に暴騰し、今や本島市場は却つて大阪市場よりも下鞘にあり。一般に和紙は前月に比し三割方値上げせるか最近絹絲の暴騰に連れ楮、三叉等の耕作よりも寧ろ桑園經營に轉ずるもの多く益々原料拂底を告ぐるに至れり。秋に入らざれば新原料を得べからず、尚當分下落の模樣なし。

新聞用雜物用更紙は輸入なく之亦著るしく騰貴し、前月七圓内外(一連五百板)の所本月末十二圓を報じ追つて一割の値上げを發表すべしと。總體に紙類は先行き那邊迄飛躍するや測り難き商狀にあり。

●肥料　大豆粕市況は中旬迄は人氣幾分不味なりしも格別の事なく推移せるに株式、期米、其他の暴落に連れ産地安と爲替の暴落大連及内地の金融引緊めの影響にて五圓臺より俄然四圓五十錢内外に落ち込み形勢頗る暗慘たり。下旬に及び産地の反撥と期米引返歩調の影響にて幾分引き返したれど、諸種の原因にて人氣再び惡化し弱含み持合の儘越月せり。島内農界手當の濟みたるは阿緱、嘉義兩廳にして前者三萬枚の入札買入あり。目先必需期の接近と共に當然買ひ進み來るべき模樣なり。

過燐酸、硫酸安母尼等も大豆粕の下落に連れ何れも激落し、前者三圓八十錢(二〇％七貫五百入)後者二百七十圓(噸)見當を稱へ居れど目下實需多からず。

●木材　産地荷主筋の强硬態度と貨車繰不圓滑の供給難と建築界の旺盛なるとにより春以來冲天の勢を示せる木材界も、金融警戒貨車繰緩和に加ふるに春暖と共に山元の舊態に復せると相俟ちて、市況は概して鈍重に傾き頭を打ちたるやの觀ありて近年稀に見る大活躍をなせる本品も形勢漸く轉換の機に入れるものゝ如し。本島に於ける相場は未だ内地の影響を受くるに至らざるが前月二十日改正値段發表以來變動なく需要も相應活潑なり、標準物相場左の如し。

杉槓(大ヌキ長二間 巾三寸七分厚六分)一丁	一・三三円	杉板(四分)一本	五・九〇円
杉棰(正一寸八分角)一本	一・六五	杉柱(三寸五分角)一本	五・七五
杉板(六分)一坪	七・八〇	同(四寸角)同	七・五〇

●石炭　香港方面積出益々良好にて沿道炭級のもの前月よりも一圓位の上鞘にて十弗二十仙より五十仙内外にて輸出あり。創設せる臺灣炭業會社の如きも之が試賣をなし、松井商店等も各驛にて沿道炭を漁りつゝあり、爲替の良好と相俟ち今や正に沿道炭給の黄金時代を現出せり。馬尼剌五六千噸香港二萬乃至二萬五千噸の積出あり。

島内は貨車廻り依然不良なる爲め各驛の貯炭夥しきに不拘港頭の貯藏頗る減退せり。例年ならば鐵道部は本月に於て殘分を引契約終了すべきも本年は豫算の關係其他の事情にて殘分を使用しつゝ、取引未濟の儘推移し約十萬噸購入するにも不拘値

段數量共未だ判明せず。製糖會社の大口需要者たる臺灣、鹽水港兩製糖會社は手當ずみなり。

本年一、二月中の本品の仕向先左の如し。

	一月中	二月中
輸出	二四、〇五七噸	三七、五一七
內地移出	四、一〇五	一四、五三九
日本船焚料	一二、二九五	一四、〇〇三
外國船同	四六九	四九三
島內消費	二一、四〇〇	三二、四九〇
計	六二、四〇八	九九、〇四二

◉セメント　淺野セメント打狗工場の本月生產高は二萬七八千樽見當にて外內地移入五六千樽なるが需要に應じ得ず僅かに其半數を滿すの狀態にて市場不相變賣物尠なく、爲めに十三圓五十錢見當にて三圓方上昇し內地相場と二三十錢の開きあるのみとなり尙先高見込なり。

◉ガンニー囊　前月頗る閑散裡に越月せる本品市況は本日に入りてより人氣頓に上昇し買氣を唆りたるため思惑熱盛にて五十八九錢より六十三四錢見當にて取引あり。出來高四五十萬袋を報せり神戶市場は取引頗る活潑にて本島相場より上稍にあり。

◉燐寸　上旬產地市況白揚供給依然不安の爲め昂騰し當地は供給一巡買見送り相場變りなく月琴八十五圓、白龍七十九圓を唱へ中旬に及び原料高に不拘海外引合閑散にて相場變りなく當地も頭打ちにて商內なく月琴八十五圓、白龍一圓落ちの七十八圓見當にて見送り、下旬に至るも海外一勢に引合閑散にて市況著るしく鈍狀を呈し相場保合へり。

◉海產物　舊年內に於て相當取引ありし跡を受け今や市場在荷相當豐富なるも需要捗々しからず氣配軟弱なり。產地元に於て幾分不漁なりしもの例の日貨排斥の爲め依然荷動き活潑ならず鈍狀を呈し、爲めに月末に際し乾蝦の外一齊に五、六分方の下落を演じ島內乾蝦は十二圓、鯣七十二圓、貝柱百四十圓、鮑(五島產)四百十圓なり。鹽鮹は益々不況にて十一圓五六十錢見當を稱へ居れり。

◉石油　內地石油は漁船用として可なりの移入ありしも其他は尠なく、外油依然として內油を壓倒しつゝあり。靑仝勝九圓三十錢內外にて取引あり。玆許茶業開始、舊式糖廍の消費等實需の喚起せらるゝあれば取引活潑なるべく二三十方の騰貴を豫想さる。

◉野菜(臺北)　野菜類は一體に出廻り漸減の傾向あり。新菊、玉菜等は本月入荷殊に減少したり。葱、白菜を除く外は前月に比し孰れも騰貴の傾向にあり。農繁期に入らば或は少しく騰貴すべきか。百斤建卸相場左の如し。

	月初（円）	月末
新菊	四・〇〇	四・〇〇―四・五〇
菠薐草	一・五〇	五・〇〇
大根	一・二〇	二・〇〇
金時人參	四・〇〇	五・〇〇
里芋	五・〇〇	六・〇〇
葱	二・五〇―三・〇〇	二・〇〇―二・五〇
蓮根	一二・〇〇	九・〇〇
白菜	八〇	六〇―一・五〇
玉葱	一八・〇〇	二〇・〇〇
牛蒡	六・〇〇	四・五〇―五・〇〇
豌豆	一七・〇〇―一九・〇〇	一六・〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吉原古城氏の

詩經講話の中から

◉三月の下旬、東洋協會支部の主催で吉原古城氏の五經講演會が總督府の第一階食堂に開かれて、官民の御歴々も聽講せられた。吉原氏は詩經の講話中、氏の最も得意とせる詩顆に就て解說を試みられたが、其中に次のやうな話もあつた。

◉長恨歌は白樂天が壯年の血氣盛んな三十五歲の頃、獨身で何處かの寺に寄寓して居た時分に作つたので、アノ様な小說的の艶麗なものが出來たのだと思うが、恐らく本人も天下後世まで此の位に流行しやうとは思はなかつたらう。一體古詩は平仄などは左まで嚴重でないが、長恨歌に至つては平仄も中々嚴重で格調も亦た正しい、正さに古今の一大詩篇と謂つて可からう。が然し「君王掩レ面救不レ得、回レ頭血涙相和流」といふ楊貴妃が賊手にかゝつた段から、直ちに「黄埃散漫風蕭索。雲棧縈紆登二劍閣一」となつてあるが、楊貴妃が命を隕したのは馬嵬山下であつて、此の馬嵬山下から蜀までは何百里あるか分らぬのである。夫れを其の道中のことに何とも言ひ及ばずして、イキナリ蜀のことを書き出したのは大いに物足らぬやうに思はれる。自分は常に斯う思うて居たが、或る時フトした動機からして其の道中を形容するに足るべき詩句を作ることが出來た。夫れは卽ち次の四句である。

旻天不レ惘長ク有レ恨。
晝夜無レ辨輦路遠シ
棄ルノレ匹ヲ。鳳凰。獨リ何レニ之ク
顧レバレ影ヲ珠毛空ク燦爛

此の四句を「黄埃散漫」云々の前に入れると馬嵬から蜀まで遙々たる遠路の形容も出來て來るし、又た修辭の上から言うても、長恨歌の末段に「在レ天願作二比翼鳥一。在レ地願爲二連理枝一。天長地久有レ時盡。此恨綿々無二絶期一」と言うてあつて、此處へ來てイキナリ比翼の鳥も出て來るし、綿々の恨も出て來るので、誠に工合が惡るいやうに思うが、前記の四句を入れて置くと、「長ク有レ恨」の句は「此恨綿々」に對照するし、又た長恨歌の題意にも應ずる譯になる。夫れから又た「鳳凰」の二字も「比翼鳥」に照應することになつて、修辭上からしても妙であらう。斯う言うたからとて自分は敢て白樂天と詩才を爭はんとする譯では無いので、惟々趣味の點からコンナことを案出したに外ならぬのである。

◉然し長恨歌でもさうであるが、韓退之の文章なども古文に較べると殆ど口語體のやうなもので、韓退之の上書が三度も採用されなかつたのはツマリ夫れが爲であると言はれてある。然し韓退之の詩に至つては却々巧いもので、彼の「一封朝奏」の如きは今も人口に膾炙して居るが、アノ中の「雲横秦嶺家何在。雪擁藍關馬不前」の二句は韓退之の自作では無くて、實は其の甥の韓湘の作つた句であるさうな。それを韓退之がヒドク感服して居た折柄、會々自分が潮州に左遷せられて、途中秦嶺の邊で例の「一封朝奏」の詩を作つたが、ドーも後聯の敍景が巧く出來ないので、フト韓湘の作つた句を想ひ出して夫れを後聯に入れた處が、ア、云ふ面白いものに成つたのだとも傳へられてある。何れにしても面白い話である。云々

□〇子

地方事情

本島各廳の狀況

宜蘭廳

■本島人の內地産業視察　福岡工業博覽會及京都全國勸業博覽會觀覽を兼ね産業視察の目的を以て、廳幹旋の下に廳下本島人有志に內地視察旅行勸誘中なりしが、二十五名の申込ありて一行は廳殖産係員二名と共に四月二十三日信濃丸にて基隆出帆、二十六日福岡著、同地工業博覽會觀覽後同縣下及廣島、兵庫、大阪、京都、奈良、愛知、靜岡、東京の各府縣下産業視察を爲し、五月中旬歸臺の豫定なり。

■臺灣森林工業株式會社の計畫　廳下濁水溪左岸森林を根據地とし、製材及木材乾餾事業を經營する目的を以て、臺南製糖株主を中堅とし、資本金六百萬圓（一株五十圓十二萬株）の臺灣森林工業株式會社を創立すべく內一萬株を廳下に募集せしが、廳下引受高は約七千株に達し近く設立の運に至るべく、創立關係者に於ては、宜蘭街黃鳳鳴氏所有に係る叭哩沙支廳下番地打馬朗鹿場開墾地（九芎湖前面）約八十甲を工場及附屬地として買收し工事準備中なり。

■拔穗奬勵褒賞授與式　稻種の拔穗は從前より農家の間に行はれたるも一部小數の精農者に限られ、未だ一般に普及するに至らざりしを以て、廳農會は之が普及奬勵を必要と認め大正四年度第一期作より米種改良限定品種拔穗の奬勵に努め、改良種子の退化を防止すると共に、一面米種改良事業の效果を顯著ならしむる爲め第二次米種改良事業と併行し、爾來大正八年度に及べり。而して本審査は拔穗種作田と隣接田との成績を比較審査し、本年三月二十日羅東、同二十一日頭圍、同二十六日叭哩沙、同二十七日宜蘭農區に於て褒賞授與式を擧行し、成績優良なるものに對し夫々褒賞を授け、尙會長より農事改良に關し訓示する處ありたり。其成績の大要左の如し。

▲出品點數及拔穗量

農區名	出品點數	拔穗量
宜蘭	八五點	三、五一五石
羅東	一六一	六、一三〇
叭哩沙	二五	〇、八六〇
頭圍	九一	二、一八〇
計	三六二	一二、一八五

▲農區別授賞人員

廳區別	一等	二等	三等	四等
宜蘭	一	三	七	七
羅東	一	一	二	六
叭哩沙	一	一	二	三
頭圍	ー	一	一	四
計	三	六	一二	二〇

■宜蘭佛教婦人會發會　廳下に於ける内地人婦人の宗教思想を基礎として婦德を涵養し、人格の向上を計り、共助的精神を助長せしめ、併せて會員相互の親睦を厚くせしむるを目的として荒卷廳長婦人及本願寺派布教師超聖氏外七名發起となり、宜蘭佛教婦人會を組織し、去る四月八日釋尊御降誕の日をトして其發會式を宜蘭公會堂に開催せり。當日は雨天なりしにも拘らず其趣旨を賛し遠路を事とせずして來り會するもの二百餘名午後二時高木場氏の開會の辭を以て式を開き會則の設定、役員推薦後、當日來賓として臨場せられたる荒卷廳長及加藤大谷派布教師の有益なる講演あり、終つて會員及有志者の餘興數番ありて午後六時盛會裡に式を了れり。

■廢墓地整理　廳下の廢墓地整理は大正三年十二月より調査に著手し、調査總甲數三百六十四甲餘にして、内存置の要なきものは數回に亙り公用廢止の上、競爭入札によりて公賣處分に附せり。其の甲數六十二甲四分八厘二毛二糸、此の拂下代金三萬二千三百六十四圓二十錢、玆に於て廳下廢墓地整理は終了を告げたり。

■宜蘭官設鐵道　廳下に於ける未開通に屬する官設鐵道工事は著々進捗し、礁溪、頭圍間は既に二月初旬土工事業の完了を見たるも軌條延著の爲開通の運に至らざりしが、今や之れが敷設を終り、來る四月二十五日一般貨客の運輸を開始することゝなり目下準備中なり。尙頭圍大里簡は十月頃開通の見込なり。

■大正九年度學事施設實施　大正九年度に於て決定したる廳下の學事施設は南澳支廳大南澳に尋常小學校の新設、頭圍分教所を獨立尋常小學校に變更、及既設學校中宜蘭羅東の兩小學校に各一學級宛增加せられ、坪林尾分教場は前年度限り之を廢止せられたり。而して多年の懸按たりし叭哩沙小學校々舍新築は二教室及小使室、湯沸場等は附屬建物を新築の事に決定し、宜蘭小學校も亦一教室及官舍一棟の增築校地盛土工事を決定し、本年度内に施行せらるゝことゝなれり。公學校に關しては從來分校たりし蘇澳・順安・二圍・大福の四校を修業年限六箇年の獨立公學校に昇格し、從來宜蘭公學校の分校たりし大陂・土圍の兩校を地勢其他の關係上四結公學校の分校に變更せり。尙既設學校就學兒童の增加に對する學級增加は、宜蘭公學校外二十三校に對し二十九學級を增加せり。因に廳下に於ける本年度の就學兒童數は小學校六百五十七名、公學校七千三百三十四名にして前年度より百九名、後者は千二百十二名何れも增加せり。

■南澳蕃童教育所卒業式　大正九年四月三四日の兩日南澳支廳下南澳及東澳兩蕃童教育所の卒業竝に修業證書授與式を擧行せり。當日は兩所共午前九時職員・學童・及父兄等著席の上廳長及警務課長臨場。君が代を以て式を開き、支廳長より證書の授與を爲し、教務擔當者より學事報告あり、後廳長より學童に對し賞品を授與せられ、且つ懇篤なる訓示を與へられ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之れに對して卒業生總代の答辭あり、次で學童一同の唱歌を以て式を終れり。因に本年度東湧教育所に於ける卒業生男、女各四名にして南湧教育所は修業生のみにして男五名女四名なりき。（四月報）

桃園廳

■茶園及製茶品評會竝に稻立毛競作會　當廳農會主催に係る第三回茶園及製茶品評會竝に第十回稻立毛競作會は、本年三月二十八日より同月三十日迄三日間、大嵙崁公學校に於て開催し、陳列場は新校舍の五敎室を以て之に充てたり。先づ會場內の模樣を摘記せんに第一第二室には、製茶一千三十一點を陳列し、第三室は圖表室に充て（一）茶園調査及同問答、（二）茶樹品種と價格との關係（三）茶樹の植方と收量の關係、（四）無肥と施肥の關係、（五）收量更進方法（六）茶樹の更新方法（七）傾斜地茶園改良方法（八）業主と佃人の關係（九）取引系統（十）茶園改良部落と未改良部落の生活狀態等を描畫にて文字を解せざるものに對しても能く理解し易き方法を以て示し、施肥無肥茶園・綠肥栽培茶園の實況寫眞を陳列して專ら茶業改良氣勢の喚起に努め、其他茶業及米作に關する統計描畫三十餘種を陳列して斯業の參考に供せしめ、第四室は競作田籾及稻株三百五十二點を陳列し、第五室は參考品室とし病蟲害標本及製茶穀類其他各種類を合せて五百點、室外には家畜、家禽類二十餘點を陳列して一般に觀覽せしめたり。

　褒賞授與式は三月二十八日午後一時より大嵙崁公學校講堂に於て開催せり。當日は總督府より高田總務長官代理・相賀土木局長・東鄕農務課長・山田技師・鈴木農事試驗場主事・加福臺中廳長・各廳庶務課長・殖產係長・三新聞記者其他・貴顯紳士の臨席者數百名に達し、先づ定刻となり一同著席するや館副會長開會の辭を述べ、審査長山田總督府技師は別項の審査報告あり、夫れより出品茶園五百二十三點、製茶一千三十一點、水稻三百五十二點の內嚴正周到なる審査を行ひ授賞すべき佳園優品總數六十五點外褒狀二百五十一點水稻二十七點に對し永田農會長は褒賞を授與し、更に高田長官代理閣下以下多數官民の臨場ありしを謝し、茶園及製茶竝に米作改良の必要多きを說き、次に高田長官代理は通譯を介して、米種改良竝茶園及製茶の改善等は喫緊且つ容易ならざるものあるを以て、當業者諸子は能く當局者の指導に遵ひ之れが改善を期すべしと一場の訓示を與へ、次で毛利協贊會委員長竝に本島人總代として簡阿牛氏の祝詞終りて出品人總代李詩朗の流暢たる語調を以て國文の答辭を朗讀せるは本日の一異彩なりき。斯くて午後二時閉式。

　高田長官代理以下の來賓は會場を巡視し終りて別室に於て午餐の饗應頗る盛會裡に散會したるは午後五時なりき。

　尙ほ品評會競作會の外書畫展覽會及國語練習會の開催ありしを以て之を參觀せんとて遠近より集まるもの老幼男女無慮數萬人に達し、會場附近を殆め市街一面肩摩轂擊の有樣にて同地未曾有の賑盛を呈せり。今各支會別出品人員及受賞者點數を擧ぐれば左の如し。

▲稻立毛競作田

▲茶園及製茶品評會

支會	出品人員	等級別受賞人員 一等	二等	三等	四等	計
大料崁	三八	一	一	三	四	九
員樹林	一九	—	一	三	三	七
龍潭陂	一五	—	一	一	三	五
三坑仔	八	—	一	—	二	三
三層	八	—	一	—	二	三
計	八八	一	五	七	一四	二七

支會別	出品人員	等級別受賞人員 一等	二等	三等	四等	計
大料崁	一〇	—	—	二	—	二
員樹林	一三〇	一	一	—	五	七
龍潭陂	一四四	—	一	八	一一	二〇
三坑仔	一〇一	—	一	四	五	一〇
三層	九六	—	一	二	五	八
蕃地	五一	—	一	八	九	一八
計	五三二	一	五	二四	三五	六五

▲審査薦告

桃園廳農會大嵙崁事業區茶園及製茶品評會竝に稻立毛競作會の審査終了を告げ、本日を以て褒賞授與式を擧行せらる。不肖本會の審査長として茲に褒賞授與の薦告をなすを光榮とす。

本會の出品は茶園五百二十二點、製茶千三十一點にして審査員諸氏の精勵に依り嚴正周到なる審査を遂げたり。今其成績に依り出品に付左に概評を試みんとす。

茶園は其優良なるものにありては一甲當製茶收量二千斤以上に及び、全島平均收量の四、五倍に達するものなきにあらざりしも、茶園としては遺憾なる點多く尙改善の餘地頗る多きを認めたり。

品種に就て見るに、主として靑心黃柑の兩種なるが故に申分なきが如しと雖も、往々劣等なる時茶、墻心等を栽植するものあり。或は靑心種の茶園に黃柑種を混植するもの尠からず。如斯混植は補植の都合より出でたるものなる可きも、之れが爲め摘採及製茶上に支障を來し、續いて收量品質に惡影響を及ばし收益上不利を蒙ること尠からざるを以て、向後此如き一時の易きに就き悔を後日に遺すが如き事なからんことを希望す。

耕耘は概して不行屆なるものも少からざりき。是れ昨年茶況の不振なりしより利潤多からざりしに依るべしと雖も、茶農家たるもの一時の不況により自己の生命たる茶園の手入を等閑に附するが如きは深く戒めざる可からず。

肥培は耕耘に比し更に數十步の後にあり、一層の努力を希望せざる可からず。輓近肥料價格の暴騰は、漸く萠芽し來れる茶園の施肥問題に大なる障害たるは眞に遺憾なりと雖も、施肥は敢て金肥に限れるにあらざるを以て緑肥・泥土・雜草・堆肥等荷も肥效ありて其地方に得易きものは可及的之を施用して樹勢を旺盛にし、進んで茶株の育成と樹齡の延長とを計り收量の增大を期せざる可からず。區別に評すれば比較的茶園の整へ優良なるは三坑仔區にして龍潭陂區員樹林區之に次ぎ三層區、大嵙崁區最も劣れり。之れ三層區は茶園の起源最も古く且つ殆んど傾斜地なるに起因すと雖も、開園の當初表土の流失に對するの結果に外ならず。今後茶園を開設するものは茲に鑑み特に此點に留意すること最も肝要なり。

製茶は春茶五百二十三點、夏・秋茶各二百五十四點合計千三十一點にして特に品質の卓越せるもの少く、昨年の成茶硏事業區品評會の出品物に比すれば少しく遜色を認めざるを得ざりしも、之れ一に風土の然らしむる處なるを以て一概に論ずる能はず。先年の全廳下品評會に於ける當事業區の出品物に比すれば進步の跡見るべきものありしは私かに意を強くする所なり。

今茶季別に評すれば、春茶に於ては萎凋の過不足又は釜焦け等に依りて水色香味を著しく不良ならしめたるもの多く、夏秋茶は一般に良好なりしも或は摘採期の遲延に依り殆んど茶頭合樣に陷りたるもの、或は萎凋過度なるより、或は萎凋の方法を誤れるより、或は採捻の過不足等より品質を劣惡ならしめたるも

のも尠からず製茶技術に尙一層の練磨を要するを感ぜり。

區別に依る製茶品質の相違は地理的關係上昨年の成染硼事業區に於げるが如く特に目立たざりしも、三層區包種茶用原料として相當品質の製茶を產出する地方なるに拘らず、此會の出品茶には殆んど包種的香味の卓越せるものを認めざりしは遺憾なりき。

之を要するに品評會の出品物に陷り易き弊たる、重きを形狀に置き過ぎ、烏龍茶の特質たる香味を閑却せるの傾向ありしは寒心に堪へざる所なり。尙春茶出品物として夏茶を出品し、甚だしきは自園に生產せざる製茶卽ち他の優良茶產地より購入せしものを出品せるものあるが如きを認めたり。此如きは茶園及製茶品評會の主旨を沒却せるものにして特に戒めざる可からず。

本事業區の面積は三千六百三十九甲、製茶戶數八百四戶、粗製茶產額二百五十二萬斤、價格五十九萬七千圓にして之を昨年度品評會を開催せる成染硼事業區の茶園面積七千八十八甲、製茶戶數一千三百五十一戶、產額六百三十二萬斤、價格百三十萬五千圓に比すれば面積に於て約五割、製茶戶數約六割、產額及價格四割に過ぎざるも尙茶業は本事業區最大主要產業なるが故に、茶業に對し一層の自發的奮勵あらんことを希望す。

競作田は大嵙崁支會外四支會八十八箇所なりとす。玆に本期作況並に成績の概況を述べんに、一期作は挿秧當時降雨多く氣溫冷濕にして發育不良なりしも、其後天候恢復し氣溫頓に上昂して發育佳良なるを得たるを以て平均一甲當籾數量競作田三十七石一斗七升、隣接田二十八石六斗にして競作用の隣接田に優ること八石五斗七升、卽ち二割九分八厘の增收となり、施肥金額を控除して百八圓三十六錢の利益に當るべし。次に二期作は挿秧以來降雨稀なりしと雖も、旱害を被ることなく成育佳良なりしを以て平均一甲當籾收量競作田三十八石、隣接田三十石八斗三升にして競作田の隣接田に優ること七石一斗七升卽ち二割三分の增收に當り、施肥金額を控除して百三十八圓の利益に當る。如斯良好の成績を擧げたるは克く本會の指導に遵ひ努力精勵の效果として洵に推賞するに足ると云へども、仔細に之を觀察せば尙幾多の改良を要す可き點多きを認む。卽ち耕耘の法各區を通じ槪して粗放の傾きあり。一層之を周密ならしむると同時に深耕すること所要なり。次に肥料に就て言へば金肥の施用は大嵙崁·員樹林·龍潭陂區は一甲當平均大豆粕六枚、過燐酸石灰三叺の用量にして三層、三坑仔區の如きは之れが半量に過ぎざる狀態にあり。一層之が增施に努むる所あるを要す。次に自給肥料に於て堆肥の施用各區を通じて僅少なり。綠肥の栽培は大嵙崁·三坑仔區に限られ未だ各區に及ばざるは遺憾とする所なり。

凡そ廳下の如く有機質物に乏しき地方に於ては是等肥料の增施の途を講じ、以て地力の維持增進を圖るは極めて緊要なる事項なりとす。更に一坪當挿秧數は各區四十二株にして疎植の傾きあり。凡そ四十九株を標準とし適所に增減すべし。其他除草疎雜にして回數少し。須く回數を多からしむると共に一層之が作業に周到なるを要す。又害蟲驅除等閑に附する傾あり。特に大嵙崁·三層區の如きは被害甚しく成育に影響すること尠少ならずとせず。之が防除に意を注ぐこと肝要なり。

之を要するに龍潭陂·員樹林·三層區は槪して成績可良なりと云ふを得べきも、大嵙崁·三坑仔區は稍々之に劣る所あるを認む。各出品人宜しく本會の趣旨に遵ひ斯業の爲め益々努力改善の途を講ぜざる可からず。

右審査の結果茶園及製茶にありては一等一點、二等五點、三等二十五點、四等三十五點、褒狀二百五十一點計三百十七點、競作田にありては一等一點、二等五點、三等七點、四等十四點計二十七點を擬賞せり。玆に謹んで褒賞授與あらんことを請ふ。

大正九年三月二十八日

審査長臺灣總督府技師正六位　山田秀雄

■搾乳業　搾乳業者は大樹林庄に一戶あり。飼養乳牛五頭平均一日七、八升の搾乳あり。目下桃園街及中壢街へ供給しつゝあるも、飼料暴騰の爲め數年來經營上困難なるが如し。乳質は槪して善良にして一·〇三七の比重を有し三·五乃至四·五%の脂肪量をせり。旣往四箇年間の搾乳量を表示せば左の如し。

年別	種類	頭數	搾乳量	販賣價格
大正五年	洋牛雜種	三	石 二三·九八六	一、六〇九·〇〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正六年	洋牛雑種	四	二〇、四四〇	一、四二七、〇〇〇
同七年	同	六	一六、九二九	二、一七七、〇〇〇
同八年	同	五	二三、九一〇	二、一六九、九八〇

■獸疫　獸疫は主として豚疫にして大正六年中は全く終熄の姿にありしも、大正八年初春より再び發生流行せしも晩夏既に終熄し甚しき慘禍を見ざりき。今既往四箇年間の發生を表示せば左の如し。

年別	豚虎列剌	狂犬病	摘要
大正五年	二八	一	一は水牛
同六年	—	二	一は野犬
同七年	二六	一	野犬
同八年	二八	—	

■屠畜　人口増殖に依る屠肉の需要増加は必然の結果にして、從つて屠畜數の増加を見るべきはこれ又理の然らしむる所たりと雖も、廳下屠肉殊に豚肉の資源たる豚畜の改良進歩に隨ひ一箇年發育歩合の増加を來し、頭數に於ては差したる増加を見ずと雖も屠豚一頭平均斤量に於ては大に著目に價する點あり。水、黄牛肉は種族の迷信上未だ一般に需要消費の域に至らず。山羊肉は唯祭祀用となすのみ。今平均斤量及屠畜狀況を表示せば左の如し。

▲屠畜狀況表

年次	水牛 頭數	水牛 斤數	水牛 價格	黄牛 頭數	黄牛 斤數	黄牛 價格	豚 頭數	豚 斤數	豚 價格	山羊 頭數	山羊 斤數	山羊 價格
大正五年	二、三五三	五三六、四六五	三七、五六〇	二三四	六四、五四五	五、六四六	四五、九八五	六、二六〇、三〇九	九七五、七一三	三、四九〇	五九、六六〇	一〇、七五六
大正六年	二、〇五三	六九二、五三九	五六、〇二七	四二四	八〇、九六六	七、二七〇	四六、〇六二	六、四三五、六五七	一、二三二、三〇六	二、六一六	五〇、七八四	九、四〇〇
大正七年	一、五四八	三九九、七八八	四五、〇〇四	一四八	三〇、二九六	三、二四八	四五、八三二	六、〇九〇、四三一	一、四八六、二八九	二、二二〇	五一、二八九	一〇、〇四三
大正八年	九四三	二八六、二八一	四〇、九五四	一三四	二六、九九〇	三、八六五	四七、二六五	六、一六五、六〇八	一、九一八、九〇一	二、五七九	六〇、八一六	一〇、九五三

▲屠豚平均斤量

年次	屠豚生體量平均斤數	年次	屠豚生體量平均斤數
大正元年	八八	大正五年	一三六
同二年	一〇七	同六年	一三九
同三年	一一〇	同七年	一三二
同四年	一二四	同八年	一三〇

（四月報）

臺中廳

■中部の商業地　中部臺灣に於ける本島人商業の中心は從來一般に彰化街を以て稱せられ、本島人向きの物貨集散の數量及び市街內賣上げの金額は共に臺中の上位を占め居たりしが、昨大正八年より臺中は遂に彰化を凌駕するに至り、中部

商業の歴史的中心は漸く臺中に移らんとする形勢を示せり。今兩地に於ける本島人の物品販賣業者及び其の納稅額を年別に對照すれば左の如し。

年次		營業者	稅額
大正五年	臺中	七二八	一〇、七九一円
	彰化	七三九	一一、二〇三
同六年	臺中	七四七	一一、一九〇
	彰化	七五七	一三、七三五
同七年	臺中	七六四	一三、三四七
	彰化	七九一	一七、三四八
同八年	臺中	八六〇	一九、九〇二
	彰化	七六五	二〇、〇八五
本年（見込）	臺中	八六九	三二、八〇一
	彰化	七七九	二九、八六八

右表に示す如く大正八年度迄は臺中の一萬九千九百二圓に對し彰化は二萬八十五圓なりき。大正九年の見込稅額は臺中の三萬二千八百一圓に對し彰化は二萬九千八百六十八圓となり、遂に約三千圓の逆差を生ずるに至れるを見る。又營業稅全體として兩地の納稅額（法人及び內地人を除き本島人のみ計上）を對照すれば左の如し。

年次	臺中	彰化
大正五年	一三、二一二円	一四、一九〇円
同六年	一三、二三四	一七、一〇二
同七年	一六、二九六	二三、二七八
大正八年	二六、一〇八	二八、三二六
本年（見込）	三八、三二三	三三、六二四

本年の見込は昨八年の事實を基礎とするものなるを以て、臺中と彰化との從來の形勢は大正八年に於て正に一變せるの傾向あるを見る。況んや內地人の各業態を算するに於ては彰化を淩駕する數等に出づ。是れ臺中は官衙學校、醫院其の他行政及文化の中心として發展の要件を具備し、加ふるに銀行其の他の金融機關、貨物倉庫の設備等商業市場としての資質を優越せるに因るべく、即ち彰化商業の衰退にあらずして臺中發展の速力なりし反影に外ならず。然れども彰化は附近一帶に購買力の豐富なる部落を有し、且つ市街人口約二萬に近き本島品の集散市場なるを以て、將來鹿港の浚渫と共に貿易復活の期に達せば前途尙發展の餘裕綽々たるべし。

■區書記會議事項　本年三月開催したる管內區書記會議事項は左記諮問事項三件、注意事項九件、協議事項一件にして各熱心なる討議を重ね、豫期以上の好成績を以て終了せり。

▲諮問事項

一、區長役場事務進捗に關する意見如何
二、保甲役員との連絡狀況如何
三、紳明會等の證明に關する意見如何

▲注意事項

一、日誌の記載に關する件
二、收發文書の處理竝整理に關する件
三、關係法規の改築加除に關する件
四、事務費竝交付金の受拂に關する件
五、宿直に關する件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、出勤簿に關する件
七、出勤及退廳の時刻に關する件
八、執務上の連絡に關する件
九、提出期日を限定せられたる書類の取扱に關する件

▲協議事項

一、區書記事務研究會開催の件

■區行政事務研究會　當廳に於ては廳下各區長・役場吏員をして事務研究會を開催せしむることを奬勵したるに、區長・區書記孰れも其緊要なるを感じ直に左の區別に依り順次開催することゝなれり。

直轄管內	偶數月	第一日曜日
東勢角及葫蘆墩支廳管內	同	第二日曜日
大甲支廳管內	同	第三日曜日
沙轆支廳管內	同	第四日曜日
彰化支廳管內	奇數月	第一日曜日
鹿港支廳管內	同	第二日曜日
員林支廳管內	同	第三日曜日
北斗及二林支廳管內	同	第四日曜日

右に依り四月四日臺中、同十一日葫蘆墩、同十八日溪底に於て各第一回を開催し、庶務・財務兩課より當局員臨席して指導する所ありたり。尙區に依つては庶務課長も出席して講演を爲し大に奬勵せしを以て、會員も亦大に意氣込み、將來區長役場事務進步上得る所あるのみならず、區吏員向上發展上囑望すべき會合として認らる。尤每會の出席は區長は任意とし、區書記は必履行となせり。今其規定を擧ぐれば直轄分左の如くにして他の分亦大體に於て之に準ず。

▲直轄區行政事務研究會規定

第一條　本會は區長役場事務を研究し區長行政事務の進步發達を企て且各區の連絡を保ち會員の懇親を圖るを以て目的とす

第二條　本會は臺中廳直轄管內に於ける區長役場吏員を以て組織し區長を特別會員とし其他を通常會員とす

本會は常設事務所を臺中區長役場內に置く

第三條　特別會員は每月金一圓通常會員は每月三十錢の會費を納む

第四條　本會は每年偶數月第三日曜日に開催す、但已むを得ざる事情あるときは變更することを得

第五條　本會は左の順序に依り輪番に各區長役場に於て開催す。

一、臺中區	二、大平區	三、大里杙區
四、烏日區	五、霧峯區	六、溪心垻區
七、四張犁區	八、三十張犁區	九、西大墩區
十、犁頭店區		

第六條　本會に會長一名幹事數名を置く會長は會務を總理し會議の議長と爲る
幹事は庶務に從事す。

第七條　會長は每會開催地の區長之に膺り其區に於ける會議終了を以て滿期とす
幹事は通常會員の互選とし二箇年を以て滿期とす但再選を妨げず

■御大典記念體育會及武德會基本金募集　臺中には大正四年御卽位御大典を永久に記念すべく、一般士民の體育を奬勵し士氣を鼓舞せんが爲、當時官民有志の協議にて記念體育會を開催せり。其事業としては每年十月より十一月に亙り各種運動會を開き來れるは周知の事實なるが、同會は是迄會員組織として會費に依り維持經營し來りしも、會員の異動、會費徵收の煩瑣等に堪へざるを以て、昨暮來基本財産を作り、之が利子に依りて經營せんことを計劃し、同基本金三萬八千圓を臺中廳管內會社、銀行有志者より募集せんことを總督府に出願中なりしが、此頃許可せられたるを以て募集に著手せし趣

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なれば、今後一層の盛況を呈するに至るべし。

尙は武德會臺中支所に於ても其經費少くして事業經營上尠らざる困難を感ぜしを以て、前項記念體育會基本財產と同樣基本金二萬八千圓募集のことに協議し出願中なりしが、是亦同日付を以て許可せられたるに付既に募集に著手せし由、記念體育會と相俟ちて士民の武德を修め、體育を奬むる上に於て大に得る所あるべし。（四月報）

南投廳

■公學校獨立、分校新設、分離敎室設置　大正九年四月一日より草鞋墩公學校新庄分校は本校に變更、南投公學校龍眼林分校、皮仔寮公學校頂新厝分校新設、集々公學校社仔分離敎室、林圯埔公學校小半天分離敎室、東埔蚋分離敎室、草鞋墩公學校北勢湳分離敎室、烏牛欄公學校小埔社分離敎室を新に設置することゝなれり。尙九年度に於て增加したる學級は小學二、公學校二六、計二十八なり。

・敎員養成講習會

大正八年十月より開設したる本廳第二回敎員養成講習會は去月二十六日午前十時修了證書授與式を擧行せり。本回の講習員は二十名、何れも成績佳良なりしを以て二月三十一日付にて公學校訓導心得に任命せられたり。

■橫斷道路々線測量　（一）八通關越蕃地橫斷道路　二箇年計畫にして、大正八年度に於て東埔、八通關間見込七里の開鑿工事に著手せるが、大正九年度に於て施行すべき八通關・大水窟間新開鑿見込距離四里及東埔・社仔間補修十里二十七町、二月二十六日從來の搜索隊員警部一、警部補二、巡查一八、警手二、隘勇六を警部二、警部補二、巡查三十九、巡查補一、警手二、隘勇八に增員し、警務局より技術者の參加を得て路線調查を實行せり。然るに八通關・大水窟間は最低の八通關九千三百七十四尺より大水窟の一萬六百餘尺に至る區間なるを以て寒氣凛烈、高山の寒氣に慣れざる本島人々夫の然も惡性感冒の尙終熄に至らざる折柄なりし事とて、間もなく感冒患者を發生し忽ち職員に傳染し、三月九日同區間終了の際は職員六名人夫十餘名を解隊するに至り、巡查山本銀作外人夫五名遂に死の轉歸を見たるは甚だ遺憾とする處なり。而して三月九日東埔・社仔間の測量に著手したるも天候不良なると、衞生狀態亦倍々惡傾向に陷りたるを以て全部終了するに至らず、東埔和社溪合流點附近に至る前後合計約六里にして一先づ解隊することゝなし、此日三月十五日測量行動著手以來二十日を閱せり。

（二）橫斷道路工事搜索隊解隊式　八通關越蕃地橫斷道路工事中、大正八年度に於て著手せる東埔・八通關間見込延長七里は昨年六月十五日作業搜索隊を編成し、爾來引續き工事を進行し來り、愈々竣工せるを以て二月十七日集々支廳に於て搜索隊解隊式を擧行せり。當日は廳長親しく臨場し、警務局よりは財津技手參列し、集々支廳員及び同地官民有志及保甲役員亦臨場して午後二時開式最も嚴肅に擧行せられ、山下搜索隊長の工事報告、廳長訓示あり。下村總務長官及廳長よりは隊員に對し慰問金品を惠與せられ、後宴に移りて隊員の勞を犒ひ午後四時散會せり。本工事は土砂切取三里二十七町五十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六間、岩石切取一里三十三町二十一間、計五里二十五町十七間にして開鑿日數三百七日、職員延人員警部二百五十五人、警部補五百三十二人、巡査五千九百七人、巡査補十四人、警手六百九十三人、隘勇五百二十五人、計七千九百二十六人、職工延人員大工七百九十人、石工八千百五十四人、鍛工七十八人、木挽二千五百四十九人、計一萬一千五百七十一人、人夫延人員內地人二十人、本島人八千三百八十六人、蕃人二萬二千三百九十一人計三萬七百九十七人を要せり。

■財團法人聚芳館開館式　大正八年九月二十日設立許可を得たる財團法人聚芳館は、理事以下職員の努力に依り專ら第一期の事業たる標本的產物の蒐集配置に意を凝せしが、內容の整備略其緖に就きたるを以て、本年三月八日開館式を擧行したり。式場は陳列館に近き南投公園內の芝生に臨時假小屋を建設して之に充て、當日午前十時煙火三發を合圖に一同入場し宮本主事開式の辭を述べ、御厨理事式辭を朗讀し、次に來賓加福臺中廳長の祝辭演說、林南投區長の祝辭朗讀ありて十時五十分閉式せり。夫れより來賓一同を陳列館に案內し、御厨理事說明の下に館內を一巡し、更に館外に植付たる生產品の原料草木を紹介し、終て別室設けの宴席に迎へて酒食を饗したるが御厨理事の挨拶、加福臺中廳長の謝辭ありて主客獻酬一同歡を盡して午後一時退散せり。當日來賓の主なるものは加福臺中廳長、大越臺灣電力會社理事、小河東洋製糖會社主事、新聞記者等官民約百名なりし。

■軍司令官其他の視察　臺灣軍司令官柴陸軍大將には埔里社分遣隊巡視の途次、三月十四日午後四時四十二分中南線鐵道南投驛著、直に南投廳に至り廳長の管內狀況說明を聽取し、官民の重なるもの二十二名を引見せられたる後財團法人聚芳館を巡視せらる。翌十五日午前六時南投發埔里社に至り十六日軍隊巡視の上霧社十七日能高を經て花蓮港に向はる。又靑島民政部囑託・祝光次郎氏外三名は廳下敎育狀況視察の爲め三月二日南投、集々・埔里社・霧社を經て六日臺中に向はる。法制局參事官白銀朝則氏は臺灣電力株式會社の事業狀況視察の爲め三月二十一日來廳集々・水社・霧社・南投を經て二十四日臺中に向はる。

■製糖狀況　當廳下は概して土地肥沃氣候又比較的溫暖にして甘蔗の栽培に適すと雖も、土地の大部分は山地にして耕地は僅かに其總面積(蕃地を除く)の六分の一强に過ぎず。從て規模の大なる新式工場の如きは之れが存立甚だ困難なりとす。而して目下南投街に接續せる三塊厝庄及埔里社街に接續せる大肚城庄に各一箇所の新式工場存在するも、之れ何れも明治四十三年前後糖業熱の盛なりし時代に前者は中央製糖株式會社により、後者は埔里社製糖株式會社により創設せられたるものにして、當時は糖價に比して米價の高きこと今日の如くにあらざりしが爲蔗作の比較的有利なりしに依り前者は明治製糖株式會社に、後者は臺灣製糖株式會社に合併せられ、其經營方針に大改革を加へ以て蔗作の獎勵に全力を傾注せし結果、爾後大正五年期迄は年次產額增加せしと雖も、偶々歐洲戰亂の勃發は甚敷米價の騰昇を見たるに拘はらず糖價の騰昇之れに伴はず、爲に蔗作甚だ不利となり、之れが栽培を爲すもの著敷減少せしと、蔗作地の地力減耗による收穫の遞減

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とは相待ちて大正五年以後年次其産額減少の結果を呈せり。

大正八年期以來糖價の暴騰は廳下新式工場多年の衰勢を挽回すべく糖業者を奮起せしめたりと雖も、目下の情勢より見るときは到底又昔日の盛況を呈すること蓋し困難なりと信ず。然るに含蜜糖卽ち赤糖の平地を採取區域とせる改良糖廍にありては新式工場と略同一の結果を見たりと雖も、舊式糖廍にありては山地の開拓就中樟樹造林作業豫定地の前作許可地及蕃地の開拓により諸方の山地に舊式糖廍を新設するものを簇出し大正三年期二十四箇所の舊式糖廍は大正七年期に於て六十二箇所を算するに至り、砂糖の産額又年次著敷増加を見たり。而して大正七年期に於ける一般勞動者の精神動搖は不當賃金の要求となりて著はれ、又一面には糖價の騰貴は諸物價の暴騰と伴はず、爲に一時糖業の前途を悲觀するものを生じ、八年期當初の甘蔗植付自然減少となり、八年期は前年期に比し砂糖の産額多少減少の見込なるも、其後糖價の騰貴は再び頽勢を挽回せんとするの形勢を示し、九年期に於ては八年期に比し糖廍數の增加十五以上を算する見込なるのみならず、砂糖の產額又著敷増加すべき見込なりとす、

今既往五箇年の實蹟及本年期の見込を表示せば左の如し。

▲砂糖製造場數及生産高

區分／年期別	新式工場		改良糖廍		舊式糖廍		計	
	場數	生産高	場數	生産高	場數	生産高	場數	生産高
大正三年期	二	一六、一六八、八八二	四	一、八三九、一二五	二四	三、一八〇、八六一	三〇	二一、一八八、八六八
同　四年期	二	二三、三三〇、五〇一	四	二、五六二、二八九	三〇	三、九九七、四三七	三六	二九、五九〇、二二七
同　五年期	二	三七、三九八、三七五	五	四、一九五、二九八	三六	六、七〇二、八一九	四三	四八、二五六、四九二
同　六年期	二	二八、二一一、〇二六	五	二、八九〇、一〇六	六一	八、一七四、六〇一	六八	三九、一七五、七三三
同　七年期	二	二一、九六二、九九四	三	二、一三八、七四〇	六二	九、五七〇、二三〇	六七	三三、六七一、九二四
同　八年期	二	一五、七〇二、六二六	四	三、二六七、九一六	六二	八、二一七、八一四	六八	二七、一八八、三五六

備考　場數は實際作業を爲したるもの丶み揭記す。
大正八年期は前記見込に對し新式工場は約三割其の他は約四割の減收見込なり。

■金融の景況　（一）金融の繁閑竝其原因結果　（イ）一般の商況　小賣商人間內地人側に在りては、新曆越年後一時小閑を見たるも、舊曆越年を控えたる本島人側好況の餘波を受けて二月中旬前後は市況著しく活氣を呈したるが、越年後購買力俄に衰頽し、加ふるに購買組合の事業開始は悲觀材料と爲り、意氣不振の裡に經過せり。

本島人側に於ては二月中旬前後は越年準備の爲め一時頗る殷賑なりしが、越年後は季節向の需用弗々あるのみにして亦振はず。之が原因は金融の異狀硬塞の生じたる零細預金の爭奪が與つて力ありしが如く觀察せらる。卽ち昨年八九月頃より漸次擡頭し來りし土地熱は今や白熱の狀態に在り、昨年三四月頃一甲千二三百圓を唱へたる土地が昨今一躍一萬圓臺を唱へ然も賣手無き有樣にて、天井知らずに浮れたる强氣一派に要する資金は全く固定せられ、更に減産を見越したる糖價の底强さと輸出解禁見越しに思惑せられたる米とは二月中は氣運に居据りたれども三月に入り漸く强調と爲り、內地米價は餘りに掛離れし島米に有望なる前途を囑目せられ、從て之等思惑家の資金需要多々益々辨するの狀況なり。參照三月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

末米糖放資せられたる殘高左の如し。

銀行名	米	糖	計
臺灣銀行出張所	四八五,〇〇〇	三九七,〇〇〇	八八二,〇〇〇
彰化銀行出張所	二七二,〇〇〇	一九一,〇〇〇	四六三,〇〇〇
合計	七五七,〇〇〇	五八八,〇〇〇	一,三四五,〇〇〇

以上の如く當街三金融機關三月末貸出殘高二百五十餘萬圓に對照するときは其過半數は米糖に放資せられあるを見る。又土地に對しては勸業銀行及臺灣銀行放資額を合して約六十萬圓に達せり。更に又本期間資金枯涸の爲め增資を斷行したる信用組合の拂込及會社株に拂込まれたる固定資金は這の小市街には相當の負擔にして、金融は今や逼迫の極點に達せるやの觀ありて遂に後述の如き金融機關を產出するに至り、資金の硬塞は漸く恐慌の兆なきやを疑はしむ。參照本期間當街及附近にて拂込まれたる固定資金左の如し。

種別	金額	種別	金額
南投信用組合	六,〇三二	臺灣電力會社	一七,五〇〇
草鞋墩信用組合	二六,七九六	帝國ラミー會社	三,七五〇
浦仔信用組合	二,八〇〇	帝臺製糖會社	一,二五〇
內皫信用組合	三,一〇五	臺灣煉瓦會社	四,七七五
林圯埔信用組合	九,八八二	合計	七五,八九〇

（ロ）產業の概況（貨物の生產、竝聚散に就ての資金の需借及農民の金融狀態）

米糖に對する資金需用に付ては已述の如くなるが今其產額の消長を見るに左の如し。

種別	大正八年收穫高	同七年收穫高	差引增(十)減(一)
米	二三〇,八〇六石	二一一,〇〇五石	(十)一九,八〇一石
赤糖	六,八〇二,八四五斤	一二,〇〇四,一五七斤	(一)五,八〇一,三一二
分蜜糖	二一,一八一,三〇〇	三一,九六二,九五四	(一)一〇,七八一,六五四

即ち米は約一割の增收にして糖は約五割減とす、而して其價格の關係を見るに前表に表すが如く米は昨年の一〇〇に對する一一七、赤糖は昨年の一〇〇に對する二二五に相當せり。芭蕉は昨年の暴風雨被害の爲め出荷減少し（每日六七十籠の出荷にして平素の約十分の一に過ぎず）たれば其爭奪目覺ましく最高百斤三十七八圓を唱へ、殆んど昨年の十倍狂熱的相場を現はしたれども產出小量なる爲め小農の囊中には大なる利潤なかりき。而して農家は本期は甘蔗の收穫、水稻の植付等繁忙期なるを以て相當勞銀の需要あり、加ふるに一面に於て已述の如く資金の固定甚しく、囊中全く枯涸せるの狀態に在り。然り而して當街三機關の帳尻を見るに左の如し。

▲預金の部

種別	三月末殘高	二月末殘高	前年三月末殘高
臺銀出張所	一四五,〇〇〇円	一八三,〇〇〇円	一四三,三〇〇
彰銀支店	三五二,一〇〇	三四二,七〇〇	三六七,八〇〇
南投信用組合	一二五,二〇〇	一一二,四〇〇	八八,三〇〇
合計	六二二,三〇〇	六三八,一〇〇	五九九,四〇〇

▲貸出之部

種別	三月末殘高	二月末殘高	前年三月末殘高
臺銀出張所	一、三六三、三〇〇円	一、二九一、五〇〇円	一四〇、六〇〇
彰銀支店	九一八、一〇〇	八二一、一〇〇	六八八、五〇〇
南投信用組合	二四〇、〇〇〇	二二三、〇〇〇	一四三、一〇〇
合計	二、五二一、四〇〇	二、三三五、六〇〇	九七二、二〇〇

依之觀之に昨年當月に於ける預金と貸出の比は約六對一〇、なりしに對し、當月末は六對二十五にして差引十五は卽ち外部資金の流入と見るを得べく、如何に其の消化力の旺盛なるかを窺知するに足らん。從つて利率の奔騰を來し、普通民間の取引の如きは期限付月三分日濟しもの丶如きは一日一圓宛五十日間に五十圓を返濟する契約にして當初三圓の利子を引去らるゝものなるが、其利は實に月七分強の暴利と謂ふべし。今普通銀行金利の趨勢を見るに左の如し。

種別	本年三月末利息			本年二月末利息			前年三月末利息		
	最高	最低	普通	最高	最低	普通	最高	最低	普通
貸附金	三錢七厘	三錢	三錢四厘	三錢四厘	三錢七厘	三錢	二錢七厘	一錢七厘	二錢五厘
預金	一錢五厘	一錢五厘	一錢五厘	一錢四厘	同上	同上	一錢三厘	同上	同上

備考　何れも日歩百圓に付てを示す

之を要するに資金の需要熱狂的なるに拘はらず。當該資金の健實なる事業に具體化せらるゝに乏し、所以を考察するに物價暴騰に因る處不尠さるべしと雖も而も亦思惑仮の方面に利用せられあるを想像するに難からず。

(二)重要産物の價格及其變動の因果關係

品名	單位	本月中の平均價格	前月中の平均價格	前年本月中の平均價格
支米	一石	二九・四六	二七・七〇	二五・一三
赤糖	百斤	四五・〇〇	四六・〇〇	二〇・〇〇
烏糖	同	三八・〇〇	三八・五〇	一四・〇〇
芭蕉	同	二・〇〇	一〇・〇〇	四・二〇
蕃藷	同	七・一〇	一・八一	〇・七一
落花生	一石	七・一〇	七・一〇	七・二〇

(三)貨幣流通の狀況　(イ)金貨流通は隻影無し、兌換劵の流通圓滑なり。

(ロ)補助貨幣の過不足小額紙幣充分に流通せり、硬貨は稀に白銅及靑銅を見るも誠に寥々たり、仄聞する處によれば臺中廳員林地方に於て一錢の靑銅を一錢五厘に流通せりと。廳下の靑銅も或は此方面に搬出せらるゝなきやの疑ありて注意中なり。

(四)金融上特に報告せむとする事項　二月初旬竝に三月中旬二回當街に本島人のみを以て組織せる金融公司を設立せり。其の內容左の如し。(イ)勝業公司出資人員十四人、一人千圓、資本一萬四千圓(拂込濟六千圓)にして自己資金の外銀行より一千圓の借入を爲し事業を營めり、預金と見倣すべき信託金

借入金無し、貸付は信用貸にして期限付日濟の二種あり、利息は六錢乃至八錢(百圓の日步)日濟は百圓に付天引六圓、三月末貸付高七千圓弱なり。

(ロ)南投金錢公司出資人員百十四人、一口の金額百圓にして六百四十株、資金六萬四千圓(拂込濟七千八百餘圓)銀行より五千圓、個人より一千圓の借入金あり。(此借入金は一箇年契約にて日步四錢五厘の利なり) 事業方法は前者と大差なし、但し利息は二錢高し、三月末貸高八千餘圓を有せり。

■南投廳農會第十三回總會開會　大正九年三月二十九日、南投保甲聯合會議場に於て同會第十三回通常總會を開會し、左の諸案を議了せり。

第一　廳長專決處分承認の件

(一)　副會長東豐吉氏解任の件承認。(二)　宮本信義氏を副會長に選任の件承認。(三)　評議員金子惠教氏解任の件承認。(四)　齋藤源氏を評議員に選任の件承認。(五)　豫算編成替の件承認。(六)　規約變更の件承認。(七)　豫算變更の件承認。

第二　大正七年度經費の決算及特別會計決算の件承認。

第三　名譽會員及贊助會員の推薦方を廳長に委任の件承認。

第四　大正九年度事業經營方法竝に經費の收支豫算決定。

第五　經費支拂元金一時借入の件承認。

第六　肥料購買資金借入の件　決定

第七　規約變更の件　決定

第八　造林經營に關する件　承認

而して右決議事項中第四に對する農會大正九年度事業經營方法左の如し。

▲大正九年度事業經營方法書

一、農場の經營

本年度農場に於て施行せんとする事業左の如し。

(イ)　水稻試作

前年度の事業を踏襲し、廳下に於ける優良品種にして最も廣く栽培する水稻を選擇試作し採種を行ひ米種改良事業原種を作らんとす。

(ロ)　蔬菜の試作

地方に於て產出する蔬菜は主として本島在來種にして品質優良ならざるを以て內地竝に本島に於ける優良なる種類を選び之れが試作を行ひ且つ種子を採集し之れを一般に普及せしめんとす。

(ハ)　柑苗養成

園藝改良の主腦として年々柑苗を養成し之を希望者に配付し來りしが本年度に於ても引續き之れが養成をなし廣く希望者に配付せんとす。

卽ち前年度に於て接木活着したる椪柑六、一〇〇本と、本年度配付に適せざるもの三、七七〇本、及總督府配付による椪柑一、四〇〇本、桶柑八六〇本合計一二、一三〇本の苗木培養と、一面桔仔種一斗購入播種し接木用砧木を育成せんとす。

(ニ)　甘蔗品種試驗

前年度事業を承繼し、總督府殖產局委託による甘蔗品種試驗を行ひ、地方に適應する品種の選出に努めんとす、

(ホ)　桑園の經營竝に桑苗の養成

大正二年以降農場に於て設置經營し來りたる桑園を引續き經營し範を一般に示すと共に、桑葉は稚蠶共同飼育用に供するの外補植用桑苗の養成をなさんとす。

二、農產改良

(イ)　柑橘の改良

園藝作物中柑橘の改良奬勵は、本會創設以來優良品種の苗木の養成配付、害蟲驅除豫防、耕耘肥培等に關し隨時技術員を派し之れが改良發展に努めたる結果、品質漸次向上し產額亦增加せんとする機運を示すに至れり、本年度に於ても引續き之れを承繼し技術員を隨時地方に派遣し實地の栽培指導に努めしめ益々斯業の發展を計らんとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ロ) 模範柑橘園の經營
大正六年度以降督府の補助を受け設置經營し來りたる武東堡赤水庄に於ける模範柑橘園は引續き之れが經營をなし範を一般當業者に示さんとす。

(ハ) 集團柑橘園の奬勵
柑橘園害蟲驅除豫防並に耕耘肥培に關し實地指導に當り大面積の柑橘園を經營するときは手入其の他一般に於て得る處大なるべく、依て本會に於ては武東堡赤水庄に地を相し面積五甲歩の集團的柑橘を奬勵し苗木を無償配付し肥料の幾分を補助し之れが經營をなさしめんとす。

(ニ) 茶業の改良
茶業の改良に關しては、明治四十四年以來斯業に經驗を有する技術員を聘し隨時茶產地を巡視し茶園の改良及製茶の指導をなさしむると共に、一面大正二年より優良茶苗を養成し、希望者に無償配付をなし、之れが發展を計り來りしが、本年度に於ても引續き之れが發達を期せんとす。

三、畜產改良

本年度に於て施行せんとする畜產改良事業は畜牛及養豚改良の二にして、孰れも前年度の繼續事業なりとす。

(一) 畜牛の改良
本年度に於て新に種牡黃牛二頭を購入し、會員に貸附するの外督府より種牛の貸下を受け、之を會員中の產牛熱心家に管理飼養を爲さしめ、彼是交配を奬勵し以て優良犢の產出を圖らんとす。

(二) 養豚の改良
種豚の購入貸附及補助金交付等に依り優良豚の移入蕃殖を奬勵するは前年度に同じ、尙ほ一面種豚の管理飼養法改善に資する目的を以て臺中・新竹・桃園地方の種豚主產地に養豚熱心家を選拔派遣し實地見分をなさしめ兼て採肥豚舍建造等の普及を圖らんとす。

四、米種改良

米種改良事業は明治四十四年より着手し、大正三年度に於て第一次事業を終り、大正四年度より第二次事業に着手し、大正七年度に於て之れが事業を終了せり、而して大正八年度より第三次事業に着手し四箇年の繼續事業とし之れが進行中に屬せり、而して本年度に於ては其の第二年目にして前年度に於て採取したる原々種子第一期作二、二五五合、第二期作一、一二一合を各育種耕作者を選定し播種育種せしめんとす。

五、蠶業奬勵

蠶業奬勵は蠶業教師六名を常設し蠶兒、飼育、桑園の栽培等實地指導に當らしめ、稚蠶飼育場の經營桑苗の養成等は其の駐在員をして擔當せしめ前年來の事業を踏襲して之を擴張充實し益々蠶業の普及に努めんとす。

六、農家經濟調査

農家經濟の實狀を明にし農事諸般の施設上參考に資せんため、大正七年度より督府の計畫に基き直轄及各支廳下に於て適當の農家を選定し之れが調査をなし來りしが本年度に於ても引續き之れが調査をなさんとす。

七、肥料共同購買

大正元年以降年々共同肥料の購買をなし、漸次會員の申込數を增加し發展をなし來りしが引續き之れが奬勵をなし益々之れが發達を期せんとす。

（四月報）

嘉義廳

●●蠶業　廳下の蠶業は大正元年九月に始まり總督府蠶業奬勵規則發布と同時に廳農會が其衝に當り引續き今日に至れるものなり。仰々奬勵當初の蠶業狀況及人民の希望程度は頗る見るべきものありと雖も、其當時は桑苗植付、桑園設置、奬勵金の下付・肥料の無償配布等盛に奬勵したる結果長足の進步と良好の成績を示して桑園の開設八十六甲に上りたるも、皆是前記補助金の下付及肥料の下付を目的とせる者多く、且つ知識技術に乏き人民は蠶種を下付して飼育せしめたるも收繭

充分ならず、殊に本島に最適蠶種を發見すること能はざるが故に他作物に比し利益亦多からず、加ふるに奬勵補助金を中止したる爲め百四十四甲を示したる桑園も目下四十一甲餘に減し、大正五年に於ける九十八石の蠶繭生產も五十三石に降りたり。雖然大正五年當初の配付蟻量に對する收繭と大正八年蠶種配付量に對する收繭量とを比較するに蟻量一匁に對し大正五年は　斗八升二合、大正八年は三斗九升六合蟻量一匁に對し三斗一升三合の增收なり。是を以て見るときは廳下に蠶業の氣候風土に適すること勿論にして一般に技術の熟達したるを證するに足る。總督府霜技師は本島最適蠶種の發見に對し、幾多苦心の結果最適蠶種の發見をなし、是れを地方廳に配付して大に其成績を揚げたり。

一方廳下當業者及技術員が年を追ふて良好なる成績を示したるは善良なる蠶種發見に依ると雖も又高溫飼育に熟練したる結果なりと信ず。要するに從前の變遷に依れば、斯業の奬勵方針は那邊にあるかを認め得ざりしと云ふも敢て過言にあらざるべし。

雖然農會長の確固たる方針と熱心なる奬勵とに依り一般人民の養蠶飼育心は一層向上し、大正八年中に於ては桑園開設甲數十六甲餘を算し、店仔口支廳管內關仔嶺庄直營蠶室の新築、鹽水港、打猫兩支廳下には蠶業組合の創立等未だ全島に類を見ざる奬勵機關を起し、本年の春蠶種八十八枚を配布し、各所に蠶種傳習生を募集して益々技術の發達を計りつゝあり。左に大正元年以來の蠶業成績竝に現下の奬勵方針等列記して參考に資せんとす。

▲蠶業成績調查（自大正二年至大正八年）

年別＼事項	飼育戶數	掃立枚數	收繭量	蟻量一匁平均
大正二年	一〇八	二八〇枚	三四・六〇六石	一三三合
同三年	一三六	四七八	六一・一八八	一三八
同四年	一三四	七五九	八一・六五〇	一〇八
同五年	一六四	一・一九四	九八・五一六	〇八二
同六年	一四八	七四八	七二・二二九	〇九六
同七年	一七四	三九七	七二・一四六	一八〇
同八年	六八	一三六	五三・八七二	三九六

▲桑園設置甲數調查（自大正二年至大正八年）

年＼事項	新設桑園	既設桑園	計	廢耕	現在
大正二年	甲一〇・〇〇〇〇	―	甲一〇・〇〇〇〇	―	甲一〇・〇〇〇〇
同三年	七・〇〇〇〇	一〇・〇〇〇〇	一七・〇〇〇〇	―	一七・〇〇〇〇
同四年	一五・〇〇〇〇	一七・〇〇〇〇	三二・〇〇〇〇	―	三二・〇〇〇〇
同五年	三・〇〇〇〇	二六・〇〇〇〇	二九・〇〇〇〇	三・〇〇〇〇	二六・〇〇〇〇
同六年	―	一〇・〇〇〇〇	一〇・〇〇〇〇	一三・〇〇〇〇	一〇・〇〇〇〇
同七年	二五・六五〇〇	一〇・〇〇〇〇	三五・六五〇〇	―	三五・六五〇〇
同八年	一〇・〇〇〇〇	三五・六五〇〇	四五・六五〇〇	二〇・三五〇〇	二五・三〇〇〇
同九年	一六・〇〇〇〇	二五・三〇〇〇	四一・三〇〇〇	―	四一・三〇〇〇

■農會蠶業奬勵方法　地理的經濟的狀況を精查し、養蠶地として最も適當と認むる地方より漸進的に斯業の奬勵に全力を注ぎ、以て健實なる養蠶家を作り、理想的養蠶部落を作るに於て蠶業敎師の配置は本會に二名、第一奬勵區卽ち打猫・鹽水港・店仔口・支廳下には各二名宛の敎師を配置し、第二奬勵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

區には本會技術員をして時々出張指導監督に當ることゝす。

奬勵區の設置としては、養蠶現況及地理的經濟的狀況を考査して養蠶地として適當と認めたる區域に設置し、一支會區に直營稚蠶飼育場及補助稚蠶飼育場を設け技術員二名を配置して之が指導をなさしめ、第二奬勵區は全力を以て指導奬勵をなすものとして技術の配置をなさず、第二奬勵區は前記三支廳管內を除く他の全支廳下とす。

第一奬勵區に於ける稚蠶飼育場に於ては、三齡又は四齡の初期迄飼育したる蠶兒を無償配布し、之れより收穫したる蠶繭は無償を以て殺蛹乾繭をなし、販賣迄全部本會に於て取扱ひ當業者に負擔せしむることとし、其他蠶具は貸付、桑苗は無償配布とし、第一第二奬勵區とも希望者に對し無償配布す。尙傳習生養成は各直營稚蠶飼育場に於て養成し食費を支給することゝせり。

直營稚蠶飼育場の設置なき地方にありても時宜に依り時々蠶業講話をなし、普く會員に蠶業の副業的有利事業なることを知らしめ、以て斯業の發達を計れり。

蠶業の適期を記せば左の如し。

一、春蠶及夏蠶　四月五月及六月中旬

一、秋蠶　九月十月二箇月とす

以上の奬勵方針は技術傳習を先にし、習得したるものを以て栽桑の業に當ることゝなすが故に生產に於て違蠶なく、且つ斯業の意味を覺知せる傳習生が其重なる當業者なるに依り、奬勵當初の如き桑園の廢耕及飼育の失敗等なかりき。

（四月報）

臺南廳

■區職員他廳下區務視察　當廳に於ては從來區務の改善發達を圖る爲め、區職員を選拔して他廳下優良區の事務を視察せしめ居れるが、本年も亦廳員引率の下に打狗區長葉宗祺・文依區長楊秋澄及打狗區書記羅烘爐、外五名の一行は三月十七日出發嘉義・臺中・新竹・桃園及臺北の五廳下に於ける優良區長役場を視察し、同二十三日歸任せり。永內區長林世鴻も右一行に加はる筈なりしも區務の都合にて延期し、三月二十五日出發、同二十九日歸任せり。

■小公學校證書授與式　三月二十日より同月三十日迄廳下小公學校の卒業證書授與式を擧行せり。臺南市內は枝廳長臨席せられ、其他は猪股庶務課長・秋山事務官・增永視學等廳長代理として臨席擧行せり。而して本年より小公學校ともに修業證書の授與を廢止して卒業證書のみを授與することゝせり。卒業優等生に對し

閑院宮北白川宮兩殿下御下賜の奬學資金に依る賞品、及廳長よりの賞品を授與せること前年に同じ。

■小公學校陞格及新設　大正九年より廳下小公學校の陞格又は新設せられたもの次の如し。

（一）　小學校分敎場より本校となりしもの

灣裡尋常小學校　關帝廟尋常小學校　六甲尋常小學校

北門嶼尋常小學校　楠梓坑尋常小學校

（二）　小學校の新設

三塊店尋常小學校

（三）公學校分校より本校となりしもの

港仔墘公學校　仕隆公學校　媽祖廟公學校
阿蓮公學校　新市公學校　西港公學校

（四）公學校の新設

仁武分校　五甲尾分校　竹仔港分校
三塊店分校　茄拔分校　歸仁南分校
園仔內分校　蔴荳寮分校　蔴荳第二公學校
安業公學校　茅港尾公學校　塭仔內公學校

（五）學級增加　大正九年度に於ては廳下小公學校の學級增加約百六十にして、入學希望者の大多數を收容し得たるは敎育上最も喜ぶべき事に屬す。

■學事計畫　大正九年度に於ける廳下學事計畫の主要なる事項次の如し。

（一）小公學校の新設及增築は物價騰貴の爲め止むを得ず大部分はバラック式の建物となさんとす。

（二）敎員養成　小公學校卒業生百二十名を臺南、鳳山及蔴荳の三箇所に收容し、十箇月間の臨時敎員養成講習會を開催し、以て公學校敎諭心得竝訓導心得を養成せんとす。

（三）敎員講習會　夏期休業中、現に奉職中の敎諭訓導及訓導心得等の敎員講習會を開催し學術及實務の研究を爲さんとす。

（四）敎務打合會　從來の方法に改善を加へ、訓導心得と敎諭とを區別して各地方別に之を開催し、實地敎育上の效果を期せんとす。

（五）國語普及、地方敎化事業に就ては前年來の方法を繼承して益〻之が效果を擧げんことに努め、之が奬勵の一方法として各地に時々小公學校兒童及國語研究會員等の學藝演習會を開催せんとす。

■臺南廳下小作慣行　當廳下小作慣行に關し、此程調査せるものを摘錄すれば左の如し。

（イ）小作契約　小作契約の時期は多く一、二、三月頃にして稀に九月頃行ふものあり。而して其形式は單に口約に依るもの約七割五分を占め、契約書を作製するもの僅かに二割五分位に過ぎず。

（ロ）小作期限　小作期限は永きは無期限のものあり、或は極めて短期契約にして僅かに半年卽ち一作限りのものありと雖も、普通三箇年間又は五箇年間のもの多し。今全管內を通じて其契約期間の割合を見るに、

一作限りのもの	五分
一年間のもの	二割
三年乃至五箇年間のもの	七割
無期限のもの	五分

（ハ）小作料の種類及小作料決定標準　小作料の種類は概ね田は現物(籾)、畑は現金を以て地主に納付するを普通とするも、時に或は田に現金、畑に現物(其收穫物)を以てするものあり。其割合大約左の如し。

田	現物(籾)にて納付のもの	八割
	現金にて納付のもの	二割
畑	現物(收穫物)にて納付のもの	二割
	現金にて納付のもの	八割

又小作料決定の標準は大體三種に分たる、即ち其契約地に對し、(1)收穫高に依るもの（收穫物の總高に準じて決定するもの）、(2)業主の任意に依るもの（耕地の肥瘠、灌漑、排水竝に交通の便否、小作人の性格等に依り業主に於て任意決定するもの）、(3)等則に依るもの（地租條例に依る等則の等級に依り決定するものにして、其割合は(1)に依るもの約五割、(2)に依るもの約四割、(3)に依るもの約一割なり）。

（ニ）小作料領收形式　贌耕者より小作料を地主に納付するに當り、普通は業主より領收證を交付せず單に口頭を以て領收の意志を表するのみにして、正式に領收證を交付するもの約二割位に過ぎず。

（ホ）小作料の增減又は免除　小作契約には普通何等之に關し條件を附するものなきも、特殊の事情發生せる場合即ち長期契約年期中、(1)地價著しく騰貴せる場合、(2)其耕地肥沃となり或は灌漑排水等耕地改良施設に依り其生產力增進したる場合、(3)小作希望者多き場合等は、地主と小作人と協議の上小作料を增額することあり。又風水害等の天災に依り半減作或は收穫皆無に歸したる等の場合は、小作料の減額又は免除を協定することあり。

（ヘ）小作契約保證金　小作契約には普通保證金差入の附帶條件なきも、稀に小作契約の際全小作料の二割乃至五割に相當する額を前納せしむることあり。此種のもの約二割位あり。

■臺灣燐寸木材株式會社創立　從來日福公司と稱し、臺南市森岡熊次郎の個人經營にて燐寸の製造竝販賣を營みしを漸次事業の進展に伴ひ、今回新たに資本金三十五萬圓を以て臺灣燐寸木材株式會社を設立し、同公司の營業一切を繼承することゝなり、二月二十五日第一回拂込（四分の一）を終了し、三月十日永樂町南昌公司に於て創立總會を開催し役員を選任し、社長に陳錦鎰、常務取締役に森岡熊次郎就任せり。

■大正八年第二期稻作々付面積及收穫高

（一）作付面積　四萬四千九百三十八甲三分

内譯

種別	粳米	糯米	計
水稻 兩期作田	甲 六、八四二・三〇	甲 六四八・〇〇	甲 七、四九〇・三〇
水稻 單期作田	二一、一四八・七六	二、六五二・九二	二三、八〇一・六八
水稻 計	二七、九九一・〇六	三、三〇〇・九二	三一、二九一・九八
陸稻	一三、一九七・六六	四四八・六六	一三、六四六・三二
合計	四一、一八八・七二	三、七四九・五八	四四、九三八・三〇

（二）收穫高（玄米）三十五萬九千五百六石

内譯

種別	粳米	糯米	計
水稻 兩期作田	石 六三、四三八	石 五、八八〇	石 六九、三一八
水稻 單期作田	一七四、八六六	二二、四一六	一九七、二八二
水稻 計	二三八、三〇四	二八、二九六	二六六、六〇〇
陸稻	八九、八〇一	三、一〇五	九二、九〇六
合計	三二八、一〇五	三一、四〇一	三五九、五〇六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（三）最近五箇年比較表

年次	作付面積 水稲	作付面積 陸稲	作付面積 計	收穫高 水稲	收穫高 陸稲	收穫高 計	一甲當收量 水稲	一甲當收量 陸稲	一甲當收量 計
	甲	甲	甲	石	石	石	石	石	石
大正三年	三〇、七五四・六〇	一三、一七〇・八七	四三、九二五・四七	二六二、一五四	八四、九四二	三四七、〇九六	八・五二四	六・四四九	七・九〇二
同四年	三〇、七九三・九七	一二、〇七三・〇三	四二、八六七・〇〇	二七六、二七二	八三、四一一	三五九、六八三	八・九七一	六・九〇九	八・三九一
同五年	三〇、一二二・三四	一一、五二九・五六	四一、六五一・九〇	二三七、七七三	七一、五二〇	三〇九、二九三	七・八九三	六・二〇三	七・四二六
同六年	二九、四五二・九四	一一、二六〇・八二	四〇、七一三・七六	二六八、六二〇	七五、三七七	三四三、九九七	九・一二〇	六・六九六	八・四四九
同七年	三〇、七八六・七五	一二、〇〇五・〇二	四二、七九一・七七	二三〇、五四四	七八、一四八	三〇八、六九二	七・四八八	六・五〇九	七・二一四
以上五箇年平均	三〇、三八二・一二	一二、〇〇七・八六	四二、三八九・九八	二五五、〇七三	七八、六七九	三三三、七五二	八・三九六	六・五五二	七・八七三
大正八年	三一、二九一・九八	一三、六四六・三二	四四、九三八・三〇	二六六、六〇〇	九二、九〇六	三五九、五〇六	八・五二〇	六・八〇八	八・〇〇〇

（四）支廳別作付面積及收穫高

種別	作付面積 水稲	作付面積 陸稲	作付面積 計	收穫高 水稲	收穫高 陸稲	收穫高 計	一甲當收量 水稲	一甲當收量 陸稲	一甲當收量 平均
	甲	甲	甲	石	石	石	石	石	石
直轄	二、二五七・一六	一、二四六・五九	三、五〇三・七五	一八、八〇六	八、七五八	二七、五六四	八・九〇三	六・五〇四	七・八六七
灣裡	一、二八八・二七	一、一九六・〇〇	二、四八四・二七	九、二五四	七、七五九	一七、〇一三	七・一八三	六・四八七	六・八四八
麻豆	一、二八九・四五	七四四・二七	二、〇三三・七二	一二、一一二	五、三一四	一七、四二六	九・三九三	七・一四〇	八・五六九
蕭壠	—	八六四・三〇	八六四・三〇	—	五、五四四	五、五四四	—	六・四一四	六・四一四
北門嶼	三八〇・八〇	四三五・八〇	八一六・六〇	二、七三六	二、六九二	五、四二八	七・一八五	六・二七八	六・六四七
六甲	三、四六三・四〇	一、〇四五・五〇	四、五〇八・九〇	三四、二八一	八、三六三	四二、六四四	九・八九八	八・〇〇〇	九・四五八
噍吧哖	一、二五一・三五	七〇四・九〇	一、九五六・二五	八、五六四	四、一八一	一二、七四五	六・八四四	五・九三一	六・五一五
大目降	二、五六九・〇〇	一、九三六・七〇	四、五〇五・七〇	二一、七三〇	一二、五四三	三四、二七三	八・四五九	六・四七六	七・六〇七
關帝廟	三、二三七・一九	一、一二一・六〇	四、三五八・七九	二九、一一〇	八、二四一	三七、三五一	八・九九二	七・三四八	八・五七一
阿公店	六、一九〇・三八	二、一一四・三〇	八、三〇四・六八	四六、五一五	一四、九三五	六一、四五〇	七・五一四	七・〇六四	七・三九九
楠梓坑	三、四六四・六六	一、三三五・五八	四、八〇〇・二四	二八、九二七	九、三六〇	三八、二八七	八・三四九	五・五二一	七・九七六
打狗	二、四一四・三〇	四二・五〇	二、四五六・八〇	二二、二〇〇	二二八	二二、四二八	九・一九五	五・三六五	九・一二九
鳳山	三、五八六・一二	七五八・二八	四、三四四・四〇	三二、三六五	四、九八八	三七、三五三	九・〇二五	六・五七八	八・五九八
計	三一、二九一・九八	一三、六四六・三二	四四、九三八・三〇	二六六、六〇〇	九二、九〇六	三五九、五〇六	八・五二〇	六・八〇八	八・〇〇〇

■縦貫道々路改修　縦貫道は本島南北を貫通する重要幹線なるも、其創設に際し充分調査の時日なく、急遽開鑿したるため現今に交りては屈曲迂廻、或は地盤陥落等にて通行稀薄の箇所も尠からず。是等道路の整理は刻下の緊急要務なり。殊に臺南より嘉義廳界に至る八里餘の間は土地低窪なると地質輕鬆なるとに因り、年々雨期に際して多大の水害を蒙り、路面

の破壞、橋梁の流失等擧て數ふ可らず。之れが補修をなさんとするも姑息の修繕法にては到底其缺陷を除却する能はず。漸次交通不可能に陷り地方產業開發上至大の阻害を及ぼすを以て、今回右路線變更竝に改修の計畫を立て、該地域全般に亙りて、精密測量調査を遂げ、目下比較線を選定し、架橋位置其他工事方法等に付研究中に屬せり。

■大目降支廳々舍新築　大目降支廳は從來民屋を借入れて假廳舍に充用せしものなれば、通風採光不充分にして執務上の不便尠からず、且つ年々蟻害を被り、姑息の修繕にては到底其の補修を完ふする能はず。因て數年來新築の計畫を立たりしも豫算の都合上漸次遲延するに至り、本年度に於て始て其の實施を見るに至れり。其の工事施行に就ては總督府既定の標準に基き、尚ほ各地方に於ける設備を參照し特に耐震、防蟻の二點に注意し、實質の堅牢を主として計畫したるものにて、其廳舍は煉瓦造平家建百五十一坪餘の構造とし、外に附屬工事及敷地買收費等を併せ工費二萬九千圓を支出するに至り、三月八日を以て盛大なる落成式を擧行せり。

■臺南水道給水　臺南水道は目下工事中に屬し、既に十二吋鐵管の敷設を了し、一部給水支障なきを以て大正六年度より給水費三萬圓を以て臺南市內に公共栓を設置する事とし、內一萬圓は臺南市內家稅の特別賦課とし、一萬圓は公共衛生費の寄付に賴り、其餘は一般地方稅經濟より支出を受る事とせり。然るに其後諸材料價格竝に職工賃金等暴騰のたの大正九年度は約四萬七千圓を要する豫定なるも、公共衛生費は到底寄付に增額の餘地なきを以て、家稅特別賦課を增額して一萬八千圓とし、其餘は一般地方稅經濟より支出を仰がんとし目下計畫中なり。

■地租官租徵收　臺南廳後期地租及び同附加稅は、二月二十五日を納入期限として徵收に著手せるが、成績頗る良好にして期限內に完納するに至れり。之れ近年農作物の豐收と其價格の騰貴とに由り、農家の經濟裕福にして稅金の納入に何等支障を感せず、且つ一面其の徵收の任に當れる區長書記の努力に依るものなり。其稅額左の如し。

地租	三十四萬五千〇二十一圓	(圓以下切捨)
官租	一萬六千五百六十七圓	
地租附加稅	十萬二千五百十圓	

(四月報)

阿緱廳

●●

■農業　(一)第一期米作付狀況　當廳下に於ける第一期米の挿植は例年二月上·中旬に始まり三月上·中旬を以て終了するを普通とするが、本年は植付時期に於て稀有の旱魃を見、僅かに二月に於て一七粍四、三月に於て二二粍七の降雨量にして河川の減水著しく、灌漑水の不足を來せし爲め植付困難を見たる箇所多く、從つて植付期幾分遲延したるのみならず、全然植付不可能にして畑作物を作付したる箇所少なからず。されど本期の作付は米作の好況に依り前年に比し多少增作の見込なりしも右の事情に依り幾分の減作を見るべく、而して其の實數は目下調査中なるも前期の作付二萬七百四十五甲餘に比し三四步、即ち七八百甲步減少にして結局二萬甲內外の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

作付ならんか。

(二)肥料購買　農會大正九年第一期肥料購買數量に就ては前回報し置きたるが、三月十五日右購買數量に付供給者に對し指名競爭入札施行の結果、左の通り落札夫々契約の締結を爲せり。

大豆粕　二萬八千六百四十一玉
價格　十四萬六百二十七圓三十一錢　一玉に付四圓九十一錢
供給者　臺灣醸傳社打狗支店長　山本千代吉
過燐酸石灰　二萬七千六十三叺
價格　十一萬二千六十七圓八十八錢　一叺に付四圓十四錢一厘
供給者　阿部幸兵衛臺南支店長　阿部彌兵衛
調合肥料　五千八百三十四叺
價格　五萬一千一百六十四圓十八錢　一叺に付八圓七十七錢
供給者　三井物産株式會社阿緱出張所員瀧川一誠
購買價格合計　三十萬三千八百五十九圓三十七錢

■大正八年地押調査の成績　大正八年地押調査は潮洲支廳管内一圓にして二十八箇庄に渉り、總面積一六、五七六甲、筆數三一、六六九なり、之を一筆毎に地圖と實地とを對照して發見したる異動地は別表通り、異動の歩合は總筆數に對し二割三分四厘、測量を要するものは一割六分なり。

以上の調査は十一月三十日、測量は十二月三十一日外業を終了し、土地臺帳及地圖の整理は九年二月十日全部完了せり。

▲大正八年地押調査成績

異動種目	異動筆數 概況圖を作製したるもの	異動筆數 概況圖を作製せざるもの	異動筆數 却下したるもの	異動筆數 計	測量筆數 測量したるもの	測量筆數 却下したるもの	測量筆數 計
有租地成	二七	二二八	—	二五五	二七	—	二七
修正租地成	四七四	六八〇	—	一、一五四	四七四	—	四七四
無租地成	四三	一〇五	—	一四八	四三	—	四三
荒地免租年期附與	一二八	五八九	—	七一七	一二八	—	一二八
荒地免租満期	—	八	—	八	—	—	—
無租地異動	一二二	二四二	—	三六四	一二二	—	一二二
分割	六三六	一〇五	—	七四一	七四一	—	七四一
合併	—	三九五	—	三九五	—	—	—
公用地用途變更	—	二	—	二	—	—	—
開墾	三三二	—	—	三三一	三三一	—	三三一
地域變更	一、五二六	—	—	一、五二六	一、五二六	—	一、五二六
地盤測量誤謬訂正	一、五九四	—	—	一、五九四	一、五九四	—	一、五九四
計	四、九七一	二、四六四	—	七、四三五	五、〇七六	—	五、〇七六
從事延日數	—	—	—	三八九	—	—	三三一
一日平均功程	—	—	—	一九	—	—	一五

■製糖狀況　本年期(税務年期大正八年期)は原料甘蔗の減收したる結果、各工場一般に作業期間を短縮し、既に作業を了りたるもの改良糖廍五箇所(全部)、舊式糖廍六箇所あり。新式工場に於ても亦豫定の終了期日を早め、何れも四月下旬製糖を了るべき見込なり。

本年期産糖高は當初見込白糖十四萬二千八百三十八擔、分蜜糖三十萬九千擔、赤糖一萬五千八百九十六擔、計四十六萬七千七百三十四擔なりしも、結局本期の總産糖高は分蜜糖四十四萬擔、赤糖九千五百擔、計四十四萬九千五百擔にして、當初の見込より一萬八千二百三十四擔の減産を見るに至るべし。今工場別に原料の收穫及製糖高(作業未終了のものは豫想高)を當初の見込に對比すれば如左。(原料は單位千斤製糖は單位擔を以て揭ぐ)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

工場名	原料甘蔗 當初見込	原料甘蔗 實收見込	原料甘蔗 增△減	原料甘蔗 歩合	製糖 當初見込	製糖 實收見込	製糖 增△減	製糖 歩合
阿緱工場	千 三六五、〇四五	千 三四六、七六六	千 △一八、二七九	△〇、〇五〇	三一四、五〇〇	三一六、一二〇	一、六二〇	〇、〇〇五
旗尾工場	一五一、八四八	一三六、一五八	△一五、六九〇	△〇、一〇三	一四一、三〇〇	一二三、九九〇	△一七、三一〇	△〇、一二三
計	五一六、八九三	四八二、九二四	△三三、九六九	△〇、〇六六	四五五、八〇〇	四四〇、一一〇	△一五、六九〇	△〇、〇三四
改良糖廍五箇所	一四、〇六〇	八、三九五	△五、六六五	△〇、四〇三	一一、〇五〇	七、六九〇	△三、三六〇	△〇、三〇四
舊式糖廍九箇所	三、三三六	二、三〇四	△一、〇三二	△〇、三〇九	五、九七〇	五、〇七〇	△〇、九〇〇	△〇、一五一
合計	五三四、二八九	四九三、六二三	△四〇、六六六	△〇、〇七六	四七二、八二〇	四五二、八七〇	△一九、九五〇	△〇、〇四二

(備考) 改良糖廍、舊式糖廍の原料の見込に對し三割内外の著しき減收を來たしたるは、原料の植付地域主として山邊に屬し、生育期に於ける旱魃被害も平地に比して一層甚しく、尙且つ山豚野牛の被害も亦甚しかりし結果なり。

■阿緱防疫組合狀況

三月十一日午前十時より阿緱保甲會館に於て阿緱防疫組合總會を開き池田組合長・蘇副組合長・瀧澤主事以下委員二十六名參集池田組合長より左の挨拶ありたり。

本日各位の御臨席を得て本組合總會を開くに當り御多忙中御繰合を願きたる段感謝の意を表する次第であります。

私の就職は大正八年五月三十一日でありまして、前任者の事務を引續き其事業の計劃を踏襲したるは勿論、更に時運の發展に伴ひ施すべきは之を施し改むべきは之を改め、鋭意努力した考でありますが如何せん短才無識時世遲れの私の事故に遺憾ながら各位を始め組合員一同に滿足を與ふることの出來ないのは汗顏に堪へぬのであります、乍去驕馬も一鞭を與ふれば多少感覺はあるものでありますから、何卒隔意なき御督勵御鞭撻の程希望に堪へぬのであります。既往實施したる事業の成績等は主事をして陳述せしむる筈でありますから、私は組合長として組合員に對する希望を述べて御敎示を乞はんとするのであります。

抑防疫の如き事は各人各個の心懸如何に因て效果が擧ると否とは岐るのであります、然るに往々人の事は之を批評もし又攻擊も容易に出來るが、各個人が自衞上當然遵守すべき事、守るべき事の出來ぬのは甚だ遺憾とするところであります。例へばマラリア防遏に付て、患者は必ず指定通り服藥せなくてはならぬ、又一般に臥寢の時には蚊帳は必ず用ひなくてはならぬ、と云ふても夫れが仲々實行が出來ぬからマラリアが流行する樣になり、塵芥は所定の容器に蒐集して置かねばならぬと云ふに其の儘投棄して置くとか、又コレラ豫防には是非蠅の驅除をせねばならぬと云ふ點から驅蠅劑を配付すると云ふに進んで配付方を申出づる人が少く、豫防注射をすると云ふても痛いとか熱が出るとか勝手な事を云ふて進んで之を受くる人が少い、斯樣なことでは單に形式丈の防疫は行はれても實質に有終の效果を收むると云ふ點に付ては甚だ遺憾に堪へぬ點があります、其結果は徒に經費を空費し、手數をかけても其目的が達せられぬと云ふ事になるのであります、ドーか將來斯の點を一般に注意して組合員を督勵せられ、有終の成績を收むることの出來る樣に各位の努力御援助を希望する次第であります、開會に當り所感を述べて御挨拶と致します。

終て瀧澤主事より組合事業に付き左の概要報告あり、

組合區域内大正七、八年に於ける傳染病の患者發生及轉歸の狀況を述べんに、チブスの發生は内地人十七名にして七年に比し四名の增加なるも、死亡者は二名にして前年と同じく、全治者十五名を出せしも比較的豫防の經過良好なり。

赤痢は内地人發生十四名、本島人十名此内死亡者は本島人一名にして内地人十四名、本島人九名は何れも全治せり。七年の發生内地人十一名、本島人七名に比し計六名の多きを見たり。

發生患者の處置に付ては直に規定の消毒を施行し、夫々防遏に努めつゝあるの結果幸に連續發生を見ず、驅蠅劑の無償配付數量は一千七百二十五本に達し、其配付戶數四二三戶とす。マラリア防遏に就ては、廳の施設に係る防遏法により、組合員一般に之が防遏の恩典を受け、漸次效果の著しきものありと雖も、地方事業の勃興に伴ひ多衆本島人及内地人勞働者の來往を招致したるの結果七年中の檢査人員百人に付原蟲携帶者一、五七人(内地人一人五分 本島人一人六分五厘)に比し八年は二、五人(内地人一人三分六厘に減じ 本島人二人八分に增)に增率せり、之が一般防遏簡易方法として八年八月より九月三十日に亙り蚊防香(カトリ線香)の實費配付を爲し、其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

數量一千二百十五圓、配付人員は三百三十八人とす。

次にコレラ豫防の槪況を述べんに、八年七月八日當地方と交通頻繁なる澎湖廳下に發生の報に接したるを以て直に之れが應急防遏上一般心得書を配付して各組合員の注意を喚起したるの外、八月十五日より十一月十三日に亙りて豫防注射を開始せり。幸に之れが侵襲を受けざりしは組合員各位と共に同慶に堪へず。流行性感冒は本年一月以來二月十四日迄の發生患者内地人七三八人内死亡一三人、本島人一、〇二九人の患者に對し死亡九三人の多きに及べり。之が豫防法に付ては豫防心得書の配付と豫防注射を施行したり。其總人員三、〇一四人にして外に含嗽豫防劑の實費配付をも爲したり。二月十七日の其數量一、一九九本、之れ又比較的に北部地方よりも輕症なりき。

組合區域内の點燈は前年度末に於て七十八箇所の處、倘市區の擴張に伴ひ汚染し易き箇所增加に付、本年度内に於て二十七箇所の增設を爲したり。大正九年度に於ては倘二十箇所を增設するの豫定なり。

區域内掃除人夫賃は一般勞銀昂上に伴ひて數囘增額を行ひ、漸く所要の人員を得つゝある實況なるも、逐年道路の延長增加の結果は倘本年度に於ても增員の急に迫りつゝあり。

下水附屬の道路延長四千八百五十六間に對し、大正八年中に延長せられたるもの六二二間にして、大正九年に於て施設せらるべき下水附屬豫定道路延長二、一一五間を加へ、總里程換算三里十八丁三十三間に達す。

掃除使役人夫八年四月一日より九年一月末日迄の延人員八、三一六人に達せり。

以上は事業施行の槪要にして、將來益努力組合員各位の爲に防疫上優良の成績を擧げむことを期せむとす。

次に大正五年度豫算案を議決し、更に七年度決算を承認して午後二時退散せり。

▲大正九年度豫算

收入豫算		支出豫算	
科目	金額	科目	金額
組合費收入	五、九〇〇・〇〇〇円	事務費	三、三一五・〇〇〇円
公共衞生費補助	三、〇〇〇・〇〇〇円	事業費	一三、一九八・三五〇円
下水及汚物掃除交付金	三、五七〇・〇〇〇	内譯 物品費	一、二九六・六〇〇
雜收入	三、八三〇・〇〇〇	需品費	二二四・五〇〇
内屎尿收入	三、八〇〇・〇〇〇	防疫調査費	五〇・〇〇〇
其他	三〇・〇〇〇	雜給雜費	一一、六二七・二五〇
繰入金	一、二二一・三五〇	點燈費	五八四・〇〇〇
		雜支出	一〇・〇〇〇
		豫備費	四一四・〇〇〇
計	一七、五二〇・三五〇	計	一七、五二〇・三五〇

▲大正七年度阿緱防疫組合收支決算書

收入之部

科目	豫算額	決算額	過不足額
組合費收入	三、五八七・〇〇〇円	二、八〇二・四三〇円	△七八四・五七〇円
組合費	三、五八七・〇〇〇	二、八〇二・四三〇	△七八四・五七〇
公共衞生費補助金	三、〇〇〇・〇〇〇	三、〇〇〇・〇〇〇	—
補助金	三、〇〇〇・〇〇〇	三、〇〇〇・〇〇〇	—
下水及汚物掃除費	九五〇・〇〇〇	九九六・七〇〇	四六・七〇〇
同交付金	九五〇・〇〇〇	九九六・七〇〇	四六・七〇〇
雜收入	九九九・四八〇	一、〇四六・二九〇	四六・八一〇
預金利子	一八・〇〇〇	四一・二四〇	二三・二四〇
過怠金	五・〇〇〇	—	△五・〇〇〇
滯納費	七六・四八〇	二八・九五〇	△四七・五三〇
屎尿賣下代其他	九〇〇・〇〇〇	九七六・一〇〇	七六・一〇〇
繰入金	一、二五八・九三〇	一、四三四・六四六	一七五・七一六
前年度剩餘金	一、二五八・九三〇	一、四三四・六四六	一七五・七一六
合計	九、七九五・四一〇	九、二八〇・〇六六	△五一五・三四四

（收入解疏）　組合費收入の收入不足は缺損及未納の爲めなり◉組合費は官公吏五七四、三三〇會社竝に同職員四〇九、五〇〇民間內地人五九五、七〇〇民間本島人一、二二二、九〇〇◉下水及汚物掃除費の收入過額は臨時供出人夫賃の交付に依る◉同交付金は每日六人宛供出人夫に對し九四一、七〇〇臨時供出人夫に對する分五五、〇〇〇◉雜收入の收入過額は預金利子其他增收に依る◉過怠金の收入不足は處分件數なきに依る◉滯納費は內地人一〇、三〇〇本島人一八、六五〇收入不足は缺損及未納の爲め◉屎尿賣下代其他は屎尿賣下代九〇〇、〇〇〇感冒豫防劑の實費收入一二、五〇〇製糖會社へ供出人夫に對する收入六三、六〇〇

支出之部

科目	豫算額	決算額	過不足額
事務費	二、〇〇七・〇七〇円	二、〇九六・一二〇円	△八九・〇五〇円
物品費	八六・五二〇	一一一・六八〇	△二五・一六〇
通信運搬費	一〇・三五〇	九・九〇〇	〇・四五〇
修繕費	二四・四〇〇	二五・〇〇〇	△〇・六〇〇
旅費	五〇・〇〇〇	三六・五五〇	一三・四五〇
雜給雜費	一、八三六・〇〇〇	一、九一二・九九〇	△七六・九九〇
事業費	七、〇八八・〇七〇	五、七八一・九九〇	一、三〇六・〇八〇
物品費	七八八・〇〇〇	六六二・六九〇	一二五・三一〇
藥品費	一七〇・〇〇〇	一七七・四三〇	△七・四三〇
防疫調査費	五〇・〇〇〇	一一・五一〇	三八・四九〇
雜給、雜費	六、〇八〇・〇七〇	四、九三〇・三六〇	一、一四九・七一〇
點燈費	四九〇・〇〇〇	四八八・八七〇	一・一三〇
點燈費	四九〇・〇〇〇	四八八・八七〇	一・一三〇
雜支出	一〇・〇〇〇	—	一〇・〇〇〇
過誤納金拂戻	一〇・〇〇〇	—	一〇・〇〇〇
豫備費	二〇〇・二七〇	—	二〇〇・二七〇
合計	九、七九五・四一〇	八、三六六・九八〇	一、[illegible]八・四三〇

收入合計九千貳百八拾圓六錢六厘也
支出合計八千參百六拾六圓九拾八錢也
差引殘金九百拾參圓八錢六厘也
　殘金は大正八年度へ繰越す

（支出解疏）　事務費の不足額は豫備費より流用す◉物品費は備品費謄寫盤代二五、一五〇消耗品費用紙及印刷代六九、七五〇綴糸其他代一六、七八〇◉通信運搬費は新聞代一箇年分◉修繕費は卓子二脚修繕代五、〇〇〇自轉車同二〇、〇〇〇◉旅費は事務視察の爲め臺北まで出張分◉雜給雜費は雜給傭給及手當七四七、五〇〇賞與三九一、〇〇〇請願巡査費五三二、六六〇雜費宿舍料二〇四、〇〇〇會議費三四、六五〇其他三、一八〇不足額は臨時手當額の改正增給及請願巡査費の增額改正の爲に依る◉物品費は器具費塵箱代三二〇、〇五〇其他雜器具代一三二、一〇〇修繕費撒水車一四四、〇〇〇其他雜器具修繕代六六、五四〇過額は撒水車購入を要せざりし爲めに依る◉藥品費は石油代一〇八、九〇〇石鹼代二一、〇五〇生石灰代一七、〇八〇其他消毒藥品代三〇、四〇〇不足は價格の騰貴の爲めに依る◉防疫調査費は衞生活動寫眞會開催諸入費◉雜給雜費は雜給人夫賃四、六九七、一〇〇賞與一五〇、〇〇〇雜費雜器具代七三、七〇〇其他九、五六〇但し人夫は延人員九、八九八人一人當り平均四七〇強◉點燈費は點燈料及器具其他交換料四〇〇、五七〇電柱補修費八八、三〇〇◉雜支出は過額は件數なきに依る。

臺東廳

■區書記會議　區內住民の大部分は蕃人にして極めて幼稚の域にあるを以て區書記會議の如きも未た曾て開會したることなかりしが、本年三月初めて其の第一回を開會したり。劈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

頭廳長代理中村財務課長は下級行政機關として區長役場の事務取扱に就て訓示する處あり、次に諮問事項注意事項と順次進行し同日午後四時終了せしが、就れも熱心に討議を重ね、將來事務執行に當り稗益する處多きを信ぜしめたり。今其の事項を列記すれば左の如し。

▲諮問事項

(一)相續未定地整理事務取扱の狀況如何。(二)土地異動及申告の狀況如何。(三)田畑建物敷地の賦耕及貸借の慣例如何。(四)土地賣買の狀況及價格の標準如何(五)法令周知の方法如何。(六)區内在住の生蕃人と本島人接觸の狀況如何。

▲注意事項

(一)本年二月府令第十號を以て大正二年府令第三十一號を廢止せられたる結果、當廳管内の地租は總て所轄區長に於て徵收することゝなれり之れが施行に就ては更に指示する所あるべきも區吏員に於ては法規及實行方法に關し豫め充分なる研究を要す(二)家稅分賦額調書の合計金額が往々徵收告知書の金額に相違あるものあり、注意を要す。(三)稅額十錢未滿にして家稅を分賦せざるものに對しては負擔金を分賦すべき限にあらず、又家稅を納めざるものにして家稅の例に依り算出したる負擔金の標準金額が十錢未滿なる場合に於ても之に準ずるを穩當とす、注意を要す。(四)新規開業に係る申告書中行商者にして生年月日の記載なきものあり。自今必ず氏名の左傍に記載せしむることを要す。(五)納稅義務發生消滅又は其の他の異動にして申告を怠るもの少からず、之等は區吏員に於て注意し遲滯せしめざることを要す。(六)納人轉住其の他の事故に依り徵收告知書、交付不能の場合に於て區長役場の取扱緩慢の爲め徵收上支障を生ずること少からず、是等は直に其事由を符箋し本廳に返送することを要す。(七)稅金の滯納者あるときは三日以内に報告すべき規定なるに之を怠る向あり、爲に徵收上少からざる手數を要し往々不納缺損の止なきに至る場合あり、自今必ず規定に從ひ遲滯なく報告を要す、(八)滯納報告書中滯納の事由記入なきものあり、摘要欄に其の事由を記載せらるべし。(九)稅額二十圓以上にして延滯金の附帶する滯納稅金は區長に於て收入すべき限にあらず、注意を要す、(十)取纏金の保管に付ては他の公金又は私金と混同せざることを要す、(十一)取纏金の送付遲延の向あり、自今必ず規定に依り送付を要す。(十二)簿書の整理及編纂杜選の向あり注意を要す、(十三)徵收囑託に係る稅金にして便宜區長に於て徵收したるものは他の稅金と區分し速に本廳に送付することを要す、(十四)法令周知簿の記載方簡に過ぎ或は全く記載し居らざるものあり、法令の周知は區長の職務中最も重要なるものなれば律令、府令、廳令、告諭、告示等苟も人民に周知を要する事項は其周知の都度細大洩なく記載すること、(十五)管内狀況一覽表贈本至急提出を要す最も本年は樣式改正せられたるを以て幾分調製に時日を要すべきも元來本表は前年中又は前年度末の狀況を記述すべきものにして通常は一月末迄に調製を了すべきものなり、各區共奮勵して速に調製するを要す。

■小公學校蕃人公學校卒業生　本年三月小公學校及蕃人公學校を卒業せるものは小學校尋常科三十名、高等科五名、公學校二十三名、蕃人公學校二百八十八名にして其内譯左の如し。

	小學校			公學校	蕃人公學校	計
	尋	高	計			
男	一四	二	一六	一八	二三四	二六八
女	一六	三	一九	五	五四	七八

■中學校入學試驗施行　三月二十九三十の二日間本廳に於て臺南中學校入學試驗施行、臺東小學校より三名の入學志願者あり、内二名合格入學許可せられたり。

■公學校敎員配置　本年三月臺北師範學校を卒業し、本廳に配置されたるもの左の通り、三十一日付敎諭に任せられ各校勤務を命ぜられたり。

秋岡逸輝（呂家蕃公）

岩崎泰彦（馬闌蕃公）

岩　崎　發（部歷蕃公）　林　進　生（臺東公）

■農會通常總會　臺東廳農會は三月二十六日第十一回通常總會を開催し、經費一萬六千五百四十三圓二十二錢を計上せり。之を前年度に比すれば四千二百二十四圓二十二錢を增加し、施設事業は農場經營、園藝、米作、蔗作、肥料奬勵、畜產改良、肥料共同購買等なりとす。而して廳下に於ては從來施肥の感念なき蕃人多數を占め、肥料奬勵の如き至て振はさりし狀態なりしが、時勢の進運に伴ひ漸く施肥の感念を喚起するに至りしと雖、金肥の價格奔騰し到底彼等蕃人の購入使用し得べきものにあらざるを以て、堆肥奬勵は材料豐富なれば施肥の普及上機宜の方法と認め、堆肥小屋建設奬勵金を下付すると共に農會に於ては堆肥小屋を新營し、防疫組合の經營に屬する市內より蒐集放棄せる塵芥、人糞尿等を利用し、堆肥製造の模範を示さんことを提議せしに、代表者は地方民一般の福音なりとし贊成可決したり。

本總會に於ける議決事項左の如し。

（一）大正九年度經費收支豫算竝事業經營方法。（二）大正九年度肥料購買事業經費收支豫算。（三）規約變更。（イ）第九條中地方委員七十三名とあるを「十名」に改む。（ロ）第十條中「及蕃社」を削る。（ハ）第二十八條中一地租を負擔する會員は地租百分の七とあるを「百分の十」に改む。（四）地方委員交付金交付の件。

■蕃社の紛爭　廳直轄呂家派出所部內呂家溪磧に於て、大南社蕃人と認むべき男一名の屍體あるを呂家社蕃人が畑よりの歸途發見し、只今當派出所に申報し來れる趣、二月十五日午後五時呂家派出所よりの報告に接し、直に監視區監督廣松警部補をして檢視せしめたるに他殺と認め加害者搜查に著手せり、大南社蕃人は之を傳聞して一二名のもの呂家溪磧に疾走し來り、屍體が同社蕃丁「ビカル」なることを知るや直に歸りて之を社衆に通知したるにより、同社蕃人は被害の現狀より推考して加害者は知本派出所部內射馬干社蕃人ならんと認め、大南社蕃人等の激昂極度に達し、就中遺族等は夜陰に乘し射馬干社を襲ひ復讐せんとするの形勢あるを以て、大南社駐在浮邊警部は部下を督勵して慰撫するも之を肯せざるに付、十四日竹內警部廣松警部補を派遣し浮邊警部と協力百方慰撫に努めしめたるも容易に靜穩に至らずして蕃情動搖を來すやも計られざるものあるを以て、更に林警部補以下巡查十數名を赴援せしめたる結果漸く鎭靜するを得たりと雖未だ樂觀を許さゞるに因り、大南駐在所員には鋭意蕃情の動靜偵察を爲さしむると共に射馬干社を警戒し、一面加害者搜查を爲し、十六日射馬干社一二九番戶「アナオ」二十二年を有力なる嫌疑者と認め同行取調べたるに全く同人の所爲と判明せり。然るに大南社蕃人竝に遺族等は加害者檢擧を聞知するや之れが引渡方を强要して止まさりしが、頭目甲長老蕃等を操縱して加害者は國法に據りて處分し被害者遺族等が猥りに自由制裁を加ふるを許さゞる旨を懇諭せしめたるに、然らば加害者は官廳の處分に任すべければ極刑に處せられたしと申出で一と先鎭靜せり。此の事件の原因及動機は加害者「アナオ」が二月十日午後六時頃射馬干社に來遊し居りたる「クソン」の歸るを見送り呂家溪磧に於て休憩し、「アナオ」は携へ來りし酒を酌み交しつゝありたる折柄大南社蕃丁「ビカル」（被害者にして「クソン」の情夫）通り合せ、之の狀を見て「クソン」が變心したる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものと速斷し妬心抑へ難く、些細の事より遂に此の慘劇を演出するに至りたるものなり。是れより先「アナオ」（加害者）は實父死亡の爲め業を休み閉居中、豫て懸想し居たる呂家社番婦「クソン」の來訪したるにより、之に酒を饗應し「クソン」の甘心を得て已れの慾望を達せんとて其の歸路を見送ると稱し、酒を携へ同道して呂家溪磧に於て休憩し、酒を酌み交し自己の熱情を告げ「クソン」を挑みたるも「クソン」は之に應せず、私語喋喃たる折ビカル（被害者）は畑より歸途此場を目撃し、「クソン」が「アナオ」と通したるものと速斷し妬心抑へ難く、「アナオ」の薦むる儘同人の携へ來りし酒を勝手に全部呑み盡したるより口論を起し格鬪となり、遂に「アナオ」は自分の帶ひたる番刀を以て「ビカル」の右鎖骨上窩部を刺したるものなり。

如上の如く事件の動機原因が痴情の結果に出でたるものなりと雖も、被、加害者共事理に通せざる番人なるを以て動もすれば加害者に對する官廳の處置を不安に感じ、不逞番丁等の煽動に乘し輕擧盲動せんとするの傾あり。又射馬干社は其耕作地が大南社の耕作地と接壤し居るを以て安んじて耕作に從事する能はざるの狀況なり。加ふるに射馬干社は水田を有せずして主食物、粟、甘藷の作付採取共に不便を感じ頗る困憊の狀態にあり。因て近く日を期し大南社、射馬干社兩頭目竝に勢力者、關係者一同警察官立會の下に呂家溪見張所附近に於て會見せしめ、加害者側より相當の賠償を爲さしめて茲に和解の式を擧げ、尙ほ加害者の家族中女を被害者遺族中の男と結婚せしめ、之を楔栓として永く兩社間の確執を解き以て平和に解決を結ばしめつゝあり。（四月報）

花蓮港廳

■綠肥競作會　廳下の耕地は主として平地番人及本島人によりて幼稚粗放なる耕作を續行し、殆んど肥料を用ふることなくして永く奪掠的農法を營みたる結果、逐年地力消耗し從て收穫遞減せり。

從來休閑を以て地力保持の方法となし來りしも、時勢の趨向と人口の增加とは永く休閑を許し難き情勢に迫られ、地力の保持增進上施肥の急務なるを感ずるに至れり。

然りと雖、近時金肥の價格は日を逐ふて騰貴し、殆んど底止するところを知らざるの狀況なるを以て、金肥の施用を奬勵せんよりも寧ろ綠肥の如き自產肥料の奬勵をなすを以て優れりとなす。廳下農民の如き、其の大半は智識及生活程度共に低き番人なるを以て殊に然りとす。

茲に於て當廳は大正七年度綠肥奬勵要項を制定して之が普及を策し、廳下主要米產地に對して十三箇所の奬勵田を設置し、靑皮豆の栽培を指導奬勵せり。其成績甚だ良好にして普通田に比し三割內外の增收を示し、農民に綠肥の肥效を了解せしめたる效果多大なりしを以て、當廳農會に於ても右成績に鑑み、進で之が普及を圖るべく別記規程に依り綠肥競作會を開催することゝせり。而して其所要種子は必要に應じて其一部を貸付又は無償交附し、以て之が栽培を奬勵したりしに競作會出品豫定點數三百點に對し、其出願數四百點に達するの盛況を呈せり。是等出品田園に對しては二月中旬豫選を行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ひ、更に三月上旬本審査を施行し、其成績優秀なる者百四十八名に對し夫々所定の褒賞を授與し、吉野・瑞穗・玉里の三出品區に對しては各其所屬支會の優勝區として選拔し、優勝旗及特別賞金を授與し以て其功績を表彰せり。

鹽水港製糖拓殖株式會社は本會の成績に鑑み調合肥料百四十四叺、落花生粕一千六百四十枚、當地賀田組商品部は調合肥料十叺を寄贈せるを以て、各受賞者に對し其等級に應じ副賞として之を授與せり。

而して褒賞授與式當日、出品陳列場の參觀者は、地方農民を主とし小公學校生徒其他を加へ凡千五百餘名に達し、當廳下に於ける農事獎勵事業として空前の殷賑を呈せり。翻て其效果を考ふるに、本競作會の獎勵に依り從來栽培の慣習なき地方に於て新に綠肥を栽培したる面積は田四十餘甲、畑一百甲に達し、其生產生莖量四百三十二萬斤を算するの好結果を得たり。加之農民の歡迎豫期以上に達し、至る處多大の刺戟を與へ、啻に綠肥栽培の必要を自覺せしめたるに止まらず、直接間接農事改良思想の發達に貢獻したる效果多大なるものありしを信ず。されば本會は連年反覆開催して益々之が普及發達に努め、其目的を達成せざれば止まさらんとす。今回の開催に對する出品其他の概況左の如し。

(一)　出品區域

直轄	花蓮港	加禮宛	吉野	豐田
鳳林支會	鳳林	林田	馬太鞍	瑞穗
玉里支會	玉里	三笠	大庄	公埔

(二)　出品　規程第五條に依り願出たる出品田園は各支會を通じて田一八三點、畑二一七點にして其種類點數及面積を擧ぐれは青皮豆一八六點九五甲、烏豆四三點一五甲、大菜一〇七點七一甲、豌豆一點、二分五厘、混播六三點、四〇甲、計四〇〇點、二二一甲餘なり。

(三)　審査　二月、三月の二回に亙り施行せる審査の成績に依り入賞せるものを示せば左の如し。

種類	一等	二等	三等	四等	計
青皮豆	五	七	二一	四五	七八
烏豆	一	一	六	八	一六
大菜	―	五	九	一五	二九
烏豆大菜	―	二	三	四	九
青皮豆大菜	―	三	三	一〇	一六
計	六	一八	四二	八二	一四八

内一等受賞者左の如し。

田	一等	青皮豆	吉野村	村田文平
田	一等	同	瑞穗村	黃阿登
田	一等	同	玉里	陳阿四
畑	一等	同	月眉	盧四生
畑	一等	烏豆	馬太鞍社	熊阿賢
畑	一等	青皮豆	公埔庄	洪進興

以上

(四)　褒賞授與式　擧式の日時及場所

直轄	三月三十日	花蓮港公學校
鳳林支會	三月二十三日	林田村尋常高等小學校
玉里支會	三月二十七日	玉里蕃人公學校

褒賞授與式は副會長又は支會長の開會挨拶に次て審査長の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

審査薦告、會長の褒賞授與、同式辭、來賓祝詞、出品人總代答辭、優勝區代表者答辭ありて式を閉ぢ、式後副賞を授與せり。因に當日授與式に參加せるは、廳下の官民有志數十名出品人並に一般當業者等數百名に達し盛會を極めたり。本會直轄に於ける審査長の審査薦告要旨左の如し。

▲審査薦告

本日茲に花蓮港廳農會第一回綠肥競作會褒賞授與式を擧行せらるゝに當り、小官之が審査長として審査の成績を報告し、併せて褒賞授與の申請をなすは誠に欣幸とする所なり。

(中略)今同の出品田園一般の作柄を通觀するに、例年に比し氣溫著しく降下し、雨量多く、綠肥作物の生育殊に豆類の生育を害したること尠からず。一二、地方の農民にして未だ綠肥栽培の效果を理解するに至らずして栽培面積の狹小なるもの耕種肥培を怠り、又は其方法及時期を誤りし爲、發育不良に終りしものありしは甚だ遺憾とする所なり。

今審査の成績に依り概評を試み、聊か當業者の注意を喚起し、以て其參考に資せんとす。

一、綠肥作物の種類と土質とは、綠肥作物の生育に最も重大なる關係を有するものなりとす。之を本同の出品田園に就て見るに、畑及乾田に大菜を播種せるもの、濕田に靑皮豆を栽培せるものあり。又假令適種の栽培をなせるものと雖、悉く綠肥の特性を辨へて栽培したるものあるを認めず。抑も大菜は靑皮豆に比し假令二倍の收穫ありとするも、莖葉中に含まるゝ水分多くして其肥效は却て靑皮豆に及ばざること遠し。卽ち豆類は其特性たる根瘤バクテリアの寄生に依りて大氣中より高價なる窒素肥料を吸收化成し寄主の營養に供するのみならず、多量の窒素分を地中に保留せしむるの效あるを以て、苟も豆類の生育に適する土地にありては一般に靑皮豆を栽培するを以て有利とす。然りと雖、豆類は水濕を忌むこと甚しき故に、重粘多濕の土地に在りては大菜を栽培するを有利なりとす。

二、整地の精粗は綠肥作物の生育上、至大の關係を有するものなるを以て最も叮嚀なるを要す。是れ綠肥作物は一般農作物と異なり中耕除草等の手入を行ふことなく、生育中整地の粗漏を補ふこと能はざるを以てなり。出品田園の大部分は播種に當り土塊の細碎、覆土の方法等寧ろ精に過ぎ粗に失せるものあるを認めざりしは最も喜ぶべきことなりとす。唯惜むらくは一般に排水に關する注意を怠れるもの多く、爲に土壤の風化作用を害し、豆類に在りては天然窒素を固定すべき根瘤菌の發育を阻止し、其生育を害したること尠なしとせず。將來綠肥作物殊に豆類の栽培に當りては深く此點に留意し、荳科に屬する綠肥の特性を害せざること肝要なりとす。

三、播種期の適否は、綠肥作物栽培の目的達成上極めて重要なる事項なりとす。之を今同の出品田園に就て見るに、其大半は概れ播種期遲きに失せる憾あり。播種期遲きに失せば後作の關係上、未だ鋤込の時期に達せざるに先ちて鋤込を爲さゞるべからざるを以て、莖葉中に蓄積せらるゝ養分極めて少なく、豆類に在りては根瘤菌の作用を見ざるの不利あり。惟ふに廳下の氣候は例年十二月より三月に亙り雨量最も多く、一、二月の交には屢々降霜を見ることあるを以て、幼弱なる綠肥は寒害を蒙りて往々枯死することあり。然らざるものと雖、生育上甚しき障害を受くるを以て冬季綠肥作の完全なる發育を期せんが爲には、水田にありては第二期作收穫後直に播種し、畑に在りては適當なる輪作法を講究し、晩くも十一月中には播種を了ることと肝要なり。之を本會農場の試驗成績に徵するも、播種期は早きに利ありて、遲きに失せるものは發育不良にして收量少なきを常とす。

四、播種法も亦收量に少からざる影響を及ぼすものにして、出品田園の多くは撒播を行へるも、畑地に在りては甘蔗の間作として一條若くは二條播を行へるもの多し。後者は作條間に空地多くして收量多からず、寧ろ稍粗放なりと雖、甘蔗の畦間全面に撒播するの優れるに若かず。播種後全く覆土せざるものにあり覆土の精粗、深淺も亦大に考慮を要す。殊に其害豆類に於て甚しとす。栽培者たらんもの宜しく周到の注意を拂はざるべからず。

五、播種量の多少が收量に及ぼす影響亦少しとせず。粗密何れに失するも完全なる生育を見る能はず。今同の出品は概れ厚きに過ぎて薄きに失せるもの少なし。厚きに過ぐれば莖葉纖弱にして下葉脫落し生育完たからず。而かも一見外觀美なるが如きも其實收量は少なし。之に反し、薄きに失したる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものは發育良好莖幹强剛なりと雖本數少なき爲めに其收量亦少なし之を幾多試驗の成績に徵するに青皮豆は甲當四斗、大栗は五升を以て適量とするが如し。

六、施肥に付述べんに、凡農作上增收と品質の向上とを期せんと欲せば、須く作物と氣候土質との關係を考察し合理的に施肥をなすこと最も緊要なり。然るに今回の出品田圃中肥料を施したるものは僅かに田四人、畑八人に過ぎず。出品人の多くは綠肥に對する施肥の效果を疑ひ、寧ろ直接當該作物に施用るすを有利なりと考ふるものありと雖、綠肥作物に施用したる肥料は啻に該作物に對し有效なるのみならず、其效力は後作に顯著なる效能を有することを忘るべからず。特に燐酸及加里肥料の如きは、先つ之を綠肥に施したる後之が鋤込をなすに依りて肥效一層大なるものなりとす、されば留今過燐酸石灰及草木灰等は先つ之を綠肥に施用すること肝要なり。

要之本回は開會第一年にして、競作會開催の趣旨十分に透徹せざりしに拘らず克く豫定の出品點數を充たし、甲當收量平均青皮豆一、二五五貫、大栗一、八三七貫、混播、一、七一〇貫に達するの好成績を示したるは誠に喜ぶべき現象なりといふべし。

然りと雖、本事業の完成は前途尙遼遠なるものあり。農事改良の事たる固より一朝一夕にして其理想境に到達し得らるべきものにあらず。幾多の歲月と不斷の努力とに待つべきもの多し。希くは當業者諸氏、宜しく前述の事業に留意し、本會の指導に信賴し、以て之が普及改善に勉められんことを(下略)

大正九年三月三十日

花蓮港廳農會第一回綠肥競作會

審査長臺灣總督府技師從七位　小野勇五郎

■綠肥競作會規程　本規程は左の如し。

▲花蓮港廳農會綠肥競作會規程

第一條　本會ハ花蓮港廳農會區域內ニ於ケル綠肥作ノ改良及之カ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス。

第二條　競作區域ハ花蓮港廳農會直轄及各支會ノ三區ニ別タ競作審査ハ每年一回二月中旬ヨリ三月上旬ノ間ニ於テ區別ニ之ヲ行フ

第三條　出品點數ハ區長役場區域ヲ以テ單位トシ會長之ヲ定ム

但出品ハ田圃別ニ一人一點ヲ限リトス

第四條　出品面積ハ連續セル箇所水田二分又ハ畑五分以上トス

第五條　本會ニ出品セントスルモノハ別紙樣式ノ出品願ヲ地方委員ヲ經テ會長ニ提出スヘシ

但出願期限ハ其都度之ヲ定ム

第六條　前條ニ依リ願出タル出品ニ對シテハ實地調査ヲ行ヒ適當ト認ムルモノニハ左記標札ヲ建ツヘシ

(標札圖省略)

第七條　出品田圃ニシテ天災又ハ其他ノ事故ニ依リ其資格ヲ失ヒタルトキハ地方委員ハ其旨會長ニ報告スヘシ此場合ニ於テ會長ハ補缺出品田圃ノ認可ヲ與フルコトアルヘシ

第八條　出品田圃ノ耕種肥培及管理ノ方法ニ關シテハ本會ノ指示ニ從フヘシ

第九條　出品田圃ハ之ヲ審査シ其成績優良ナルモノニ對シテハ賞狀竝ニ賞金ヲ授與ス

最優等區ニ對シテハ優勝旗竝ニ特別賞金ヲ授與ス

優勝旗ノ保管方法ハ別ニ之ヲ定ム

第十條　會長ハ花蓮港廳農會長トス

審査長ハ臺灣總督府又ハ花蓮港廳長ヨリ派遣ヲ乞ヒ審査員其他必要ノ役員ハ會長ニ於テ農會役員及職員中ヨリ選任スルノ外鹽水港製糖拓殖株式會社員ニ之ヲ囑託ス

第十一條　出品人ハ出品田圃ノ選定、審査、及審査決定ニ對シ之ヲ拒ミ又ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十二條　審査規程ハ別ニ之ヲ定ム

(別紙樣式略ス)

(四月報)

■運動會花蓮港在鄉軍人分會は三月十日陸軍紀念日をトし、體育奬勵の目的を以て分會主催となり聯合運動會を開催の計畫なりしが、當日雨天のため不得止運動會は四月三日に延期

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、筑紫座に於て勅諭奉讀式を擧行し、引續き數種の餘興あり、當日は官民の主なる者を招待して質素の會宴を開き、參會人員約五百名に達し頗る盛會裡に散會せり。尙四月三日は豫定の通り午前九時在鄕軍人分會長平和克復勅語竝に總裁宮殿下の令旨の奉讀式あり、同九時三十分運動會委員長宇野廳長開會を宣して引續各種競技を進め、午前十一時、三哩マラソン競走に移り、各團體の選手四十五名は一發の銃聲と共にスタートを切るや各團隊の應援盛にして其成績左の如し。

第一著	在鄕軍人團	高木君	一八分一四秒
第二著	同	神田君	一八分三〇秒
第三著	同	福元君	一八分三八秒
第四著	僚友團	肥後君	一八分四七秒

競走場は坂路多く各選手共の困難たるや思ふべしと雖とも運動場は人垣に埋もれ、市街は各自熱狂的應援をなし花蓮港未曾有の盛會なりき。尙引續き競技を進め午後五時三十分宇野委員長閉會の辭に散會せり。各運動每に在鄕軍人團常に優勝を占めたるは一般に好感化を與へたるものと推す。

■軍司令官巡視　柴軍司令官には東部初度巡視の爲め、左記日割に依り當廳下を巡視せられしは地方安寧の保持上喜ぶべき事なり。尙今回の經路は、一萬餘尺にして道路險惡なる中央山脈竝に內タロコ支廳下蕃地の巡視は理蕃上頗る效果ありたるものと推す。

▲巡視日程

月日	出發地	到著地	一日の行程	備考
三月十八日	能高	苛萊溪	約六里	
同十九日	苛萊溪	花蓮港	約九里	
同二十日	滯在			軍隊及各官衙竝に海岸陸上地視察
同二十一日	花蓮港	新城支廳 バタガン	八里二十九町	
同二十二日	バタガン	內タロコ支廳 海鼠山	約四里	
同二十三日	海鼠山	バタガン	五里三十五町	內タロコ支廳經由
同二十四日	バタガン	花蓮港	八里二十九町	
同二十五日	花蓮港	玉里	五四里	
同二十六日	玉里	臺東廳に向ふ		

■軍事講話　三月二十二日より左記日割を以て當廳下在住者に對し、前年の例に依り軍事思想普及のため、基隆要塞司令官庄田少將軍事講話のため來花せられ、有益なる講話に聽衆全部は頗る感動せり。

▲講話日割

施行月日	講話場	講話要旨
三月二十二日	花蓮港筑紫座	國防上の見地よりせる臺灣の價値に就て 第一　國勢 第二　國民性 第三　制度 第四　交通及通信網組織 第五　產業及工業の發達 第六　結論
同二十三日	鳳林支廳武德殿	
同二十四日	玉里支廳公學校	

■徵兵身體檢査　當廳下徵兵身體檢査は四月六日午前八時より花蓮港分屯大隊に於て施行せられ、廳よりの參列者は廳長竝に兵事主任にして、檢査開始前に當り廳長より檢査場に於

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ける注意及合格不合格者各自の覺悟に付て訓示あり、尙ほ檢査成績を擧ぐれば左の如し。

▲檢査成績

兵科／種別	甲種	第一乙種	第二乙種	丙種	丁種	戊種	計
步兵	一一	五	一四	三	五	一	三九
砲兵	一三	二	―	―	―	―	一五
鐵道隊	―	一	―	―	―	―	一
輜重輸卒	六	―	―	―	―	―	六
一年志願兵	―	一	―	―	―	―	一
六週間現役兵	一	一	一	―	―	―	三
計	三一	一〇	一五	三	五	一	七四

（備考）受檢人員七四名（一年志願兵一 六週間現役兵三を含む）

（四月號）

澎湖廳

■澎湖廳警察招魂祭　四月一日は臺灣警察記念日に際り、當日午前十時媽宮街所在臨濟宗妙心寺派妙廣寺に於て故澎湖廳警視從六位勳五等小山謙以下殉職者二十三名の英靈を祀り招魂祭を執行せり。定刻祭主、廳長を初め廳各課長、各課職員等參列席著、川中子廳長の祭文朗讀あり、次て僧侶の讀經遺族警察職員及一般參拜者の燒香等順次壯嚴に行はれ正午十二時式を終りたり。式後茶菓の饗應あり、尙大正五年八月十七日時の警務課長小山警視の遭難に關する柴田警部の追懷談等ありたり。

■澎湖廳農會及澎湖水產會總會　大正九年三月三十一日午前十時廳構內に於て開催、川中子會長は農會及水產會創立以來の事業並其の成績に就き大要を說明し、次て大正九年度の事業計劃及經費豫算の大綱を述べ、將來に於ける訓示あつて後左記議題を可決確定し午後二時閉會せり。

▲農會議題

（一）大正九年度事業經營の件原案可決
（二）大正九年度經費收支豫算の件原案可決
（三）大正八年度經費收支豫算變更承認の件承認可決
（四）大正九年度事業經營の概要

（一）重要農作物品種試驗　本事業は當地方重要の作物たる高粱・粟・落花生・甘藷の四品種に對し優良限定品種の撰出を目的とし、大正六年度以降總督府の補助に依り繼續施行中にして、昨大正八年第二回の試驗を終了して優良品種を選出決定し、大正十年度より培殖普及の計劃に移らむとす。

（二）蔬菜改良試驗　本試驗の效果として近年地方生產の蔬菜に著しく品質改良の實績を見るに至り、就中宮重大根、山東白菜、甘藍「サクセッション」の如きは最も廣く各地方に栽培普及せられたり。亦甜瓜「エメラルドゼム」「アーリーテイジー」は試驗の結果優良種と認むるを以て、九年度より之が繁殖普及を圖ると共に品質の退化を防ぐ爲農場に於て原種の培殖を行ひ、同時に種子も亦購入して之を地方民に配付することゝし、尙ほ將來地方適種と認めらるゝ蕪菁・葱・西瓜・茄子・及特に將來廳下に奬勵を必要と認むる人參・牛蒡・馬鈴薯・薑に對

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しては更に本年度に於て各種の試驗を行ふと同時に一面實地に栽培の模範を示し、一層優良品種の普及を圖らむとす。

（三）種豚改良　本事業は逐年其の效果顯著にして種豚借受希望者漸次增加し、已に種牝豚・種牡豚とも一般に普及の實を擧げ、種牝豚は本會收得の仔豚中より優良種を選拔して之を一般飼養者に貸付し居れるも、種牡豚は改良種性體の退化を防止する爲特に純粹種貸付の必要あるを以て本年度に於ては桃園產種牡豚三頭を購入し、已に老齡に達せるものを更新せむとす。

（四）種禽改良　從來は種卵及雛禽を各地方篤志家の希望に依り無償配付し來りたるも多數の會員に廣く少數の種卵、種禽を配付するは改良上其の效果の著しきを認め難きに依り、本年度よりは現在飼養の種禽の外更に褐色「レグホン」を購入し、東西澳火燒坪鄉の一定區域を限定して專ら其の區域內の種禽を根本的に改良し、順次他の地域に及ばし以て全廳下の劣等種禽を驅逐せむとす。

（五）林業　南寮澳湖西鄉に銀合歡・緬甸合歡・欖仁・黃槿・草扉等を植付け、之に防風壁を設け以て野外防風壁の效力試驗中の所、已に相當の成績を示し居るを以て本年度以降に於ては其の植付樹木の手入保護を爲し適當の時機に於て防風壁を撤去し、將來野外造林の成否を見むとす。

■水產會議題

（一）大正九年度事業經營の件原案可決
（二）大正九年度經費收支豫算の件原案可決
（三）大正九年度事業經營の概要

（一）沿岸漁業獎勵事業　前年度同樣技術員をして廳下沿岸各地漁業に對し實地指導誘掖を爲さしむると同時に、特に廳下近海に於ける鰆・鯛の延繩・鰆の曳繩等漁業の勃興に意を致し、先づ第一に改良漁船の普及を計るの目的を以て、改良漁船新造者に對して造船費の幾分を補助し、又延繩、曳繩漁業の新造者に對しては該漁具製作費の一部を補助するの外、斯業の成績優良の者に對しては相當彰表の方法を講じ以て漁業者を獎勵する等專ら斯業の發達を圖らむとす。

（二）貝殼彫刻傳習事業　本事業は大正四年度より總督府の經營として傳習所を殖產局澎湖水產試業所（澎湖廳構內）に設置せられ、本會は傳習生に對し彫刻原料其の他を補助し來りたるが、大正六年度限り右試業所廢止と同時に、本會は大正七年度以來該事業を繼承し、總督府より傳習生手當其の他の費用の補助を受け、同年九月第二期傳習生十名を募集して之を養生し、又一面第一期修了生の技能熟達を計り來りしが、本年度に於ても督府の獎勵補助金を仰ぎて事業を繼續し、以て他日當地方一廉の技工たらしめむとす。

（三）水產製造方改良事業　本年度に於ては廳下重要の水產製品たる煮干品の生產增加、竝生產費の節減を計るの目的にて聯竈の築造を獎勵し、之が築造希望者に對しては獎勵補助金を與ふると共に、前年來指導獎勵し來れる鰹節製造法改良竝抄海苔製造法の指導獎勵を繼續し、以て廳下重要移出品たる水產製品の增加と品質の改良とを圖らむとす。

■大正八年媽宮港輸出入重要品（年額一千圓以上のもの）

輸出 品名	單位	數量	價額	輸入 品名	單位	數量	價額
豚	頭	一三五	三、七九八円	小麥粉	同	九〇、四九九	一〇、一五八円

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	單位	數量	價額
落花生豆	斤	九八、七二一	一四、〇六二
其他の豆	同	一八、八五七	一、三六三
乾鹹魚	同	二七、三八一	四、三七八
鹹鯖	同	八、五七一	一〇、七二〇
落花生豆油	同	一四三、四二九	四三、六八八
燐寸	哥	三、一三七	三、一八〇
[illegible]	箇	七九、八九四	一、八〇一
落花生豆油糟	斤	一、三六三、〇一八	六七、六八七
其他の雜品	―	―	七、九五六
計	―	―	一五七、五三二

輸入			
品名	單位	數量	價額
米	斤	一、四八九、五六八	一四七、七八七円

品名	單位	數量	價額
砂糖	斤	三、九五八	一、〇二五
貝殼	同	七五、一一五	三、五〇六
桐油	同	一三、九二一	四、三五六
石油	同	二、三四五	一、八一九
唐紙	同	一三、五八八	二、一〇八
禮拜紙	同	一一、六二〇	三、四〇五
煉瓦	箇	五五、九六一	一、二四七
陶磁器	―	―	四、七七六
鐵鍋	斤	七、六四七	一、四九二
木材及板	―	―	二、八五二
包蓆	枚	一五、六八八	二、二六四
其の他の雜品	―	―	一三、五三三
計	―	―	二五七、三七六

■大正八年媽宮港移出入主要品

移出			
品名	單位	數量	價額
落花生豆	斤	一〇四、九八〇	一五、四四〇円
鹽鯛	同	一三、三二〇	二、八四八
石花菜	同	八八、九〇〇	九、七八〇
生皮	同	二三、一四〇	七、三七〇
古鐵	同	四八、三〇〇	二、八五八
落花生豆油糟	同	三〇五、八三〇	一八、八五〇
其他の雜品	―	―	三、一八九
計	―	―	六〇、三三五

移入			
品名	單位	數量	價額
菓子	―	―	四、五四〇円
醬油	石	一六四	七、六一七
[illegible]酒	―	八二五	五、一四七
樽酒	―	一八五	二、九一五
麥酒	―	二、一八五	八、八五二
洋酒（葡萄酒を除く）	―	―	四、七二三
麩蒟蒻粉其他の食料品	―	―	一〇、三一七
石油	―	一四、四一〇	一五、一〇五
藥材化學藥製藥及其調合品	―	―	一〇、四四四

移入			
品名	單位	數量	價額
米	石	一、七六八	八五、五五〇円
麥	同	二一三	五、三三八
豆類（各種）	同	四三八	一〇、五二五
小麥粉	斤	八〇、七二〇	一一、五二五
生菜	―	―	一〇、七一六
漬物類	―	―	三、〇八四
砂糖	斤	二六、五二〇	九、六六七
燐寸	―	一六、三八九	一七、一六三
綿布（各種）	―	―	二三、一三一
履物（靴を除く）	―	―	六、九一五
鐵材（各種）	―	二七、七五九	三、七三九
紙（各種）	―	―	四、四二三
錫	―	一、八〇〇	四、〇〇〇
鐵製品	―	―	七、七四七
木材（各種）	―	―	八、七〇五
其他の雜品	―	―	九七、〇八二
計	―	―	四一八、九六〇

■物價騰貴狀況調

△印は下落又×印は何割何分弱にして此の符號なきものは何割何分強とす高低步合は其の前年に比しての高低とす。

▲本島重要品卸賣相場

品名	單位稱呼	大正三年平均價格	大正四年高低步合	大正五年高低步合	大正六年高低步合	大正七年高低步合	大正八年平均價格	大正八年 大正七年ニ比シ高低步合	大正八年 大正三年ニ比シ高低步合
		円	割	割	割	割	円	割	割
落花生	一石	三・二〇〇	△一・八	〇・六×	三・六	二・三×	六・六五〇	〇・八×	三・九×
鹽鹽	百斤	三・五〇〇	〇・八×	△一・三	一・三×	七・〇×	二・〇〇〇	三・三×	一六・〇
鹽[illegible]	同	五・七〇〇	△〇・八×	〇・三×	〇・六×	三・三×	一三・八〇〇	九・六×	一六・二
鹹鯖（素製）	同	三三・〇〇〇	―	△一・三	〇・一	三・三×	六六・〇〇〇	三・九	七・六×
鹹鯖（精製）	同	三五・〇〇〇	△〇・五×	〇・五	三・三	三・三×	―	―	六・三×
甘藷	同	一・二六〇	△一・八×	一・六×	三・七	三・六	一・六八〇	△三・三×	三・三×
切干藷	同	三・〇〇〇	△一・五	一・一×	三・三×	三・六	三・〇〇〇	△三・八×	一〇・三×
蕃薯澱粉	同	七・八〇〇	―	一・一×	一・一	三・六×	一三・〇〇〇	△〇・八	七・九
素麵（麥製）	同	八・五三〇	〇・一	△〇・三×	一・三	六・〇	一六・三〇〇	〇・三×	一〇・〇
素麵（米製）	同	八・二五〇	〇・四×	△〇・三	一・六	三・〇	一六・三〇〇	三・三	一〇・三
牛肉（骨付）	百斤	二六・〇〇〇	〇・六×	△〇・四×	〇・六×	一・三×	五六・〇〇〇	三・三×	三・〇
豚肉（骨付）	同	三三・〇〇〇	△〇・五×	―	三・一	三・八	四四・三〇〇	三・三	三・三×

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

食鳥(鷄)		百斤	四〇・〇〇〇△	〇・五△	一・六×	三・一	四・四	三七・六〇〇	五・四	八・八
生卵(鷄)		百個	一・一八〇	〇・五	一・五×	〇・四	三・七×	五・六五〇	三・六	三・五
牛皮(生皮)		百斤	一四・〇〇〇	四・六	三・八×	〇・九△	〇・七×	二七・五〇〇	〇・七×	一三・〇
石灰	硴焼灰	同	〇・五〇〇	一・五	一・六	一・四×	四・四×	〇・八〇〇	五・五×	六・七×
	螺殻灰	同	〇・六〇〇	〇・四	〇・八	〇・四×	五・六×	一・二五〇	五・五×	一〇・八
莚	梛	同	五・五〇〇	五・〇△	〇・九×	〇・六	五・〇	六・八〇〇	五・二×	二・五×
学蓆	四尺	同	五五・〇〇〇	〇・五	一・〇×	一・五×	四・八×	四九・五〇〇	五・一	一四・五
	五尺	同	五七・〇〇〇	—	〇・六×	一・五	四・五	五五・五〇〇	五・一	一〇・四
黄麻	粗麻	同	七・一五〇	〇・六△	五・〇	〇・五×	四・五	一四・五〇〇	四・八×	九・九×
	幼麻	同	一五・五〇〇△	〇・七×△	一・七	一・五×	四・五	一九・二五〇	五・六	五・六×
落花生油		同	一八・五〇〇	—△	〇・四×	五・二	五・〇×	五〇・五〇〇△	〇・一	六・四×
籐(小割)		同	九・九五〇△	〇・六	〇・二×	一・二×	五・七×	二〇・〇〇〇	五・九	一〇・一
木炭		同	一・五五〇△	〇・六△	〇・二×	五・五	六・八×	四・五〇〇	四・〇	一九・〇
薪		同	〇・五〇〇	—△	〇・八	五・四	八・〇×	一・五〇〇	一・八×	二〇・〇
石炭	塊	一萬斤	九二・五〇〇	〇・五×△	〇・四×	四・五×	五・五×	二二五・〇〇〇	〇・五×	一五・五
	切込	同	六五・〇〇〇	五・七×△	〇・二×	五・七	五・九	一八五・〇〇〇	五・〇	一八・三×
	粉	同	五五・五〇〇	—	〇・二×	一〇・二×	二・三×	九五・〇〇〇	一・七	一九・三
落花生油糟		百斤	五・五〇〇△	〇・九×	〇・九	〇・五	一・二×	五・二六〇	五・〇	五・二×
屋根瓦	大	一萬枚	八一・五〇〇△	〇・五	〇・五×	一・六	二・八×	一六九・二〇〇	五・八	一〇・八×
屋根瓦	小	同	—	六〇・九〇〇	—	一・五×	二・八×	一二二・五〇〇	二・八×	八・四
敷瓦		同	二九〇・〇〇〇	—△	一・五×	五・五×	四・二	六五五・八〇〇	五・〇×	一五・六
石材(硬石)		一切	〇・四〇〇△	一・五×	〇・六×	〇・七×	五・五×	〇・五五〇	〇・五×	五・八

▲内地重要品卸賣相場

品名	單位稱呼	大正三年平均價格	大正四年高低歩合	大正五年高低歩合	大正六年高低歩合	大正七年高低歩合	大正八年 平均價格	大正八年 大正七年ニ比シ高低歩合	大正八年 大正三年ニ比シ高低歩合
大麥	一石	円 一五・〇〇〇	割 —△	割 一・〇	五・七×	割 五・五	円 —	割 —	割 五・二
小豆	同	一三・〇〇〇△	〇・五△	一・五	三・七×	一・六	三八・五〇〇	五・〇×	六・五

椎茸		十貫目	一〇〇・〇〇〇△	〇・五×△	一・五×	一・五	五・五×	一六五・五〇〇	三・三×	八・三
緑茶(川柳)		百斤	四〇・〇〇〇△	一・二	—	三・二	三・三×	—	—	三・三×
小麥粉(鋲印)		一袋	三・二五〇	〇・八△×	三・〇×	三・三×	三・三×	六・三〇〇	一・五×	一〇・五
醤油(並)		一樽	三・〇〇〇	〇・七	〇・五	一・六×	五・〇	六一・七八〇	一八・一×	四・一
味噌	赤	十貫	二・五〇〇△	一・五	三・〇×	五・五×	一〇・五	九・〇〇〇△	三・五	八・〇
	白	同	三・五〇〇△	〇・五×	一・三	一・四	一・五×	九・〇〇〇	一・七×	六・五×
鰹節(土佐)		同	六五・〇〇〇△	〇・九	〇・五×	三・五	〇・五×	九七・八九〇△	〇・五	一・五
寒天(角)		千本	二三・〇〇〇△	〇・八	〇・二	一・一	一・七	三〇・八八〇	〇・六×	五・九×
白砂糖		百斤	五五・〇〇〇	一・二	〇・八	〇・二×	一・五×	四五・四五〇	三・〇	九・八×
赤砂糖		同	一八・五〇〇	〇・三×	〇・一△	〇・六	—	二二・〇〇〇	二・五	一・九×
清酒	瓶詰	一箱	一六・九〇〇	〇・三×	〇・一×	一・七	五・七	五三・〇五〇	三・一×	一〇・一
	樽入	一樽	五〇・〇〇〇	—	〇・二×	〇・六×	二・九	六一・五五〇	三・七×	一〇・四
素麵		一箱	五・五〇〇△	〇・三△	〇・七	〇・八	三・四	九・四五〇	五・〇×	八・二×
白木綿		一反	〇・六六〇	〇・五×	一・三×	七・七	五・三×	—	—	三・八×
晒木綿		同	〇・八〇〇△	〇・九×△	〇・四	五・五	三・一×	一・五〇〇△	〇・二×	八・八×
セメント		一樽	五・五五〇	一・〇×	〇・五	五・八	一・九	一一・〇〇〇△	〇・四	一一・〇×
木材	角物	一才	〇・一二〇	—	一・二×	七・七×	〇・八×	〇・五八五	五・一	二一・九
(杉)	丸太	同	〇・〇八五	—	二・四×	五・五	六・六×	〇・二九八	一・九	二五・七
杉板	四分	一坪	一・三〇〇	—	〇・一×	六・七×	四・八×	三・六〇〇	〇・四×	一五・七
	六分	同	一・六〇〇	—	〇・五	七・四	四・八×	四・八〇〇	一・五×	二〇・〇

▲外國産重要品卸賣相場

品名	單位稱呼	大正三年平均價格	大正四年高低歩合	大正五年高低歩合	大正六年高低歩合	大正七年高低歩合	大正八年 平均價格	大正八年 大正七年ニ比シ高低歩合	大正八年 大正三年ニ比シ高低歩合
金針菜	百斤	円 三一・〇〇〇	割 〇・五	×割 〇・五×	割 二・五	×割 一・八×	円 三五・九二〇	×割 一・二×	×割 七・四×
木耳	同	八八・〇〇〇	〇・四×	〇・五×	二・三×	五・五	一七一・九〇〇	一・三	九・五×
麥粉	一袋	三・七五〇	〇・五×△	〇・一×	—	—	五・七四〇	一・一×	一〇・九×
石油(鎌印)	一箱	四・五五〇	〇・五×	四・五×	〇・二×	四・三	一一・七五〇	五・五×	一五・八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

桐油	百斤	三二・五〇〇	〇・五	一・五	三・八	四・五	四六・三五〇	—	二・五
生金巾	一反	六・四〇〇	—△	×一・五	×七・〇	×五・五	七・三〇〇△	×四・五	一・四
晒金巾	同	—	—	一〇・五〇〇円	六・七	×一・二	一五・三五〇△	×三・二	四・六
黄麻袋	百枚	二・六五〇	〇・五	—	×五・五	×一・七	三五・四六〇	×八・七	三〇・四
粗唐紙	百斤	五・〇五〇△	×〇・五	×五・七	七・九	三・七	三・三五〇	×五・九	×五八・二
杉丸太	一本	一・五八〇	×〇・五	×四・二	八・三	×三・三	五・四〇〇△	五・三	×二・八
杉板(五分)	百枚	—	—	一六・〇〇〇円	四・三	四・九	—	—	×二・五
米 内地米	一斗	三・五六五△	五・五	〇・八	五・〇	五・〇	五・五八	四・四	一五・四
米 本島米	同	一・七四五△	×一・九△	〇・一	×五・三	×五・五	五・九六四	五・八	一五・五

（備考）米は小賣相場なり

■土地登記狀況　大正五年一月地籍規則施行以來、既登記のものは漸く土地臺帳登錄地の四分の一に過ぎざりしが、大正九年三月中廳下網垵支廳管內を除き土地相續未定地、其の他未登記に屬するもの、左記督勵を施行せしに、登記申請の手續を了したるもの及手續中に屬するもの左の如し。

相續		保存		典權		合計	
件數	筆數	件數	筆數	件數	筆數	件數	筆數
四八五	二、八四五	四、二四九	三四、五一八	二、二一九	二、九〇八	六、九五三	四〇、二七一

（備考）土地臺帳總筆數一一四、二四八に對し既登記の分約三〇、〇〇〇筆あり。之に今回登記申請手續中の筆數四〇、二七一を加ふれば殘り未登記の分四三、九七七筆となるも、此の內約一八、二〇〇筆は網垵支廳管內の分にして、其の他は主として出稼不在のものに屬するを以て、漸次其の手續を履行せしむる見込なり。

■會計檢査　會計檢査院大木副檢査官酒井書記吉澤書記一行は、當地陸海軍各部隊及民政各官衙會計檢査の爲、三月二十八日奉天丸にて來媽左記日割の通檢査を執行し、四月十四日奉天丸にて打狗に向け出發したり。

一、自三月二十九日至四月四日　海軍各部隊
一、四月五日、六日　澎湖廳
一、四月六日午後及七日　澎湖郵便局
一、四月七日　澎湖醫院
一、四月八日　稅關媽宮支署
一、自四月九日至四月十一日　陸軍各部隊

■山下特命檢閲使來澎　山下特命檢閲使は隨員中里少將外二十五名を隨へ軍艦千歲に搭乘し四月二十日午前六時著港せられ同八時より馬公要港部司令官室に於て海陸軍及地方官民の伺候を受け引續き澎湖廳長及三宅憲兵隊長の申告を受けられたる後海軍各部隊を檢閲せらる。

同二十一日午前檢閲午後觀兵式に臨まれ同二時隨員を隨へ媽宮に上陸下士卒集會所海軍宿舍及第十六號水雷艇、軍艦廣丙號、奈良丸遭難記念碑を視察せられ終りて松島記念館にて休憩の後同四時半歸艦せらる陸軍將校同相當官、地方官民、在郷軍人分會員、愛國婦人會幹部員及小公學校生徒は媽宮埠頭に於て迎送を爲せり。

同二十二日午前午後一般作業の檢閲を行はる。

同二十三日午前十時檢閲使一行は軍艦千歲に搭乘して打狗に向け出港せられたり著港當日より出港まで四日間市內各戶は國旗を掲げ歡迎の意を表せり。

■中島要塞司令官軍事講話　四月十七日午後一時松島記念館に於て開催戰後國民の決心てふ題下に約四時間に亙り講話ありたり聽衆約二百名。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

瑯嶠（一）

仙俗居士

△發端

『我未だ東港以南を睹ず候程に一見致さばやと存候』目的といふは是に過ぎない、が豫ねての百聞もある、その百聞を一見に及ぶのだから、興味が無くてはならぬ、と言つて獨よがりの勘違い、ソレが或は有るかも知れない、マア〳〵書付けて見るさ、批判して呉れる人も有るだらうよ、

不夜城たる一大工場、ソレが提灯ほどに、螢ほどに、竟に全く見ゑず成つた『あやめも分かぬ曙の空、阿緱の街を立ち出て、』てな調子に、承け流したい氣もする、が我に聊か自覺の明がある、凡筆の謠曲、誰れか之を朗吟せん哉だ、

思案草に火を繼ぎながら、心に浮んだは六堆部落、ソシテ此處いらは、たしか潮洲庄あたり、『雲橫秦嶺家安在、雪擁藍關馬不前』の句も聯想さる丶、一層のこと詩にしやうか知ら、いや〳〵鵜を眞似る鳥にや成るまいテ

そう考へた間もなく、脚下に水が漾ふて居る、吹く風さへも冷ンやりとする、林仔邊溪らしい、譯すれば木下川だが、リンシヘンケイ、何たか病名にでも有りそうで、文學同化の時節が來ても、和歌に泳み込みはちよつと……ネ、

最後に斯う思ふた、地域は二三十里に亙り、事歷は五六十年を雜せ、其のフヒルムは、勢い斷片的たらねは成らぬ、シテ其の説明も、亦た當世のデアル式に倣ふ外は無いと、

四面暗黑の徒然に、獨ボッチの自問自答、實は三時間を費して、搾り出した智恵が是なんだ、ソシテ漸くに、臺糖の原料輸送車上を離れたのは、大正九年二月三日の朝まだき『身もいと輕し旅衣、早や水底寮に著きにけり』である、

△水底寮

小ぢんまりとして、見るからに富有らしき一農村、遠く太武山の右手を望むの處に、『左卑南道』と記せる軍政時代の遺標がある、其頃の東部交通は、專ら路を此に取りしにて、此村自ヅから、そが驛次たりしこと察せらる、

駐在警官田中豐作氏は、余が爲に村外をも案内して呉れた、其時途上に逢ふ村民の敬禮が、聊か目に立つた、聞けば氏は一面に、村の夜學に臨んで其の先生である、成程よと思つた、

縱貫道路は村の西方を通じ、四間幅なりしを、新に左右三間ヅ丶擴げらる、此處は東港より南下すること已に四里、更に南下一里弱、坦々如砥、枋寮に續く、

△枋寮

乃木軍の上陸地點として思出の深く、現に東海岸への郵便繼立を以てし、且つ將來の橫斷鐵道起點として、自からに南方の一要市たるを失はない、然るに街上は、其の割合に發展せず、又た發展しようといふ色も見へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ない、却て斷壁殘礎の、秋風に落莫たるは、そも何故だらうか、

清國時代の記錄に據ると、同治九年の大地震からして、多數の居民が此處を立去り、水底寮や林仔邊を新興したことに成つて居る、今尙は枋寮の地主としては、此の新興兩村民が、其の多數を占めて居るといふも事實である、

前記年代は明治三年に當り、今より五十一年の前に係る、若し地震の爲のみならば、其後に於て復歸すべき筈なるに、復歸もせず、又た見棄てるでも無し、其の心理は彼等自らも、恐らく明答し得なかつたであらう、

又其の記錄を溯ると、同治六年に始めて、巡檢といふ一官を此に置かれて居る、それが著任の後、間もなく死んだ、奏任官ではあるが、候補はいくらでも、福建省城に待命して居る、ソレデ後任者の派遣には差支へぬ筈だが、何分にも交通が不便だから、すべての手續に、長い日數を要する、ヤットの事で後任者が來る、來ると間もなく死ぬ、又來ても又死ぬ、實に不思議だ、何んでも二箇年餘の間に、七八人が皆なソレデある、甚しきは著任屆と一緒に、其の死亡屆が運ばれる、流石の候補連中も、枋寮と聞ては慄ひ上り、死刑の宣告と感ずるやうに成つた、ソコデ移廳論が起り、とう〳〵東港へ引越した、東港巡檢は、阿緱縣亟と共に、鳳山縣に隷し、割讓の際まで續いたのである、

昔人は是を何と觀ずらん、鬼神の祟か、瘴癘の毒か、今よりして推測するに、其のマラリヤたるを疑ふの餘地が無い、記錄は官吏の數者に止まれとも、民家の一般とても亦た、同一運命たりつらんこと、推測に難しとせない、但し住馴れて、自然に免疫性と爲れるが多く、外來飛入の官吏ほどに、左ほどに著るしく無かつたのであらう、當年立退きたる人々は、既に何となく、一種の厭氣が潮して、復歸の念の起らず成つたのであらう、兎に角枋寮不振の因は此に在る、

不思議の本尊たるマラリヤ、マラリヤの媒介たる蚊、蚊の原身たる孑々、孑々の生育せる水溜、其の水溜の必ず此地に在るべきを、豫想して居たから、支廳長中村公規氏に就て、先づ之を質して見た、すると果して大アーノフレー池が、而かも二箇所ありとの答である、ソシテ氏は、此際街民にも諮り、之れが埋立を工夫すべしとの事であつた、此時恰も流行感冒の侵來で、當面の急務は、より切なる者が有るかに見受く、

マラリヤは必しも枋寮の特産では無い、けれども其の一惡質たる點に於ては、過去の事歷が之を證明して居る、僅々二十年來の學說だが、その病源のアーノフレー蟲たるを、突留め得た今日に在ては、猶豫なく其の巢窟を屠るを、先決問題とする、爾かる時、枋寮は、自然に復活し、自然に發展するものたるを疑はぬ、

むかし羅馬は、盛に領土を擴げ、壯者は擧て之れが經營に赴いた、殘るは老人と子供、本國は空も同樣であつた、そして壯者は皆な、枋寮巡檢と同運命を辿つた、さしもの羅馬も、是より衰へ初めたとふことである、微々たる孑々の、力能く國運を制するとは、驚くべきで無いか、況してや一地方の盛衰、一個人の生命をやである、

百人傘とも謂ふべき大榕樹の對立せるは、我軍上陸の當年を物語るにも似て、其下に遠く連る一帶の清沙は、遠來の海水浴客を待受けつあるかに見ゆ、頓がて縱と橫との鐵道全通したらむ其時、此地の發展や、それ如何許りぞ、波を隔て、遙かに浮ぶ小琉球、彼の淡路島に髣髴として、老松だにあらば、須磨明石とや詠めん此の地勢、山嵐海濤の三里半、轎上夢を載せ、枋山指してぞ行く、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

研究資料

日漢共通の民族心理に顯はれたる書契の神秘を證する一面

蕉鹿夢

唐代の文豪韓退之が、潮州の配所に在り、文を作りて、鰐魚を祭りし故事は、姑く措くも、南部支那尙は臺灣の漢民に通じ、洽く惡夢出賣の厭勝を行ふ風あり、乃ち前夜見る所の夢を以て、翌朝他に賣却—寧ろ轉嫁—するてふ寓意なり、而して其夢は、すべて不吉の凶兆と迷信せらるゝ惡夢にして、如何なる顧客を求めて之を賣りつけんとするに在るかを詳かにせざれども、詮するに、人格を超越せる何者かを目指しゝことは明かなるべし、試みに其出賣露布の文例を閲するに、亦奇想天外の感興甚だ切なるものあり、曰く『昨夜夢見齒。今朝必有喜。東方來送財。西方來送米』と、古來漢民間に、貘をして惡夢を食はしむるの傳承あり、知らず、惡夢を買ふの顧客は、斯種の神獸なるなきや否やを、さるにても、財と米とを送るの緣喜を以て、惡夢を出賣す、羊頭を揭げて狗肉を售るに比ぶれば、罪障の淺からざること、果して幾何ぞや、斯種の特殊思想の顯はれは、夙に日本人の間にも、近似の流れを見らるゝものあり、平家物語に載する、『蘇武一筆書きて、漢王に得させよと言ひ含めて、雁の翼に結ひ附けて放ちしが、漢の昭帝上林苑に御遊ありしに、一列の雁の中より、一羽の雁下りて、已が翼につけし、玉章を食ひ切りてぞ落しける、それより之をば雁書とも名づけゝる』といへる一節は、人も知る、書信の神秘を以て傳承しぬる、史談の附會とも見らるゝ所なるが、此超越の力を認めて、鬼神惡魔に通ずるの威靈に擬したる形跡あるこそ亦げに有興の事實なれ、延喜朝の御宇とかや、師氏大納言重き病に罹りし臨終に、空也上人に、後生の安樂を願はんと請ひたまふ、上人乃ち紙に何事か書き記るして、之を封じ、軈て棺の中に藏めて、共に荼毘にせよと言ひ遺らる、仰せに從ひ、死屍と彼の一通を一火に付し、後に骨を拾はんとて赴きしに、灰中に封紙のありければ、人々不思議に思ひつゝ、披き見たるに、

空也上人の御坊の御庵室に進上する、閻魔王宮の狀、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

師氏大納言、惡業遁れ難きに依て、叫喚地獄に墜つべしと雖、上人の御口入重きが故に、都率の內院へ送り遣す、
恐惶謹言、

之に類せる出來事は、高倉天皇の承安二年にも傳へらる、攝津の清澄寺といへる山寺に在りし、慈心坊尊惠といへる老僧、是歲の七月十六日、脇足に倚りて、法華經を誦し奉りける程に、夢ともなく、現ともなく、白張に立烏帽子きたる男の、藁沓はきたるが、閻魔王宮の使者なりとて、立文を持ち來る、披き見るに、

屈請閻浮提大日本國攝津國清澄寺尊惠慈心坊、
右來る十八日、閻魔廳に於て、十萬人の持經者を以て、十萬部の法花經を轉讀せらるべく、宜しく參勤せらるべし者、閻王の宣に依り、屈請如レ件、

尊惠もさる者なり、否み申すべき事ならずとて、領狀を認め奉ると見て、忽ち覺めきといふ、地獄の沙汰も、詮すれば能文の書吏に富めるを察すべし、若し夫れ人間のこなたより、鬼魔に致し、音信に至りては、慥かに萬物の靈長たる尊嚴を辱めざるに足るものあり、遠江國に、駒形の濱といふ灘あり、海底に馬の形の石ありて、夫れかあらぬか、此灘を往來する廻船に、馬は云ふに及ばず、諸道具等に至るまで、馬の形の繪文字をしるすを忌み、言葉にもいふことを禁ず、若しも誤りて馬の形なせるもの船中に在るか、將た書畫等にてもあるときは、忽ち船に變異ありと言ふ、豐大閤の北條氏を關東に伐てる時、宛かも此灘より馬船を廻されしかば、船人危ぶみて、當灘より生馬を積まれんこと、思ひもよらず、斯く／＼の事ありと言上せしに、大閤きこしめし、一書を認められて、文箱におさめ、船人に渡したまひて、若し船中に變異あらば、此文箱を海へ流すべしと仰せらる、船頭かしこまりて出船し、凡そ十里ばかりも行きしところ、俄に海荒れ、既に船を覆さんとする際に、彼の文箱を以て、海に投げゝれば、忽ち風おさまりて、別條なく、彼岸に到るを得ける、さて其文には、

此度、北條を誅伐するに就て、予が使相州に赴く、無難に之を通さるべき者也、
秀　吉
龍宮殿之

とありし由傳ふ、其意氣想ふべし、文久元年八月、和宮の德川將軍家に降嫁せらるゝ際、御呼び迎ひとして、將軍家より京都に上りし者、上下二萬人と稱し、盛觀を極めたりしが、當時三條橋詰に建てられし、高札の文として傳へらるゝもの、亦甚だ奇拔なり、

此度、和宮樣、關東御下向に付、士農工商を初め、天狗以下鳥獸に至る迄、三拜すべきもの也、

德川幕府の發せし、日光山劒峰御制札も、之と同一の筆鋒に出でたるものなり、曰く、

來酉四月、日光御社參被仰出候、依之御山に住居候天狗並降魔神、御社參相濟候迄、其御山可立退者也、
文政七申年七月　水野出羽守

之と同時に、其立ち退ける天狗の行き先きを指示せる沙汰、更に一段の味ひあり、

來酉年、將軍家日光御參詣被仰出候、時之執權衆より、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山中之制札被相建之條、尤之事畢、依之御參詣中、城州鞍馬竝愛宕は勿論、遠州秋葉、豐州彥山等之、分山可有之候、

隼人（花押）

日光大小天狗中

知らず、斯くて彼の大小天狗の鼻頭が、公方樣より低きこと幾丈なりしかを、下野國宇都宮北郊の成高寺といへるは、傑傳和尙開山として、宇都宮正綱が其生父芳賀右兵衞成高のため建立する名刹なるが、同寺の什物に、狐の息狀といふものあり、嘗て妖狐の同寺に祟りを爲せしことありけるを、住持の名僧、祈禱の法力を以て、退散せしめし靈驗を傳ふ、狀に曰へらく、

只今、御きとうの內に、覺道の太い（大意）をかへし（解し）たちのき可申候、此後は、少も寺中にわさわい（災）仕間敷候、以上、

元祿十四年六月七日

新左衞門きつね（拇印）

成高寺樣

現に漢民の間に行はる、惡夢出賣に類似する、虛儀的賣買契約が、人對人以外に行はることも、亦其例甚だ多し、常陸の土浦を中心とする地方には、唐茄子に向ひて、喘息の賣渡を爲す習はしあり、該證文の書式としては、大要左の如き例なりといふ、

一金一百兩也

賣渡證

右拙者所有の喘息病、前記の金額にて、貴殿へ慥に賣渡申候處實正也、爲後日、保證人加印、賣渡證依て如件、

年　月　日　本人　何　某㊞

保證人　何　某㊞

唐茄子殿

而して金額は必ず一百兩に限ること、保證人は必ず他人なるべきことは、其要件にて、證文は川に流し、後方を振り向くことなく、歸り去るに在りと聞く、

神佛に向つて願文を捧ぐるは、日漢共通の或る信念の顯はれなる事、既に古今の歷史に證據立てらる、所なるが、而かも多くは文辭矯飾に過ぎて、虛儀を示すの傾向あり、京都淨土宗の本山なる智恩院の末寺石像寺境內に鎭座する、釘拔地藏（弘法大師の作佛と傳へらる）は、人若し釘を刺したる恠我ある時、釘の報酬條件を附帶せる願文を捧ぐれば、有需必應の效驗、百に一を失はずとかや、畢竟するに所謂る願文てふもの、眞髓は、寧ろ之を以て原始の意義に近しとせんか、

國史に稱す、敏達帝の朝、高麗（古朝鮮）の上れる表疏の、烏羽に書せらる、あり、字は羽のま、に黑く、既に識る者なし、時に船史（フネノフビト）の祖王辰爾（ワウシンニ）、乃ち羽を飯の氣に蒸し、帛を以て羽に印して、悉く其字を寫す、朝廷之を異とせりと、是れ當時高麗の致せし漢文の表疏に對し、我が滿朝の諸史、日を經て、之を通讀するを得ず、漸く歸化人王辰爾の力に賴りて、文意を曉ることを得たるの比喩ならんとは、史家の與ふる解疑なれども、由來書信の神秘を尊重するの餘影、豈亦此對人の交涉にも及びたるに非ざるなきか、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海南漫評

似學生

懸案服制愈改正。鈎懸體裁似學生。
式日以外勅奏判。差別撤廢亦公平。

善駕空

警察大人善駕空。仰天圓目幾蕃公。
歸來社內相戒曰。到底日本不彎弓。

不如意

剋日實施力準備。難奈天候不如意。
延期延期又延期。春季清潔迄夏季。

記念祭

小包劈頭次爲替。電報在來通難濟。
聞說始政記念朝。即是値上記念祭。

成喰物

買込高價品自娛。鑑識批評力固無。
空成骨董屋喰物。當世書畫愛藏徒。

多矛盾

吳服店唱幾割引。車夫得値上官允。
兩般廣告揭同時。畢竟人世多矛盾。

昔相場

物價外算盤桁昂。賽錢今以昔相場。
賣品値上非無策。喜捨何共莫致方。

徒競盛

生前世間不知名。死後葬列徒競盛。
三板橋路朝還夕。幾人眞實哀悼情。

（百十八萬里）

記録

敎育短信

●議會解散と學校　昨年一月四日臺灣敎育令公布の結果、各種學校の新設及び擴張は實に目覺しきもの有之、隨つて本年度豫算に於ては之に伴ふ經費の增加、勢ひ避くべからざるもの有之候處、突如議會の解散に遭ひ、此の先き如何に成行くやらんなど、千々に心を碎きし向も少からざりしが、以上學校關係の要求豫算に限り、特に責任支出を以て何等支障なく通過することゝなりしは、事件の性質上當然のことゝはいひながら、斯道の爲洵に祝福すべき次第と存候。

●小學校と中等學校　小學校卒業生が中學又は高等女學校に入學するに就いては、全國到る處競爭難の聲を聞かざるはなきが中にも、本島の如く官公立數校の外之に代るべき適當なる私立中等敎育機關のなき地方に在りては、子女敎育の前途に向つて父兄が氣を揉むも誠に無理ならぬ次第といふべく、隨つて其の入學率の多少が忽ち世の話頭に上りて、或は小學校優劣の品評となり、或は試驗問題適否の論評となるなど、父兄も小學校も將た中等學校も年一年其の濃度を加ふるの感有之候。此の如く父兄なり學校なりが各々其の立場々々から、所見を述べ主張を明らかにして互に研究を重ぬるは至極結構に候へども餘りに神經過敏となるのも考へ物かと存候。一體小學校が其の本來の目的に向つて忠實に眞劍に努力しさへすれば、上級學校への入學率に於て縱し優秀たらずとも、水準線の位地は確かに保ち得らるゝ筈。小學校はそれにて十分なり、それ以上に焦りて無理に兒童を苦しむるは所謂夫の人の子を賊ふもの。若し夫れ入學率が遙に水準線下に沈むに至りては、恐らく豫備の足らざるにはあらで、平素六年間の敎育に何等かの缺陷あるを語るものかと愚考致候。如何のものにや。

●共學問題の結實　新年早々甲論乙駁百花繚亂の觀ありし共學問題は、昨今に至り左の如き實を結び候、但し內地人子弟にして公學校志願の者は廳長限りにて認可せらるゝ由にて、旣に臺北、臺南、阿緱各廳に一人つゝ有之とか、聞及び候が、果して如何なる風味の實を結ぶべきか、心細き次第と存候。

▲臺灣人子弟にして小學校志願の者

廳		具申數	許否を廳長に委任せし數 第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	計
臺北	男	二	三	二	三	二	一	|	二
	女	一	|	一	|	|	|	|	一

	宜蘭 男	宜蘭 女	桃園 男	桃園 女	新竹 男	新竹 女	臺中 男	臺中 女	南投 男	南投 女	嘉義 男	嘉義 女	臺南 男	臺南 女	阿緱 男	阿緱 女	臺東 男	臺東 女	花蓮港 男	花蓮港 女	澎湖 男	澎湖 女	總計 男	總計 女
	—	—	—	—	二	—	四	三	三	—	九	一	三三	七	一	二	—	—	一	—	—	—	六四	一四
	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	三	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七	一
	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	二	—	四	三	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇	四
	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	一	—	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八	—
	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	一	—	—	—	三	一
	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—
	—	—	—	—	二	—	四	三	三	—	九	一	一三	四	—	—	—	—	一	—	—	—	三九	六

▲臺灣人子弟にして中等以上の內地人學校志願の者

學校	具申數	許否權を校長に委任せし數 第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	計
高商	一	一	—	—	—	—	一
醫專	四	四	—	—	—	—	四
臺南中學	三	三	—	—	—	—	三
臺南高女	九	二	三	三	—	—	八
總計	一七	一〇	三	三	—	—	一六

●學校增設と學級增加　本年度に於ける小學校は前年度に比し、校數一、學級數四十五を增し候。實は本年度の新設小學四校ありし譯なるが其の代り分敎場を本校に併合したるもの三校ありし爲、差引只一校の增加となりし次第に候。兎に角從來隔靴搔痒の嘆ありし分敎場は、特殊の目的を有する臺北師範附屬の新店分敎場以外全く絕無の姿となり、小學敎育の爲大に慶賀すべき次第に候。又公學校は前年度に比し本校四十五、分校十二、學級七百を增し、蕃人公學校は學級八を增せるのみにて校數に增減なく、簡易實業學校は校數一、學級數二を增加致候。而して公學校學級增加七百の中、臺南の百五十一、嘉義の百四十九、臺中の百十一は其の最多なるものにて、澎湖の十三、花蓮港の五、臺東の十は其の最少なるものに有之候。

●小學校理科要目　文部省にては昨年四月より從來尋常第五、六學年に課したる理科を第四學年にも課することに改められ、內地小學校に於ては直に實施されしが、其の敎材を如何に選擇配當すべきかに就きては、未だ何等の指示も無之候、處本島に於ては一年後れて今年度より實施の事と相成、豫ねて理科敎授要目、調查委員の手にて調查審議中の要目新に印刷發行せられて此程全島各小學校に頒布せられ候。思ふに本島小學校の理科敎授は是れより次第に面目を改めて、其の特色を發揮することゝ存候。

●公學敎員の速成　いづこも同じ敎員拂底の折柄、わけて本島公學校に於ては學級激增の結果、益々其の急を告ぐるもの有之督府は之が應急策として敎員の短期養成を計畫し公學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

校六年卒業若くは之と同等以上の學力あるものにして、現に一箇年以上訓導心得の職に在る者九十人を選抜し、本年五月一日より約一箇年の期間を以て、臺北、臺南兩師範學校に於て教員講習をなす由。今其の講習員を廳別にすれば左の通りに候。

臺北　八人	宜蘭　五人	桃園　四人
新竹　七人	臺中　一四人	花蓮港　二人
計四〇人（臺北師範）		
南投　五人	嘉義　一四人	臺南　二〇人
阿緱　九人	臺東　二人	
計五〇人（臺南師範）		

●臺灣事情宣傳隊　曩に御報道申上置候臺灣教育會主催の臺灣事情宣傳隊一行四人は、去三月十九日發程佐賀縣を振出しに九州各縣を巡歴し、晝は講演に夜は活動寫眞に、晝夜を分たぬ大車輪の奮闘、其の效空しからず、到る處好評を博せしかは、豫定の期限を延長して、更に東京の檜舞臺に於て一大宣傳を試むる事と相成、四月二十四日九州を後にして東上の途に就き候。因に一行の歸臺は五月十日頃の豫定に候。

●學務課の異彩　總督府學務課にては昨年九月頃より女事務員一名を採用し、萬綠叢中紅一點の趣有之候處、本年二月更に紅二點を加へ、陽春四月に至り尚も增員して紅五點といふ異彩を放ち、大に衆目を惹き居り候。殊に最後の紅二點は本年三月臺北女子高等普通學校を卒業したるものにて、蓋し一新記錄を作りたるものといふべく、時節柄欣賀の至りに御座候。（湖山生）

●米國團匪賠償還付金の一部使命

（セ、シンガポール、フリー、プレッス　二月十八日）

支那政府は米國團匪賠償還付金中より五萬弗を東洋語學校設立費に充當する事に取極めたるが是は米支間當初の了解通り支那學生の米國留學を阻止せさる條件とするものにして該東洋語學校は事情の許す限り迅速に北京に開設し支那の統治下に屬する蒙古、西藏及び其他各種族の言語を以て支那語を教授するを其目的とす而して同校の北支那語學校又は之と類似の語學校とは何等關係なく純乎獨立の支那學校なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

領臺二十五年誌

明治三十四年

◉十一月（接前）

▲十三日　蕃人の放火に依り臺東市大火

▲十五日　故北白川宮妃殿下橫濱御安著の報あり、土匪噍吧哖郵便局を襲ふ

▲十七日　後藤長官上京、圓銀公定價格九十四錢に下落す

▲十九日　臺南廳下各地に土匪蜂起の報あり

▲二十一日　本島徵兵檢査施行に內決す

▲二十二日　臺灣銀行分掌規程改正

▲二十五日　土匪二百餘名（匪首黃茂松）樸仔脚を襲ひ官民男女十數名を慘殺す、柳生新臺銀頭取任命

▲三十日　圓銀價格九十二錢に下落す

▲此月　廢縣置廳に伴ふ廳位置管轄區域を定む、之を第三次大改革とす

◉十二月

▲一日　南部一帶土匪の大討伐を開始す、村上知事の送別會を淡水館に開く來會者無慮千有餘名

▲五日　兒玉總督東上す、警察本署に廳長を召集して內訓を與ふ、臺北に初雪降る

▲六日　灣裡新營庄間鐵道開通

▲七日　第十六回議會召集

▲十日　天皇陛下開院式還幸の途直訴事件あり

▲同日　土匪討伐隊は匪首黃茂松を放弄山に殪す

▲十二日　公學校教員檢定規則發布　民政長官各官衙に對し官吏たる者威儀を肅み秩序を明にし其官紀を確守すべき旨內訓あり

▲十三日　南部凶歉地方徵稅猶豫に決定す

▲二十日　臺灣總督府農事試驗場規程及同講習生規程を定む

▲二十二日　宜蘭廳管內、二十六日基隆廳管內業主權查定成る

▲二十五日　地方稅完納の域に達す　臺南御遺蹟地保存工事成る

▲此月　基隆及臺北に於て關帝を祭り阿片吸食廢止の目的を以て祈禱を爲すもの流行す

明治三十五年

◉一月

▲一日　臺灣神社歲旦祭、各官廳新年祝賀式、名刺交換會、基隆要塞隊砲兵六名溺死

▲二日　百斯篤發生（大稻埕）臺中大火（三十戶燒失）

▲四日　各官廳御用始

▲八日　觀兵式、陸軍始、南部匪徒大搜查

▲九日　臺灣總督府廳警察職務規程を定む、井伊伯爵、黑田老公（長成侯實父）薨去

▲十三日　臺北廳支廳長會議

▲十四日　第一旅團各隊野外演習、匪首劉覺系斃る

▲十五日　臺北監獄囚徒十名逃走、第二回海員試驗

▲二十日　第二旅團冬期演習開始二十六日終了

▲二十一日　新車紅毛田間改良線試運轉

▲二十二日　醫生免許狀授與式

▲二十三日　學租取扱方を定む

▲二十四日　郵便及電信局官制を改正し電話事務を一二等郵便電信局の兼掌に歸し電話交換局官制を廢止す

▲二十五日　臺北監獄囚徒逃走を企て七名斬殺さる、郵便及電信局新官制發布

▲二十六日　臺南御遺跡地工奉告祭を舉行し臺灣神社の附屬と定む

▲三十日　臺灣文庫創立紀念會

▲三十一日　宜蘭大火、青森第五聯隊百九十七名雪中變死の報あり

▲此月　ペスト豫防の手段として初めて臺南廳下に鼠族驅除を實行す

◉二月

▲一日　臺灣總督府糖業技術私費傳習生規程を定む、新車紅毛田間鐵道開通、北部鐵道通學乘車切符發行、陸軍諸制度改正發表

▲二日　大屯山雪降る

▲三日　夜臺北に降霰あり

▲五日　降霜

▲七日　臺灣神社新年祭

▲九日　臺灣教育會、音樂會館に婦人慈善市（淡水）

▲十一日　紀元節拜賀式

▲十二日　日英同盟條約發表

▲十八日　臺灣民報一週間發行停止　臺日社辯護士投票募集開始

▲十九日　インフルエンザ大流行

▲二十一日　銀貨九十一錢に下落

▲二十二日　西島第三旅團長步兵七旅團長に轉補、山田七旅團長後任

▲二十三日　臺北辯護士會臨時總會

▲二十四日　臺灣官有財產管理規則發布

◉三月

▲一日　日英同盟祝賀會（淡水館）、長尾半平氏土木局長心得となる、

▲四日　民政部に博覽會委員會を置き第五回勸業博覽會に關する事務を掌理し而して臺灣館を特設するに決す

▲五日　農事試驗場養蠶傳習生規程を定む

▲七日　汚物掃除規則施行

▲九日　匪首黃國鎭を後大埔に殪す

▲十日　臺灣日報發行、議會閉院、

▲十二日　銀貨九十錢に下落、法律第六十三號の有效期限を明治三十八年三月三十一日まで延期の件（法律第二〇號）發布

▲十四日　臺灣守備隊交代期改正

▲十八日　脇山警部戰死、匪首陳育を殪す、

▲二十二日　地方官會議

▲二十七日　兒玉總督依願陸軍大臣兼官を免ぜらる

▲二十九日　國語學校卒業證書授與式、本島國防用造營物區域取締規則發布

▲三十一日　北島燈臺成る、滿洲條約調印

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉四　月

▲一日　大阪商船發著期日改正、地方官會議終了、巡査看守退隱料遺族扶助料法施行、各廳定員改正、臺北市中鼠買收實施、匪首周岱死す
▲二日　武德會臨時大會開會、臺灣小學校規則發布
▲五日　銀貨下落八十八錢
▲七日　匪首林添丁を殪す
▲九日　埔里社大火
▲十日　赤十字社臺灣支部組織變更
▲十四日　後藤長官歸臺、武田參謀長著任、戶水汪以下十一人退去を命ぜらる
▲十五日　匪首阮振を店仔口に殪す
▲十九日　銀下落八十六錢、伊庭想太郎無期徒刑、
▲二十日　臺北辯護士定期總會、新營庄嘉義鐵道開通
▲二十二日　民政部殖產局附屬模範製紙場を嘉義廳下に同熱帶植物殖育場を恆春廳下に置く、新聞電報規則發布
▲二十三日　北部警察官會議
▲二十五日　石塚參事官上京、方大聰生擒さる
▲三十日　銀貨下落八十三錢

◉五　月

▲一日　食鹽賠償價格改正
▲二日　銀下落八十二錢
▲三日　守備隊交代開始
▲四日　大島警視總長慰勞會
▲五日　獨艦ハンザー號淡水入港
▲六日　地方稅調查委員會、彰化鹿港に虎疫發生
▲十一日　醫學校第一回卒業式、セントヴインセント火山大破裂慘死數萬人の報あり

▲十六日　臺灣小學校官制發布、虎列刺病發生（新起街）
▲十八日　本島人藥種商組合開會式
▲二十二日　兒玉總督歸臺
▲二十五日　中部土匪歸順式（斗六）に際し妄動の擧あるを以て匪首張大猷及其黨を殺戮す後藤長官上京
▲二十八日　銀貨價格改正八十五錢
▲三十日　皇室誕生令公布、匪首林少猫を下淡水に殪す、歸順匪吳萬興、林天福の徒も依然匪行ありしを以て亦た殺戮せらる

◉六　月

▲五日　虎列刺病豫防心得發布
▲十日　普通文官試驗、警部補試驗規程發布
▲十二日　臺北小學校授業料收納規程發布
▲十四日　糖業獎勵規則發布、支廳長會議
▲十七日　第七回始政紀念祭
▲十八日　糖務局官制發布
▲二十一日　杉房之助の日臺會話大全成る
▲二十三日　司法官會議
▲二十五日　醫官練習所練習生卒業式
▲二十六日　兒玉總督一行中南部巡視の途に上る
▲三十日　新竹廳下業主權查定成る

◉七　月

▲一日　石塚參事官長歸臺、臺灣民報發賣禁止、骨牌稅法實施
▲二日　臺灣日報發行認可取消、文官普通試驗委員會議
▲四日　農事通信委員を置き殖產局長の指揮監督を受け農事上の通信を爲さしむ

▲六日　國語學校規則改正
▲八日　生蕃新竹南庄を襲ふ、南庄蕃討伐を開始す
▲十七日　西鄉從道侯薨ず
▲十八日　臺北廳管內業主權查定結了す
▲十九日　電氣に關する心得方を告示す
▲二十日　臺灣貯蓄銀行總會
▲二十二日　臺灣事業公債發行
▲二十四日　千歲艦基隆入港
▲二十八日　臺北に保安規則執行十七名退去を命ぜらる
▲三十日　兒玉總督歸臺
▲三十一日　銀行營業取締に關する規則發布

◉八　月

▲二日　臺灣醫學會發會式、南部暴風雨
▲九日　英國皇帝エドワード七世陛下戴冠式
▲十日　衆議院議員總選擧
▲十五日　官報新聞等の速達規定發表
▲十七日　產婆取締規則發布
▲十九日　鳥島大噴火
▲二十日　臺北郵便局に自動報時機据付實施
▲二十二日　議會取締規則發布
▲二十六日　臺灣製糖總會
▲三十日　北部暴風雨
▲本島暴風雨の爲め天皇皇后兩陛下より御救恤として金千五百圓下賜せらる
▲三十日　北部暴風雨

◉九　月

▲一日　第六回臺灣銀行總會（東京）
▲二日　臺灣醫學會組織成る
▲四日　桃園廳下業主權查定成る
▲六日　桑原阿緱廳長辭し地方課屬佐々木基氏後任となる
▲十五日　街庄長會議（臺北）
▲十六日　勸銀本島放資決定す
▲十八日　行旅病人取扱手續公布
▲十九日　白耳義皇后崩御
▲二十三日　風水害御下賜金
▲二十九日　宮本侍從武官來臺保安規則施行六名退去內五名婦人（臺北）全島各官衙判任以下四百名昇級
▲蕃人にして普通行政區域內に一定の住所を有し且つ租稅を負擔し其狀態本島人と異る所なきものは土地查定の結果により之が業主權を認むることゝす

◉十　月

▲一日　總督府直轄學校留學生規則發布、第三回殖產協議會、基隆水道の給水を開始す
▲三日　銀貨價格改定八十三錢、日銀利引下、
▲七日　阜南出火（全燒三十戶）
▲十日　馬那邦蕃社討伐開始
▲十四日　請願巡查巡查補及隘勇取扱規程を定む
▲十八日　臺灣農談會發會式
▲二十日　南庄蕃假歸順式
▲二十一日　古亭庄警官暴行事件あり
▲二十四日　汽船職員懲戒規則發布臺灣民報發賣禁止
▲二十五日　侍從武官歸京
▲二十八日　臺灣神社大祭、武德會演武場開場式

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

統計

金融及貿易統計（財務局調査）

臺北手形交換所手形交換月表　大正九年三月中

銀行名稱	枚數	借方金額	差引殘額	差引殘額	枚數	貸方金額
臺灣銀行臺北本店	五,六一九	五,九八〇,三七二・九五	五三〇,六八七・一〇	三,五六〇,七八六・〇六	七,〇一六	九,〇一〇,四七一・九一
三十四銀行臺北支店	五,三九二	五,九六三,三四五・二一	二,〇〇九,四二三・一八	六九八,三〇九・八四	七,三四四	四,六五二,二二九・八七
臺灣商工銀行臺北本店	七,七八六	三,二五五,一三三・五三	六二六,四四五・七〇	六九八,四一三・六六	六,四七九	三,二〇七,一〇一・四九
彰化銀行臺北支店	三,五〇一	一,九八九,〇八六・二〇	七六八,〇〇三・一〇	一五三,九五二・五九	二,〇四六	一,三七五,〇三五・六九
新高銀行	五,一四六	四,三二二,八五六・九二	九三一,六六八・五六	六四七,九四八・一八	六,七一〇	三,九二九,一三六・五四
華南銀行	二,四五四	二,八〇九,二九八・八五	九八六,五八九・八九	一六一,〇九四・九二	二,七四八	一,九八三,八〇三・八八
臺北郵便局	二,五二五	七四,五二五・二三	六七,六八七・七二	—	八〇	六,八三七・五〇
合計	三二,四二三	二四,一六四,六一六・八八	五,九二〇,五〇五・二五	五,九二〇,五〇五・二五	三二,四二三	二四,一六四,六一六・八八
前月合計	三五,五八四	二一,九五四,六六六・〇九	五,三〇一,二〇一・五七	五,三〇一,二〇一・五七	三五,五八四	二一,九五四,六六六・〇九
前年同月合計	三〇,二〇六	一四,三三六,二四七・五六	二,七七五,三四九・四五	二,七七五,三四九・四五	三〇,二〇六	一四,三三六,二四七・五六

臺南手形交換所手形交換月表　大正九年三月中

銀行名稱	枚數	借方金額	差引殘額	差引殘額	枚數	貸方金額
臺灣銀行臺南支店	一,七九一	二,九四四,五九〇・八六	一八七,四五四・〇二	一,二二四,四一〇・九八	二,九七四	三,八八一,五四七・四三
三十四銀行臺南支店	二,七一九	二,九六八,一八〇・八八	八四,五四八・一八	一,二七五,九二一・〇三	四,八三六	四,〇五九,五四三・七三
臺灣商工銀行臺南支店	四,五七〇	二,九三三,〇二九・九八	五九七,六〇八・七七	一八九,四六三・〇二	三,七七一	二,五一三,八八四・二三
嘉義銀行臺南支店	四,九九九	二,九七三,〇一八・〇〇	一,二五七,〇二三・三八	四,七五八・〇一	五,〇二三	一,七二〇,七五三・六三
臺南郵便局	二,〇四三	一六〇,七七〇・四五	一三五,八五七・九八	一,八九五・二五	二四三	三八,八〇七・七三
新高銀行臺南支店	二,四二一	一,二二二,〇三九・二八	三八四,三一〇・七三	一三八,三六四・一八	一,六九六	九六六,〇八二・七三
合計	一八,五四三	一三,一八〇,六一九・四五	二,六五四,八〇二・〇六	二,六五四,八〇二・〇六	一八,五四三	一三,一八〇,六一九・四五
前月合計	一七,五七五	九,九一六,七二一・六六	二,二七二,三八七・六五	二,二七二,三八七・六五	一七,五七五	九,九一六,七二一・六六
前年同月合計	一五,一四九	四,七五六,五二六・八九	一,四九七,七〇四・三三	一,四九七,七〇四・三三	一五,一四九	四,七五六,五二六・八九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各銀行放資額（大正九年二月中 重要物産ニ對スル）

銀行名	區分	米	砂糖	茶	樟腦	金塊	酒精	石炭	計
臺灣銀行	放資額	円 一三,九二九,二〇五	円 三〇,六八五,三三八	円 二三七,七六六	円 二三一,〇〇〇	円 四五,一〇五	円 三六三,九四〇	円 三,一九四,〇三一	円 四八,八六六,二八三
	月末残高	一七,九〇七,八四四	三八,九七〇,一三四	八九一,二八六	一,三〇四,二六二	五一,一八九	五七六,三三四	四,二六七,三二七	六三,九六八,三六六
三十四銀行支店	放資額	三五九,六七四	三一六,五二六	—	—	—	—	—	六七六,二〇〇
	月末残高	一,二八一,四六五	一,一七四,〇六二	一〇,一五七	—	—	—	—	二,四六五,六八二
臺灣商工銀行	放資額	四〇四,六七一	四八四,六三六	三三,〇〇〇	—	—	—	二六七,四二八	一,一八九,七三五
	月末残高	六八〇,〇二七	六三九,〇二七	三三,〇〇〇	—	—	—	五一五,八七八	一,八六七,九三三
嘉義銀行	放資額	二〇六,三八七	四一七,〇七〇	—	—	—	—	—	六二三,四五七
	月末残高	一〇九,七五七	三〇一,〇五四	—	—	—	—	—	四一〇,八二一
彰化銀行	放資額	九二三,三三九	三三〇,三三〇	—	—	—	—	—	一,二五二,六五九
	月末残高	一,五二九,四九九	六二九,六三四	—	—	—	—	—	二,一五九,一三三
新高銀行	放資額	一,一八九,六四七	八二三,〇八三	一四二,四五〇	—	一八,六四六	—	一一九,八八九	二,三九二,八一五
	月末高	一,六〇四,二〇五	八四三,九九九	三〇二,九三四	—	一五,三七九	—	一三四,一〇四	二,九〇〇,六二二
華南銀行	放資額	三,九五〇,八〇〇	六二三,九一四	八三九,八五〇	—	—	—	四九,九五三	五,四六四,五一七
	月末残高	四,四三九,八〇八	一,二九五,八一四	九九九,八九六	—	—	—	一一四,二六四	六,八四九,七八二
合計	放資額	二〇,九六二,七二一	三三,八七九,七八七	一,二四三,〇六六	二三一,〇〇〇	六三,七五一	三六三,九四〇	三,六三一,四〇一	六〇,三六五,六六六
	月末残高	二七,五五二,六〇三	四三,八五三,七二四	二,二三七,二七三	一,三〇四,二六二	六六,五六八	五七六,三三四	五,〇三一,五七三	八〇,六二三,三二七
前年二月	放資額	一二,三三七,四七八	一七,八四七,五〇〇	一九七,九九二	二,四七二,六二五	二七,二九一	一六六,〇七五	一,四〇八,九一七	三三,三六七,八七八
	月末残高	一五,一六六,一八九	三一,〇一六,三五八	四八三,二九八	四,七四二,〇四九	七四,一三六	二八八,三七五	二,三八九,一〇一	五四,一五九,五〇六
累計	本年放資額	四二,七九一,三三六	五八,三三一,八三八	二,一〇二,二一七	六五四,〇七七	一三三,六〇五	七七七,三〇八	七,七四八,一〇七	一二一,五三七,四八八
累計	前年放資額	二七,三五二,五九〇	三三,六七三,五四四	七五六,〇四七	三,三一九,〇四二	一〇九,二八九	三一八,四三七	二,八八〇,一三一	六八,四〇九,〇七六

預金貸出金殘高及金銀在高表（大正九年二月末）

銀行名	預金	貸出金	金銀在高
臺灣銀行	円 四〇,五八二,〇九一	円 一三六,一〇一,四六五	円 三,七六八,一六一
三十四銀行支店	七,一六〇,九八二	七,八一四,一六六	一九三,〇五〇
臺灣商工銀行	一一,七八八,七三五	一四,一五六,二六五	一三一,四二九
嘉義銀行	五,三四六,三四二	六,七三二,四四五	五五,三八〇
彰化銀行	六,五六〇,八八八	一三,四〇四,九九五	一三一,三七一
新高銀行	六,四〇三,八〇五	八,八〇〇,八六五	二八四,六一三
華南銀行	八,四四四,三一五	七,七一九,一八六	一四,五四四
合計	八六,二七七,一五四	一九三,七二九,三八九	四,五八六,四四八
前年一月	六四,〇六五,九二八	一〇六,〇五四,四七六	四,五四四,一六九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北物價指數別表　大正九年二月末

內地人側

品名	本月	前月	前年同月
白米	四〇一・二七	四〇一・二七	三〇八・九二
清酒	九六六・六七	九六六・六七	二八八・二四
麥酒	(十) 二三一・八二	二〇四・五五	一五九・〇九
澤庵漬	二八二・六一	二八二・六一	一九七・八三
小麥粉	(十) 三三三・三三	三二八・二一	二四六・一五
鰹節	三四五・二四	三四五・二四	二六一・九〇
醤油	二六五・〇〇	二六五・〇〇	一四七・五〇
白木綿	六七四・一六	六七四・一六	四一〇・二一
石炭	二八五・七一	二八五・七一	二五〇・〇〇
煉瓦	四七一・四三	四七一・四三	三三八・五七
日本形瓦	四三一・八二	四三一・八二	二九五・四五
平均	(十) 四二六・二八	三八六・九七	二五三・九八

本島人側

品名	本月	前月	前年同月
玄米	三三八・九三	三三八・九三	三一七・九二
紅酒	(十) 二七二・〇〇	二六四・〇〇	二四〇・〇〇
砂糖	六三一・五八	六三一・五八	二四二・一一
鴨卵	(一) 三三五・七八	三五五・五六	二六二・九六
綿布	(十) 四三五・一九	四〇七・四一	三四二・五九
木炭	二六六・六七	二六六・六七	一六六・六七
薪	(十) 二三八・八一	二二三・八八	一七九・一〇
石油	(十) 四〇〇・〇〇	三三二・二六	四三三・五八
火油	(十) 二七八・五七	二七一・四三	二三八・五八
平均	(十) 三五五・二八	三四三・五二	二六六・九五
總平均	(十) 三九四・三三	三六七・四二	二五九・八一
本月を一〇〇としての比較	一〇〇・〇〇	九三・一八	六五・八九

備考　本表は明治三十五年一月の物價を一〇〇として計算したるものなり

臺北物價平均指數五箇年對照表　（二月末）

月次	大正九年	同八年	同七年	同六年	同五年
一月	三六七・四二	二六〇・〇一	二〇八・二四	一五八・五九	一三八・九三
二月	三九四・三三	二五九・八一	二一五・三六	一五八・二六	一四〇・九七
三月	—	二五一・八〇	二二二・八二	一五九・六一	一四二・〇七
四月	—	二六五・七九	二二五・六二	一六〇・四二	一四四・二六
五月	—	二五八・八八	二二三・八八	一六八・七二	一四三・七〇
六月	—	二六八・六四	二二一・六二	一七五・一六	一四〇・四二
七月	—	二九〇・六三	二二七・九〇	一八六・〇六	一四一・六一
八月	—	三〇〇・一五	二三七・〇七	一八八・五二	一四三・〇九
九月	—	三〇〇・六一	二四二・四七	一八九・六七	一四二・六八
十月	—	三二二・九二	二五一・六〇	一九一・八五	一四七・二八
十一月	—	三三五・一七	二五七・二一	一九七・二二	一五八・五九
十二月	—	三五六・九二	二六三・六三	二〇一・一一	一五七・一七

各年月を一〇〇とせる本月平均指數　（二月末）

基礎年月	本月平均
大正九年一月	一〇七・三二
同八年二月	一五一・七八
同七年二月	一八三・一〇
同六年二月	二四九・一七
同五年二月	二七九・七三

臺北物價指數別表　大正九年三月末

內地人側

品名	本月	前月	前年同月
白米	(一) 三三一・三一	四〇一・二七	二八六・六二
清酒	(一) 四六三・六四	五六六・六七	二八八・二四
麥酒	二三一・八二	二三一・八二	一五九・〇九
澤庵漬	二八二・六一	二八二・六一	二二六・〇九
小麥粉	(一) 三二八・二一	三三三・三三	二一〇・二五
鰹節	三四五・二四	三四五・二四	二六一・九〇
醤油	二六五・〇〇	二六五・〇〇	一四七・五〇
白木綿	(一) 六五一・六九	六七四・一六	四一〇・一一
石炭	二八五・七一	二八五・七一	二五〇・〇〇
煉瓦	四七一・四三	四七一・四三	三三八・五七
日本形瓦	四三一・八二	四三一・八二	二九五・四五
平均	(一) 三七一・六七	四二六・二八	二五一・二六

本島人側

品名	本月	前月	前年同月
玄米	三三八・九三	三三八・九三	二七六・三〇
紅酒	二七二・〇〇	二七二・〇〇	二三〇・〇〇
砂糖	六三一・五八	六三一・五八	二四二・一一
鴨卵	三三五・七八	三三五・七八	二七四・〇七
綿布	四三五・一九	四三五・一九	三四二・五九
木炭	二六六・六七	二六六・六七	一六六・六七
薪	二三八・八一	二三八・八一	一七一・六四
石油	(一) 三四三・五五	四〇〇・〇〇	三六四・五三
火油	(十) 二九六・四三	二七八・五七	二一四・二九
平均	(一) 三五〇・九九	三五五・二八	二五三・四七
總平均	(一) 三六二・三七	三九四・三三	二五一・八〇
本月を一〇〇としての比較	一〇〇・〇〇	一〇八・八二	六九・四九

備考　本表は明治三十五年一月の物價を一〇〇として計算したるものなり

臺北物價平均指數五箇年對照表　（三月末）

月次	大正九年	同八年	同七年	同六年	同五年
一月	三六七・四二	二六〇・〇一	二〇八・二四	一五八・五九	一三八・九三
二月	三九四・三三	二五九・八一	二一五・三六	一五八・二六	一四〇・九七
三月	三六二・三七	二五一・八〇	二二二・八二	一五九・六一	一四二・〇七
四月	—	二六五・七九	二二五・六二	一六〇・四二	一四四・二六
五月	—	二五八・八八	二二三・八八	一六八・七二	一四三・七〇
六月	—	二六八・六四	二二一・六二	一七五・一六	一四〇・四二
七月	—	二九〇・六三	二二七・九〇	一八六・〇六	一四一・六一
八月	—	三〇〇・一五	二三七・〇七	一八八・五二	一四三・〇九
九月	—	三〇〇・六一	二四二・四七	一八九・六七	一四二・六八
十月	—	三二二・九二	二五一・六〇	一九一・八五	一四七・二八
十一月	—	三三五・一七	二五七・二一	一九七・二二	一五八・五九
十二月	—	三五六・九二	二六三・六三	二〇一・一一	一五七・一七

各年月を一〇〇とせる本月平均指數　（三月末）

基礎年月	本月平均
大正九年二月	九一・九〇
同八年三月	一四三・九一
同七年三月	一六二・六三
同六年三月	二二七・〇三
同五年三月	二五五・〇六

大正八年一月中各銀行內外爲替取組高表

種別	銀行別	收入 內地 口數	收入 內地 金額(円)	收入 外國 口數	收入 外國 金額(円)	收入 島內 口數	收入 島內 金額(円)	支出 內地 口數	支出 內地 金額(円)	支出 外國 口數	支出 外國 金額(円)	支出 島內 口數	支出 島內 金額(円)
送金爲替手形	臺灣銀行	二、一二三	一三、九六五、六四一	二三三	三〇六、一九一	四、九六二	一九、九三六、四二七	八八六	三、九三六、六七二	二三五	四〇九、一三三	五、四〇一	二一、五五六、九二〇
	三十四銀行	六六七	一、二八六、六六二	—	—	四六〇	七一五、五五六	九七	九九、三八七	—	—	一三五	五一、九六八
	臺灣商工銀行	五三八	八三九、七五八	—	—	三、五九四	二、二〇七、五〇七	七一	二八二、八八五	—	—	三、六四二	一、九七三、三三九
	嘉義銀行	一二一	一四二、一七一	—	—	三、一七五	一、八七五、八九一	四	八、二三〇	—	—	二、二〇五	一、五二一、七六
	彰化銀行	一〇五	一四九、一七一	—	—	三、六八八	三、七五六、六七四	七七	一九一、二四二	—	—	三、五〇二	二、五五二、七三三
	新高銀行	一一五	八四一、八九四	二七	二六、二五四	二、五三三	二、一四八、五〇三	一	一、〇〇〇	五七	三四、七三七	二、一七五	一、九二四、九七五
	華南銀行	三六	一一五、五六六	二	一〇八、四五九	九七	六五九、五八六	一	一四	一〇	二三、三一六	—	—
	計	三、六九五	一七、二四〇、八六三	二六一	四四〇、九〇四	一八、五〇九	三一、三〇〇、二一三	一、二三七	四、五一九、四三〇	三〇二	四六七、一八六	一八、〇六〇	二九、五五四、七〇一
割引手形	臺灣銀行	六四四	一、一七〇、〇三二	—	—	一、四二二	三、一七六、六二五	五一	二、四三三、三九一	—	—	一、五二二	三、〇一三、八〇七
	三十四銀行	一四六	一一〇、二二三	—	—	二六三	三三一、七一五	五	五四、二〇五	—	—	一六〇	一九三、二六四
	臺灣商工銀行	六六	九四、五九九	—	—	二九九	六〇三、四八〇	二〇	二六四、七一二	—	—	三四四	五九六、五四七
	嘉義銀行	二三	五、〇八七	—	—	三九一	四四七、二三九	—	—	—	—	三三二	四〇六、九八九
	彰化銀行	二	四七五	—	—	六三七	九二九、七九九	八	九、七六一	—	—	四五二	七五〇、三四九
	新高銀行	—	—	九	三七、六四〇	五一	五一、一二〇	一	三八〇	六	八、二六七	九七	八五、八二九
	華南銀行	—	—	—	—	—	—	三三	五、五九〇	—	—	一三	一八六、六〇一
	計	八八〇	一、三八〇、四〇六	九	三七、六四〇	三、〇六二	五、五二五、九六八	八八	二、七六七、〇三八	六	八、二六七	三、〇二七	五、二三三、三八六
荷爲替手形	臺灣銀行	七〇二	一、六四九、一九〇	—	—	二五三	二、一一八、九六一	四三九	九、七七八、一七三	—	—	二三〇	一、八四六、〇四〇
	三十四銀行	一一七	三〇九、二八〇	—	—	七九	二四八、三四八	四二	六七六、七一一	—	—	一二	七七、〇三六
	臺灣商工銀行	一〇七	一一四、五五九	—	—	七八	三四二、二六〇	一九	六九、五六五	—	—	九六	三八六、〇八二
	嘉義銀行	一九	三五、九三四	—	—	五	九、〇四〇	七	四八、一〇〇	—	—	一一	七一、六四五
	彰化銀行	四	五、七一六	—	—	二	七九、六七五	—	—	—	—	二〇九	一九、〇五七
	新高銀行	一	四四五	—	—	一三	九二、七〇二	一四	二八二、九三九	三三	二三、三九五	一一	八三、二〇七
	華南銀行	—	—	—	—	—	—	八	一二九、一〇三	—	—	二九	一三、九六七
	計	九五〇	二、一一五、一二四	—	—	四三九	二、八九〇、九八六	五二九	一〇、九八四、五七〇	三三	二三、三九五	五八八	二、七〇六、〇三四

一月中收支超過

種別	臺灣銀行	三十四銀行	臺灣商工銀行	嘉義銀行	彰化銀行	新高銀行	華南銀行	計
收支(八印○ 支出)超過 內地 金額	二、〇一四、四〇一	二、〇九三、二四〇	一三〇、六九九	一二四、五七六	五五、七四三	五四八、五八九	五一、九一七	四、八二三、八二五
收支超過 外國 金額	一、四二四、三六七	—	—	—	—	三、八一六	二三、三一三	一、三九七、二三九
收支超過 島內 金額	一、〇二五、一六五	六六九、八〇六	七七、五八四	三六二、七二四	四二九、七五二	一六四、四四〇	三四九、六〇四	一、〇二八、七四五

備考　收支超過欄銀行別は收入欄銀行別による臺灣銀行代金取立手形外國欄には
收入の部（買入爲替 八六口／買入爲替 四七口）
支出の部（利付爲替 五九口）
二、六八九、九五八円／一七六、八四五／九六〇、二三〇 を併算せり
新高銀行代金取立手形外國欄ニハ
收入の部（買入爲替 九口）
支出の部（買入爲替 三六口）
三七、六四〇円／二三、八九五 を併算せり
華南銀行代金取立手形外國欄には
收入の部（買入爲替 二口）
支出の部（買入爲替 二四口）
五四、九四七円／一六一、九二七 を併算せり

代金取立手形								合計							
臺灣銀行	三十四銀行	臺灣商工銀行	嘉義銀行	彰化銀行	新高銀行	華南銀行	計	臺灣銀行	三十四銀行	臺灣商工銀行	嘉義銀行	彰化銀行	新高銀行	華南銀行	計
二、五九九	九八五	二九〇	五二	六五	—	—	三、九九一	六、〇六八	一、九一五	九九一	二一四	一五六	一一六	五六	九、五一六
一、四三六、一四九	一、三二九、一〇五	一五二、六一六	一四、六八一	二六、四〇一	—	—	二、九五八、九五二	一八、三二一、〇一二	二、九五五、二六〇	一、二〇一、五五二	一九七、八七三	一八一、七六三	八四二、三三九	一一五、五六六	二三、六九五、三四五
九〇	—	—	—	—	一	二	九三	三一三	—	—	—	—	三七	一三	三六三
二、六九三、七五一	—	—	—	—	二〇〇	五四、九四七	二、七四八、八九八	二、九九九、九四二	—	—	—	—	六四、〇九四	一六五、四〇六	三、二二七、四四二
一、三〇八	三二	八六四	六八五	七四二	二三六	—	三、八六七	七、九四四	八三四	四八五	四、二三六	五、〇七八	二、八三三	九七	二五、八七七
一、二二三、五六三	三四〇、三〇四	五五一、三七五	四〇〇、二六三	四一四、七三〇	一二三、六〇八	—	二、七一七、四七一	二六、四五五、五七五	一、三一九、六五三	三、六八四、六九三	二、七三二、三五三	五、一七六、八七八	二、四〇五、九二三	六五九、五八六	四二、四三四、六五八
五三	三一	五四	一〇	一三	一〇	五一	二三〇	一、四二八	一七五	一六四	二	九七	二六	六三	一、九七四
三九、三七六	一一、七一七	四五三、七二二	一六、九六七	三六、五〇三	九、四三一	三二、七七六	六〇〇、四八二	一六、一八六、六六一	八四二、〇二〇	一、〇七〇、八五三	七三、二九七	二三七、三〇六	二九三、七五〇	一六七、四八三	一八、八七一、三三〇
一二三	—	—	—	—	三	二七	一五三	三五七	—	—	—	—	六九	三七	四六三
一、一六六、四四三	—	—	—	—	一、五一二	一六五、四一三	一、三三一、三六五	一、五七五、五七五	—	—	—	—	六七、九一〇	一八六、七二八	一、八三〇、二一三
一、〇〇九	六〇七	九三一	五〇六	八七三	三七一	一	四、二九七	八、一五一	九一四	五、〇二三	四、〇五四	五、〇三五	二、六五四	一五二	二五、五七二
一、〇六三、九七三	三二七、三七九	六五一、二三〇	三六九、一九八	一、三五一、九八七	一四七、七四一	四一四	三、九一一、七七三	二七、四八〇、七四〇	六四九、八四七	三、六六七、一〇八	二、三六九、六〇八	四、七四七、一二六	二、二四一、四八二	三〇九、九八二	四一、四〇五、八九三

大正九年三月

臺灣貿易統計ノ一

●貿易額●

	三月	九年累計	八年累計
輸出	三、七六五、八一〇円	九、七六四、〇六一円	六、六八七、五二一円
輸入	七、二三三、五五七	二〇、五〇九、三七八	一四、七七三、七七二
計	一〇、九九九、三六七	三〇、二七三、四三九	二一、四六一、二九〇
輸出(入)超過	入三、四六七、七四七	入一〇、七四五、三一七	入八、〇八六、二六八
朝鮮移出	四九、七七五円	一三〇、四三五円	六九、三四二円
朝鮮移入	四二一	五、七〇四	九、九六五
計	五〇、一九六	一三六、一三九	七九、三〇七
移出(入)超過	四九、三五四	一二四、七三一	五九、三七七
内地移出	三六、四二七、〇五七円	八二、九五〇、九四一円	四六、七〇九、五四八円
内地移入	一二、三五一、〇五六	三〇、八二六、二五二	一八、一二〇、八九四
計	四八、七七八、一一三	一一三、七七七、一九三	六四、八三〇、四四二
移出(入)超過	二四、〇七六、〇〇一	五二、一二四、六八九	二八、五八八、六五四

●輸出●

品名	單位	三月 數量	三月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
石炭	噸	三六,五〇四	円 六九〇,五八三	一〇四,七四四	円 一,九九二,三九七	一〇一,九八〇	円 一,四三四,五六六
砂糖	斤	四,三七八,一五〇	一,五三二,三五四	一一,五三〇,五一七	三,八八六,九四六	一一,〇六九,六七五	一,八六一,〇三三
烏龍茶	同	—	—	九,九九七	四,一四二	四二,三八四	一六,七〇八
樟腦	同	一八六,九五〇	四五八,六一九	三三三,九五〇	八二二,七二九	三九二,一〇〇	五六二,九四五
包種茶	同	二四一,九一九	一三八,三二六	九一一,九八二	四六三,九二〇	六九八,八六三	五一九,三三五
燐寸	同	七八,〇六三	一一六,〇六九	三三六,一八二	四三一,二二五	五三三,一三四	五七九,〇九六
絹織物	碼	四七一,六三九	二〇八,二三〇	一,四八九,四二二	七二七,〇〇六	一,〇七八,三五二	三二八,二五九
苧麻	斤	一二三,五八九	五七,四七六	三四〇,〇七七	一五三,七八八	二九九,九五六	一二〇,三四〇
鹹魚及乾魚	同	四七九,一二九	七一,六五五	一,三三〇,一三三	一九九,三六三	一,三三二,九六四	一八九,七〇七
酒精	利	二	六	七,二二八	五,九九六	六三七,五七九	二六七,三七八
落花生豆	斤	二〇,四九六	四,一一四	三九二,九〇六	四八,六六二	一一一,七〇一	一三,九五九
硝子罎	箇	四五六,七八八	一〇,六九二	八四〇,一〇六	二三,八八二	一,四二一,三三九	二五,六〇一
乾筍	斤	二八,七〇〇	一〇,五九六	一四九,九二六	五五,五一七	一三三,一四〇	三〇,九八八
龍眼	同	三,〇九〇	一,七六四	三,九六五	二,五六七	二五七,二二〇	三九,八〇六
餞餹	同	一〇,七四二	一六,七六九	一七,八三〇	二六,七一八	一六,八二四	二七,一九〇
其他諸品		—	四五八,六七八	—	九二〇,八〇四	—	八七〇,六〇一
計		—	三,七六五,八二〇	—	九,七六四,〇六一	—	六,六八七,五一一

●輸入●

品名	單位	三月 數量	三月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
砂糖	斤	九,九二〇,三七〇	三,一六四,〇七八	二二,七五四,〇〇八	六,六四八,三六八	二二,二五三,五一三	一,三九三,五九四
豆油粕	同	四,一六三,〇〇〇	四五二,五〇〇	四一,七五七,八〇〇	四,〇四二,三一〇	五九,一四八,五四八	三,〇八五,四九九
米	同	一〇,四三三,五九六	一,二七八,八一三	二二,八二六,二一〇	二,五三六,〇八四	三七,九六〇,六六八	三,五一五,九二九
阿片	同	—	—	二〇,七八二	五九〇,六一四	四六,七八九	一,一四五,二三八
包蓆	枚	一,〇一九,六〇〇	二八,三七四	二,七四五,一〇〇	六〇七,三三六	二,〇一五,二二三	四五八,二六二

●移出●

品名	單位	三月 數量	三月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
砂糖	斤	八四,七三七,六二五	円 三〇,六九四,七七三	一九五,〇六六,〇五五	円 六九,三九一,八一三	[illegible]	円 三三,〇〇七,〇二六
米	同	二六,〇六九,五〇〇	二,四〇〇,一六三	三六,九九八,四〇〇	五,四〇六,三〇三	六八,六九一,〇五八	八,四三九,五八九
酒精	利	一,四九九,六九六	一,九六三,一四七	三,三〇八,三七一	四,〇四三,四二〇	二,四四五,三八九	二,二九七,三六三
樟腦	斤	一六二,六一二	二六七,五九九	五五七,〇一二	八九〇,五九四	四三六,八二六	六一一,〇六〇
芭蕉實	同	二七三,九五五	二五,二三五	六二〇,八二一	六三,三八七	九,三三一,四四七	三七二,七六三
切乾藷	同	九六四,〇〇一	五二,九一〇	九,一七五,八一六	四一一,五四五	四〇一,九二〇	二五,八〇四
樟腦油	同	一五三,七七五	六八,八五三	七七五,六九一	三四四,五八四	七四〇,五九四	三二八,一九八
銅(金銀含有)	同	四九,二七〇	三八,六九二	二四二,九五一	一八三,四九九	二八八,五一五	一五四,九七三
石炭	噸	九,三五二	一六〇,五三二	二五,五九六	四一八,九九二	二,七八二	四九,三三八
鰹節	斤	—	二四四,八三三	二,八二〇	三,六〇〇	七,四三八	八,四八二
木材及板		—	三一,二二一	—	三七六,八一二	—	三二,八一三
鳳梨罐詰	打	五,八四〇	二二,一四〇	一八,三一三	八〇,九二三	三八,七〇三	一二八,五七七
落花生豆	斤	一一七,六〇〇	四〇,九四五	二五〇,〇一〇	四七,二四五	一〇〇	二
生皮	同	八二,一六〇	五九,〇四〇	二二一,七六〇	一二二,九六七	三〇二,八八二	一二八,三二七
麻織物	碼	二四五,八〇〇	三五六,九八五	四〇九,八二〇	九六,三四〇	二〇二,九一六	四八,三〇〇
其他諸品		—	三五六,九八五	—	一,〇七八,九一七	—	一,〇七六,七二三
計		—	三六,四二七,〇六七	—	八二,九五〇,九四一	—	四六,七〇九,三四八

●移入●

品名	單位	三月 數量	三月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
諸綿布		—	一,二五〇,八七八	—	二,三二八,六〇八	—	一,七七二,四三五
鹹魚及乾魚	斤	三,九八六,九〇六	六四九,六一四	一〇,九二三,四九二	一,八二八,四九九	一一,九四二,二四七	一,八八八,五四三
肥料	同	一二,六四六,四六七	一,七二九,四九九	三五,八五四,〇六四	四,三七四,九八六	三〇,九二九,五三四	一,四一五,四八九
鐵	斤	二,四三〇,七二四	五六六,五〇五	七,六一四,一二五	一,六五七,〇〇八	四,二九三,九五六	一,〇三二,五八三
木材及板		—	五〇五,八八五	—	一,五一七,九六六	—	四六九,八三九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	單位						
石油	瓦	一五七,九九〇	一六五,六二四	五六六,〇〇七	五五三,一一〇	五一五,一六三	五〇一,七八二
小麥粉	斤	—	—	三,七八〇	九九九	五九六,四四六	七三五,五五五
木材及板		—	一七五,〇一三	—	六三七,三九一	—	二一三,八九二
葉煙草	斤	一八七,六五〇	一二七,六八七	三七二,八四二	二九五,九〇四	一,二四九,五四一	六三五,六七〇
豆類	同	一,六八八,六九八	二三六,二一七	三,二二〇,九〇四	三八〇,七四七	三,三四一,五〇五	二五四,二六二
禮拜紙	同	二三四,二九〇	一三三,六八三	六五一,〇六七	三三一,〇九三	四五九,三六三	一七三,六一〇
苧麻布	方碼	七八,九三七	四二,八〇三	三五八,九三四	一一七,七二八	四五六,五九八	二二四,七五二
黄麻	斤	—	—	三〇七,七三三	八五,三二九	七四六,五五四	一三〇,四八五
ガンニー袋	箇	七七,七〇〇	五五,四一九	一〇七,三五〇	七三,五一三	六〇九,七〇九	二六九,五八〇
電鍍線	斤	—	—	—	—	三,二二八	五八一
小麥	同	—	—	—	—	二三四,五四〇	一一四,八二二
竹紗布	方碼	三一,八七三	三〇,九八一	三三,三四七	三二,八〇五	二四六,三八九	三三八,〇四〇
鹹魚	斤	一,五七六,八一四	一五九,六七七	四,二三九,五〇〇	四九九,六〇〇	一,四七一,五九八	一七〇,四二〇
綿繻子	方碼	三〇,四八四	三七,一九三	三〇,九四四	四二,一二五	一〇六,二三七	七一,〇七二
コンデンスドミルク	打	一,〇一〇	六,五〇〇	九,五七八	五九,八四七	五,七七四	三三,五三七
陶磁器		—	二三,〇五九	—	八四,三二九	—	三九,二九五
綿布（竹紗布綿縮及綿子羅布ヲ除ク）	方碼	四一,三九四	三四,七九一	五九,七四九	四六,七一〇	二六七,三九九	八五,六三六
葉鐵及葉鋼	斤	三七,一二〇	一〇,八〇三	一九一,九九六	五七,一三六	—	—
唐紙	同	八五,八七四	一五,六一三	一七〇,七二三	三四,四六二	二五七,三五五	五〇,六二九
パラフィンワックス	同	二三,九八三	一〇,四六一	一一七,三二八	四九,七〇八	九五,七六〇	二九,九六三
紙巻煙草	箇	一,七〇四,二〇〇	一〇,九九八	三,四〇四,二〇〇	二七,五五一	二,六三九,六五〇	二〇〇,九六六
苧麻綿布	方碼	一八,四二四	一三,五五四	三二,九二九	二一,〇七三	二三五,六六八	六二,〇六二
人參	斤	二,九三七	二五,三九六	三,九一七	三四,〇五三	六,四九三	三五,二二二
茶油	同	七〇五,一五七	二〇,九五七	一,三七二,三四六	三六,六二三	三,九二四,八七一	七九,一〇六
茶箱板	組	一,〇〇〇	四三〇	一五,〇〇〇	六,四七一	四,四九九	一,三一九
素麵類	斤	二五,九三七	一三,七〇四	六七,六二六	三三,三六九	七二,七〇七	二六,六二三
絹綿羅布	方碼	一一,六八六	一三,四〇四	一一,六八六	一三,四〇四	三六,〇〇一	二八,七三二
其他諸品		—	七八九,八〇八	—	二,五三一,二二八	—	一,七二三,九二四
計		—	七,二三三,五五七	—	二〇,五〇九,五七八	—	一四,七七三,七七九

品名	單位						
清酒		—	七〇,六二九	—	三六三,二五一	—	五九八,七七三
製糖用機械及同部分品		—	七六,二七三	—	一五七,六一四	—	七一,九八〇
燐寸	哥	一五四,一六一	二三六,九三一	四三八,〇二三	五七〇,〇七九	五四三,四四一	五九〇,一一一
藥品類		—	九五八,〇三六	—	二,四四七,四〇三	—	六〇五,三九四
和紙及洋紙		—	二三五,〇〇八	—	六三〇,四〇五	—	四三六,九〇六
鐵製品		—	一四五,三二一	—	三八〇,八三八	—	三九二,五二七
鐵道建設材料	斤	九九七,五九四	二〇三,四八七	二,四六九,三一六	四四四,九七〇	二六六,九〇二	四六,九七二
米	石	一,八三六	一一〇,三四八	九,六七九	三五〇,九三一	六,一〇八	二九三,三三〇
麥酒	打	六三,〇七八	三五二,二九三	一〇三,二五〇	五五六,三五八	五四,七五六	二三三,六〇三
豆類	石	三,三一八	一三五,四四三	一,三〇四九	四六八,八九〇	九,二七二	二三三,八七九
小麥粉	斤	一,三五六,〇七一	三三九,八二九	一,五五三,一三三	二六四,〇五九	二,七五〇,六六三	四二〇,六六〇
石油	瓦	五四,六五〇	九五一,三八〇	一八〇,七四〇	一七六,〇二五	二三八,一四〇	二六七,四二五
紙巻煙草	千個	三三,六二〇	六六,三四七	一〇三,一八〇	二二二,九七四	一一六,五二〇	一七一,三八五
罐詰食物		—	一三九,五四〇	—	二九六,八八三	—	一四九,六二七
醬油	石	八一六	六四,九二五	三,三八二	二三〇,五〇五	三,〇三七	一三一,八八二
石鹸		—	一三三,八八三	—	二〇五,三一二	—	一四三,二二五
乾鰮	斤	七三,〇三〇	五二,七〇九	一九二,五三六	一四〇,八九四	二六五,三八六	一二〇,二〇九
石炭	噸	三,三七七	六〇,九六五	六,九五二	一三〇,一六五	六,五八一	一〇六,二七四
セメント	斤	二,四一三,五七九	九五,一二〇	七,五六九,七八一	二六〇,〇二四	一,九一五,四九九	五八,六一五
枕木	箇	一〇,三二八	一八,〇九五	七九,三八二	一〇五,四〇五	七九,八四三	九四,五〇七
機械用油	石	一,九二二	一一七,四五二	三五,五一八	二〇八,一九三	一,四八九	八一,九八八
綿絲	斤	五八,一五〇	四六,五三九	三九六,六九三	三四二,七二五	三四八,三〇六	一九七,六六八
陶磁器		—	三六,三六二	—	一〇八,二二四	—	九五,九六五
砂糖	斤	四二九,七九〇	二一七,四三〇	一,〇〇二,〇三八	四七九,八七〇	一七八,六二五	五一〇,四五五
メリヤス肌衣		—	六七,七三四	—	一一七,九二三	—	五四,八〇八
菓子類		—	六七,五五四	—	一六一,九六五	—	九六,五七四
コンデンスドミルク	打	四,四四〇	二九,一一六	一一,〇七六	七五,三三九	三二,七八八	一七四,六六一
其他諸品		—	三八二,〇八〇	—	九,〇三二,六五〇	—	五,七三二,三〇一
計		—	三,二三一,〇五六	—	三〇,六二六,二五二	—	一八,一二〇,六九四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●金銀●

	三月	九年累計	八年累計
輸出	円 —	円 —	円 —
輸入	—	—	三三
計	—	—	三三
移出	円 一九,〇七五	円 七二,六七八	円 六四,六一二
移入	六,〇〇〇	一二,〇〇〇	六七,二〇〇
計	二五,〇七五	八四,六七八	一三一,八一二

大正九年三月　臺灣貿易統計ノ二

●仕向地及仕出地別●

	輸出	輸入	計	九年累計	八年累計
支那	円 一,三七二,〇二三	円 二,七〇三,七八三	円 四,〇七六,〇七九	円 三,八八二,五七一	円 三,三八八,六九八
假置場	—	五四六	五四六	五四六	九六,九一二
北米合衆國	四〇五,七九九	一九六,〇六六	六〇一,八六〇	一,九五八,六九四	九五〇,八三三
蘭領印度	一,六八八,七三九	一,一八〇,九七四	二,八六九,七一三	六,四一四,三九三	一,五八一,四五九
香港	四〇六,五六五	一四,二四六	四二〇,八一一	一,三四七,三〇六	一,〇三二,五一六
關東州	四,四二〇	六九一,七六四	六九六,一八四	二,四三七,四〇〇	一,三四三,三三〇
英領印度	—	八九,二六二	八九,二六二	二三八,三一〇	一,一五五,九三四
波斯	—	—	—	二三六,四〇〇	四〇七,四二五
英吉利	五四,六〇〇	一五七,〇六二	二一一,六六二	三六〇,六六六	六五二,一三三
比律賓諸島	一八三,八〇〇	二三,二三六	二〇七,〇三六	一,〇一三,三六一	二〇六,七八七
埃及	一,〇五七,六八五	一,〇〇六	一,〇五八,六九一	一,七二八,七〇八	九
佛領印度	四,二八七	三〇,一七五	三四,四六二	九七,一六九	九二三,六〇三
暹羅	八,〇六四	三五,三二〇	四三,三八四	一二六,〇八二	一〇八,四九六
英領海峽殖民地及英領ボルネオ	二五,九一六	二四,七四二	五〇,六五八	八八,四五九	一二四,九七三
露西亞	—	—	—	—	—
西班牙	—	三,四二九	三,四二九	四,八二六	二,二〇五
歐洲土耳古	—	—	—	一	—
亞細亞土耳古	—	一	一	三五四,二一五	—

	移出	移入	計	九年累計	八年累計
大阪	円 一〇,九三八,〇五八	円 四,二三〇,一七五	円 一五,一六八,二三三	円 三三,八七九,七九三	円 一七,二〇七,四二七
東京	二,一三〇,九一〇	二,六七六,七五六	四,八〇七,六六六	三一,二三三,八三九	一七,二二九,一三五
神戸	一,二七一,四六二	二,三一五,七〇〇	三,五八七,一六二	九,五二三,五五〇	八,八三八,三四〇
門司	一,六六八,四八四	九八四,四二九	二,六五二,九一三	五,七九七,四二九	四,三三〇,八三六
横濱	四,八七九,八〇五	五九〇,〇五二	五,四六九,八五七	一三,八〇〇,五〇五	四,五八二,〇七三
名古屋	二,五三八,九三一	一〇五,〇四八	二,六四三,九七九	八,二八五,七四八	五,三三〇,一〇〇
下ノ関	二,四六四,一六四	一三九,六一一	二,六〇三,七七五	六,四九九,九二七	四,二一五,七三八
勝浦	—	二六三,八五五	二六三,八五五	九〇五,四六一	三〇七,八四四
函館	—	五〇八,四六七	五〇八,四六七	一,七三三,八六〇	六〇〇,八四八
那覇	五三七,八九〇	一,七〇〇	五三九,五九〇	七七一,二三一	六四一,五五四
長崎	二三四,〇〇〇	一三一,五三一	三六五,五三一	八八〇,六四〇	三八七,八九八
京都	—	九二,〇七三	九二,〇七三	一四三,四六〇	九八,三五七
八重山	二八,〇四三	七八,五六八	一〇六,六一一	二一九,八二六	一二七,七五五
釜石	—	四一,五〇〇	四一,五〇〇	六一,八〇〇	四二一,七四四
宇品	六三五	五一,二六八	五一,九〇三	一二六,八七四	一〇五,九五〇
鹿兒島	—	九,三七〇	九,三七〇	八三,〇〇一	八九,一六七
堺	—	一,二六〇	一,二六〇	六,〇四〇	三五,七六三
小樽	—	二八,三二一	二八,三二一	三九,九一三	五一,八三六

佛蘭西	—	三、五八四	三、五八四	一六、五八七	一四、二二四
英領亞米利加	—	一四六、一三八	一四六、一三八	四五三、五八三	一五〇、七七四
其他諸國	七三、九一三	一二、七六九	八六、六八一	六二五、六三五	一五一、四九一
計	三、七六五、八一〇	七、二三三、五五七	一〇、九九九、三六七	三〇、二七三、六三九	二一、四六一、二九〇
尾ノ道	—	九、八五三	九、八五三	四三、七〇八	三四、四三七
清水	—	—	—	—	一八〇、〇〇〇
其他各地	二五四、六七五	九六、五二九	三五一、二〇四	五四四、五八八	一三三、二四〇
計	三六、四二七、〇五七	一三、三五一、〇五六	四八、七七八、一一三	一一三、五七七、一九三	六四、八三〇、〇四二

●入港船舶●

		汽船 隻	汽船 噸	帆船 隻	帆船 噸	計 隻	計 噸
外國	三月	八一	九一、九一七	二二六	一一、六四五	三〇七	一〇三、五六二
	九年累計	一九八	二四六、八四三	五〇七	二四、四一二	七〇五	二七一、二五五
	八年累計	一九〇	二三八、三一〇	五八七	二六、三三四	七七七	二六四、六四四
內地	三月	七九	二四、二一三	—	—	七九	二四、二一三
	九年累計	二〇一	三六、二一一	二	五七	二〇三	三六、二六八
	八年累計	一八九	三一五、〇〇七	—	—	一八九	三一五、〇〇七

●收入額●

	三月	九年累計	八年累計
輸入税	五三六、四四一円	一、三七二、一五二	九四二、一六一
製茶税	六、四二〇円	二四、三三五	二四、二三六
織物消費税	二三、七五七円	三四、七六九	六八、四六九
砂糖消費税	七、六九七円	九八、二〇〇	二八一
石油消費税	三、三一五円	一一、八七七	一〇、八一〇
噸税	三、四二八円	七、五七五	六、九一三
移入税	八六円	五五一	二、〇七三
其他諸收入	三、六六〇円	一〇、九九六	一〇、六五一
計	五八三、八〇四円	一、五六〇、四四五	一、〇六五、五九四

●港別貿易額●

	輸出	輸入	計	朝鮮移出	朝鮮移入	計
臺北	三〇九、七一九円	二六一、〇七二円	五七〇、七九一円	—円	一六六円	一六六円
淡水	七〇、二〇九	一四七、五九七	二一七、八〇六	—	—	—
基隆	一、五三五、〇二九	二、〇三六、五四八	三、五七一、五七七	三五、三八五	一五九	三五、五四四
舊港	二九、八二一	三、〇二六	三二、八四七	—	—	—
後壠	五、四七五	一、〇八五	六、五六〇	—	—	—
梧棲	—	—	—	—	—	—
鹿港	一、〇二〇	一七、一六七	一八、一八七	—	—	—
東石港	一二、五一三	六二三、七七二	六三六、二八五	—	—	—
安平	一三、七五一	三三二、九八三	三四六、七三四	—	七〇	七〇
打狗	一、七四七、四〇九	三、七三九、九五九	五、四八七、三六八	一四、四〇〇	一六	一四、四一六
媽宮	四〇、八六四	七〇、三四八	一一一、二一二	—	—	—
蘇澳	—	—	—	—	—	—
布袋嘴	—	—	—	—	—	—
北門嶼	—	—	—	—	—	—
計	三、七六五、八一〇	七、二三三、五五七	一〇、九九九、三六七	四九、七八五	四一一	五〇、一九六

	內地移出	內地移入	計	三月	九年累計	八年累計
臺北	—円	—円	—円	五七〇、九五七円	一、六二五、〇四九円	一、二二七、〇一八円
淡水	—	—	—	二一七、八〇六	七六七、三九〇	七一七、六六八
基隆	九、八四七、七三六	七、五六八、七〇九	一七、四一六、四四五	二一、〇二三、五六六	五三、〇八〇、三二八	三五、一〇七、八四九
舊港	—	—	—	三二、八四七	一四八、三五八	一一七、五二六
後壠	—	—	—	六、五六〇	五四、二六一	五四、八四九
梧棲	—	—	—	—	一九、〇三一	八、六五四
鹿港	—	—	—	一八、一八七	一〇四、一八六	二四八、三七二
東石港	—	—	—	六三六、二八五	六七二、一四五	一四七、九六〇
安平	一六、三七〇	一、〇四一、八一四	一、〇五八、一八四	一、四〇四、九八八	三、四五一、〇二六	三、〇五九、三一三
打狗	二六、五五八、〇一六	三、六八一、三二三	三〇、二三九、三三九	三五、七四一、一二三	八三、七一六、二二七	四五、四〇八、四八四
媽宮	四、九三五	五九、二一〇	六四、一四五	一七五、三五七	三四九、一六〇	二六七、二二六
蘇澳	—	—	—	—	—	—
布袋嘴	—	—	—	—	—	五、七七五
北門嶼	—	—	—	—	—	—
計	三六、四二七、〇五七	一二、三五一、〇五六	四八、七七八、一一三	五九、八二七、六七六	一四三、九八六、九六一	八六、三七〇、六三九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に於ける諸會社

●臺灣銀行の調査に據るに大正八年十二月末現在、本島に本店を有する銀行會社の數は

會社種類	數	拂込資本金
銀行業	六	四九、六八七、五〇〇円
信託及金融業	一八	二、五〇八、五〇〇
製糖業	二一	九〇、二六五、〇〇〇
農業	四一	七、七八七、五〇〇
水産業	一四	一、三九四、六二五
鑛業	一四	九、三三七、五〇〇
製造工業	八二	一八、一九七、三〇〇
電氣業	一二	一七、八一七、五〇〇
輕鐵及軌道業	一〇	一、八四三、四五〇
運輸及倉庫業	一九	一、四二六、〇〇〇
新聞及印刷業	四	三五七、五〇〇
商業	四八	二、六五二、八二七
其他	六一	六、五二五、三一〇
總計	三五〇	二〇九、八〇〇、五一二

右の如く三百五十社の多きに上り其の拂込資本金は二億九百八十萬餘圓にして資本總額は實に三億七千八百十九萬二千八百圓と號す。此外本年一月及二月中に新設されたるもの二十七社、資本金一千七百九十二萬一千五百圓、其の拂込資本金五百八十七萬四千圓に達して又た島内に支店若くは出張所を有する内地銀行會社の數は六十八社の多きに達せり。

●右の内最近設立されたる數を擧ぐれば

年度	社數	拂込資本金
大正六年	四三	六、六六〇、八七〇円
大正七年	五一	九、四九四、八五〇
大正八年	一四四	五一、六一六、三七五
計	二三八	六七、七七二、〇九五

右の如く島内諸會社三百五十社の內、二百三十八社即ち三分の二は實に大正六年以來の設立に係るも其の拂込資本金は比較的多からずして總額の三分の一强に當る。

●又た島内解散會社の數を擧ぐれば左の如くにして新設會社の數の三割一分五厘に當る。

年度	社數	拂込資本金
大正六年	一九	三、七五二、一一〇円
大正七年	二三	六、一七〇、三七五
大正八年	三一	三、四八三、三五五
計	七三	一三、四〇五、八四〇

◉上述昨年末現在、島内に本店を有する諸會社並に島内に支店若は出張所を有する内地銀行會社の社名及其の拂込資本金の高を掲ぐれば左の如し。

◉島内に本店を有する銀行會社

＝銀行業＝

會社名	（拂込資本金單位千円、以下略）	會社名	（拂込資本金單位千円、以下略）
株式會社臺灣銀行	三七,五〇〇	株式會社彰化銀行	二,三二五
株式會社臺灣商工銀行	二,二一二	株式會社新高銀行	二,〇〇〇
株式會社華南銀行	五,〇〇〇	株式會社嘉義銀行	七五〇

＝信託及金融業＝

會社名	資本金	會社名	資本金
臺灣興業信託株式會社	二五〇	臺灣蓄財無盡株式會社	三
臺中金融株式會社	七五	臺灣無盡株式會社	二
大正無盡株式會社	二五	東華信託株式會社	二五〇
丙南信託株式會社	一二五	大正信託株式會社	七五
臺華興產信託株式會社	一二五	臺北信託株式會社	五〇
龍潭陂金融株式會社	二五〇	東瀛物產信託株式會社	二五〇
臺南信託株式會社	一二五	東升物產信託株式會社	一二五
新埔產業金融株式會社	二五〇	苗栗興業信託株式會社	一二五
臺中恒產信託株式會社	二五〇	太陽興業信託株式會社	一二五

＝製糖業＝

會社名	資本金	會社名	資本金
臺灣製糖株式會社	二〇,八三五	明治製糖株式會社	八,九二五
東洋製糖株式會社	一一,一一〇	鹽水港製糖拓殖株式會社	一一,二五〇
新興製糖株式會社	七五〇	林本源製糖株式會社	一,五〇〇
新高製糖株式會社	五,〇〇〇	帝國製糖株式會社	一〇,五〇〇
臺南製糖株式會社	一二,三七五	臺東製糖株式會社	三,一五〇
泰昌氷糖株式會社	八〇	北勢製糖合資會社	一〇〇
恒春製糖合資會社	六〇	宜蘭興業製糖株式會社	三〇
罩蘭製糖株式會社	五〇	新南拓殖製糖株式會社	五〇
沙轆製糖株式會社	六二五	臺中製糖株式會社	七五〇
高砂興業製糖株式會社	三七五	朝日製糖拓殖株式會社	八七五
新竹製糖株式會社	一,八七五		

＝農業＝

會社名	資本金	會社名	資本金
基隆殖產合資會社	三	臺灣產業株式會社	一二五
臺灣鳳山勸業株式會社	二〇	臺灣蠶絲業株式會社	一二
臺灣興業株式會社	五〇	嘉義興產株式會社	七〇
東勢角興業株式會社	二	北斗養豚合資會社	三
臺東產業株式會社	一五	宜蘭殖產株式會社	四五〇
松岡拓殖合資會社	三八〇	宜蘭林業株式會社	一〇〇
比律賓拓殖合資會社	三〇〇	豐源物產株式會社	二五
廣鄉產業株式會社	三七	新竹產業株式會社	七五
東勢角製材拓殖合資會社	二〇〇	嘉義畜產合資會社	五〇
大正拓殖合資會社	一〇〇	展南拓殖株式會社	三五〇
臺東木材株式會社	六	宜蘭振拓產業株式會社	一八〇
榊原殖產合資會社	一五〇	南投興業株式會社	一二五
臺東興業合資會社	三〇	東部畜產合資會社	三
大和產業株式會社	一五	阿緱產業株式會社	二五
臺灣拓殖合資會社	一〇〇	南部臺灣拓殖株式會社	二五
阿緱勸業株式會社	三七	林圯埔產業株式會社	一三
二八水製材株式會社	二五	合資會社淺野製材所	五
花蓮港木材株式會社	二五〇	東洋拓殖產業株式會社	二五〇
東洋木材株式會社	三七五	東南拓殖株式會社	二五〇
臺灣土地開拓株式會社	三七五	日本拓殖株式會社	三,〇〇〇
南進拓殖合資會社	七〇		

＝水產業＝

會社名	資本金	會社名	資本金
臺灣水產株式會社	二五四	臺灣海陸物產合資會社	四五
臺臺海陸產業株式會社	二〇〇	臺灣漁業株式會社	一三五
宜蘭水產株式會社	二五	南部臺灣海產株式會社	一六
蘇澳海產合資會社	一七	合名會社三葉組	三〇
臺灣養鼈合資會社	一〇	臺灣トロール漁業株式會社	一五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

基隆漁業株式會社	七五	臺灣戎克漁業株式會社	一〇〇
大安漁業合資會社	一〇〇	南洋漁業株式會社	一二五

‖鑛業‖

臺灣炭礦株式會社	二五〇	山本鑛業合資會社	一〇〇
東亞興業株式會社	二五〇	臺灣鑛業株式會社	二七
基隆炭礦株式會社	六六二五	桃園鑛業軌道株式會社	七五
大正鑛業株式會社	一〇〇	赤司鑛業株式會社	五〇〇
臺北炭礦株式會社	五五〇	臺灣南投炭礦株式會社	二五〇
成豐炭礦株式會社	一〇〇	株式會社榮組	七七
大正炭礦軌道株式會社	一七五	金包里鑛業株式會社	一二〇

‖製造工業‖

臺灣製腦合名會社	六〇	新竹製腦株式會社	一〇〇
合名會社嘉義作業所	五〇	臺灣肥料株式會社	三〇〇
赤山煉瓦製造株式會社	五〇	臺灣鳳梨罐詰株式會社	七〇
臺樸製酒株式會社	二五	嘉義製酒株式會社	一〇〇
臺灣醬油株式會社	一〇〇	三致合資會社	一〇
臺灣鑄造株式會社	四〇	臺灣製麻株式會社	五〇〇
埔里社酒造株式會社	一七	南部製酒株式會社	七五
枋橋製酒株式會社	二五	臺灣煉瓦株式會社	七八〇
臺灣防水布合資會社	八	臺中製粉精米株式會社	一三〇
合資會社大正組	四	大正肥料株式會社	二五
臺北製莚合資會社	七	日本芳醸株式會社	七八〇
臺灣爆竹煙火株式會社	九〇	臺灣染料合資會社	九
臺灣採臘株式會社	五〇〇	日本苧麻合資會社	二〇
大正製酒株式會社	七五〇	錦川パナマ工業合資會社	一〇〇
臺灣製藥株式會社	三〇	臺灣電氣工業株式會	二八〇
苗栗染料株式會社	七	大東電氣株式會社	一二五
臺灣酒造株式會社	六二	北港產業株式會社	一〇
高砂鑄造株式會社	一二〇	藤田豆粕製造株式會社	一二五
恆春染料合名會社	三	臺南製紙株式會社	一〇
宜蘭醬油株式會社	三八	宜蘭織物株式會社	五
臺灣拓殖製茶株式會社	七五〇	日本醬油合資會社	三九
臺灣化學工業株式會社	二五	臺灣物產合資會社	三一
基隆肥料製造株式會社	五〇	臺灣製粉株式會社	七五
臺灣コークス株式會社	一二五	臺灣製蓮株式會社	一二
富士支那油醸造株式會社	一三	臺灣燐寸株式會社	五〇
臺灣紡織株式會社	七五〇	高砂麥酒株式會社	五〇〇
宜蘭紡績株式會社	五〇	臺灣精綿株式會社	一〇〇
北投窯業株式會社	五〇	花蓮港製紙合資會社	一〇
臺中製紙合資會社	五〇	臺灣製腦株式會社	六〇〇〇
宜蘭製油株式會社	五〇	閩陽製油株式會社	七五
日本製材燐寸株式會社	一二五	臺灣醸造株式會社	六二
株式會社基隆鐵工所	二五〇	東洋電化株式會社	一二五
季芳罐詰株式會社	二七	臺灣製鹽株式會社	六二五
株式會社利發洋行	二七	鳳山興業株式會社	五〇
臺灣第一織物製造合資會社	二〇	新高醸造株式會社	六二
臺中鑄造鐵工株式會社	五〇	日本洋酒株式會社	二七
臺灣輪業株式會社	四〇	臺灣製紙株式會社	三七五
海南製粉株式會社	三〇〇	臺灣製菓株式會社	六二
東亞肥料株式會社	五〇〇	臺灣織布株式會社	一二五
株式會社基隆岡崎造船鐵工所	一二五	株式會社臺灣鐵工所	五〇〇
株式會社臺北製作所	一二五	葫芦墩製粉精米株式會社	一七五

‖電氣業‖

新竹電燈株式會社	二〇〇	宜蘭電氣株式會社	一〇〇
澎湖電燈株式會社	六二	埔里社電燈株式會社	五五
桃園電氣株式會社	一五〇	花蓮港電燈株式會社	一二五
樸仔脚電燈株式會社	五〇	臺東電燈株式會社	五〇
臺灣電力株式會社	一六五〇〇	嘉義電燈株式會社	二五〇
臺灣電化株式會社	一五〇	中港電燈株式會社	一二五

‖輕鐵及軌道業‖

基隆輕鐵株式會社	一〇〇	臺灣輕鐵株式會社	八〇
南投輕鐵株式會社	三七	臺南電鐵株式會社	三一
大安軌道株式會社	四〇	七堵輕便鐵道合名會社	六五
臺中輕鐵株式會社	四〇〇	臺灣軌道株式會社	七五〇
臺北鐵道株式會社	二五〇	中嘉輕鐵合資會社	九〇
‖運輸及倉庫業‖			
蘇澳運輸合名會社	二〇	合資會社嘉義遞送組	二〇
打狗巡航汽船株式會社	三	合資會社槇野商店	四
合資會社石川組	一〇	合資會社郵船荷捌所	三〇
丸與合名會社	一〇	丸マ合資會社後藤組	五〇
臺灣倉庫株式會社	七五〇	宜蘭委託運輸合資會社	二〇
基隆運送荷役合資會社	一〇〇	臺灣運輸產業株式會社	五〇
國營合資會社	二四	丸ツ花蓮港運輸合資會社	一〇
臺灣自動車株式會社	七五	臺南自動車株式會社	三七
合資會社紀州組艀船部	四〇	青果物輸送合資會社	一〇〇
蓬萊自動車株式會社	六二		
‖新聞及印刷業‖			
株式會社臺灣日日新報社	二〇〇	株式會社臺南新報社	一〇〇
株式會社臺灣新聞社	二〇	臺北印刷株式會社	三七
‖商業‖			
合資會社協興公司	一五	合資會社臺昌商行	四
合資會社臺灣米穀商店	五〇	合資會社橫山商行	三〇
嘉義實氷合資會社	二	合資會社大塚商會	五
合資會社やまさ商會	二	店仔口農產株式會社	五七
株式會社億源商行	五〇	阿緱實氷合資會社	四
臺北魚市株式會社	七五	足立合名會社	五〇
合名會社山田商店	二七八	合資會社眞木吳服店	二〇
合資會社臺灣木材共同購買所	一九三	合資會社北港魚市場	二〇
振興產物合資會社	一〇	合資會社松井吳服店	五〇
合資會社瓦斯電氣商會	五〇	合資會社松田商店	八百圓

合資會社長島商店	三	合資會社共進商會	一〇
臺灣商事株式會社	八〇	株式會社山一商行	一三五
臺灣製皮株式會社	二五	臺灣輕鐵材料株式會社	二九
彰林物產株式會社	四二	基隆實氷合資會社	二四
株式會社永和興公司	五〇	合資會社富山材木店	二〇
吳服反物合資會社	五	臺灣金紙株式會社	二五
振南貿易株式會社	一二五	多木合名會社	三〇
合資會社山本商店	一〇〇	臺南精肉合資會社	六
南國商事株式會社	一三五	員林果物株式會社	二五
株式會社永義芳商行	三〇〇	臺灣地金銀株式會社	一三五
打狗商事株式會社	七五	合資會社三星商店	五〇
合資會社共益物產商會	一〇	株式會社丸は吳服店	五〇
新長興物產精米合資會社	二〇	合名會社山下商店	一〇〇
六龜里商事株式會社	三〇	日本國產株式會社	七五
‖其の他‖			
合資會社臺北檢番	一〇	合資會社南國公司	二〇
臺灣據場株式會社	二七五	合名會社櫻井組	一〇〇
臺灣土地建物株式會社	一、二七五	打狗整地株式會社	六三七
阿公店精米株式會社	四〇	臺中劇場株式會社	一八
臺南大舞臺株式會社	三〇	合資會社高砂演藝館	五
合資會社協立商會	四〇	合資會社森山商會	三
東勢角物產株式會社	八六	臺灣採藤株式會社	一五
打狗土地株式會社	一五〇	株式會社嘉義座	二〇
臺北生牛合資會社	二	臺灣共濟合資會社	一〇
合名會社奧田商會	三	合資會社八仙亭	一
臺灣竹材株式會社	三七	合資會社有明商會	三〇
橫山合名會社	五	臺灣寶林合資會社	三〇
山口合資會社	五	合資會社㊥株式店	一〇
博善株式會社	一〇	合名會社丸三商會	五〇
臺灣山產株式會社	三〇	東亞製藥貿易株式會社	一〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會社名		會社名	
株式會社靈泉商會	一、五〇〇	合資會社桃園公益社	五
臺灣果物株式會社	一五〇	花蓮港物產合資會社	一〇
桃園商事株式會社	三	埔里社特產株式會社	三
勧耕合資會社	一〇	合資會社林商店	五
株式會社臺灣驛傳社	二五〇	宜蘭實業株式會社	一二五
合資會社フィオン	二〇	株式會社日之丸館	二五〇
彰化振興株式會社	三	臺灣弘仁株式會社	三七
北港興產株式會社	二五	基隆ブローカー合資會社	三五
新高產業合資會社	四〇	臺灣證券株式會社	一二五
合資會社丸五株式店	一〇〇	臺灣畜產株式會社	二五
臺北砂利株式會社	二五〇	大正興產株式會社	五〇
臺南羊豚合資會社	二〇	臺北屋根屋合名會社	三〇
發動機船保險株式會社	五〇	新竹土地建物株式會社	二五
合資會社伊藤商店	一〇	合資會社基隆牧場	五〇
田中央興業株式會社	七五	臺北興殖株式會社	七五
基隆劇場株式會社	五〇		

大正九年自一月一日至三月一日新設會社

會社名 (拂込資本金單位千円、以下略)		會社名 (拂込資本金單位千円、以下略)	
大和製糖株式會社	二、五〇〇	枋山物產株式會社	五〇
臺北青物株式會社	二五	三河商行合資會社	三〇
二林振業株式會社	三七	大正實業株式會社	一二五
臺灣用達株式會社	七五	臺灣商工株式會社	五〇
展臺拓殖株式會社	一二五	南洋倉庫株式會社	一、二五〇
中南拓殖株式會社	一二五	桃園產業株式會社	三〇〇
合資會社臺灣大氣堂	三	臺灣耐火煉瓦株式會社	五〇
臺灣蓄地物產株式會社	四	株式會社長命軒本店	一五
臺灣文事株式會社	五〇	鹿港物產信託株式會社	一二五
合資會社横山商店	三〇	桃園軌道株式會社	三七五
中部拓殖株式會社	一五〇	日臺果實容器株式會社	五〇
臺灣海陸物產株式會社	一五〇	株式會社慶美商會	二五
臺中製藥合資會社	一〇〇	臺北內地瓦製造合資會社	三
高砂油脂工業合資會社	二五		

◉島内に支店若くは出張所を有する內地銀行會社

會社名 (拂込資本金單位千円、以下略)		會社名 (拂込資本金單位千円、以下略)	
‖銀行業‖			
株式會社三十四銀行	一七、六五〇		
‖農業‖			
株式合資會社大寶農林部	五九二	臺灣林業株式會社	一二五
臺灣拓殖株式會社	四〇〇		
‖鑛業‖			
日本石油株式會社	二九、〇〇〇	寶田石油株式會社	一六、二五〇
久原鑛業株式會社	四一、二五〇	田中鑛山株式會社	二〇、〇〇〇
藤田鑛業株式會社	一五、〇〇〇		
‖製造工業‖			
大阪アルカリ株式會社	二、九二五	大日本製糖株式會社	一四、一二五
宅合名會社	五〇〇	日本ペイント製造株式會社	三、六〇〇
日東製氷株式會社	七、八三九	星製藥株式會社	五〇〇
淺野セメント株式會社	一一、〇九〇	內海酒造合資會社	五〇
淺野スレート株式會社	六五〇	東洋コンクリート工業株式會社	一七五
日本樟腦株式會社	六、〇〇〇	日本造機株式會社	一〇〇
‖航運業‖			
大阪商船株式會社	四、三六八	日本郵船株式會社	五、八〇〇
山下汽船株式會社	二、〇〇〇		
‖保險業‖			
明治生命保險株式會社	五〇〇	帝國生命保險株式會社	七五〇
日本生命保險株式會社	一、五〇〇	有隣生命保險株式會社	一八〇
共保生命保險株式會社	二五〇	共濟生命保險株式會社	七五
東洋生命保險株式會社	二五〇	第一生命保險相互會社	二〇〇

大同生命保險株式會社	二一〇
日清生命保險株式會社	二五〇
横濱生命保險株式會社	二五〇
太平生命保險株式會社	一二五
日華生命保險株式會社	一二五

‖商　業‖

岩崎商業株式會社	九八〇
合資會社高田商會	一,〇〇〇
三井物產株式會社	七〇,〇〇〇
合名會社鈴木商店	五〇〇
株式會社日本蓄音機商會	九〇〇
大倉商事株式會社	四,〇〇〇
合資會社秋山小林商店	一〇
株式會社桑田本店	六〇
株式會社川北電氣企業社	六,〇〇〇
合名會社大崎組	二〇〇
内田商事株式會社	七四〇
古河商事株式會社	一〇,〇〇〇
合資會社米井商店	五〇〇
株式會社守谷商會	五〇〇
大阪產業株式會社	一,〇〇〇
淺野物產株式會社	一,〇〇〇
福川商事株式會社	八七五
株式會社安部幸兵衛商店	三五,〇〇〇
湯淺貿易株式會社	二五〇
株式會社日米商店	五〇〇
株式會社紀和商行	二〇〇

‖其　の　他‖

三井合名會社	六〇,〇〇〇
久米合名會社	二五〇
大日本鹽業株式會社	三五,八〇二
帝國公債信託株式會社	五〇
臺灣地所建物株式會社	九〇〇
帝國共濟株式會社	二五
合資會社澤井組	三五〇〇
共同金融株式會社	三
東京國債株式會社	二七〇
市田オフセット印刷株式會社	三五六〇

◎廣東市街鐵道特許取消問題

（新嘉坡フリープレス、二月五日）

支那總理は最近廣東軍政廳に對し三名の英人に係る廣東市街鐵道特許取消しを命せり、同特許は元來百萬弗を五萬弗の年賦を以て支那政府に納め廿年間の獨占權を受くるものにして同期間内に於て猶收支相償はざるときは更に其期間の延長を爲し得るものにして今回同特許取消となりし根據は支那内地に於て一朝事あるときは英國政府は鐵道沿線守備を名として軍隊を上陸せしむるや必せり、斯くては益支那主權の侵害を招く所以にして寧ろ今に於て該特許を取消すを以て策の得たるものなりと謂ふにあり、市會は已に該企業取消しを爲すべく訓令を受けたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

●三月

▲二十五日(木)

□鐵工職同盟罷業　帝都の大鐵工所職工三千餘名大同盟を爲し本日芝浦埋立地に大會を開き工場主側の聯盟に對抗することを申合せ更に明日大會を開くべく東京附近各工場不穩に陷ると二十三日東京電

□家彥王御命名　久邇宮多賀王妃殿下男子御分娩に付本日家彥王と御命名ありたりと同上電

□嘉義農產物品評會　二十三日樸仔脚支廳に於て舉行せらる

▲二十七日(土)

□日本國際聯盟協會　國際聯盟の運用に關し阪谷男を筆頭に一流政治家、學者を網羅せる官民合同の國際聯盟協會を設立し三十日築地精養軒に其第一回發起人會を開くべしと二十六日東京電

□臺灣郵貯六百萬圓　二月末現在內地人、預金十四萬八千八百五十五人金額四百三十四萬四千八百八十三圓、本島人貯金者二十四萬九百二十七人、金額百六十七萬一千五百七十七圓、生蕃人千九百五十九人、金額一萬八千百四圓合計三十九萬一千七百五十一人、六百三萬四千五百五十九圓に上る

▲二十八日(日)

□東宮薩南御著　東宮御召艦香取は供奉諸艦と共に二十五日午後五時薩南の錦江灣に入港の旨二十六日鹿兒島電

□研究所の科學相談所　總督府研究所に於て四月一日より科學相談所を設置すべしと報ぜらる

●四月

▲二日(金)

□帝國の西比利亞撤兵聲明　三月三十一日我政府は帝國の西比利亞撤兵に關する聲明を公布す(同日東京電)

▲三日(土)

□臺北橋開通式　大稻埕大橋頭に於ける新築臺北橋落成に付本日午前十時開通式を行ふ

▲六日(火)

□國際辯護士協會　增島六一郎氏を會長に舉げ尙ほ次年度は北京に開會することを決議せりと四日東京電

□下村長官の臺灣留學生招待　下村長官は四日午前九時より在東京臺灣留學生五百餘名を小石川植物園に招待したり

▲八日(木)

□東宮御歸京　九州御見學の東宮殿下には七日歸京の途に就かせらる(門司電)

□本島人巡査　初めて本島人巡査を募集し應募者六百六名中より試驗の上三十一名を採用して十二日より警官練習所に收容するに決す

▲十日(土)

□關門地下道竣功　下關驛より門司に連絡すべき地下道は竣功し八日通坑式を舉行せる旨九日東京電

□猛烈なる市街戰　ハバロフスクなる第十四師團の主力は五日朝露軍の抵抗より猛烈なる市街戰となり我戰死八十八、負傷百八十八、露軍死者四百を出すと八日東京電

□臺灣遊興稅規則(本年府令十七號)　本日より施行せらる

▲十一日(日)

□總督府實行豫算　九年度臺灣總督府實行豫算は九日決定し歲入總計七千七百十八萬圓、三千七百九圓歲出總計六千六百四十二萬二千六百五圓、差引一千七十六萬圓の歲入超過は追加豫算の財源に充當さるべしと九日東京電

□捕鯨好況　東洋捕鯨會社の大板埒を根據として開始せる捕鯨漁業は二月二十八日以降四月九日迄の漁獲高二十七頭の多きに達し本月終獵迄に四十頭を獲べき見込なりと

▲十二日(月)

□總督府文官制服改正　訓令四十四號を以て文官服を改正し發布の日より之を施行することゝせり(府令二十一號を以て舊制服は九月三十日迄用ふることを得とせり)

▲十六日(金)

□立會中止　株式大暴落の爲め東株取引所立會中止となり大阪も休會せる旨十四日東京電

□警察航空班の飛行　昨十五日より臺北練兵場に於て臺灣警察航空班の飛行を行ふ

□臺灣館好人氣　福岡なる工業博覽會に於ける臺灣館は連日好人氣にして十一日の入場二千二百二十餘人、開始當日の賣上二千三百圓に達したりと

□馬來語講習會　南洋協會支部第四回馬來語講習會を開催し本日開會式を擧ぐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人事消息

自三月二十一日
至四月二十日

▲小松楠彌氏の訃(本誌評議員) 臺灣實業家の重鎭さして現に二十有餘の會社重役たる氏は內地出張中二十日午前九時神戶の自邸に於て腦溢血の爲め逝去せり、氏は臺灣產業開發に貢献せる廉を以て二十五日特旨從六位に敍せられたり

▲角田廣次氏(鐵道部庶務課長、本誌編纂委員)二十三日上京

▲大木會計檢查官 會計檢查の爲め外二氏さ共に二十三日來臺

▲藏原惟原郭氏 二十五日來臺

▲阿部賚夫氏(臺北醫院醫長)二十六日內地へ歸還

▲郭春秧氏 二十四日來臺

▲矢野猪之八氏(辯護士) 國際辯護士會へ出席の爲め二十六日上京、白倉、石橋、土屋の三氏も同會議に出席豫定

▲脇水理學士 二十七日歸京

▲山崎理學博士 同上

▲細野內務技師 同上

▲山崎飛行大尉 二十六日歸臺

▲佐藤飛行大尉 同上

▲高島小金治氏(新高製糖社長) 二十七日內地より來臺

▲枝臺南廳長 內地出張、東京出張中は神田連雀町一八佐々木方さの報あり

▲吉原雅正氏(號古城) 二十九日より總督府第一階食堂に於ける東洋協會支部の五經講演會に臨み五經大意を講演す

▲重松技師(營林部) 二十九日內地へ出張

▲山木悌二郎氏 三十日來臺

▲林熊徵氏 三十日歸臺

▲三村三平氏 (製腦專務、本誌評議員)四月二日內地より歸臺

▲渡邊順親氏(防疫事務官) 臺北醫院に入院中、四月一日遂に逝去す

▲堀啓次郎氏(商船副社長) 伊太利に開かるべき萬國海員大會に出席すべき日本船主側代表に決定す

▲坂本素魯哉氏(彰銀頭取、本誌評議員) 鄉里土佐より議員立候補の爲め四月二日歸鄉の途に就く

▲菅野忠五郎氏 在臺二十年、鐵道部技師を以て始終し本島鐵道界に貢献の功甚大なりし同氏は今回桂冠四月二日を以て內地歸還

▲押村奬氏(大阪時事記者) 本島視察の爲め二日來臺

▲高島小金治氏 四月二日歸京

▲野口視學官 三日內地へ赴く

▲梅谷光貞氏 (臺北廳長、本誌評議員) 內地出張中の處更に朝鮮、滿洲より靑島、北京、漢口、上海、福州等を經五月十日頃歸臺の旨通報ありたり

▲加藤智學師 三日府前街本願寺布教所其他にて講演す

▲槇哲氏 今回長崎市より衆議員立候補の由

▲石川昌次氏 埼玉縣郡部より同上

▲中村啓次郎氏 和歌山縣郡部より同上

▲小林勝民氏 千葉縣郡部より同上

▲山移定政氏 熊本縣郡部より同上

▲木村泰治氏 秋田縣郡部より同上

▲松本祕書官 神奈川縣郡部より同上

▲古賀三千人氏 福岡縣郡部より同上

▲山本悌二郎氏 五日內地へ赴く

▲安場男爵 同上

▲賀田金三郎氏 同上

▲堀內次雄氏(醫博、本誌評議員) 五日內地へ赴く

▲三宅憲兵隊長 六日歸臺

▲曾根誠三氏(海軍飛行大尉) 六日來臺

▲田臺灣總督 九日東京出發歸任の途に就く

▲喜多祕書官 同上

▲福與平三郎氏(軍令部參謀、明石艦長、海軍大佐)近く佐世保に轉勤の筈なる井上海軍中佐の後任さして來任あるべしさ

▲菊池武芳氏(主計課長、本誌編纂委員) 東京出張中の處九日歸任

▲內田嘉吉民(前民政長官) 國際海員勞働總會派遣政府代表者正使さして二十五日神戶解纜の郵船若狹丸にて渡歐の筈

▲菅沼寬藏氏 鄉里山形市より憲政會公認候補者さして決定

▲中谷貞賴氏(元臺南辯護士) 警視廳警視を辭し鄉里土佐より憲政會公認候補さして出馬

▲木村匡氏(商工頭取、本誌評議員) 十二日上京

▲角源泉氏(電力副社長、本誌評議員) 鄉里和歌山縣より立候補のため十二日內地へ

▲田總督、高田、新元、富島、楠、三好、赤石、石阪、郭春秧等の官民有力諸氏の備後船上出迎を受け、十三日午前八時二十五分發の特別列車にて基隆發九時二十四分臺北着、午後一時喜多祕書官以下を隨へ、臺灣神社へ參拜したり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲喜多秘書官　總督に隨伴十三日歸臺
▲箕輪焉三郎氏（東京三井參事）　十三日來臺
▲成富公三郎氏（南國公司社長）　同上
▲藤田厦門領事　十四日來臺
▲倉岡彥助氏（防疫課長）　十六日上京、歐米視察の途に上る
▲志豆機源太郎氏（臺北典獄）　十六日上京
▲齋藤豐次郎（芳釀社專務）　十六日歸臺
▲男爵井上清純氏（海軍中佐、本誌編纂委員）　佐世保へ轉任に付十六日總督官邸に於て氏の爲に送別午餐會を開く
▲曾田孝一郎氏（參謀長、本誌評議員）　十六日上京
▲田臺灣總督　十七日東部臺灣巡視の途に上る、隨員は新元部長、宮島局長、山形技師、野呂技師、羽鳥醫官、岩淵技師、田中陸軍部副官、喜多秘書官、松本技師等なり
▲淺令紀氏（總督府技師）　二十三日內地へ歸還
▲臺灣宣傳團　臺灣教育會主催の活動寫眞を以てせる本島宣傳隊は九州到る處に大成功を收めつゝある旨十七日入電ありたり

任命

▲大正九年三月二日
臺灣總督府事務官　長尾景德
東京、大阪及長崎ノ二府一縣下へ出張ヲ命ス
▲三月三日
臺灣總督府法院檢察官　菅野善三郎
東京、京都、栃木及大分ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　大島金太郎
歸任ノ途次滯京ヲ命ス
正六位　細谷雄太
任臺灣總督府醫學專門學校教授、兼任臺灣總督府醫院醫長、臺北醫院勤務ヲ命ス
臺灣總督府視學官　田中友二郎
支那厦門、廣東、汕頭、英領香港、比律賓群島、英領北ボルネオ、蘭領東印度諸島、海峽殖民地、佛領印度支那及暹羅へ出張ヲ命ス
▲三月四日
臺灣總督府事務官　田房秀之助
神戶ヨリ上京ヲ命ス
臺灣總督府中學校教諭　松原豐馬
支那厦門、汕頭、廣東及英領香港へ出張ヲ命ス
花蓮港廳警部勳七等　黑江勇藏
任臺灣總督府番務本署警視、警務局理蕃課勤務ヲ命ス
臺灣總督府營林局技師　大石浩
東京府外三縣下へ出張ノ序ヲ以テ群馬縣下へ出張ヲ命ス
▲三月六日
臺灣總督府鐵道部技手　吉武千代藏
任臺灣總督府鐵道部技師
阿緱廳技師　綱野一壽
支那廣東省、佛領印度支那、カンボヂヤ、海峽殖民地、蘭領東印度、英領ボルネオ、馬來半島及暹羅へ出張ヲ命ス
臺灣總督府警務官　三浦碌郎
東京府下へ出張ヲ命ス
▲三月八日
臺灣總督府財務局事務官　中屋重治
財務局會計課長阿部嘉七不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府圖書館長　太田爲三郎
上京ヲ命ス
▲三月十日
臺灣總督府技師兼臺灣總督府鐵道部技師　菅野忠五郎
依願免本官竝兼官（內閣）
▲三月十一日
臺灣總督府醫院長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　於保乙彥
（各通）　臺灣總督府醫學專門學校教授　小島鼎二
臺灣總督府醫院長兼臺灣總督府醫學專門學校教授　大西睦雄
上京ヲ命ス
臺灣總督府醫學專門學校助教授　渡邊醇之助
東京、京都、岡山、名古屋、千葉ノ各地へ出張ヲ命ス
▲三月十二日
公立女子高等普通學校教諭　廣松眞臣
福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎及鹿兒島ノ七縣下へ出張ヲ命ス但シ旅費ヲ給セス
臺灣總督府醫院長醫學博士　明石眞隆
東京、京都、新潟、石川、愛知、岡山、熊本及長崎ノ二府六縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府屬勳七等　高田廣海
兼任臺灣總督府通信事務官、遞信局庶務課勤務ヲ命ス
臺灣總督府技師　赤城五十羽
大阪府及兵庫縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府事務官　伊藤兼吉
法務部長長尾景德不在中代理ヲ命ス
▲三月十五日
臺灣總督府高等女學校教諭正七位　楠基道

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兼任臺灣總督府高等商業學校教授

臺灣總督府法院判官法學博士　谷野　格

福岡外三縣及東京府下ヘ出張ノ序ヲ以テ長崎、熊本兩縣下ヘ出張テ命ス

臺灣總督府鐵道部事務官　戸水　・　昇

門司、神戸、東京及名古屋ノ各鐵道管理局管内ヘ出張ヲ命ス

▲三月十六日

臺灣總督府師範學校教授　横山鐵太郎

支那厦門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　神社　柳吉

殖産局商工課長兼庶務課長田阪千助不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府技師　大山　爾也

殖産局附屬博物館長兼商品陳列館長田阪千助不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府技師　宮上　龜七

殖産局水産課長田阪千助不在中代理ヲ命ス

▲三月十八日

臺灣總督府醫學專門學校教授　津田　誠次

上京ヲ命ス

▲三月二十日

臺灣總督府專賣局長　賀來　佐賀太郎

東京ヨリ大阪、兵庫ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス　（各通）

臺灣總督府鐵道部事務官　角田　廣次

門司、東京ノ兩鐵道管理局管内ヘ出張ヲ命ス

▲三月二十二日

阿緱廳技師正六位　綱野　一壽

兼任臺灣總督府技師、殖産局糖務課勤務ヲ命ス

▲三月二十五日

臺灣總督府事務官　長尾　景德　依願免本官

東京外一府一縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ宮城縣下ヘ出張ヲ命ス

海軍大佐　福與平三郎

臺灣總督府御用掛ヲ命ス

▲三月二十六日

臺灣總督府技師　中澤　亮治

總督官房調査課兼務ヲ命ス

臺中廳警察醫　若宮　舍三

願ニ依リ本職ヲ免ス

正八位勳六等　若宮　舍三

任臺灣總督府技師

警務局衞生課勤務ヲ命ス

▲三月二十七日

臺灣總督府測候所技師　近藤久次郎

上京ヲ命ス

▲三月二十九日

臺南廳長　枝　德二

臺中廳長　加福　豐次

臺灣總督府參事官　片山秀太郎

臺灣總督府事務官　神社　柳吉

臺灣總督府警務官　豐田　勝藏

臺灣總督府翻譯官　小川　尙義

臺灣總督府參事官　鎌田　正威

臺灣總督府事務官　伊藤　兼吉

臺灣總督府編輯官　丸井圭治郎

臺灣總督府事務官　小西　恭介

臺灣總督府財務局事務官　中屋　頼治

普通試驗臨時委員ヲ命ス

臺灣總督府技師　若宮　舍三

▲三月三十一日

臺灣總督府中學校教諭　堀　再平

臺北中學校生徒監ヲ命ス

臺灣總督府中學校教諭　繁野　政瑠

臺北中學校生徒監ヲ免ス

臺灣總督府醫院醫長　森滋　太郎

宜蘭醫院長ヲ命ス

臺灣總督府統計官　提　一馬

總督官房臨時國勢調査部主事ヲ命ス、總督官房臨時國勢調査部兼調査課勤務ヲ命ス

誌告

本誌漢文欄擔當者目下病氣の爲め執筆難致に付本月號に限り同欄休揭致候

五月一日　臺灣時報發行所

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

法令

府令

●徵兵猶豫ニ關スル在學證明書ノ件

大正九年三月九日
府令第十三號

徵兵事務條例附則第三項ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關シテハ大正九年二月文部省令第六號ニ依ル

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正七年十一月府令第八十二號ハ之ヲ廢止ス

●廳位置管轄區域中改正

大正九年三月二十一日
府令第十四號

明治四十二年十月府令第七十五號廳位置及管轄區域中左ノ通改正ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
阿緱廳ノ部管轄區域港西中里「火燒庄」ヲ「長興庄」ニ改ム

●臺灣漁業規則施行規則中改正

大正九年三月三十一日
府令第十五號

大正元年十二月府令第四十二號臺灣漁業規則施行規則中左ノ通改正ス
第十一條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ訂正若ハ其ノ他ノ事由ニ依リ官廳ニ提出シタル場合ハ所轄廳長又ハ支廳長ノ證明ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訓令

●臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置

大正九年三月七日
訓令第十六號

大正八年四月訓令第三十三號別册大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目表中左ノ科目ヲ設置ス

歲出經常部

款	項	目	節
第十五款 通信費	第二項 事務費	第三目 旅費	△第二節 外國旅費

△印增設

歲出臨時部

款	項	目
第二款 事業費	第二十六項 臺南水道費	△第四目 賞與

●鐵道部操車手、轉轍手、連結手、檢車手、檢車助手、檢電手、檢電助手及合圖手勤務手當支給規程

大正九年三月七日
訓令第十七號

第一條 臺灣總督府鐵道部操車手、轉轍手、連結手、檢車手、檢車助手、檢電手、檢電助手及合圖手ニハ職務ノ繁閑並其ノ勤務地ノ情況ニ依リ勤務ノ日ニ限リ勤務手當ヲ支給スルコトヲ得
第二條 勤務手當ハ日額十錢ノ範圍內ニ於テ鐵道部長適宜之ヲ定ム
第三條 勤務手當ハ操車手、轉轍手、連結手、檢車手、檢車助手、檢電手、檢電助手及合圖手ノ缺員又ハ缺勤ニ因ル代務者ニモ亦之ヲ支給スルコトヲ得

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●水産試驗船凌海丸職務規程中改正

大正九年三月七日
訓令第十八號

明治四十三年九月訓令第百八十七號臺灣總督府殖産局附屬水産試驗船凌海丸職務規程中左ノ通改正ス
第三條中下級船員ノ部第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第二號ヲ第三號ニ第三號ヲ第四號ニ改ム

二 火夫長 一名

第四條中「漁夫長」ヲ「火夫長」ニ改ム
第五條第五項中「水夫長」ノ下ニ「、火夫長」ヲ同第七項中「上級船員」ノ下ニ「及火夫長」ヲ加ヲ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●監獄物品、領置金品並作業賞與金取扱手續中改正

大正九年三月九日
訓令第十九號

大正七年二月訓令第二十六號臺灣總督府監獄物品、領置金品並作業賞與金取扱手續中左ノ通改正ス
第十三條中「監獄監吏」ヲ「看守長」ニ改ム
別記第四號樣式中「第三課長」ノ欄ヲ削ル
同第七號樣式ヲ別記ノ如ク改ム
同第九號樣式中欄外「第三課長」ヲ削ル
同第十號樣式備考中「醫務所長」ヲ「醫務係主任」ニ改ム
同第十六號樣式備考第一項中「第二課」ヲ「行刑係」ニ改メ同第二項中「第一課及第二課ノ間ニ」ヲ削ル
同第二十號樣式中「監獄監吏」ヲ「官」ニ改ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
從來ノ備品保管簿ハ其ノ儘使用スルコト

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヲ得

（別記）

第七號樣式

備品保管簿（用紙美濃紙）

品名

單位稱呼

年月日	摘要	供用品 受交付 數量	供用品 受交付 受領印	供用品 返納受	返納拂 數量	返納拂 受領印	手許保管	現在數

備考

一　物品會計官吏ヨリノ受入ハ受ノ欄ニ物品會計官吏ヘノ返納ハ返納拂ノ欄ニ記入スヘシ

二　受領印ノ欄ニハ返納拂ハ物品會計官吏ノ印、供用品中ノ專用ニ屬スルモノハ專用者ノ印ヲ徵スヘク其ノ共用ニ係ルモノニ付テハ物品取扱主任自ラ捺印シ置クコト

三　手許保管欄ニハ共用中ノモノヲ控除シタル現在在庫品ノ總計數ヲ記入スルコト

四　現在欄ニハ現ニ供用及在庫中ニ係ル物品ノ總計數ヲ揭記スルコト

五　廢棄ヲ要スル物品ハ物品會計官吏ヘ返納拂トシ物品會計官吏ニ於テ相當手續ヲ爲スコト

六　燒失、流失其ノ他亡失等ノ場合ハ受ノ欄ニ朱書シ墨書總數ヨリ之ヲ控除シ整理ノコト但シ此ノ場合ハ其ノ旨物品會計官吏ニ報告スヘシ

七　本簿ハ數年繼續シテ使用スルコトヲ得

●臺灣總督府報告例中改正

大正九年三月十日
訓令第二十號

明治四十二年十二月訓令第二百八號臺灣總督府報告例別冊中左ノ通改正ス

本令ハ大正九年一月分ヨリ之ヲ施行ス

（別冊中改正ハ省略）

●電信回線表、同時通信回線表中改正

大正九年三月十一日
訓令第二十一號

大正七年九月訓令第百四十二號別冊中左ノ通改正ス

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

電信回線表中「臺中埔里社線」ノ項中「南投單音」ノ下ニ「集集單音」ヲ加フ

同時通信回線表中「臺中埔里社線」ノ項中「南投、」ノ下ニ「集集、」ヲ加フ

●大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置

大正九年三月十三日
訓令第二十二號

大正八年四月訓令第三十三號別册大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目表中左ノ科目ヲ設置ス

歲出臨時部

款	項	目	節
第四款　勸業費	第十項　害蟲驅除豫防費	第一目　害蟲驅除豫防費	△第十四節　補償費

△印增設

●臺灣總督府醫院醫務助手、看護婦長及守衛長規程

大正九年三月十三日
訓令第二十三號

臺灣總督府醫院醫務助手、看護婦長及守衛長規程左ノ通相定ム

第一條　臺灣總督府醫院ニ左ノ職員ヲ置ク

醫務助手

看護婦長

前項職員ノ外醫院長ニ於テ必要ト認ムルトキハ守衛長ヲ置クコトヲ得

第二條　醫務助手、看護婦長及守衛長ハ雇員トス

第三條　醫務助手ハ患者診療ニ關スル事務ヲ補助ス

第四條　看護婦長ハ患者ノ看護及看護婦ノ指導監督ニ從事ス

第五條　守衛長ハ醫院內外ノ警衛及守衛ノ指導監督ニ從事ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●假出場證票書式制定

大正九年三月十四日
訓令第二十四號

拘留及勞役場留置者假出場證票書式左ノ通相定ム

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書　式

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

用紙厚紙、紙質適宜

假出場證票

本籍地
住居地
戶主又ハ誰何男、女、兄弟、妻何々
氏　　　　名
生年月日

罪　名
拘留又ハ勞役場
留置期間
大正　年　月　日ヨリ執行
大正　年　月　日滿期
假出場期間　年　月　日 自大正　年　月　日 至大正　年　月　日
假出場ヲ許サレタルヲ以テ此證票ヲ附與ス
年　月　日
何監獄長　官　氏　　名㊞

八　寸

五寸五分

●市外電話回線新設及變更

大正九年三月十七日
訓令第二十五號

大正九年三月十七日ヨリ左記市外電話回線ヲ新設及變更ス

回線名	接續局所	記事
基隆瑞芳一番線	基隆瑞芳	新設
同　二番線	同	同
基隆金瓜石線	基隆金瓜石	中間局瑞芳ヲ除ク

●行旅病人同死亡者及同伴者取扱手續中改正

大正九年三月十八日
訓令第二十六號

明治三十五年九月訓令第二百四十五號行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者取扱手續中左ノ通改正ス

第九條中左ノ如ク改ム

五　藥價
　一日金三十錢以內
七　食料
　一食金十錢以內
八　看護人料
　一晝夜金一圓以內
九　被服料
　一枚 夏衣金二圓五十錢以內 冬衣金三圓五十錢以內
十　寢具料
　一晝夜金十五錢以內
十一　薪炭油料
　一晝夜金三十錢以內
十三　借家料
　一晝夜金十五錢以內
十四　小屋掛料
　一箇所金三圓以內
十五　護送途中宿泊料
　一夜金一圓二十錢以內
十六　同辨食料
　一回金五十錢以內
十八　同車馬賃
　一里 臺灣金三十錢以內 內地金十五錢以內
十九　運搬費
　人夫一里 臺灣金五十錢以內 內地金十五錢以內
二十一　同宿泊料
　一夜金一圓二十錢以內
二十二　同辨食料
　一回金五十錢以內
二十四　同車馬賃
　一里 臺灣金三十錢以內 內地金十五錢以內
二十八　假埋費
　一切金六圓以內
二十九　火葬費
　一切金七圓五十錢以內
三十　死體番人料
　一晝夜金一圓五十錢以內
三十一　墓標代
　一基金五十錢以內

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣窮民救助規則取扱手續中改正

大正九年三月十八日
訓令第二十七號

明治三十六年三月訓令第五十一號臺灣窮民救助規則取扱手續中左ノ通改正ス

第一條中「五錢」ヲ「十錢」ニ、「一圓二十錢」ヲ「二圓五十錢」ニ、「二圓」ヲ「三圓五十錢」ニ、「十錢」ヲ「十五錢」ニ、「十五錢」ヲ「三十錢」ニ、看護人料一晝夜「金五十錢以內」ヲ看護人料一晝夜金「一圓以內」ニ改ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置

大正九年三月十九日
訓令第二十八號

大正八年四月訓令第三十三號別册大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目表中左ノ科目ヲ設置ス

歲出臨時部

款	項	目	節
第十款 事業費其他補足	第一項 通信費補足	第一目 事務費補足	第一節 雜給及雜費補足
		第二目 遞信事業費補足	第一節 共通費補足
			第二節 郵便費補足
			第三節 電信電話費補足

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

項	目	節
第二項 鐵道作業費補足	第一目 事務費補足	第一節 雜給及雜費補足
	第二目 事業費補足	第一節 保存費補足
		第二節 營業費補足
		第三節 工作費補足
		第四節 補充費補足
第三項 專賣局費補足	第一目 事業費補足	第一節 作場費補足
		第二節 獎勵費補足
		第三節 樟林作業費補足
第四項 地方費補助補足	第一目 地方費補助補足	

●市外電話回線新設

大正九年三月二十一日
訓令第二十九號

大正九年三月二十六日ヨリ左記市外電話回線ヲ新設ス

回線名	接續局所	記事
臺北嘉義線	臺北、嘉義	新設

●森林主副產物賣渡處分簿中改正

大正九年三月二十二日
訓令第三十號

明治三十年六月訓令第七十六號中左ノ通改正ス
本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
別表樣式中「尺〆」ヲ「石」ニ改ム

●官有林野事業豫定案編成規程中改正

大正九年三月二十二日
訓令第三十一號

明治三十三年十一月訓令第三百三十七號臺灣官有林野事業豫定按編成規程中左ノ通改正ス

第六條及別表中「尺〆」ヲ「石」ニ改ム

附則

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣總督府監獄看守定員規程中改正

大正九年三月三十一日
訓令第三十二號

明治三十九年二月訓令第二十二號臺灣總督府監獄看守定員規程中左ノ通改正ス
第一條中「百人」ヲ「十人」ニ「十人」ヲ「一人」ニ「前前年度ヨリ超算シテ既往」ヲ「最近」ニ改ム
第二條中「支監」ノ下ニ「及出張所」ヲ加ヘ「五人」ヲ「八人」ニ改ム

附則

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●大正九年度監獄看守定員制定

大正九年三月三十一日
訓令第三十三號

大正九年度監獄看守定員左ノ通相定ム

臺北監獄	二百三十人
臺中監獄	百三十人
臺南監獄	百九十五人

●大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目設置

大正九年三月三十一日號外
訓令第三十四號

大正八年四月訓令第三十三號別冊大正八年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目表中左ノ節ヲ設置ス

歲出經常部

款	項	目	節
第十三款 農事試驗費	第三項 事業費	第四目 園藝	△第十一節 土地借入費

△印增設

●資金及過超金受授局及指定局竝區域改正

大正九年三月三十一日號外
訓令第三十五號

大正七年六月訓令第百十號資金及過超金受授局及指定局竝其ノ區域中左ノ通改正ス
彰化ノ項受授區域中「和美線」ノ下ニ「、社口」ヲ加フ
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令 臺灣施行

●前年度豫算施行ノ件

大正九年三月十六日
勅令第四十三號

朕大正九年度ニ於テ前年度豫算ヲ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
大正九年度ニ於テハ憲法第七十一條ニ依リ前年度ノ豫算ヲ施行ス

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN